

習志野市子ども・若者・子育て支援等に係る実態調査

結果報告書（案）

Ⅱ 就学前児童

Ⅲ 就学児童

Ⅳ （高校生年齢相当～29 歳）

Ⅱ 調査結果（就学前児童）

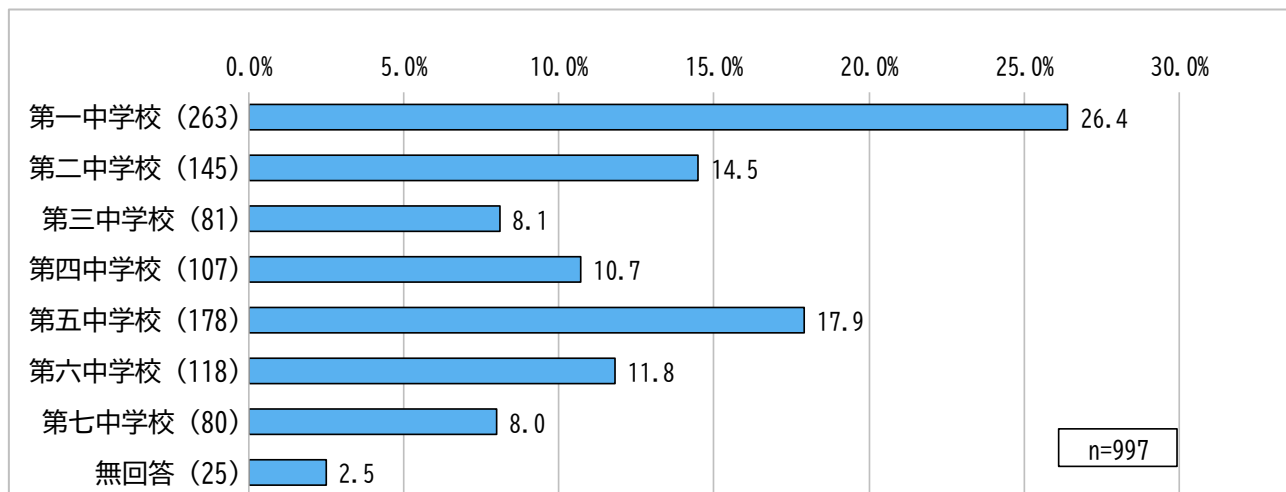
1 居住地域について

(1) 居住中学校区

問1 お住まいの地区はどの中学校区ですか。

居住中学校区について、「第一中学校」が26.4%で最も多く、次いで「第五中学校」が17.9%となっています。

図1-1 居住中学校区



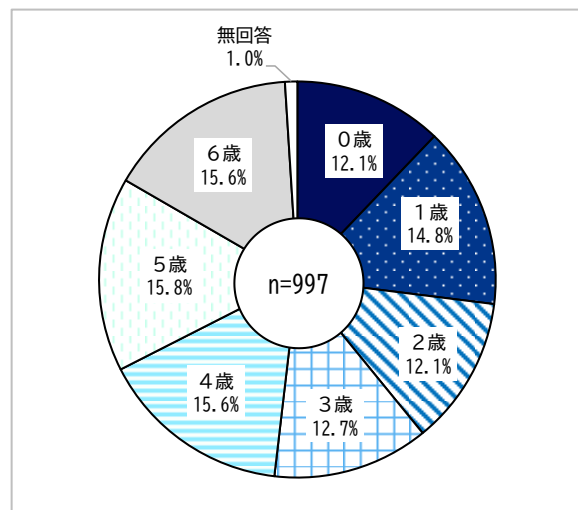
2 子どもについて

(1) 子どもの年齢

問2 あて名のお子さんの生年月はいつですか。

子どもの年齢について、「5歳」が15.8%で最も多く、次いで「4歳」「6歳」が15.6%となっています。

図2-1 子どもの年齢



※この設問では子どもの生年月をうかがいましたが、この報告書では以下の年齢区分に従って集計しています。また、年齢ごとの配布数及び回収数・回収率は以下のとおりです。

年齢		対象年齢該当生年月	配布数	回収数	回収率
就学前児童	0歳	令和5年4月～令和6年2月	212	121	57.1%
	1歳	令和4年4月～令和5年3月	271	148	54.6%
	2歳	令和3年4月～令和4年3月	271	121	44.6%
	3歳	令和3年4月～令和3年3月	282	127	45.0%
	4歳	平成31年4月～令和2年3月	315	156	49.5%
	5歳	平成30年4月～平成31年3月	320	158	49.4%
	6歳	平成29年4月～平成30年3月	329	156	47.4%

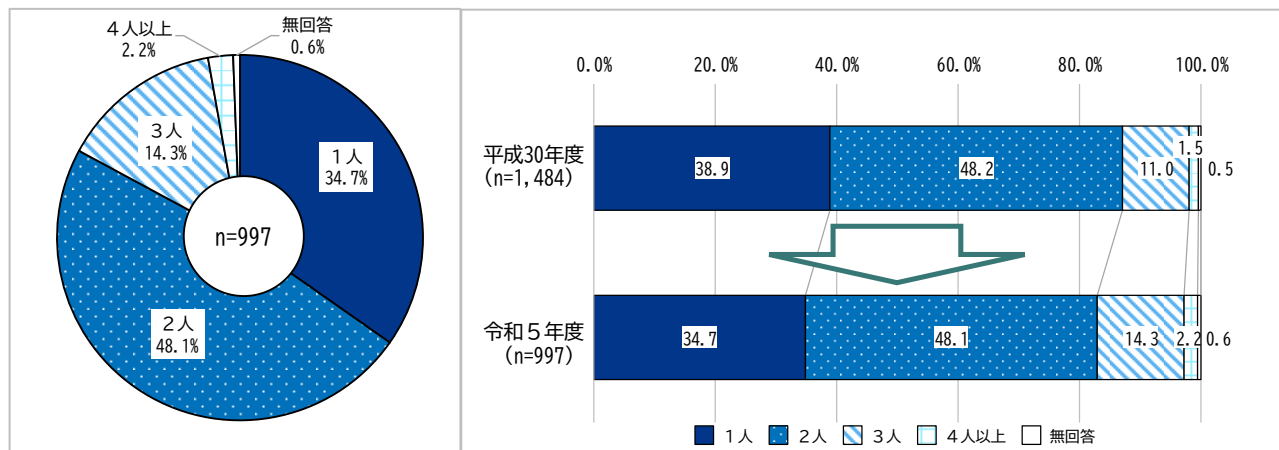
(2) 子どもの人数

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、あて名のお子さんは、上から何人目のお子さんですか。

①子どもの人数

子どもの人数について、「2人」が48.1%で最も多く、次いで「1人」が34.7%となっています。平成30年度調査と比較すると、「3人」の割合が増加しています。

図2-2 子どもの人数

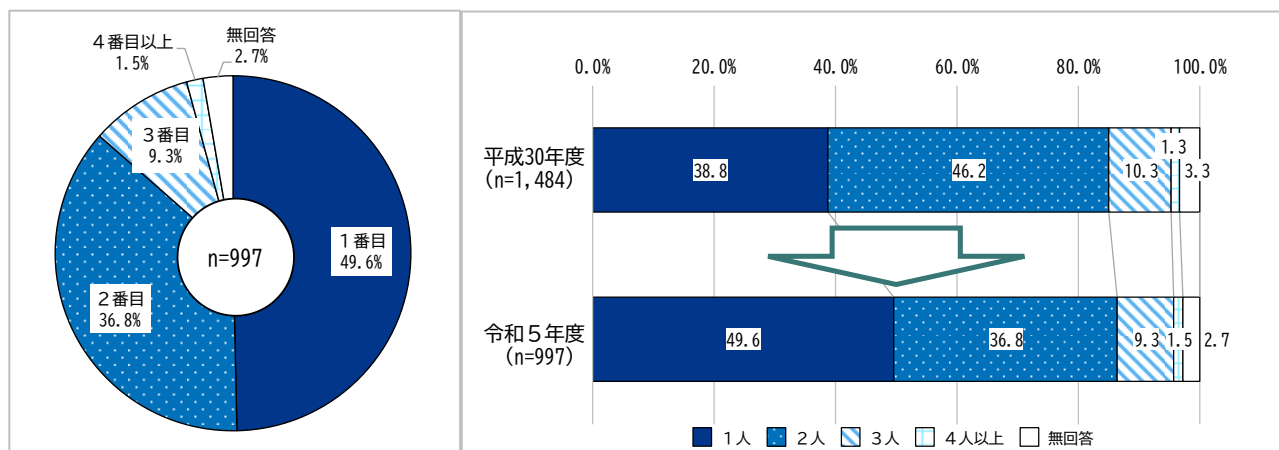


②あて名の子どもの出生順位

あて名の子どもの出生順位について、「1番目」が49.6%で最も多く、次いで「2番目」が36.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1番目」の割合が増加しています。

図2-3 あて名の子どもの出生順位



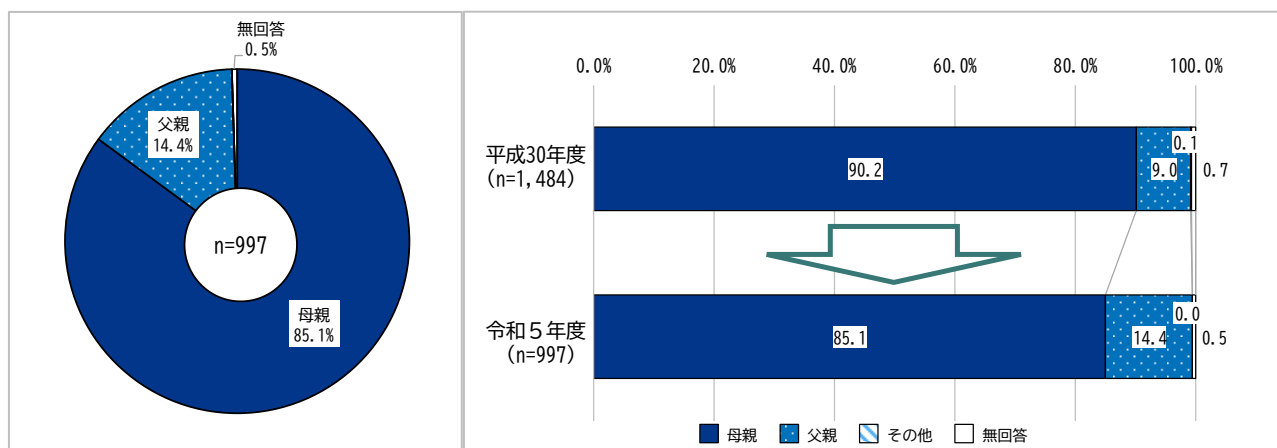
3 家族関係について

(1) 回答者の属性

問4 この調査票に回答いただいている方は、あて名のお子さんからみて次のどれにあたりますか。

回答者の属性について、「母親または母親に相当する方」が85.1%、「父親または父親に相当する方」が14.4%となっています。平成30年度調査と比較すると「父親または父親に相当する方」の割合が増加しています。

図3-1 回答者の属性

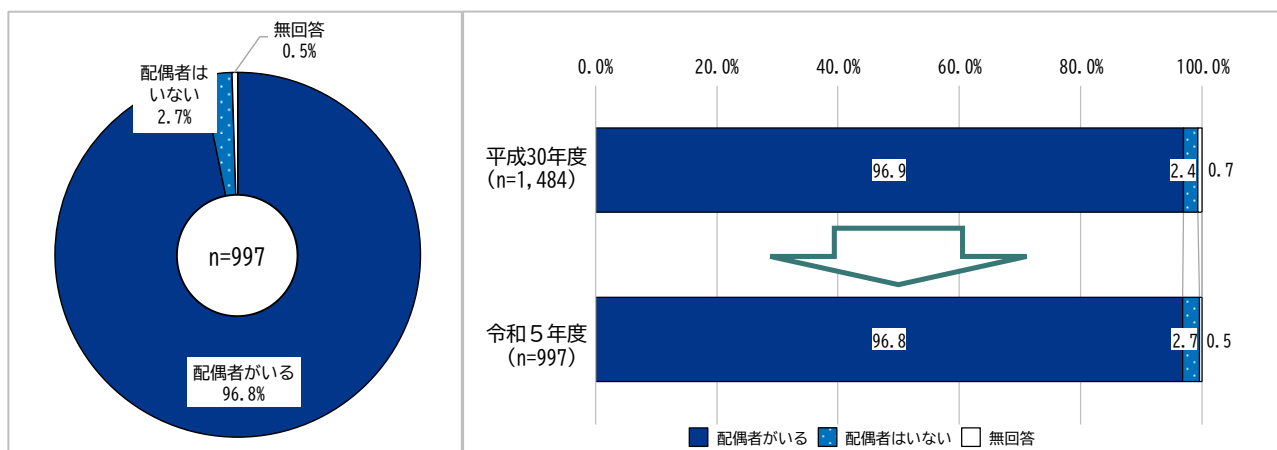


(2) 回答者の配偶者の有無

問5 この調査票に回答いただいている方に配偶者（パートナー含む）はいますか。

回答者の配偶者の有無について、「配偶者がいる」が96.8%、「配偶者はいない」が2.7%となっています。平成30年度調査と大きな差はみられませんでした。

図3-2 回答者の配偶者の有無



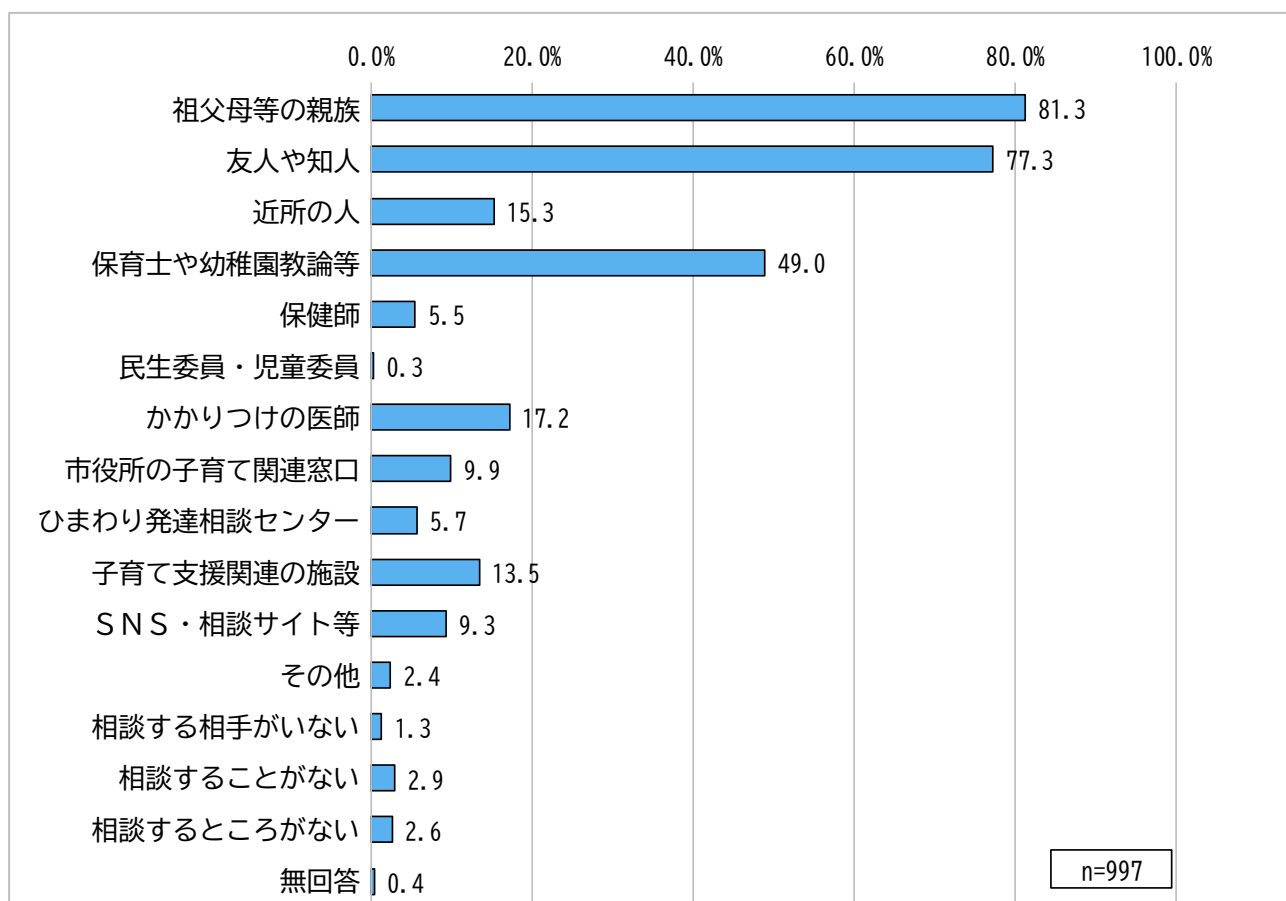
4 子育て環境について

(1) 気軽に相談できる先

問6 子育てに関して気軽に相談できる先はありますか。それは誰あるいはどこですか。
(複数回答)

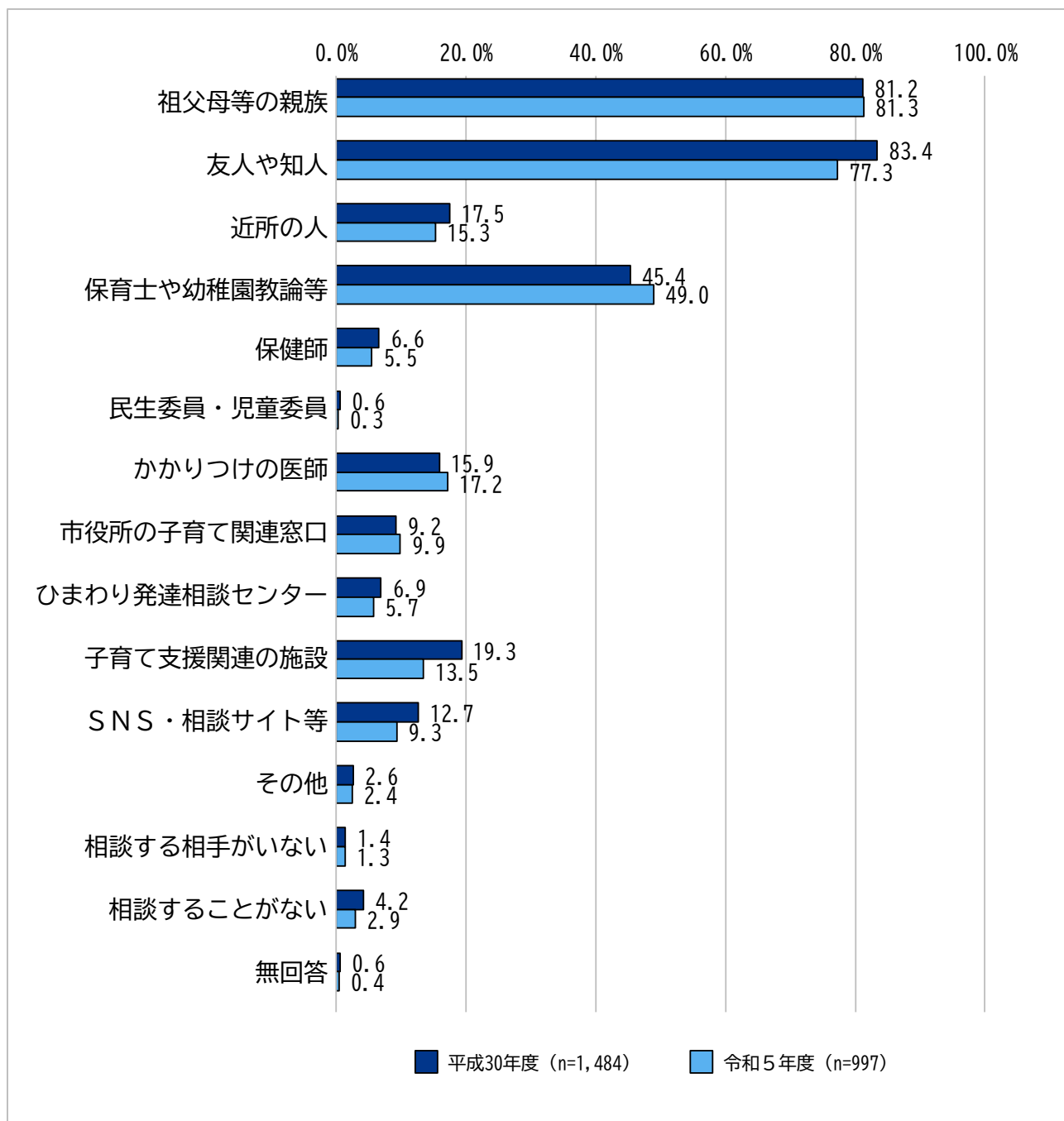
気軽に相談できる先について、「祖父母等の親族」が81.3%で最も多く、次いで「友人や知人」が77.3%となっています。

図4-1 気軽に相談できる先



平成 30 年度調査と選択肢等が同一ではないため単純比較はできないものの、平成 30 年度調査と比較すると、「友人や知人」の割合が減少して、「保育士や幼稚園教諭等」の割合が増加しています。

図 4-1 気軽に相談できる先（前回比較）



5 保護者の就労状況について

(1) 就労状況

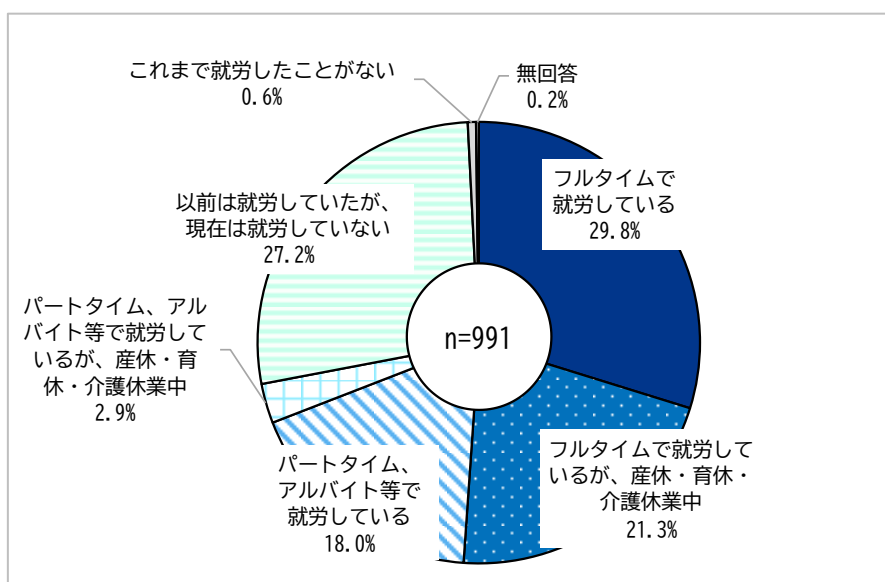
問7 回答者と配偶者（同居のパートナー含む）それぞれの就労状況をうかがいます。

ア 現在の就労状況

①母親の就労状況

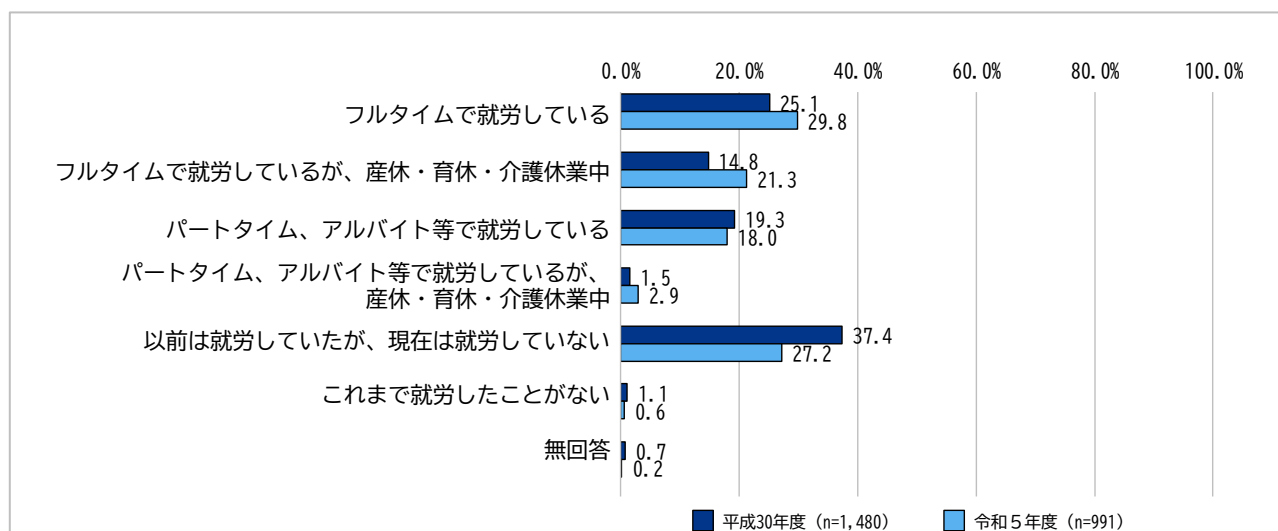
母親の就労状況について、「フルタイムで就労している」が29.8%で最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が27.2%となっています。

図5-1 母親の就労状況



平成30年度調査と比較すると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少して、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中」の割合が増加しています。

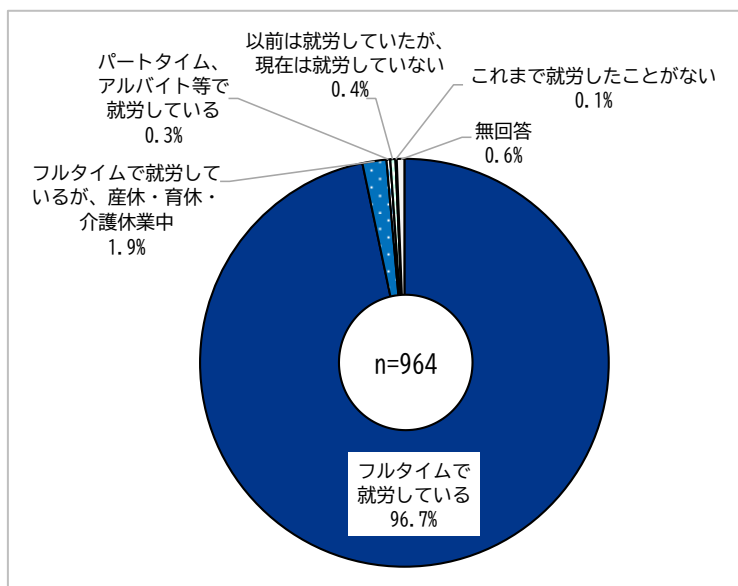
図5-1 母親の就労状況（前回比較）



②父親の就労状況

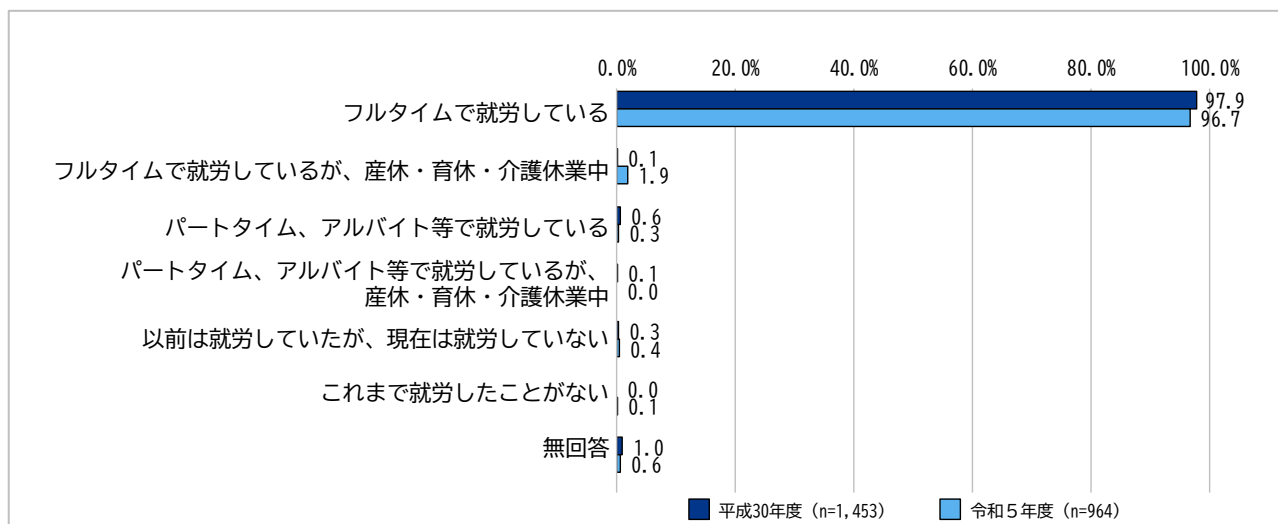
父親の就労状況について、「フルタイムで就労している」が96.7%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中」が1.9%となっています。

図5-2 父親の就労状況



平成30年度調査の父親の就労状況を比較すると「フルタイムで就労している」の割合が減少して、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中」の割合が増加しています。

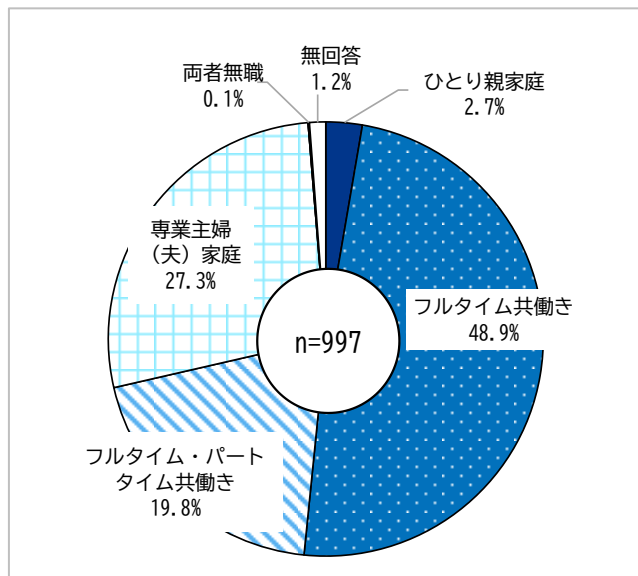
図5-2 父親の就労状況（前回比較）



③就労状況の家族類型

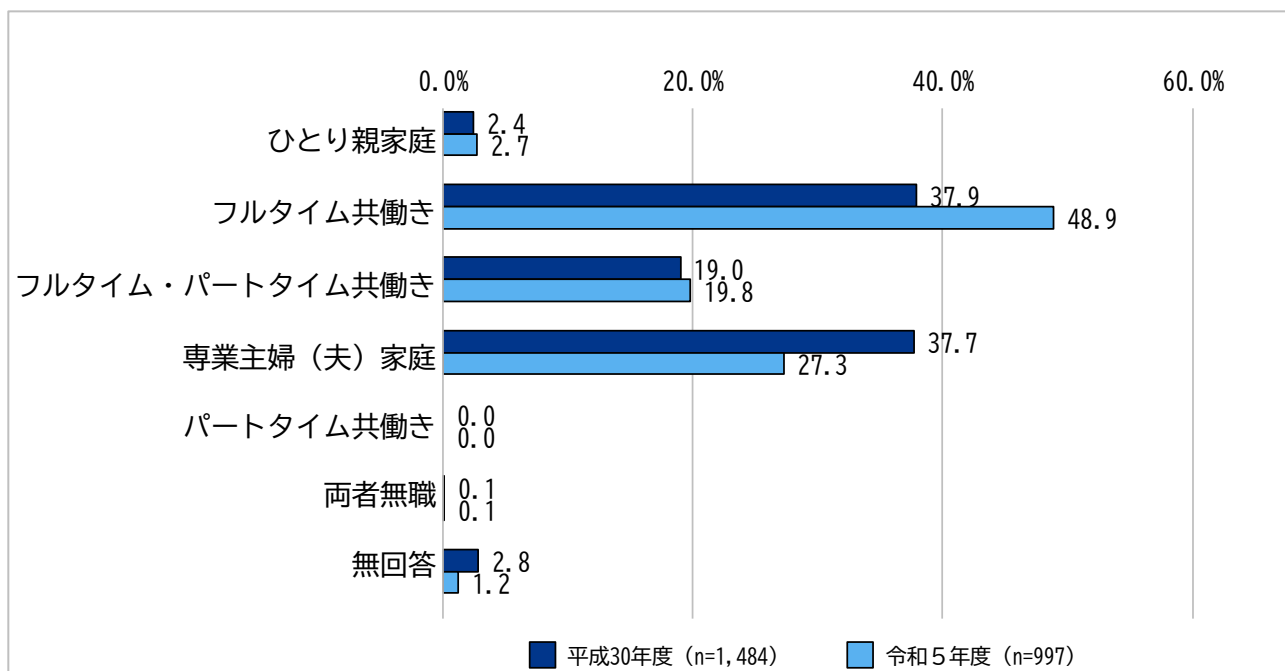
就労状況の家族類型について、「フルタイム共働き」が48.9%と最も多く、次いで「専業主婦（夫）家庭」が27.3%と多くなっています。

図5-3 就労状況の家族類型



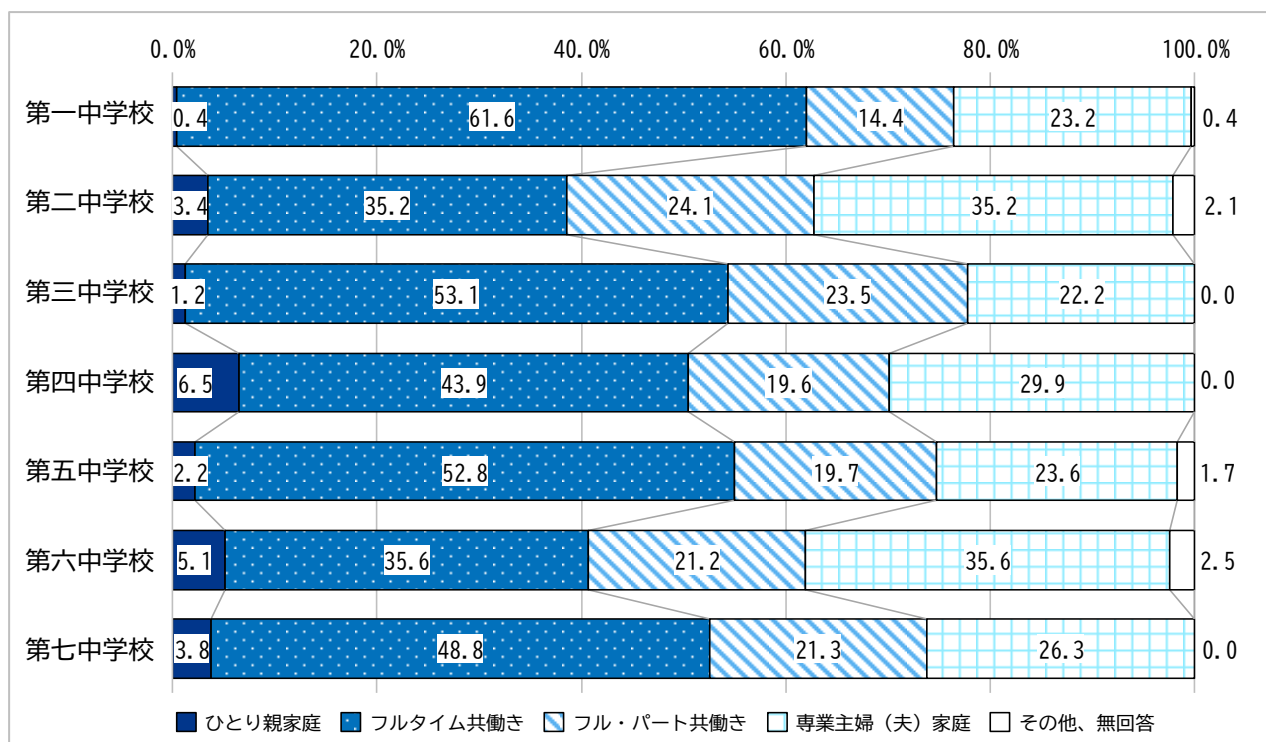
平成30年度調査と比較すると、「専業主婦（夫）家庭」の割合が減少して、「フルタイム共働き」の割合が増加しています。

図5-3 就労状況の家族類型（前回比較）



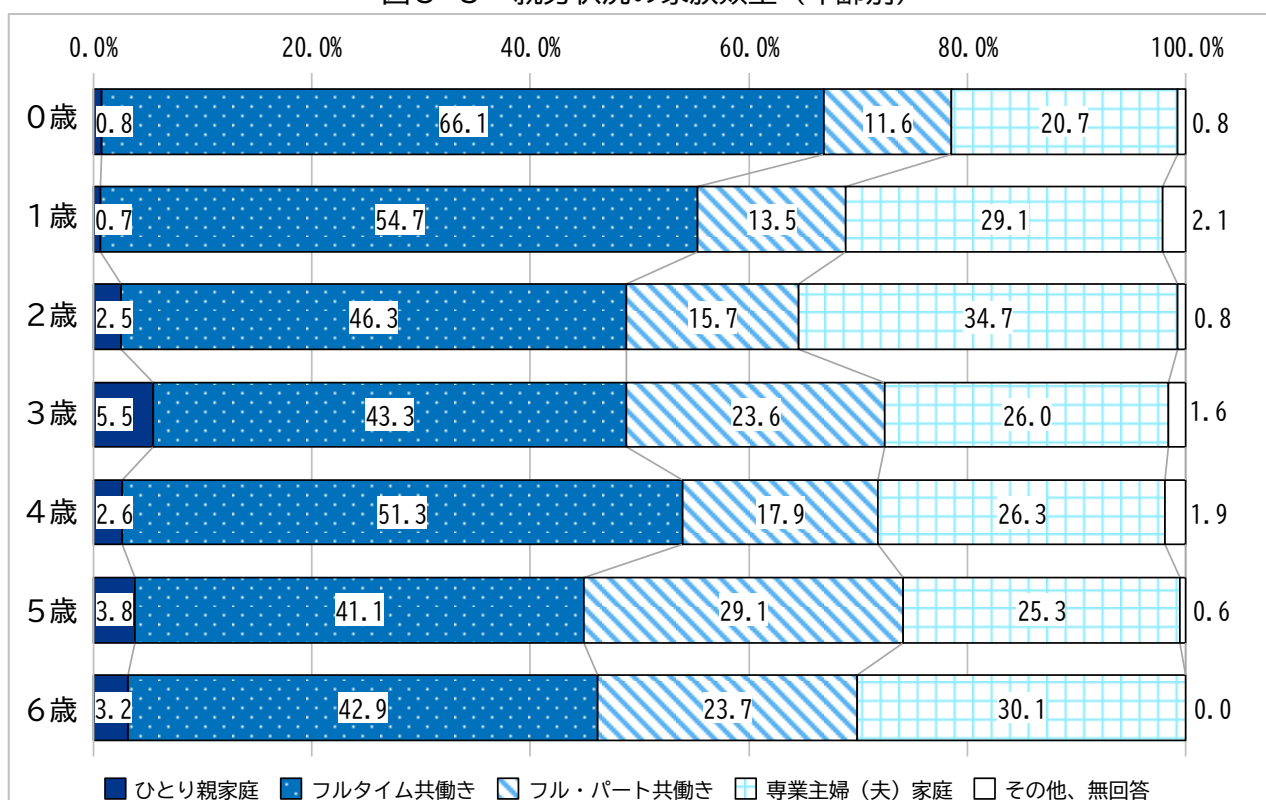
居住中学校区別でみると、全ての中学校区で「フルタイム共働き」が最も多くなっています。「第二中学校」、「第六中学校」では、「専業主婦（夫）家庭」も多くなっています。

図5-4 就労状況の家族類型（居住中学校区別）



家族類型でみると、全ての年齢で「フルタイム共働き」が最も多くなっています。次いで、「5歳」以外の年齢で「専業主婦（夫）家庭」が多くなっています。

図5-5 就労状況の家族類型（年齢別）



(2) 平均就労日数と時間

【アで「1.」～「4.」(就労している)を選んだ方にうかがいます。(産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。)】

問7 イ 1週当たりの平均的な就労日数

ウ 1日当たりの平均的な就労時間

① 1週当たりの平均就労日数(休業中を含む就労している方)

1週当たりの平均就労日数について、母親、父親ともに「5日」(母親:76.4%、父親:83.8%)が最も多く、次いで母親では「4日」(8.6%)、父親では「6日」(9.2%)となっています。

図5-6 1週当たりの平均就労日数(母親)

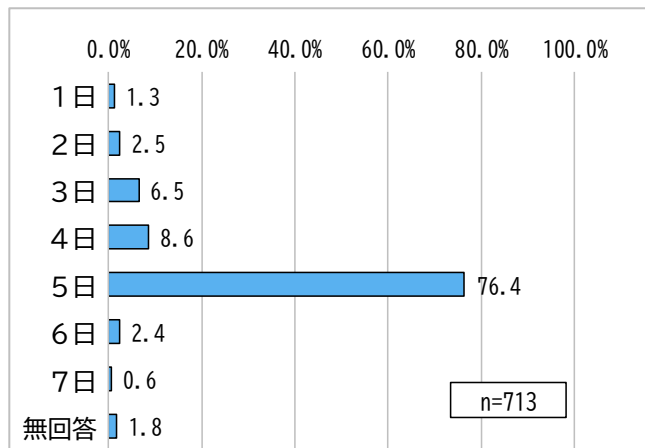
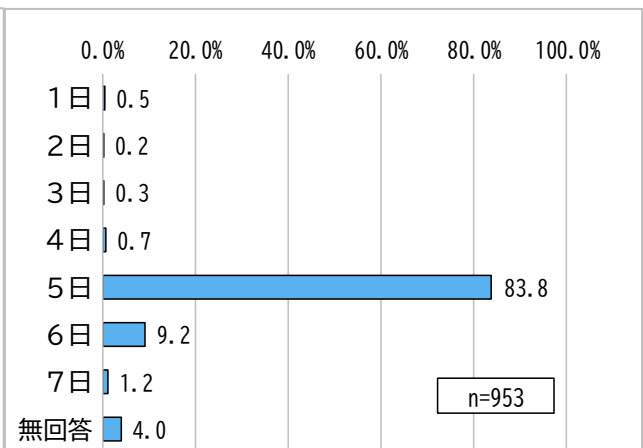


図5-7 1週当たりの平均就労日数(父親)



② 1日当たりの平均就労時間(休業中を含む就労している方)

1日当たりの平均就労時間について、母親、父親ともに「8時間」(母親:34.1%、父親:35.9%)が最も多く、次いで母親では「7時間」(14.9%)、父親では「10時間」(17.4%)となっています。

図5-8 1日当たりの平均就労時間(母親)

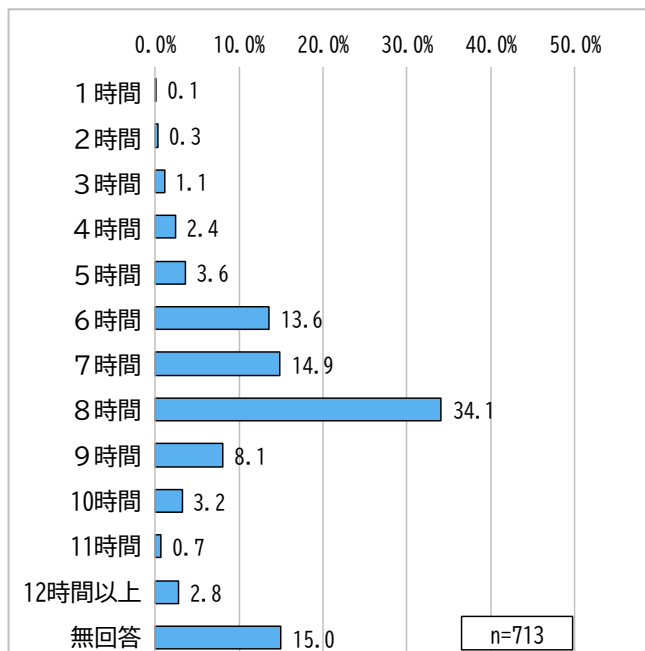
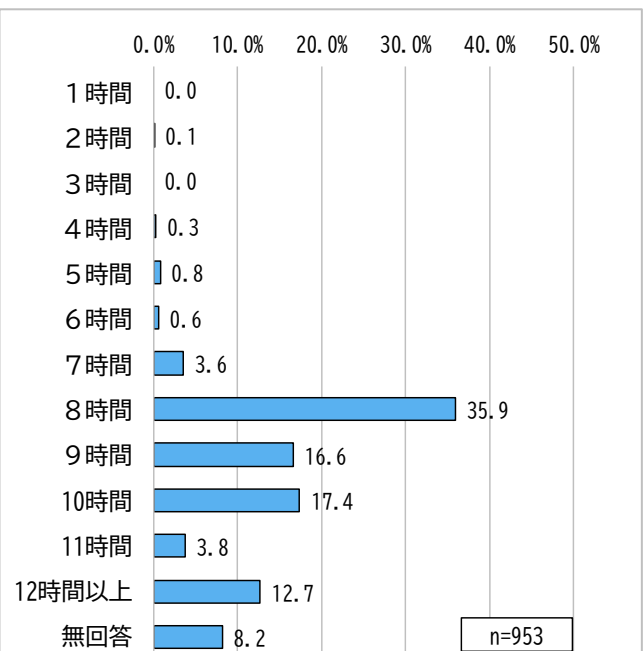


図5-9 1日当たりの平均就労時間(父親)



(3) フルタイムへの移行希望

【アで「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）を選んだ方にうかがいます。】

問7 エ フルタイムへの移行希望

フルタイムへの移行希望について、母親、父親ともに「パート・アルバイト等を続けたい」（母親：49.3%、父親：66.7%）が最も多く、次いで母親では「フルタイムへの移行希望はあるが、実現できる見込みはない」（30.4%）、父親では「フルタイムへの移行希望があり、実現できる見込みがある」（33.3%）となっています。

図5-10 フルタイムへの移行希望（母親）

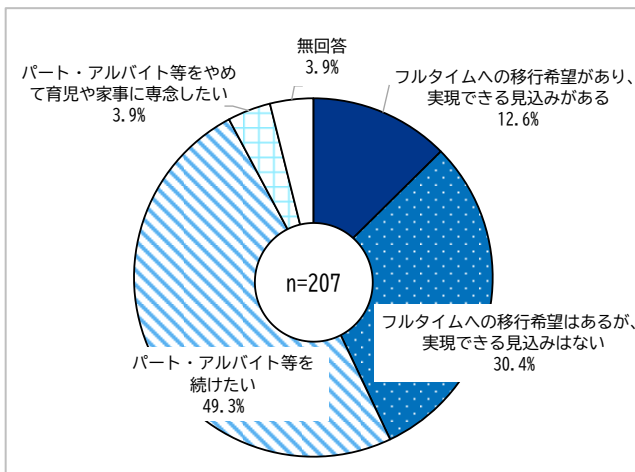
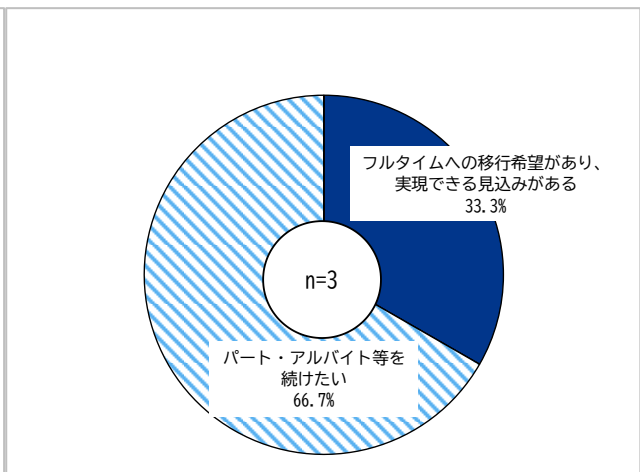


図5-11 フルタイムへの移行希望（父親）



(4) 就労希望（母親）

【アで「5.」または「6.」（就労していない）を選んだ方にうかがいます。】

問7 オ 今後の就労希望

今後の就労希望について、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったら」が52.2%で最も多く、次いで「すぐにでも、または1年以内に就労したい」が29.0%となっております。

就労希望の末子年齢について、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったら」と回答した方にたずねたところ、「3歳」が20.1%で最も多く、次いで「7歳」が19.4%となっています。

図5-12 今後の就労希望（母親）

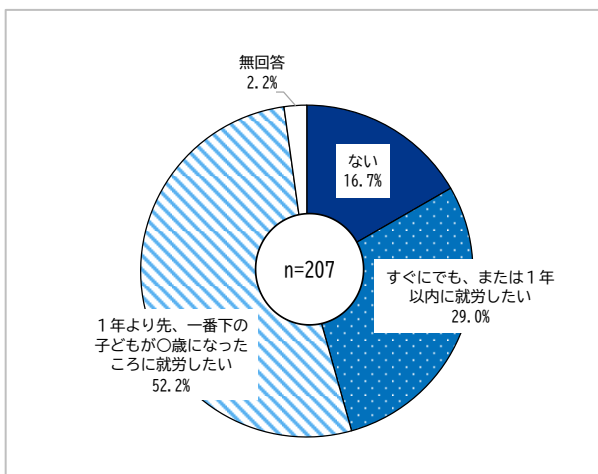
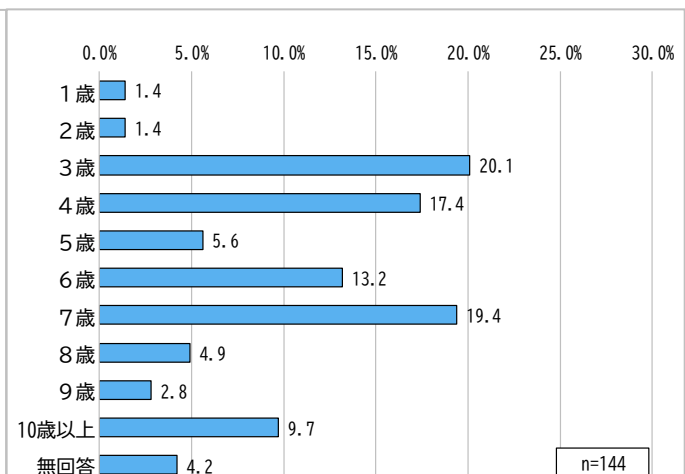


図5-13 就労希望の末子年齢（母親）



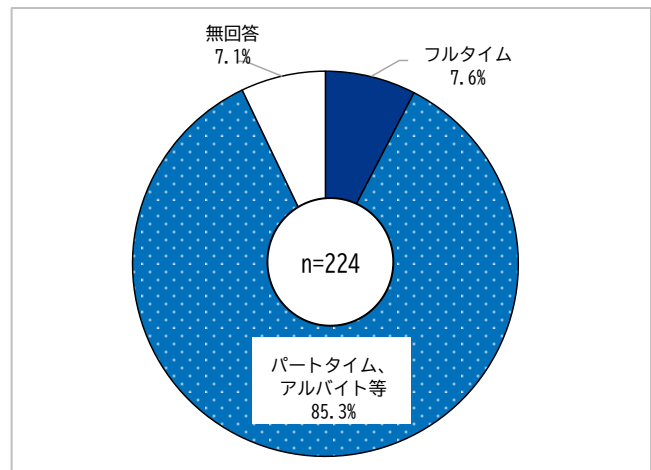
（５）希望する就労形態（母親）

【オで「２．」または「３．」（就労希望有）を選んだ方にうかがいます。】

問７ カ 希望する就労形態

希望する就労形態について、「パートタイム、アルバイト等」が85.3%、「フルタイム」は7.6%となっています。

図5-14 希望する就労形態



（６）希望する就労日数と時間（母親）

【カで「２．」を選んだ方にうかがいます。】

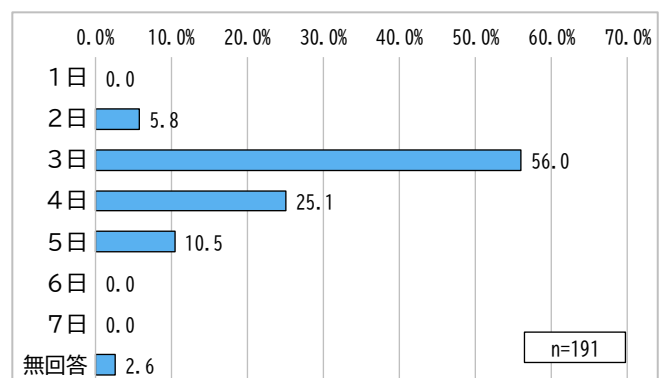
問７ キ １週当たりの就労希望日数 ク １日当たりの就労希望時間

① １週あたりの希望就労日数

（パートタイム、アルバイト等による就労希望者）

１週当たりの希望就労日数について、「３日」が56.0%で最も多く、次いで「４日」が25.1%となっています。

図5-15 １週当たりの希望就労日数

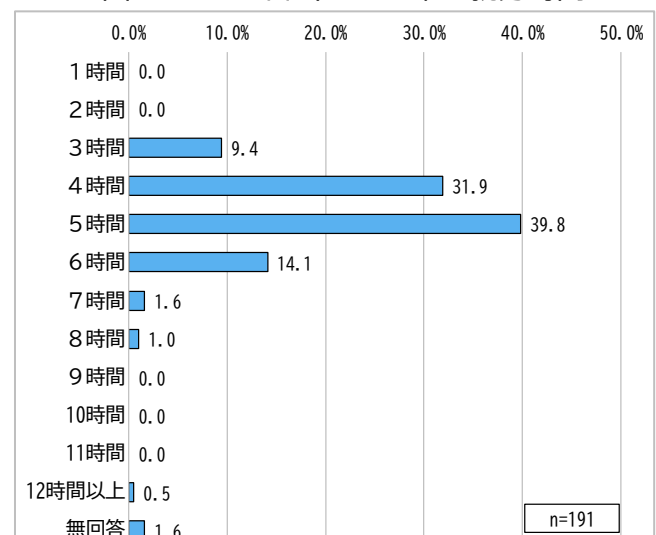


② １日当たりの希望就労時間

（パートタイム、アルバイト等による就労希望者）

１日当たりの希望就労時間について、「５時間」が39.8%で最も多く、次いで「４時間」が31.9%となっています。

図5-16 １日当たりの希望就労時間



6 育児休業制度の利用について

(1) 育児休業の取得状況

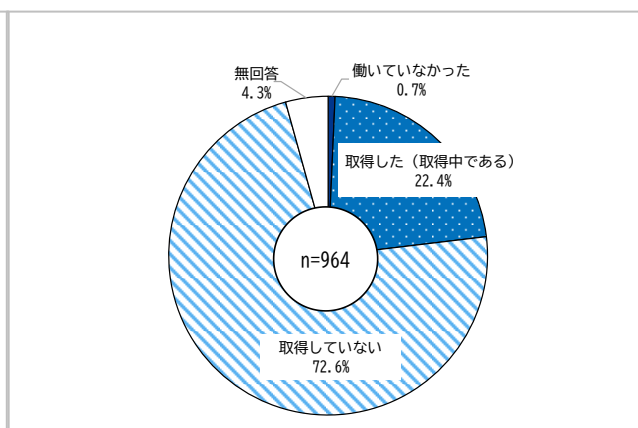
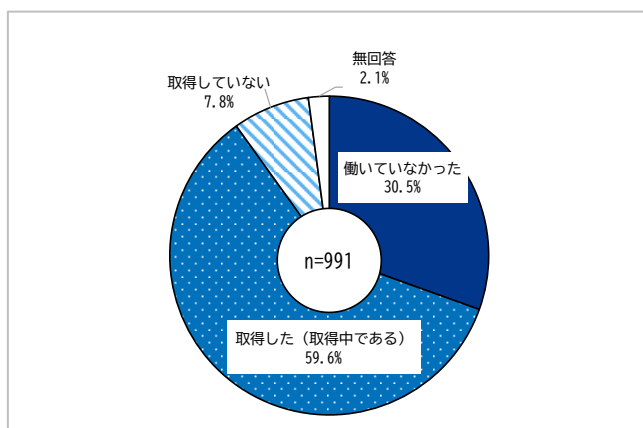
問8 あて名のお子さんが生まれた時、育児休業はどうされましたか。

ア 育児休業の取得状況

育児休業の取得状況について、母親では「取得した（取得中である）」が59.6%で最も多く、次いで「働いていなかった」が30.5%となっています。また、父親では「取得していない」が72.6%で最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が22.4%となっています。

図6-1 育児休業の取得状況（母親）

図6-2 育児休業の取得状況（父親）



(2) 育児休業取得後の職場復帰

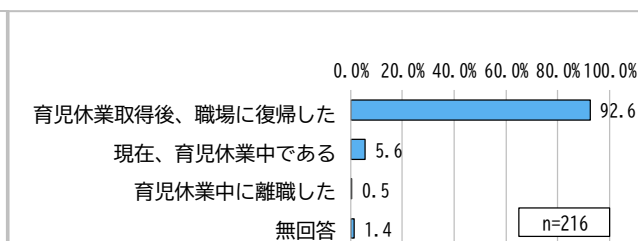
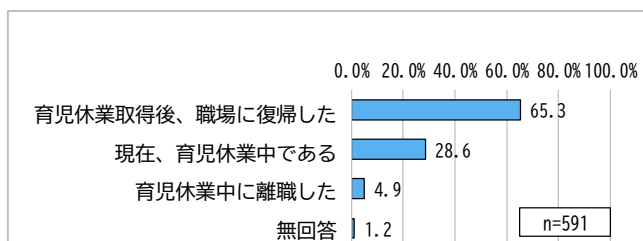
【アで「2.」を選んだ方にうかがいます。】

問8 イ 育児休業取得後の職場復帰

母親、父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」（母親：65.3%、父親：92.6%）が最も多く、次いで「現在、育児休業中である」（母親：28.6%、父親：5.6%）となっています。

図6-3 育児休業後の職場復帰（母親）

図6-4 育児休業後の職場復帰（父親）



(3) 職場復帰時の子どもの年齢

【イで「1.」または「2.」を選んだ方にうかがいます。】

問8 ウ お子さんが何歳になるまで育児休業を取りたい、また取りたかったですか。

母親では「2歳」が31.0%で最も多く、次いで「1歳」が30.5%となっています。また、父親では、「1歳」が51.9%で最も多く、次に「3歳」が13.7%となっています。

図6-5 職場復帰時の
子どもの年齢（母親）

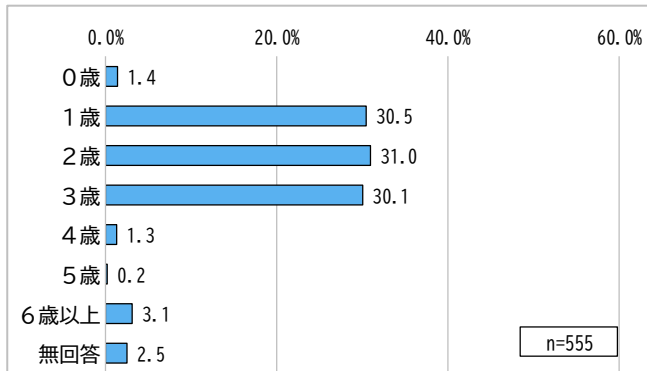
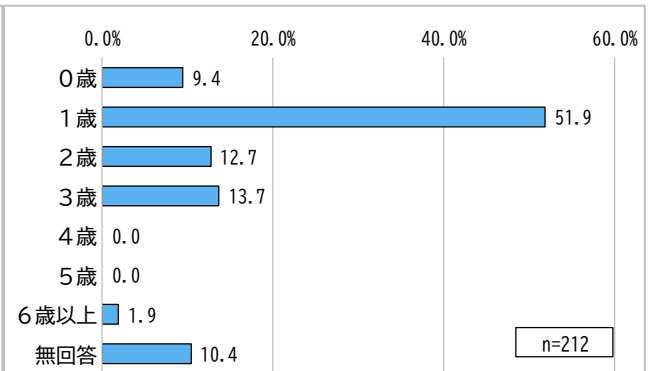


図6-6 職場復帰時の
子どもの年齢（父親）



7 子育て支援事業について

(1) 子育て支援施設の認知・利用状況

問9 ア.～ウ.のような子育て支援事業の施設を知っていますか。

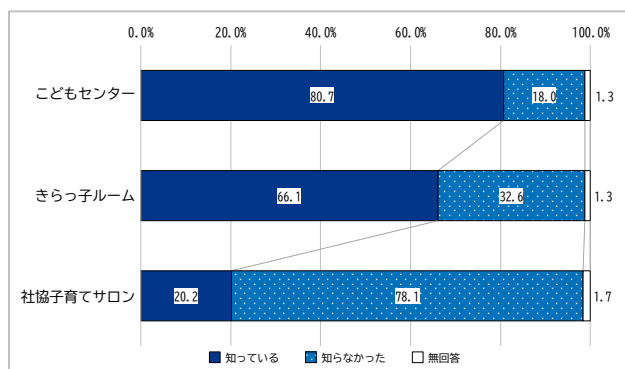
「知っている」場合、あて名のお子さんは現在それを利用していますか。

「利用している」場合は、1月当たりの利用回数（おおよそ）を記入してください。

①子育て支援施設の認知状況

子育て支援施設の認知状況について、「こどもセンター」が80.7%、「きらっ子ルーム」が66.1%、「社協子育てサロン」が20.2%となっています。

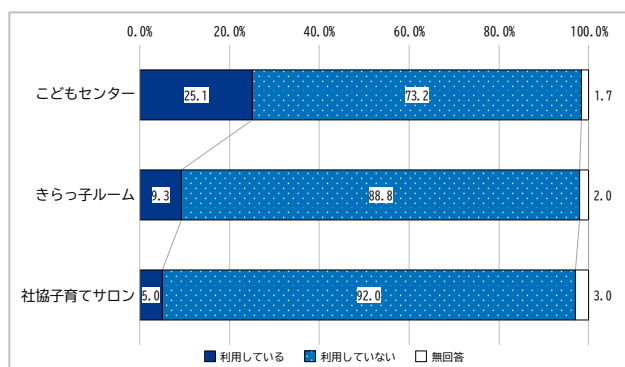
図7-1 子育て支援施設の認知状況



②子育て支援施設の利用状況

子育て支援施設の利用状況について、「こどもセンター」が25.1%、「きらっ子ルーム」が9.3%、「社協子育てサロン」が5.0%となっています。

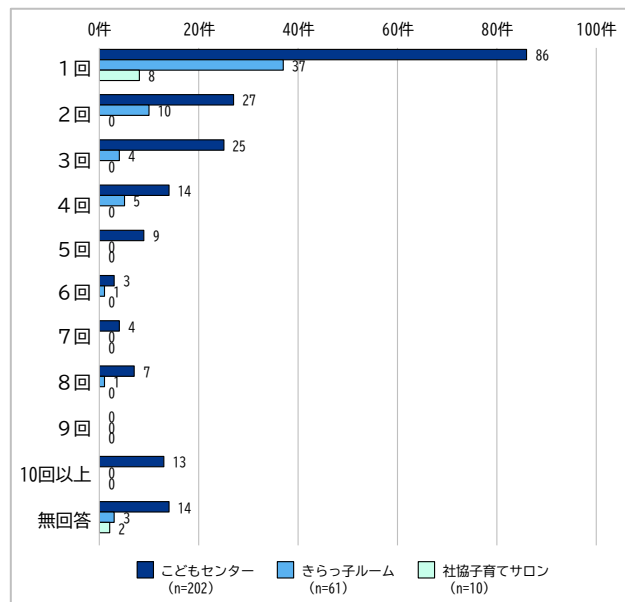
図7-2 子育て支援施設の利用状況



③子育て支援施設の1月当たりの利用回数

子育て支援施設の1月当たりの利用回数について、「こどもセンター」の利用回数が最も多く、3つの施設ともに、「1回」が最も多く、次いで「こどもセンター」「きらっ子ルーム」では「2回」が多くなっています。

図7-3 子育て支援施設の1月当たりの利用回数



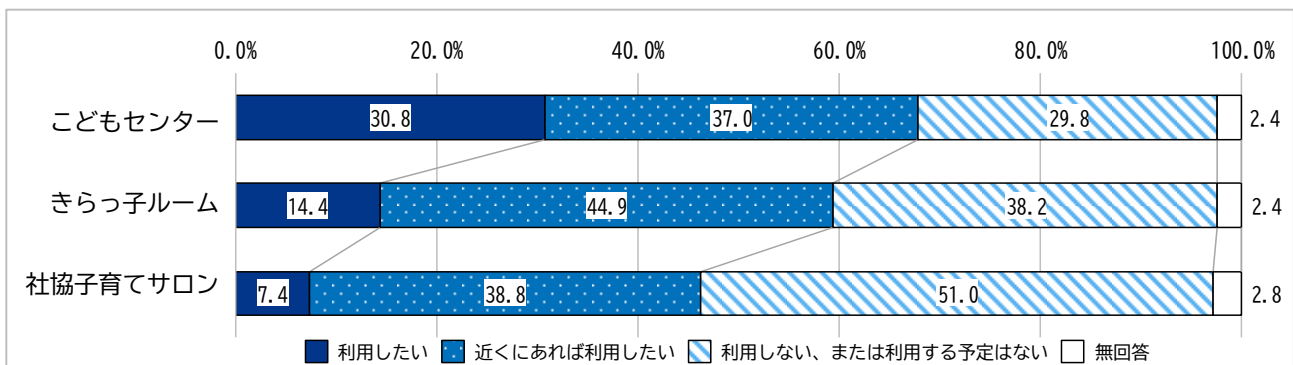
(2) 今後の子育て支援施設の利用希望

問 10 現在、利用している・利用していないにかかわらず、今後、ア. ～ウ. のような子育て支援事業の施設を利用したいと思いますか。
「利用したい」「近くにあれば利用したい」場合は、1月当たりの利用希望回数（おおよそ）を記入してください。

①今後の子育て支援施設の利用希望

今後の子育て支援施設の利用希望について、「近くにあれば利用したい」が3つの施設ともに約40%となっております。

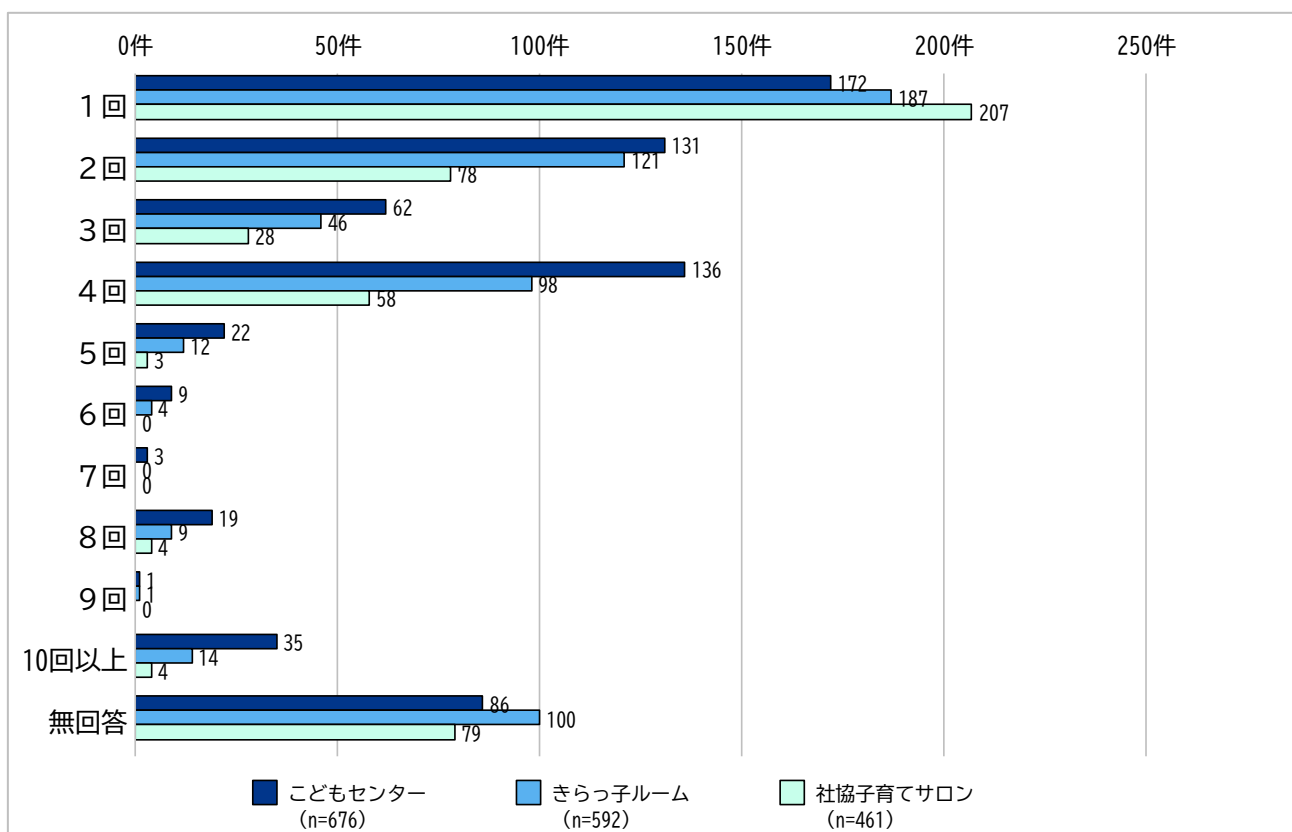
図 7-4 今後の子育て支援施設の利用希望



②今後の子育て支援施設の1月当たりの利用希望回数

今後の子育て支援施設の1月当たりの利用希望回数について、「こどもセンター」の利用回数が最も多く、3つの施設ともに「1回」が最も多くなっています。

図 7-5 今後の子育て支援施設の1月当たりの利用希望回数



8 定期的な教育・保育事業の利用について

(1) 教育・保育事業の利用の有無

問 11 あて名のお子さんは、現在、「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。

図8-1 教育・保育事業の利用

教育・保育事業の利用について、「利用している」が54.4%で最も多く、次いで「利用していない」が31.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が減少しています。

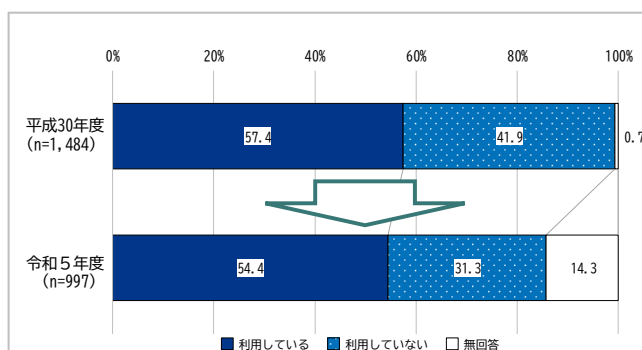
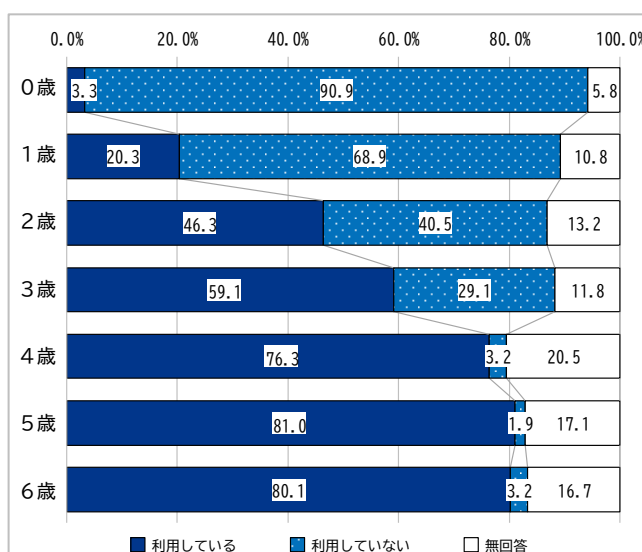


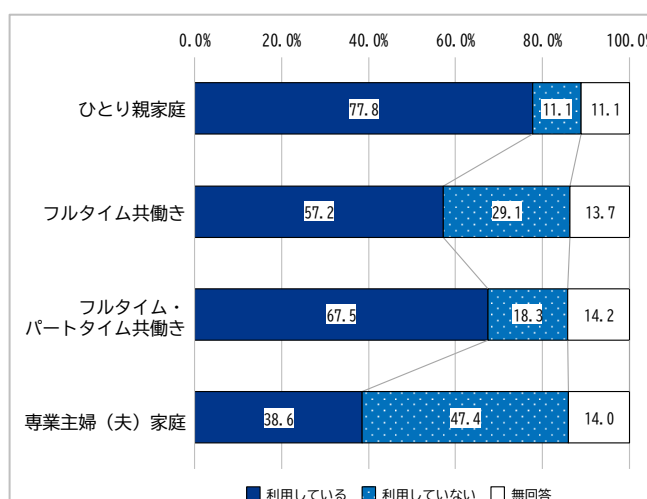
図8-2 教育・保育事業の利用（年齢別）

年齢別でみると、「利用している」が「0歳」で3.3%、「1歳」で20.3%、「2歳」で46.3%、「3歳」で59.1%、「4歳」で76.3%、「5歳」で81.0%、「6歳」で80.1%となっています。



家族類型別でみると、「利用している」が「ひとり親家庭」で77.8%、「フルタイム共働き」で57.2%、「フルタイム・パートタイム共働き」で67.5%、「専業主婦（夫）家庭」で38.6%となっています。

図8-3 教育・保育事業の利用（家庭類型別）



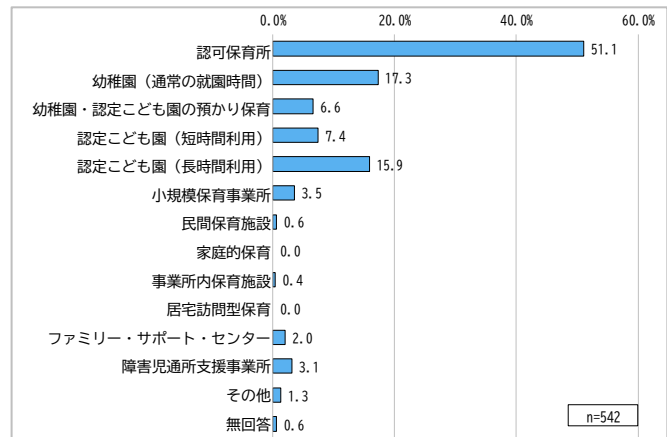
(2) 利用している事業

【問11で「1.」を選んだ方にうかがいます】

問11-1 あて名のお子さんは、平日に、どのような教育・保育の事業を「定期的に」利用していますか。

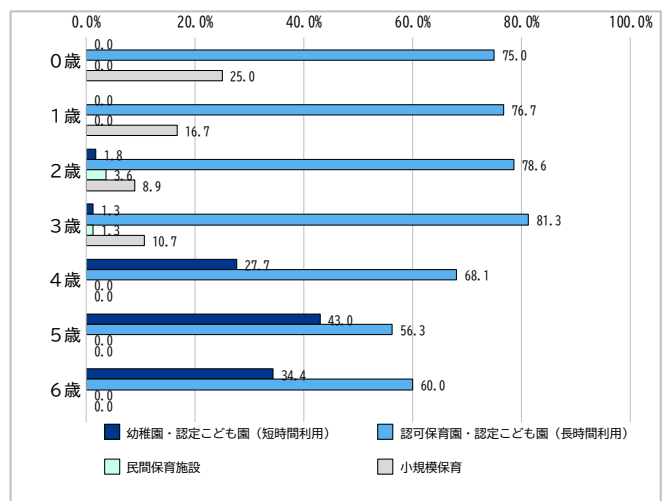
利用している事業について、「認可保育所」が51.1%で最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間）」が17.3%となっています。

図8-4 利用している事業



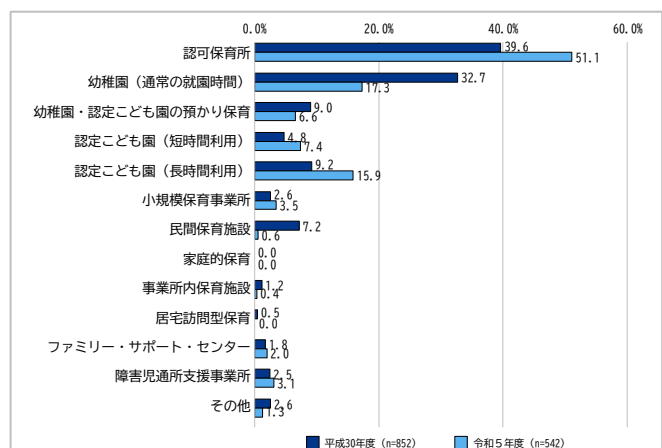
年齢別でみると、全ての年齢で、「認可保育所」と認定こども園（長時間利用）」が最も多く、次いで0歳～3歳では、「小規模保育」、4歳～6歳では「幼稚園と認定こども園（短時間利用）」が多くなっています。

図8-5 利用している事業（年齢別）



平成30年度調査と比較すると、「幼稚園（通常の就園時間）」の割合が減少して、「認可保育所」の割合が増加しています。

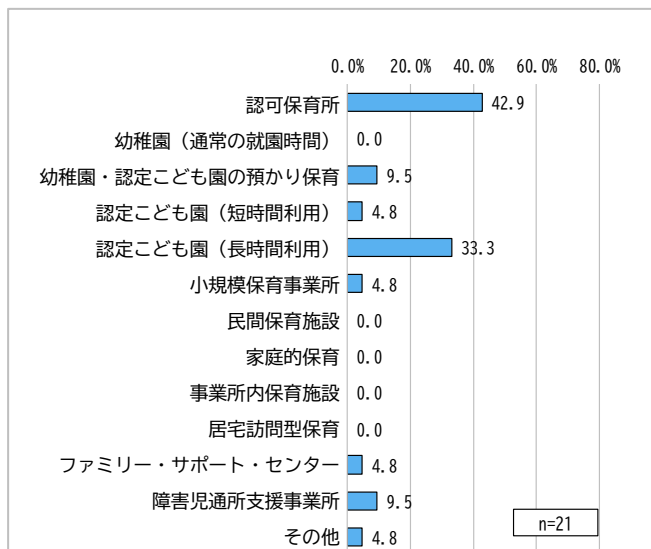
図8-6 利用している事業（前回比較）



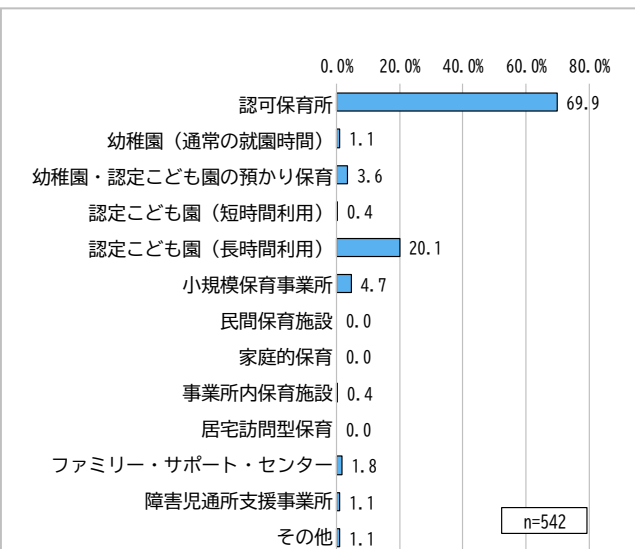
家族類型別でみると、「ひとり親家庭」、「フルタイム共働き」、「フルタイム・パートタイム共働き」では、「認可保育所」が最も多く、「専業主婦（夫）家庭」では「幼稚園（通常の就園時間）」が最も多くなっています。

図8-7 利用している事業（家族類型別）

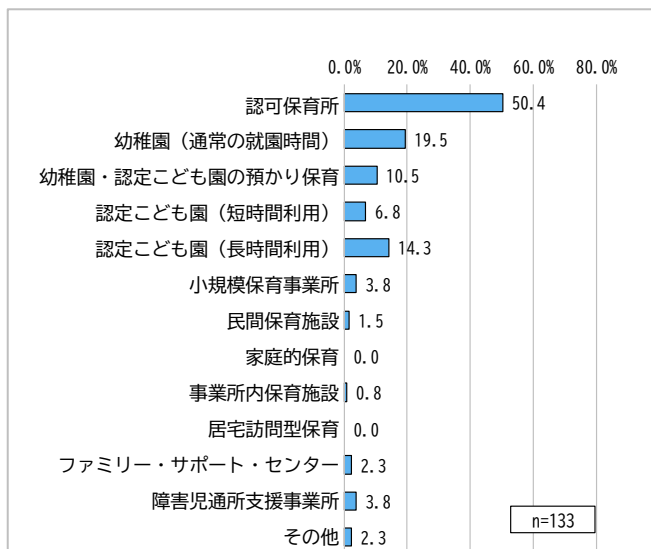
ひとり親家庭



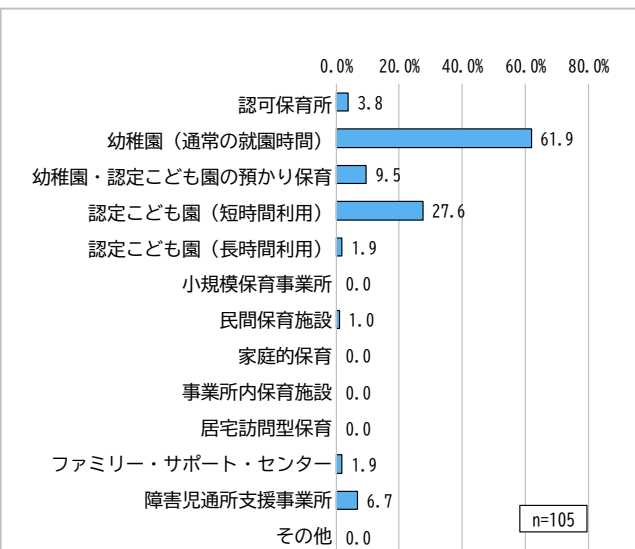
フルタイム共働き



フル・パートタイム共働き



専業主婦（夫）家庭

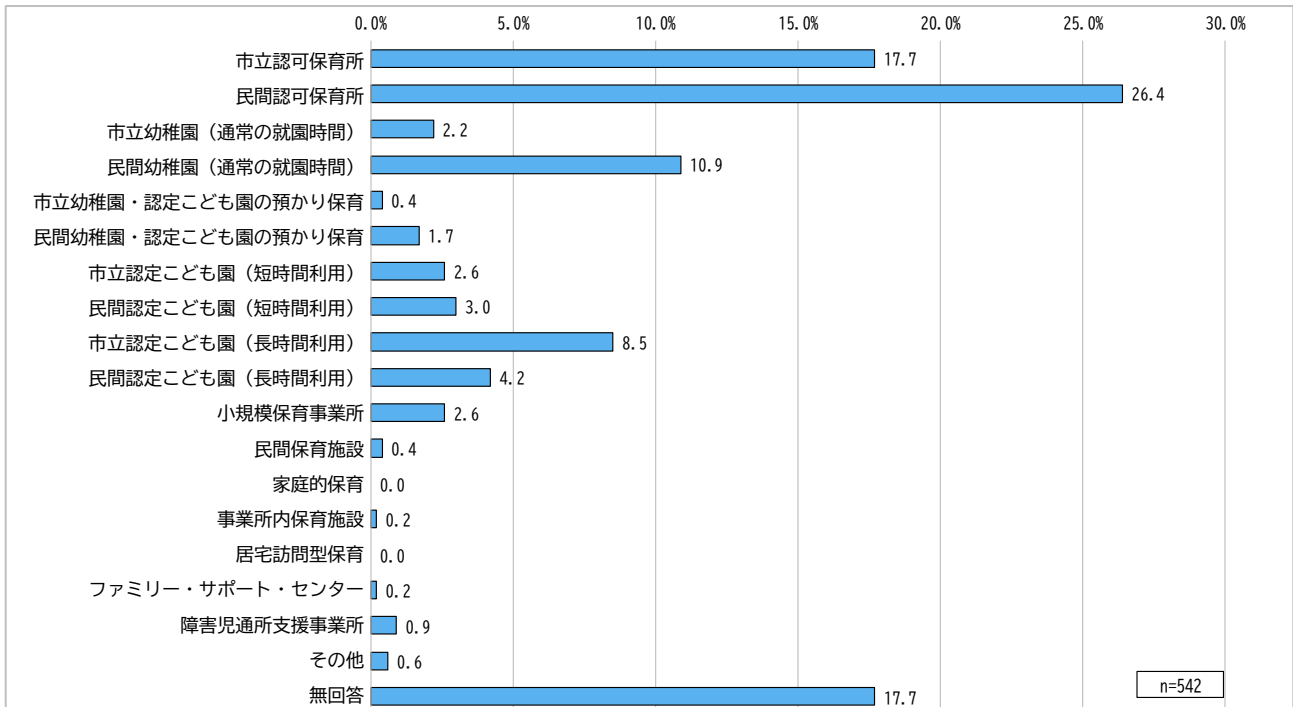


(3) 主に利用している事業

問 11-2 問 11-1 で選んだ平日の定期的な教育・保育の事業について、主に利用している（利用が最も多い）事業を記入してください。

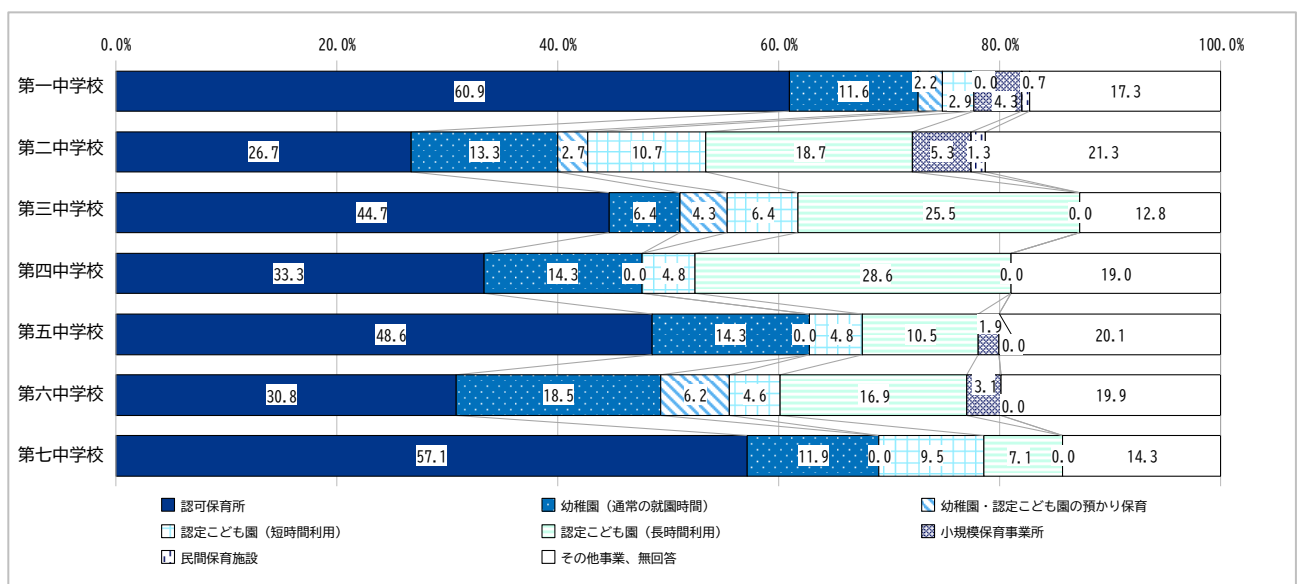
主に利用している事業について、「民間認可保育所」が 26.4%で最も多く、次いで「市立認可保育所」が 17.7%となっています。

図 8-8 主に利用している事業



居住中学校別でみると、全ての中学校区で「認可保育所」が最も多くなっています。次いで、「第一中学校」「第五中学校」「第六中学校」「第七中学校」では「幼稚園（通常の就園時間）」、「第二中学校」「第三中学校」「第四中学校」では「認定こども園（長時間利用）」が多くなっています。

図 8-9 主に利用している事業（居住中学校別）



(4) 事業の利用状況

問 11-3 問 11-2 で選んだ主に利用している（利用が最も多い）事業について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

ア. 市立認可保育所

市立認可保育所の利用状況は以下の通りとなっています。1 週当たりの利用日数について、現在では「5 日」が最も多く、希望についても「5 日」が最も多くなっています。

1 日当たりの利用時間について、現在では「8 時間」、「8 時開始」、「17 時終了」が最も多く、希望については「8 時間」「9 時間」、「8 時開始」、「17 時終了」が最も多くなっています。

図 8-10-ア 1 週当たりの利用日数（現在）

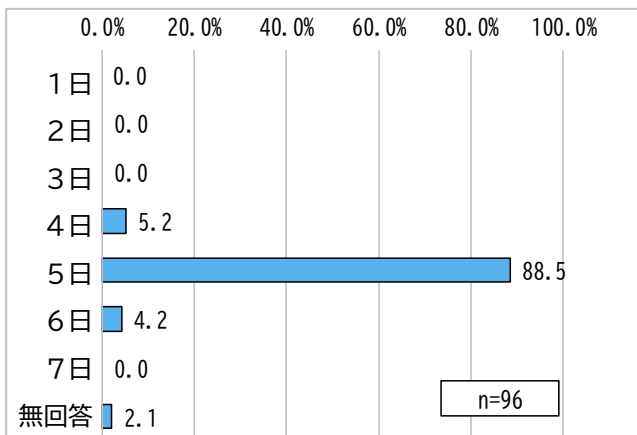


図 8-11-ア 1 週当たりの利用日数（希望）

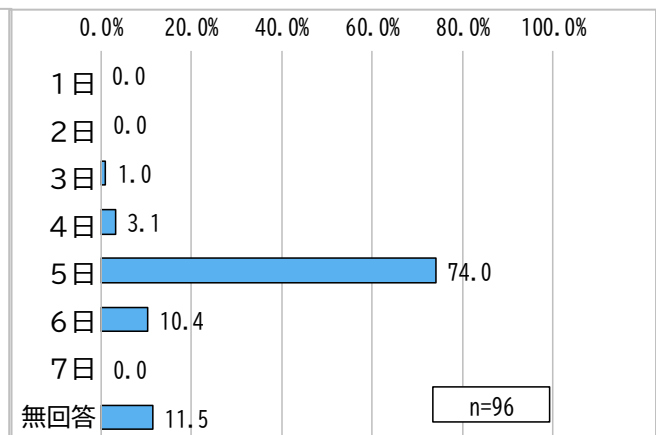


図 8-12-ア 1 日当たりの利用時間（現在）

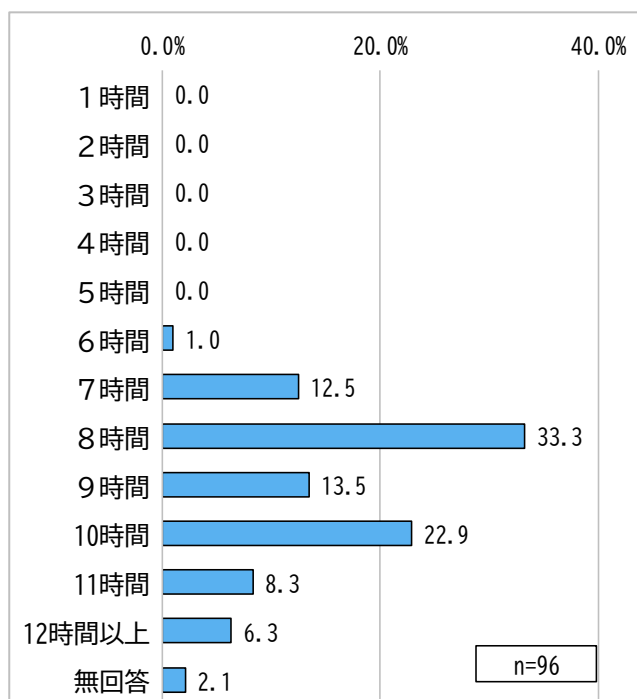


図 8-13-ア 1 日当たりの利用時間（希望）

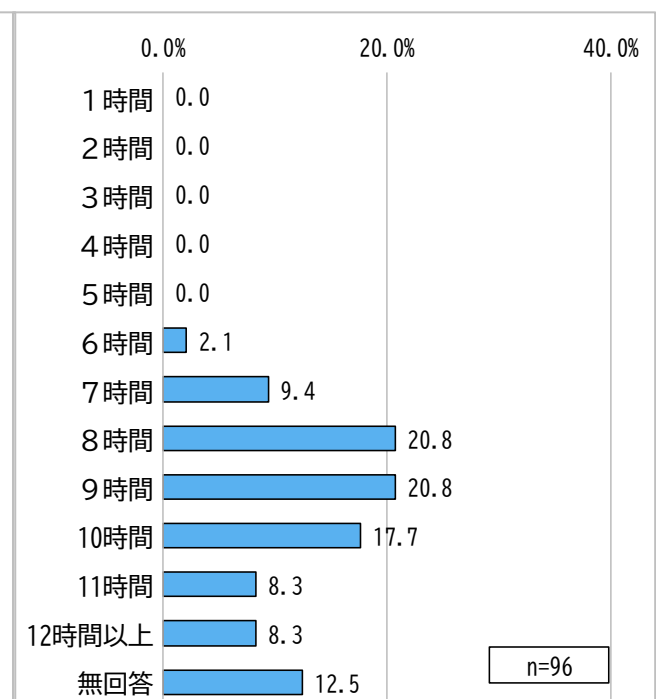


図8-14-ア 開始時間（現在）

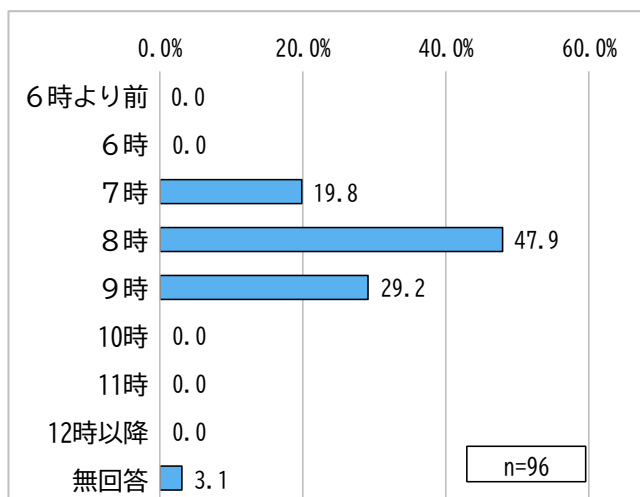


図8-15-ア 開始時間（希望）

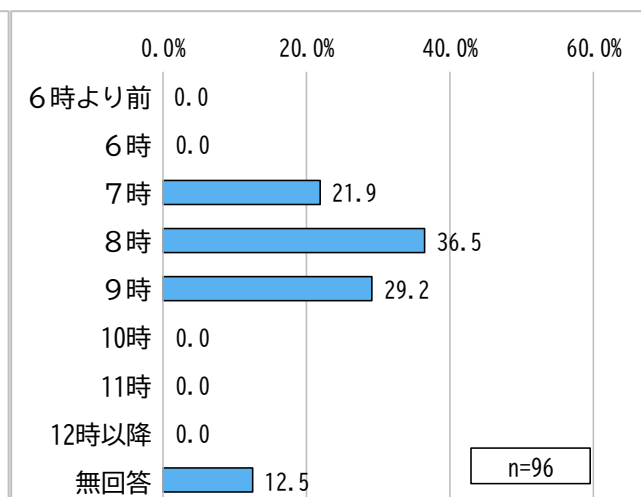


図8-16-ア 終了時間（現在）

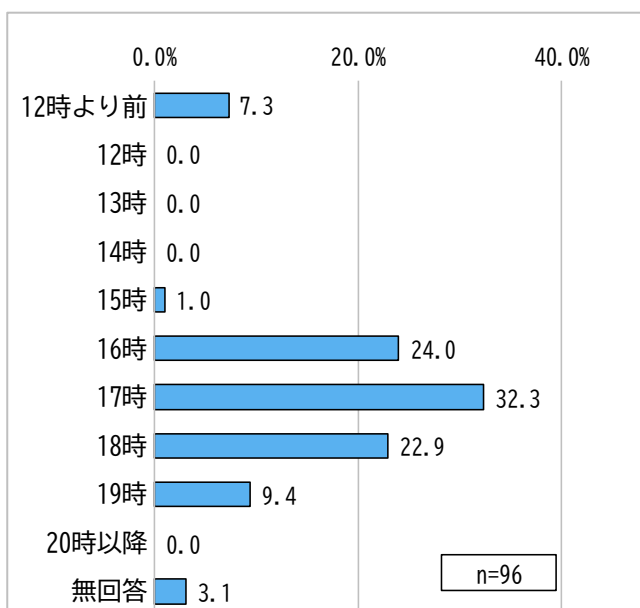
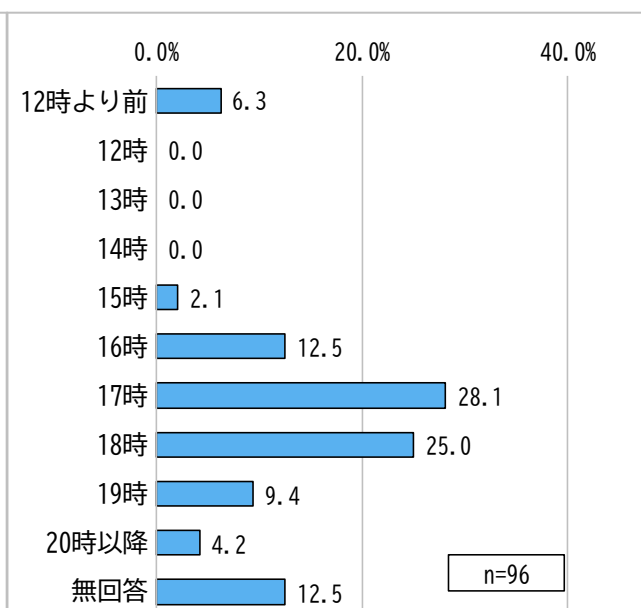


図8-17-ア 終了時間（希望）



イ. 民間認可保育所

民間認可保育所の利用状況は以下の通りとなっています。1週当たりの利用日数について、現在では「5日」が最も多く、希望についても「5日」が最も多くなっています。

1日当たりの利用時間について、現在では「10時間」、「8時開始」、「18時終了」が最も多く、希望についても「10時間」、「8時開始」、「18時終了」が最も多くなっています。

図8-10-イ 1週当たりの利用日数（現在）

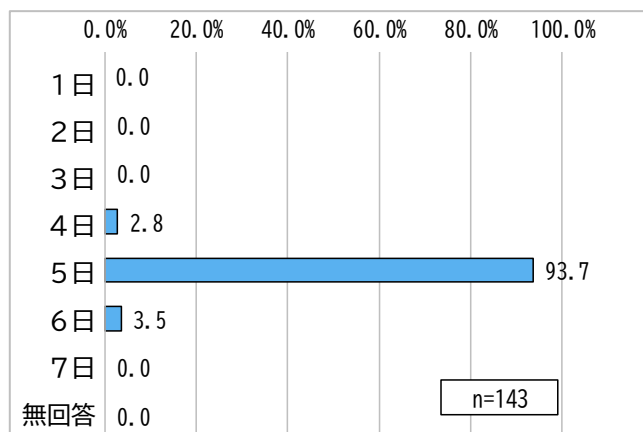


図8-11-イ 1週当たりの利用日数（希望）

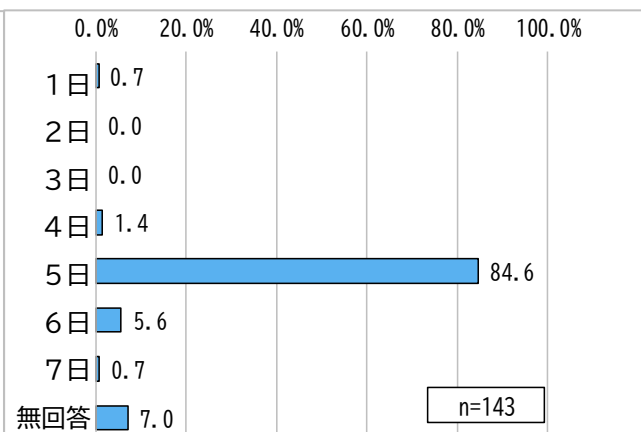


図8-12-イ 1日当たりの利用時間（現在）

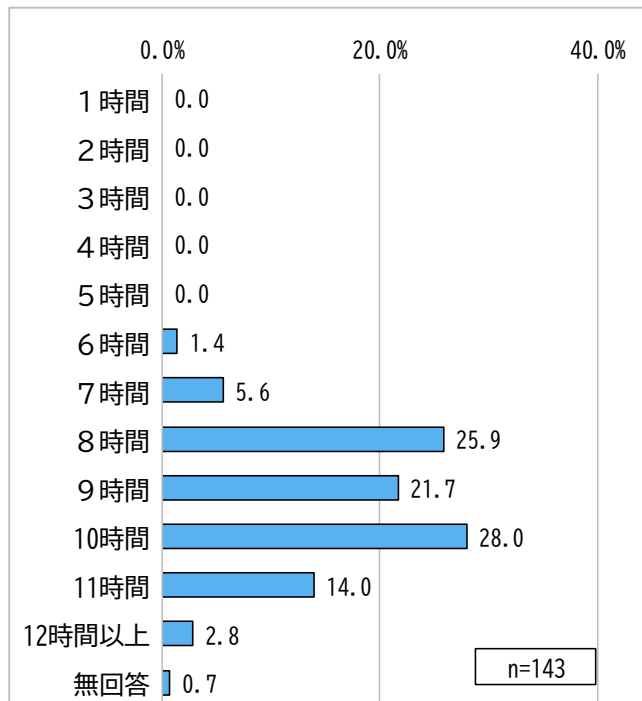


図8-13-イ 1日当たりの利用時間（希望）

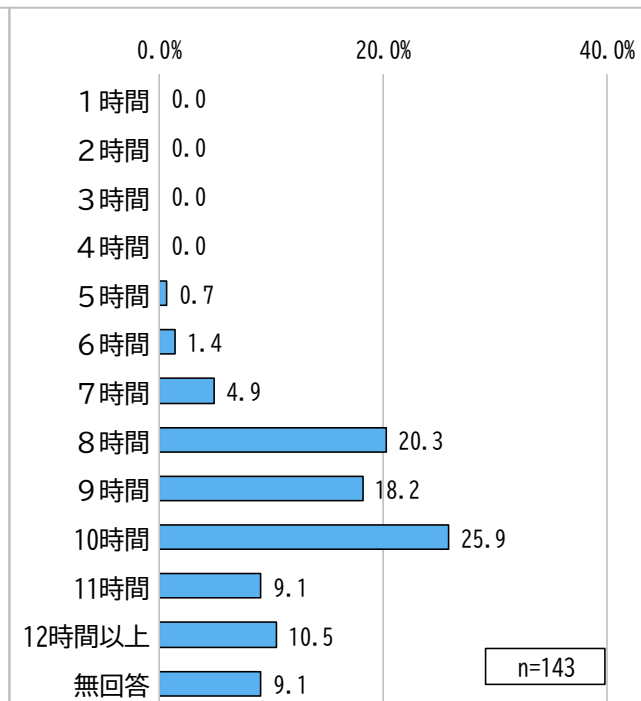


図8-14-イ 開始時間（現在）

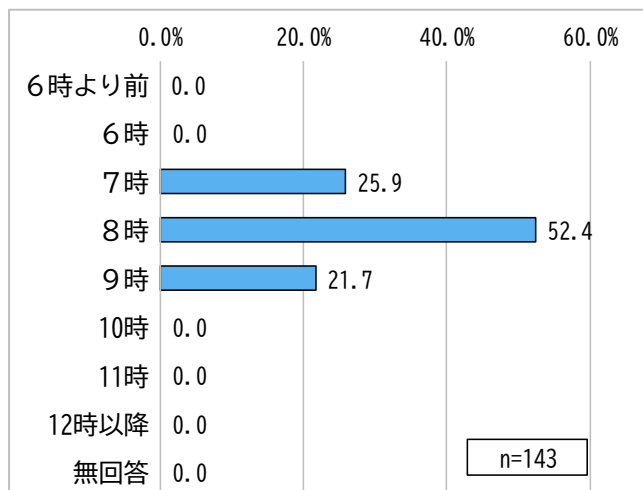


図8-15-イ 開始時間（希望）

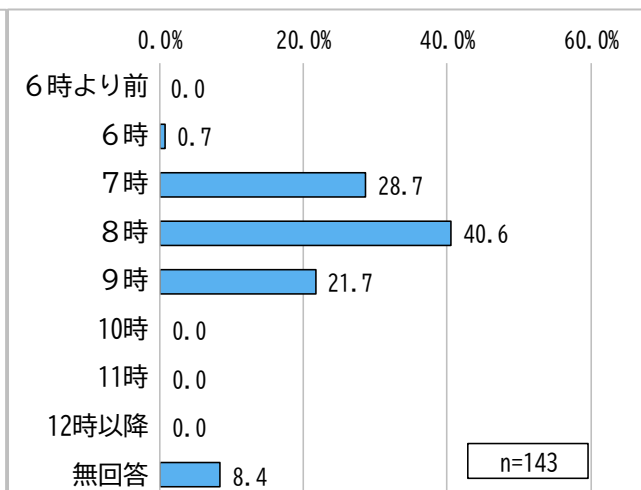


図8-16-イ 終了時間（現在）

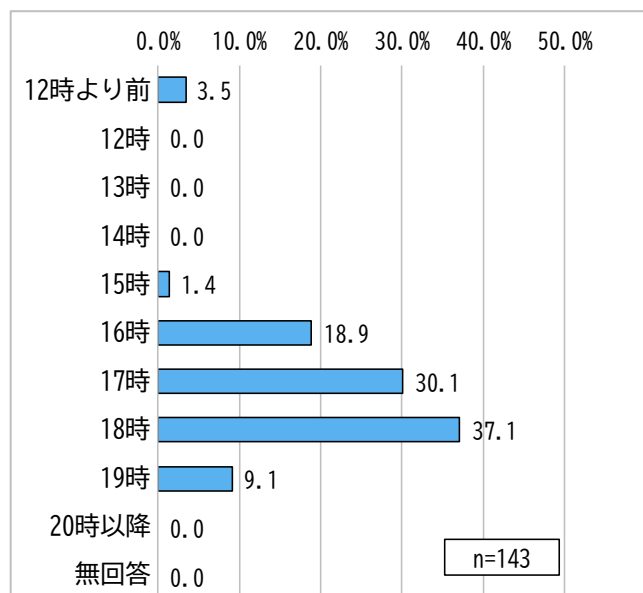
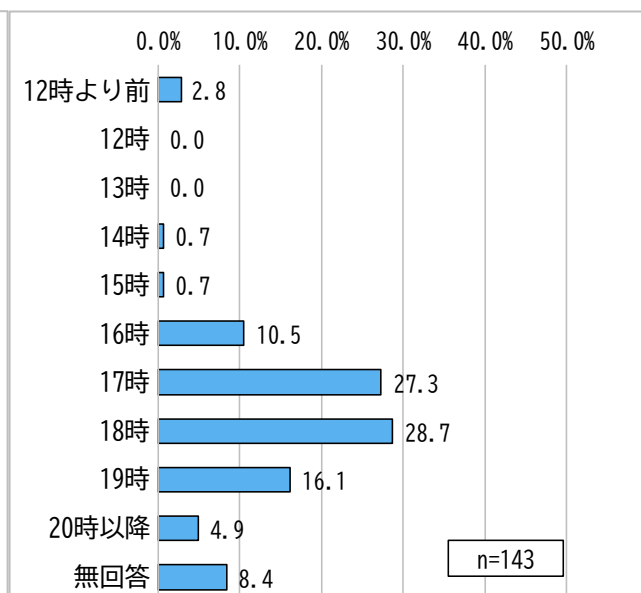


図8-17-イ 終了時間（希望）



ウ. 市立幼稚園（通常の就園時間）

市立幼稚園（通常の就園時間）の利用状況は以下の通りとなっています。1週当たりの利用日数について、現在では「5日」が最も多く、希望についても「5日」が最も多くなっています。

1日当たりの利用時間について、現在では「5時間」、「9時開始」、「14時終了」が最も多く、希望については「7時間」「8時間」、「9時開始」、「15時終了」「16時終了」が最も多くなっています。

図8-10-ウ 1週当たりの利用日数（現在）

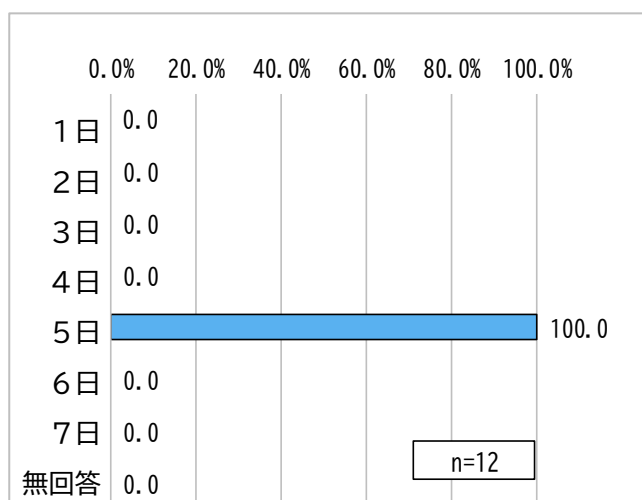


図8-11-ウ 1週当たりの利用日数（希望）

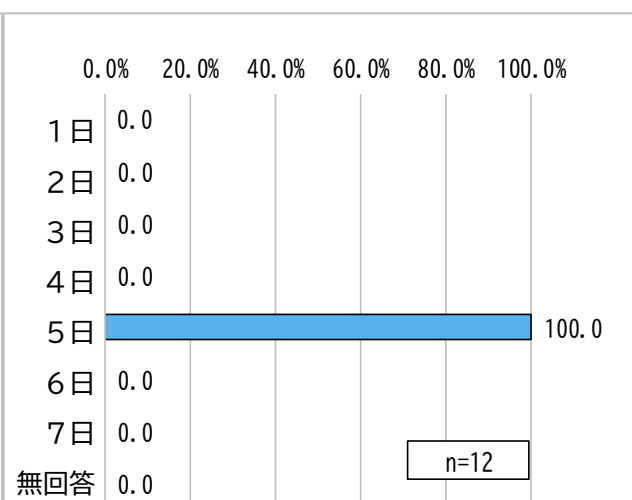


図8-12-ウ 1日当たりの利用時間（現在）

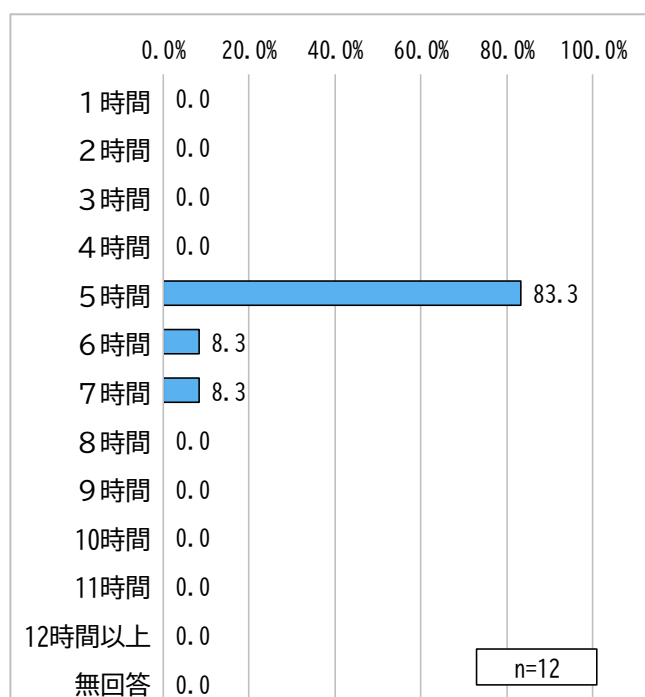


図8-13-ウ 1日当たりの利用時間（希望）

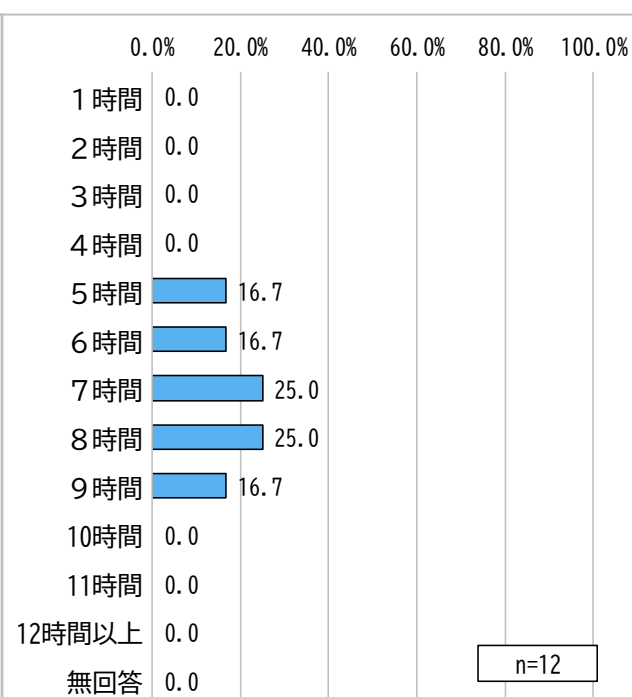


図8-14-ウ 開始時間（現在）

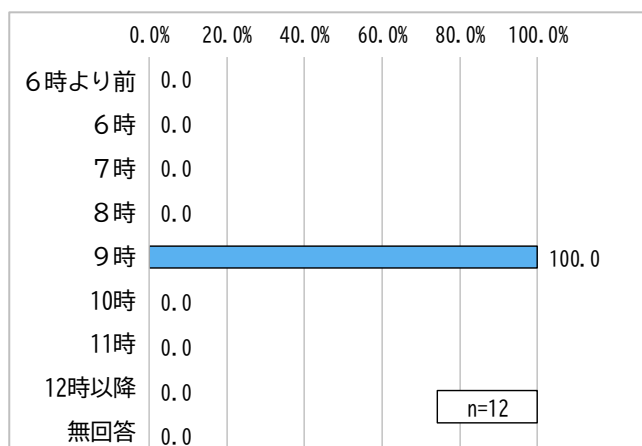


図8-15-ウ 開始時間（希望）

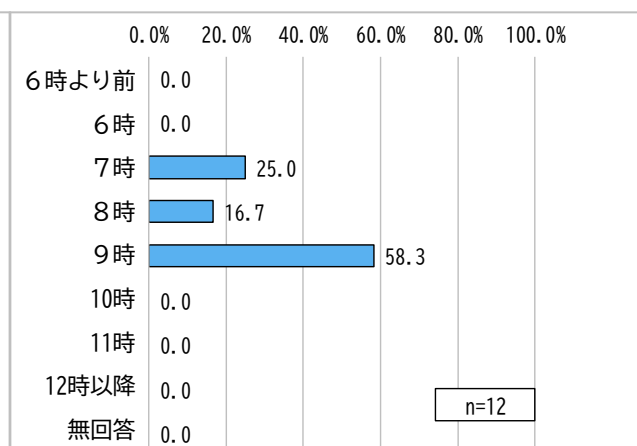


図8-16-ウ 終了時間（現在）

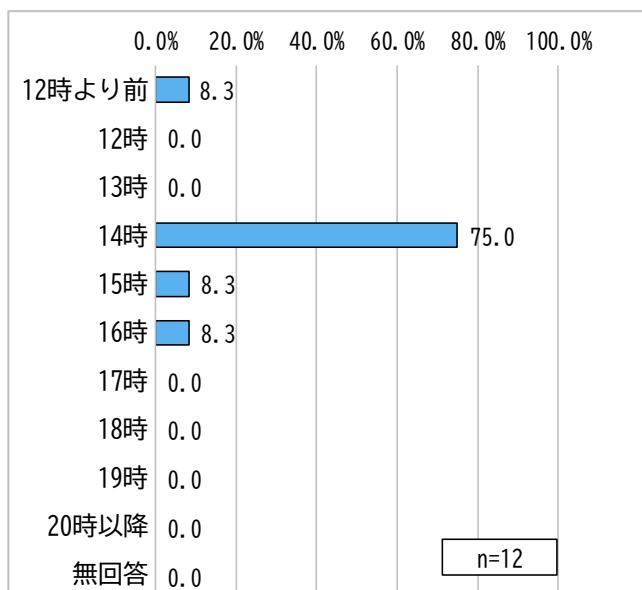
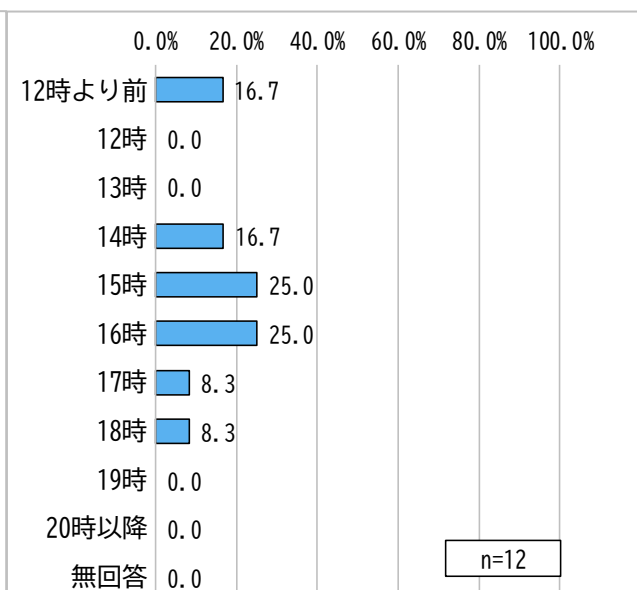


図8-17-ウ 終了時間（希望）



工. 民間幼稚園（通常の就園時間）

民間幼稚園（通常の就園時間）の利用状況は以下の通りとなっています。1週当たりの利用日数について、現在では「5日」が最も多く、希望についても「5日」が最も多くなっています。

1日当たりの利用時間について、現在では「5時間」、「9時開始」、「14時終了」が最も多く、希望については「7時間」、「9時開始」、「15時終了」が最も多くなっています。

図8-10-工 1週当たりの利用日数（現在）

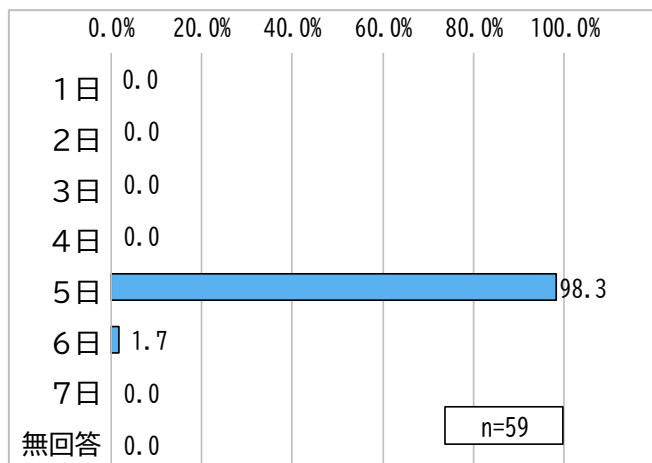


図8-11-工 1週当たりの利用日数（希望）

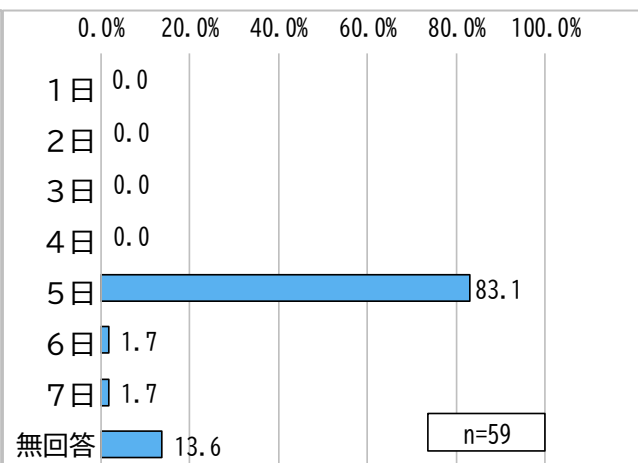


図8-12-工 1日当たりの利用時間（現在）

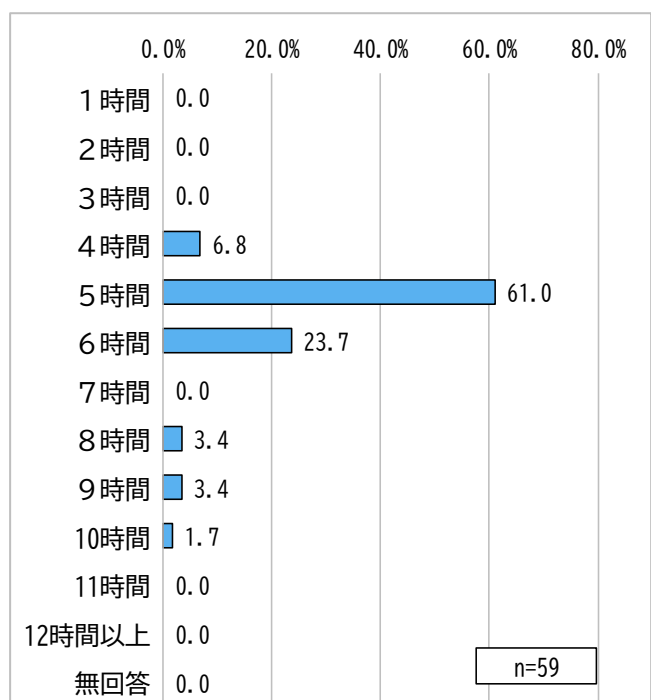


図8-13-工 1日当たりの利用時間（希望）

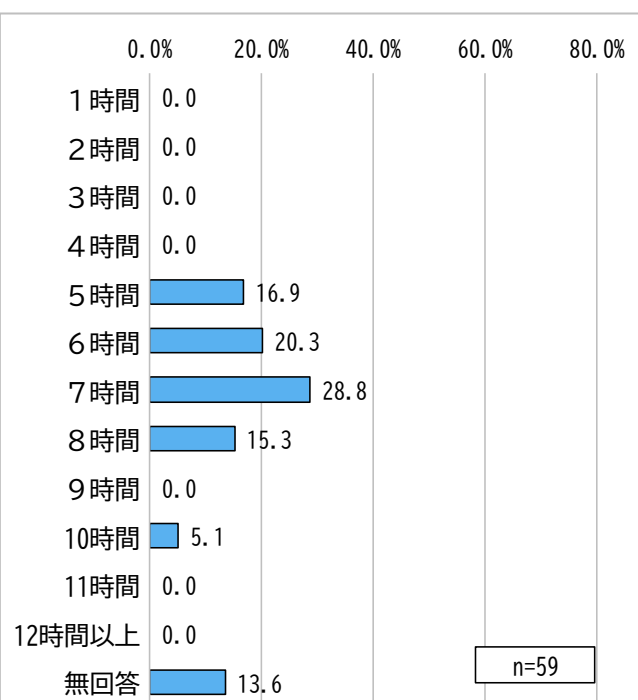


図8-14-工 開始時間（現在）

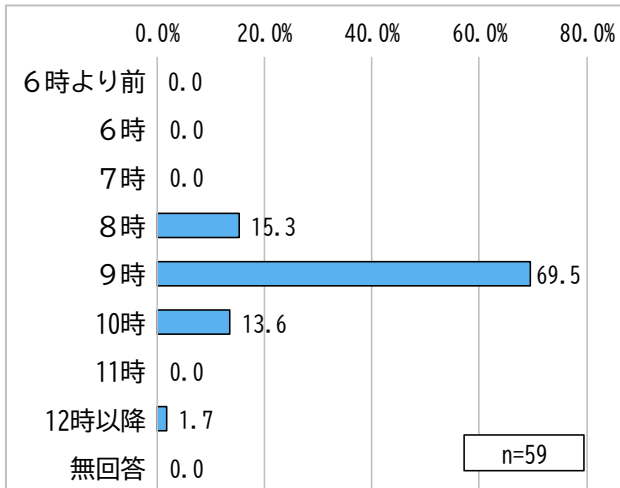


図8-15-工 開始時間（希望）

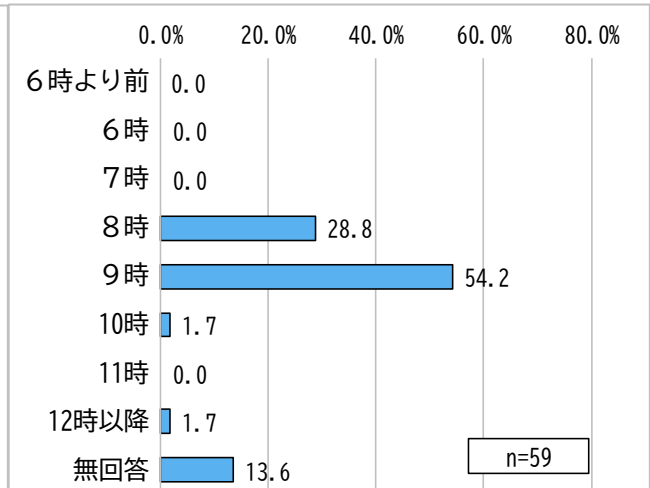


図8-16-工 終了時間（現在）

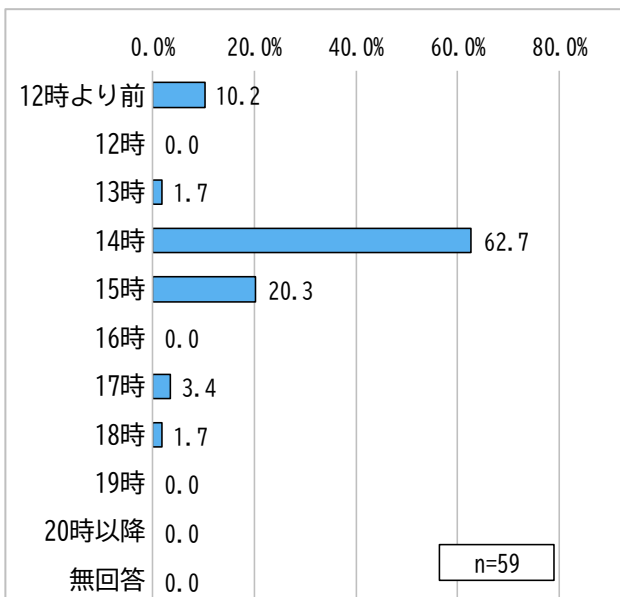
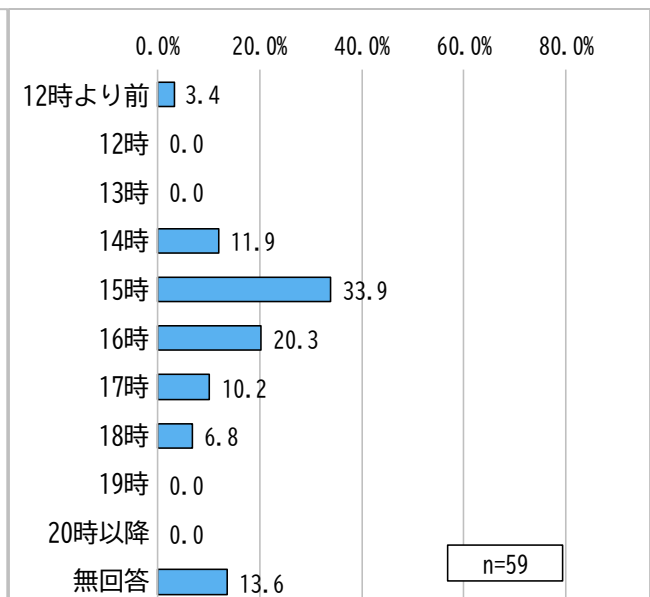


図8-17-工 終了時間（希望）



オ. 幼稚園・認定こども園の預かり保育（市立・民間）

幼稚園・認定こども園の預かり保育（市立・民間）の利用状況は以下の通りとなっています。1週当たりの利用日数について、現在では「5日」が最も多く、希望についても「5日」が最も多くなっています。

1日当たりの利用時間について、現在では「8時間」、「9時開始」、「14時終了」「16時終了」が最も多く、希望については「8時間」、「9時開始」、「16時終了」が最も多くなっています。

図8-10-オ 1週当たりの利用日数（現在）

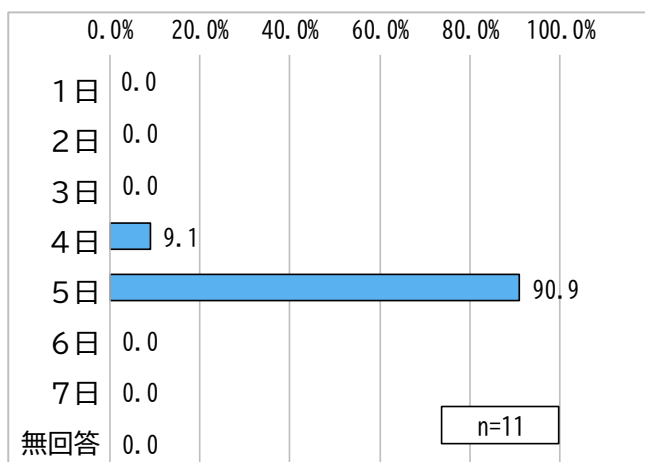


図8-11-オ 1週当たりの利用日数（希望）

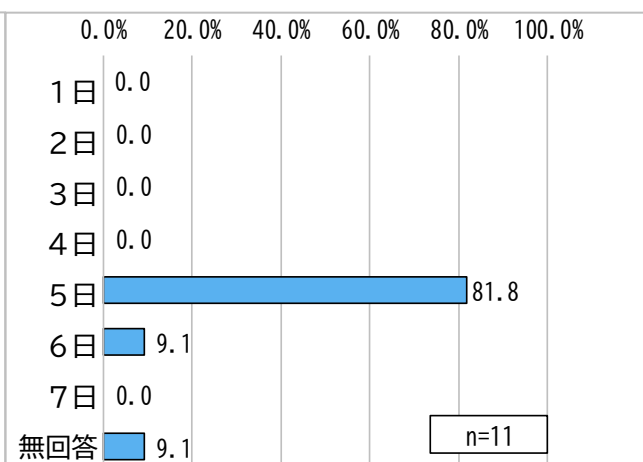


図8-12-オ 1日当たりの利用時間（現在）

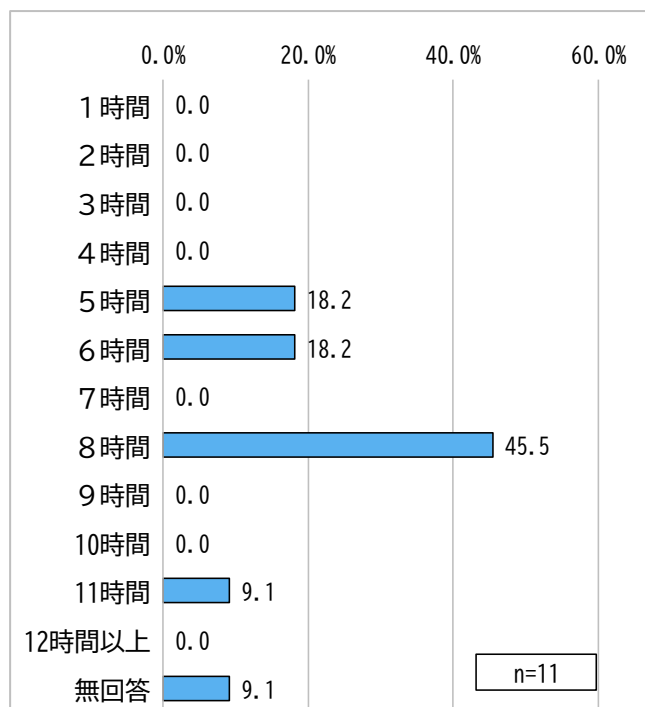


図8-13-オ 1日当たりの利用時間（希望）

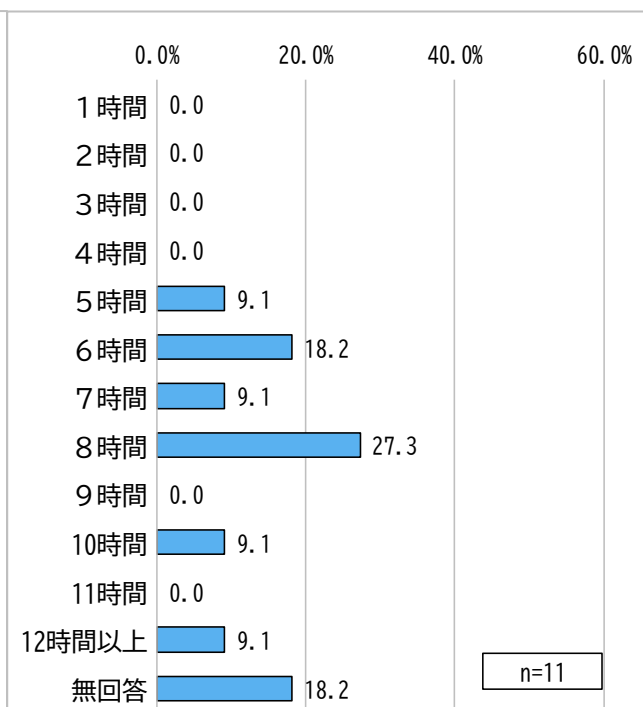


図8-14-才 開始時間（現在）

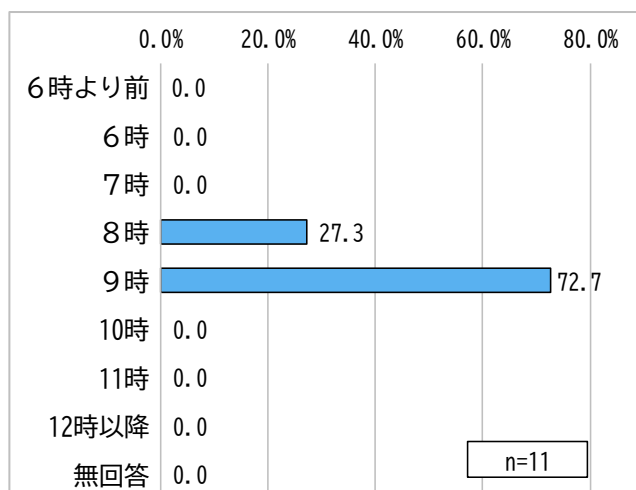


図8-15-才 開始時間（希望）

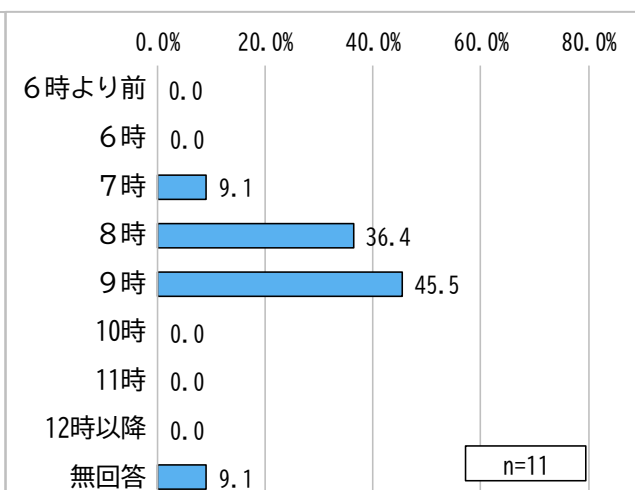


図8-16-才 終了時間（現在）

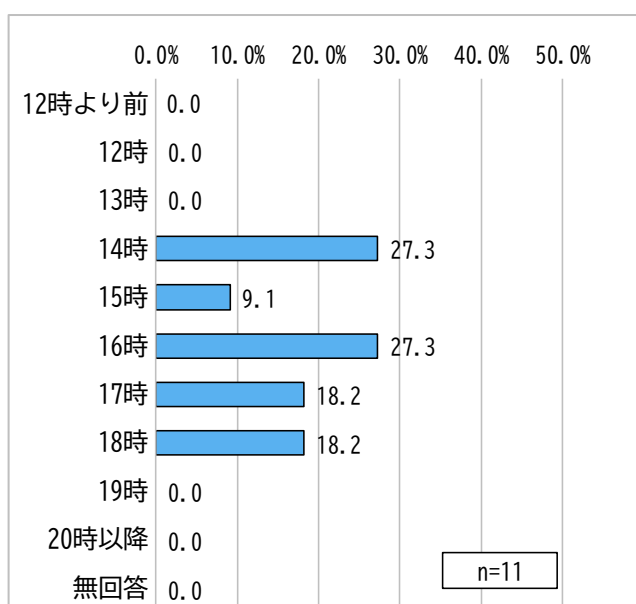
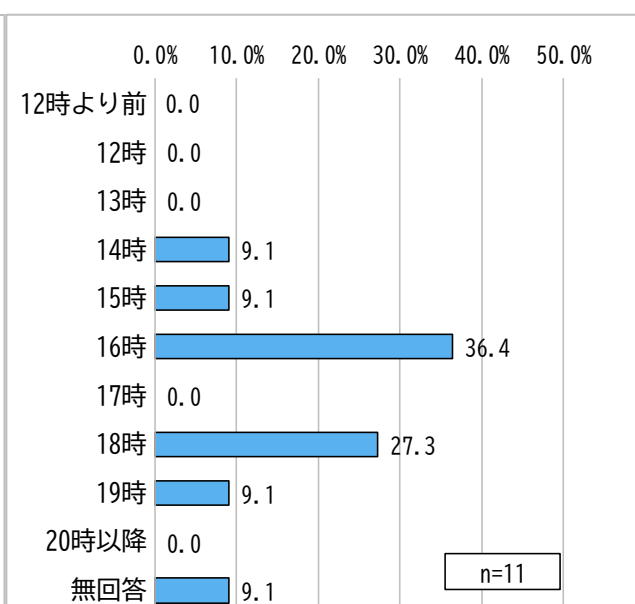


図8-17-才 終了時間（希望）



カ. 認定こども園（短時間利用）（市立・民間）

認定こども園（短時間利用）（市立・民間）の利用状況は以下の通りとなっています。1週当たりの利用日数について、現在では「5日」が最も多く、希望についても「5日」が最も多くなっています。

1日当たりの利用時間について、現在では「5時間」、「9時開始」、「14時終了」が最も多く、希望については「7時間」、「9時開始」、「16時終了」が最も多くなっています。

図8-10-カ 1週当たりの利用日数（現在）

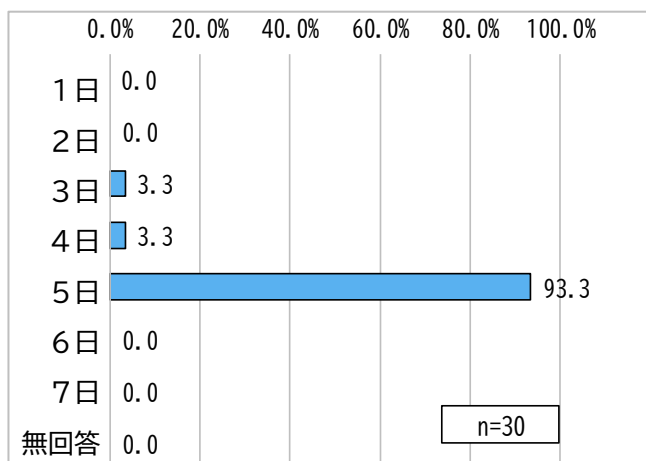


図8-11-カ 1週当たりの利用日数（希望）

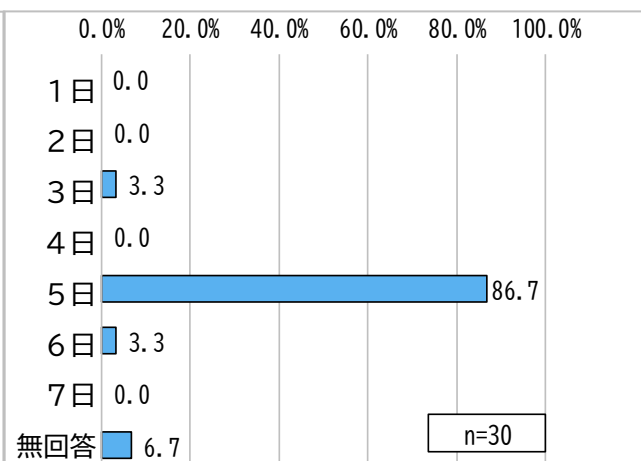


図8-12-カ 1日当たりの利用時間（現在）

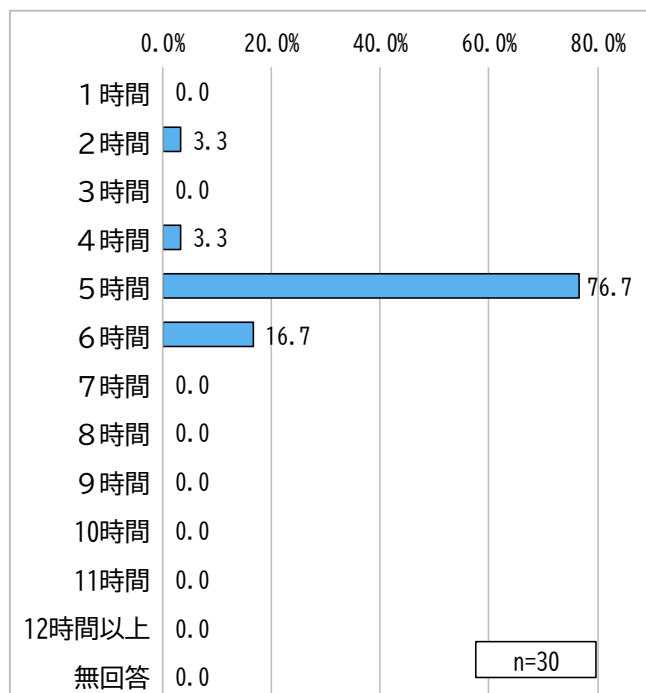


図8-13-カ 1日当たりの利用時間（希望）

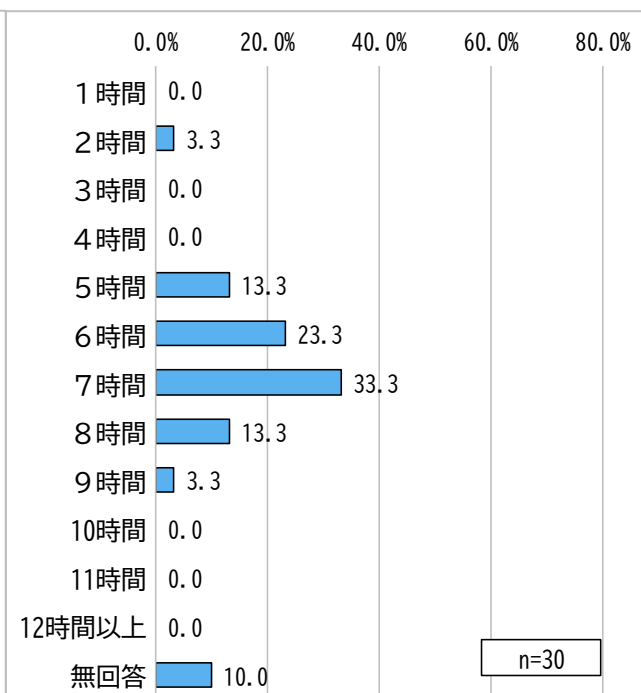


図8-14-力 開始時間（現在）

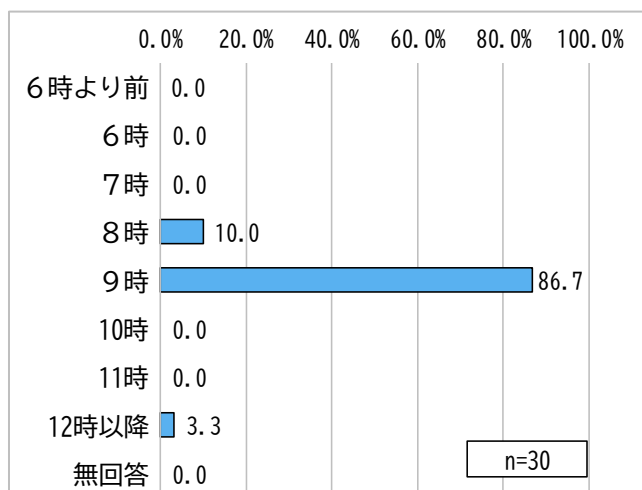


図8-15-力 開始時間（希望）

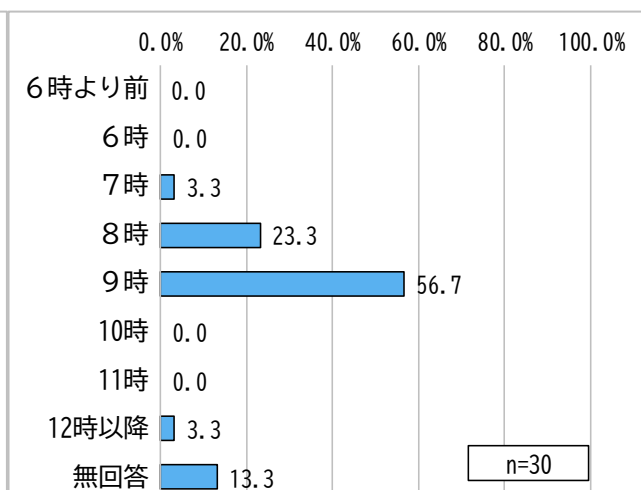


図8-16-力 終了時間（現在）

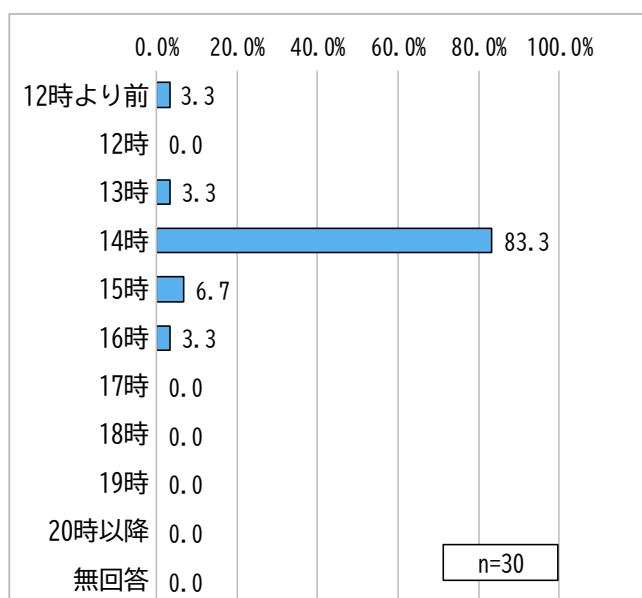
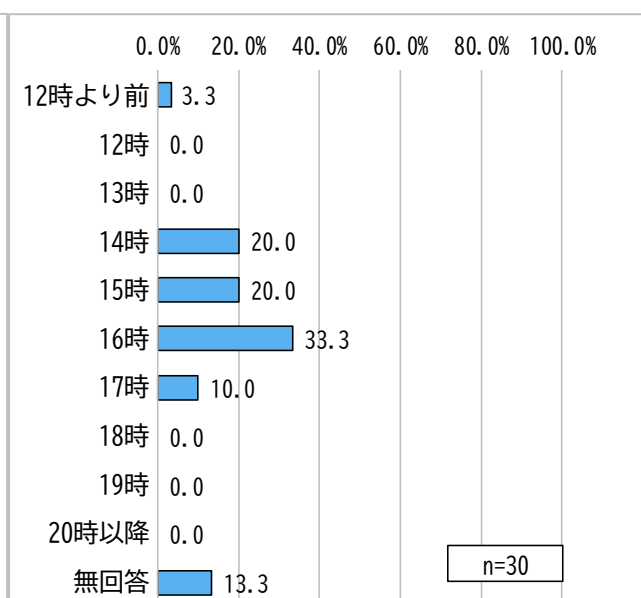


図8-17-力 終了時間（希望）



キ. 認定こども園（長時間利用）（市立・民間）

認定こども園（長時間利用）（市立・民間）の利用状況は以下の通りとなっています。1週当たりの利用日数について、現在では「5日」が最も多く、希望についても「5日」が最も多くなっています。

1日当たりの利用時間について、現在では「10時間」、「9時間開始」、「18時終了」が最も多く、希望については「10時間」、「8時間開始」、「18時終了」が最も多くなっています。

図8-10-キ 1週当たりの利用日数（現在）

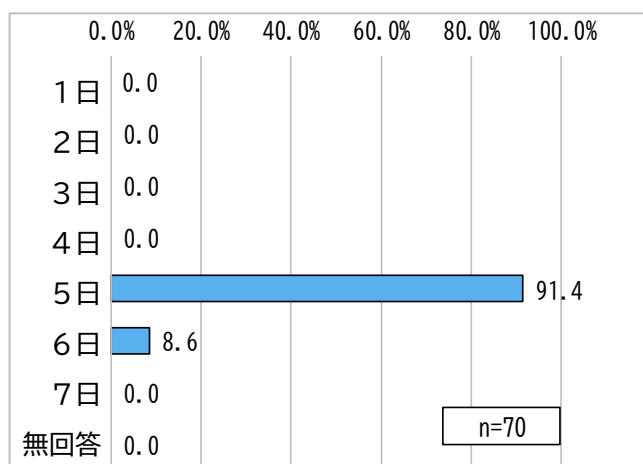


図8-11-キ 1週当たりの利用日数（希望）

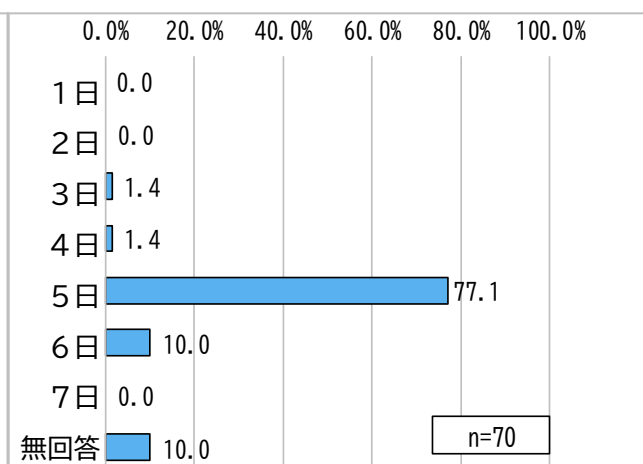


図8-12-キ 1日当たりの利用時間（現在）

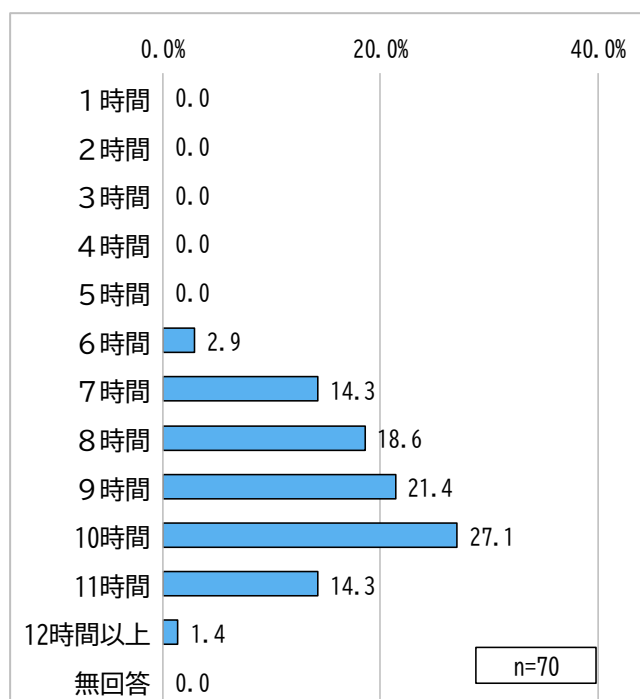


図8-13-キ 1日当たりの利用時間（希望）

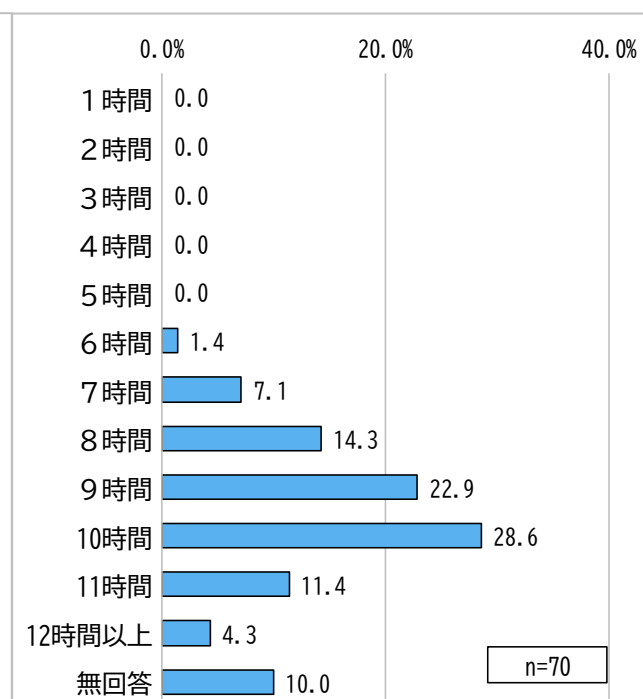


図8-14-キ 開始時間（現在）

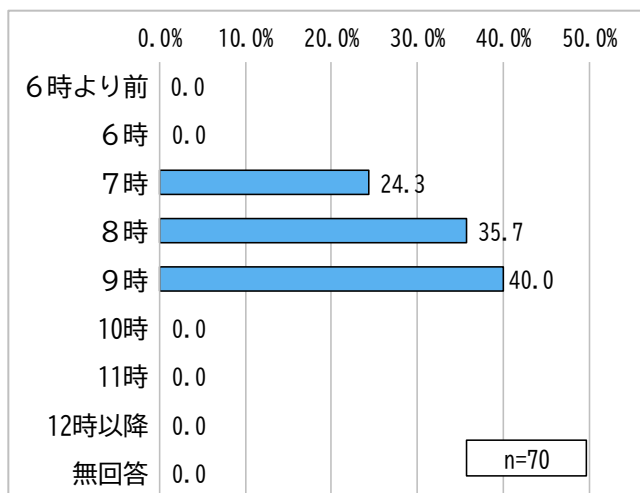


図8-15-キ 開始時間（希望）

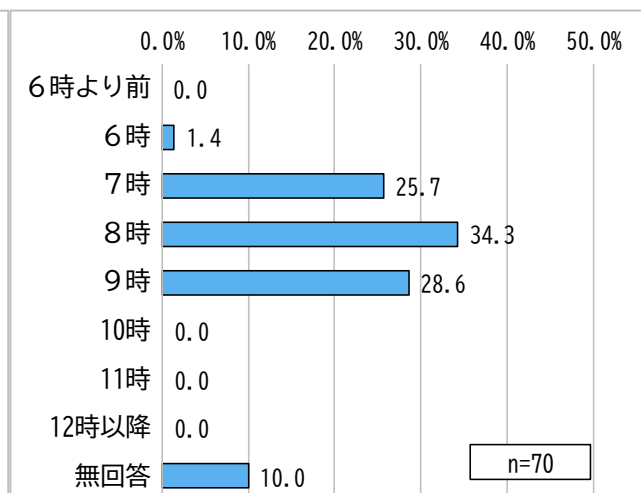


図8-16-キ 終了時間（現在）

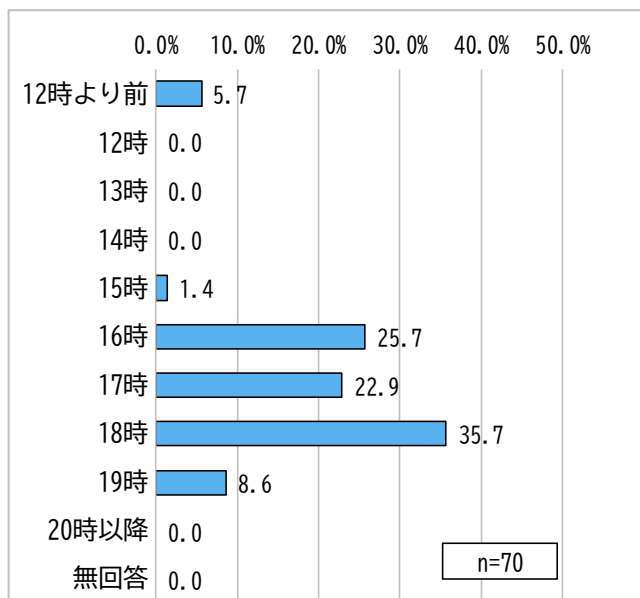
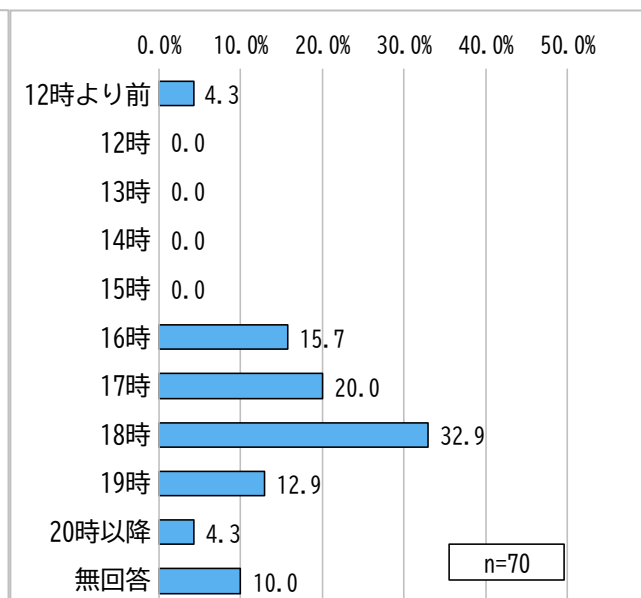


図8-17-キ 終了時間（希望）



ク. 小規模保育事業所

小規模保育事業所の利用状況は以下の通りとなっています。1週当たりの利用日数について、現在では「5日」が最も多く、希望についても「5日」が最も多くなっています。

1日当たりの利用時間について、現在では「9時間」、「8時開始」、「18時終了」が最も多く、希望については「8時間」、「8時開始」、「18時終了」が最も多くなっています。

図8-10-ク 1週当たりの利用日数（現在）

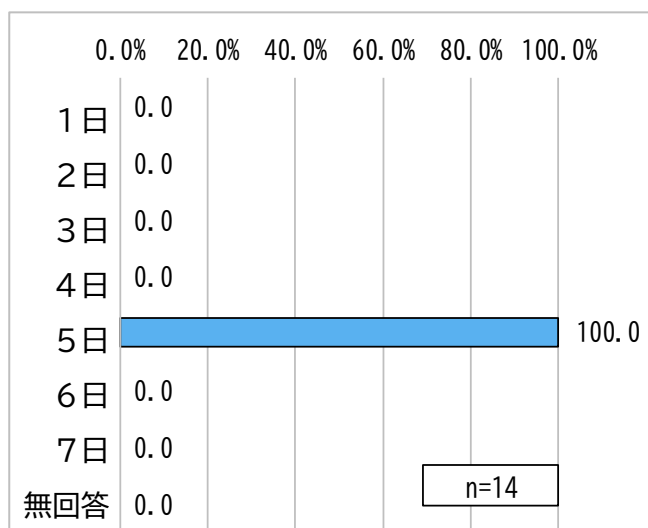


図8-11-ク 1週当たりの利用日数（希望）

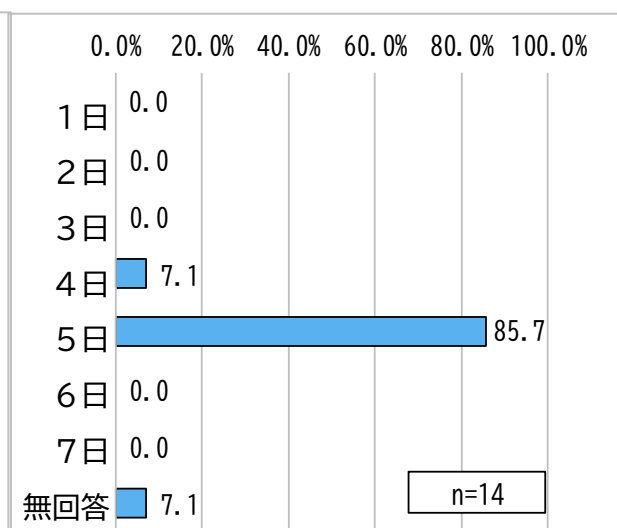


図8-12-ク 1日当たりの利用時間（現在）

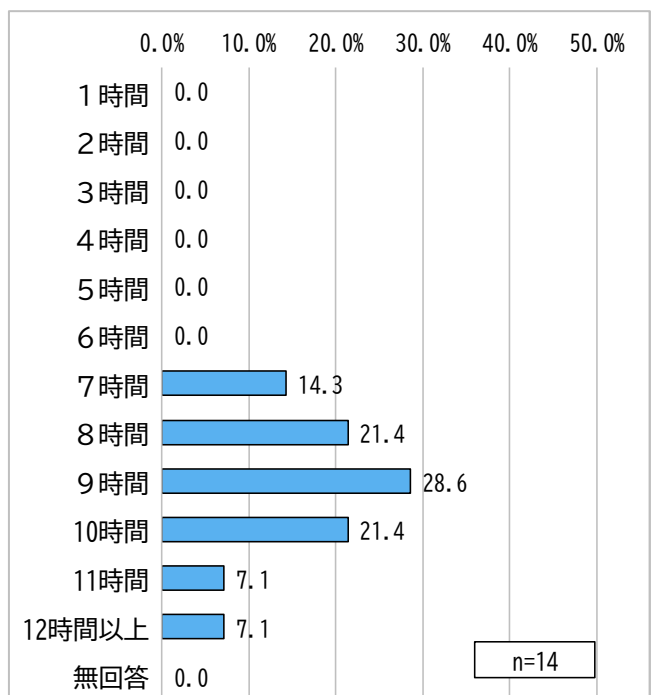


図8-13-ク 1日当たりの利用時間（希望）

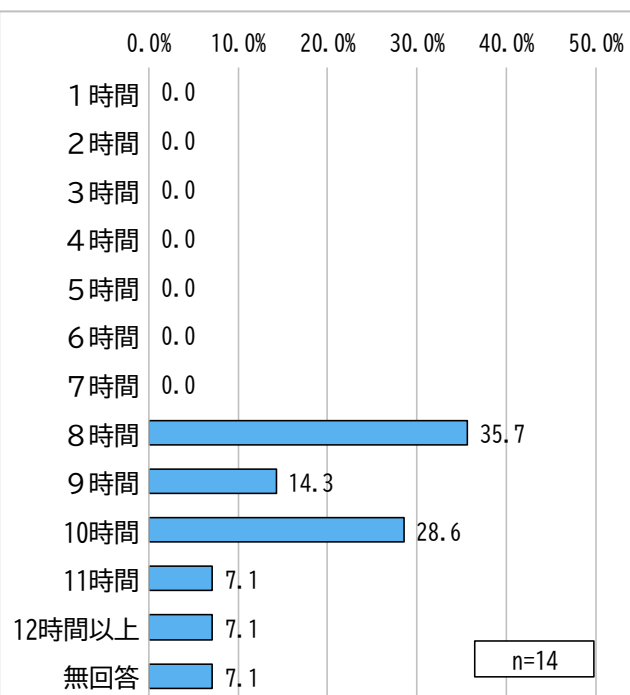


図8-14-ク 開始時間（現在）

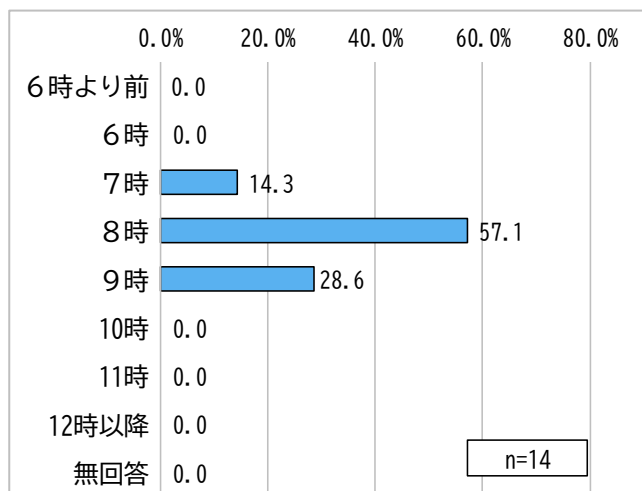


図8-15-ク 開始時間（希望）

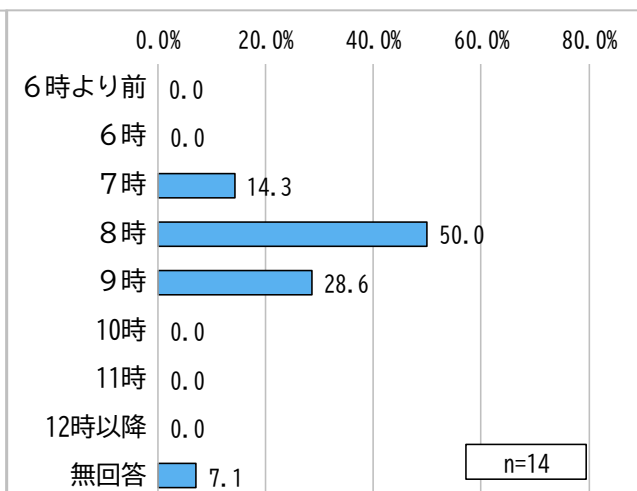


図8-16-ク 終了時間（現在）

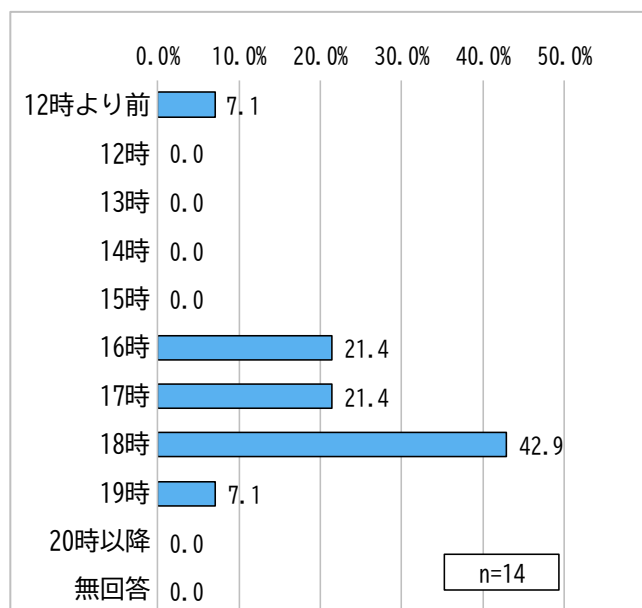
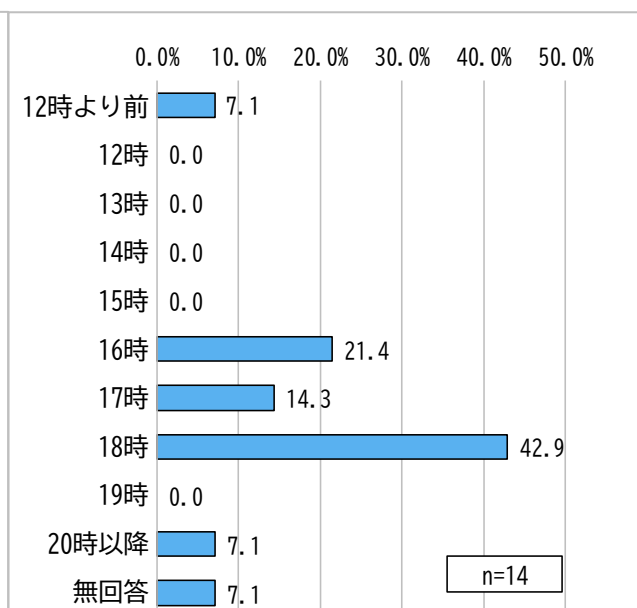


図8-17-ク 終了時間（希望）



ケ. 民間保育施設（認可外の保育施設）

民間保育施設（認可外の保育施設）の利用状況は以下の通りとなっています。1 週当たりの利用日数について、現在では「2 日」「3 日」が最も多く、希望については「4 日」が最も多くなっています。

1 日当たりの利用時間について、現在では「4 時間」「7 時間」、「9 時開始」「10 時開始」、「14 時終了」「17 時終了」が最も多く、希望については「7 時間」、「8 時開始」「10 時開始」、「15 時終了」「17 時終了」が最も多くなっています。

図 8-10-ケ 1 週当たりの利用日数（現在）

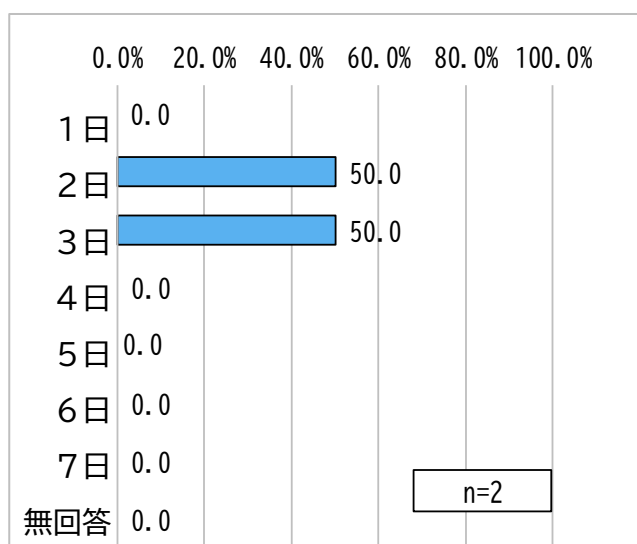


図 8-11-ケ 1 週当たりの利用日数（希望）

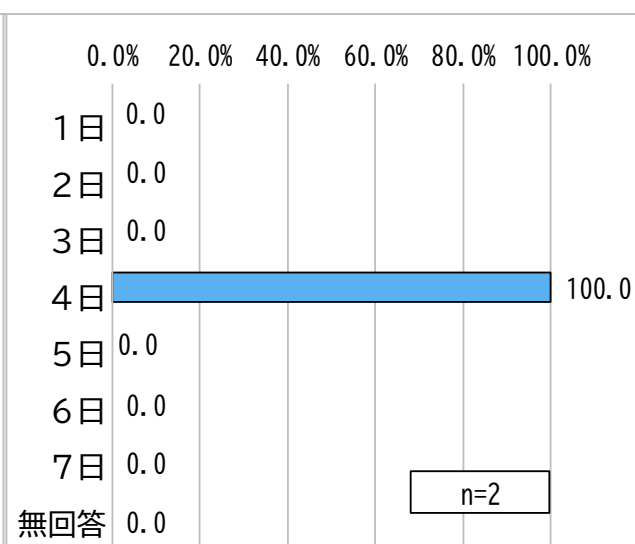


図 8-12-ケ 1 日当たりの利用時間（現在）

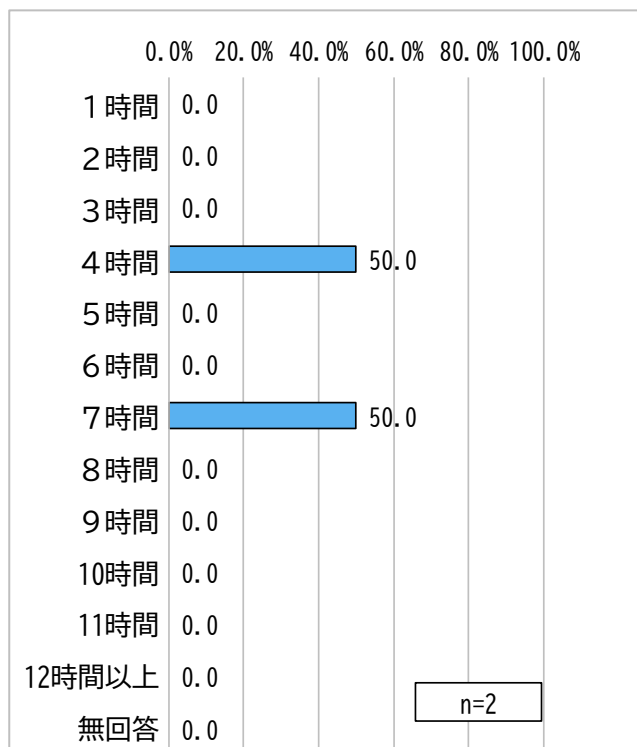


図 8-13-ケ 1 日当たりの利用時間（希望）

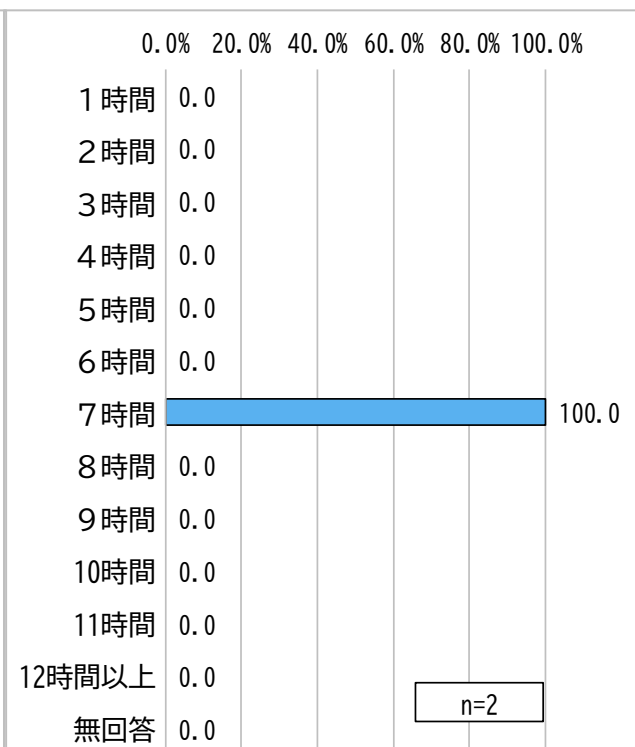


図8-14-ケ 開始時間（現在）

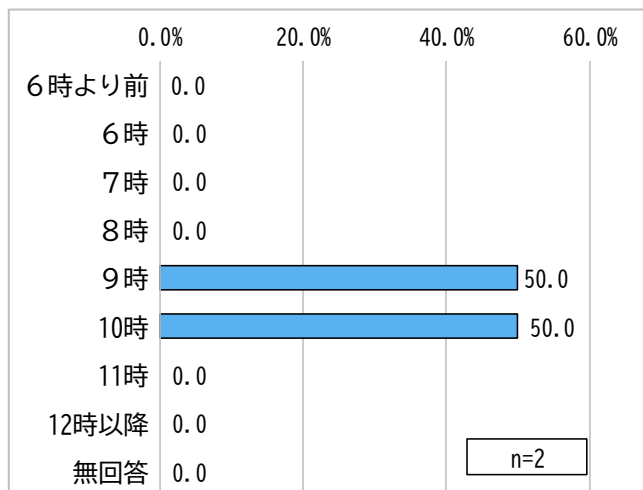


図8-15-ケ 開始時間（希望）

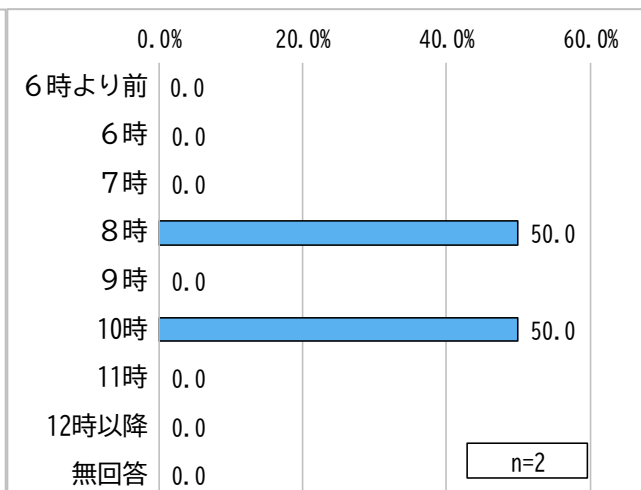


図8-16-ケ 終了時間（現在）

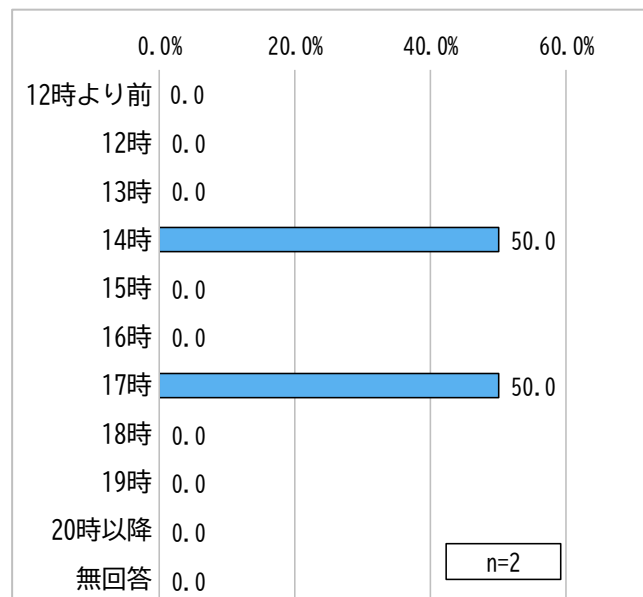
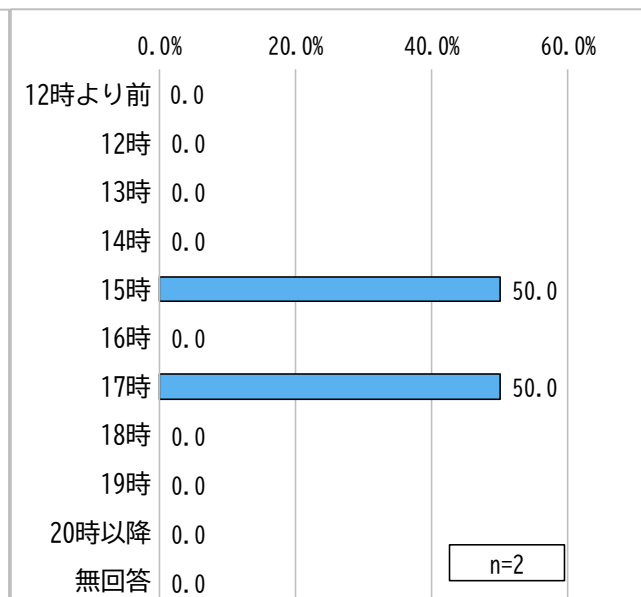


図8-17-ケ 終了時間（希望）



(5) 主に利用している事業の満足度

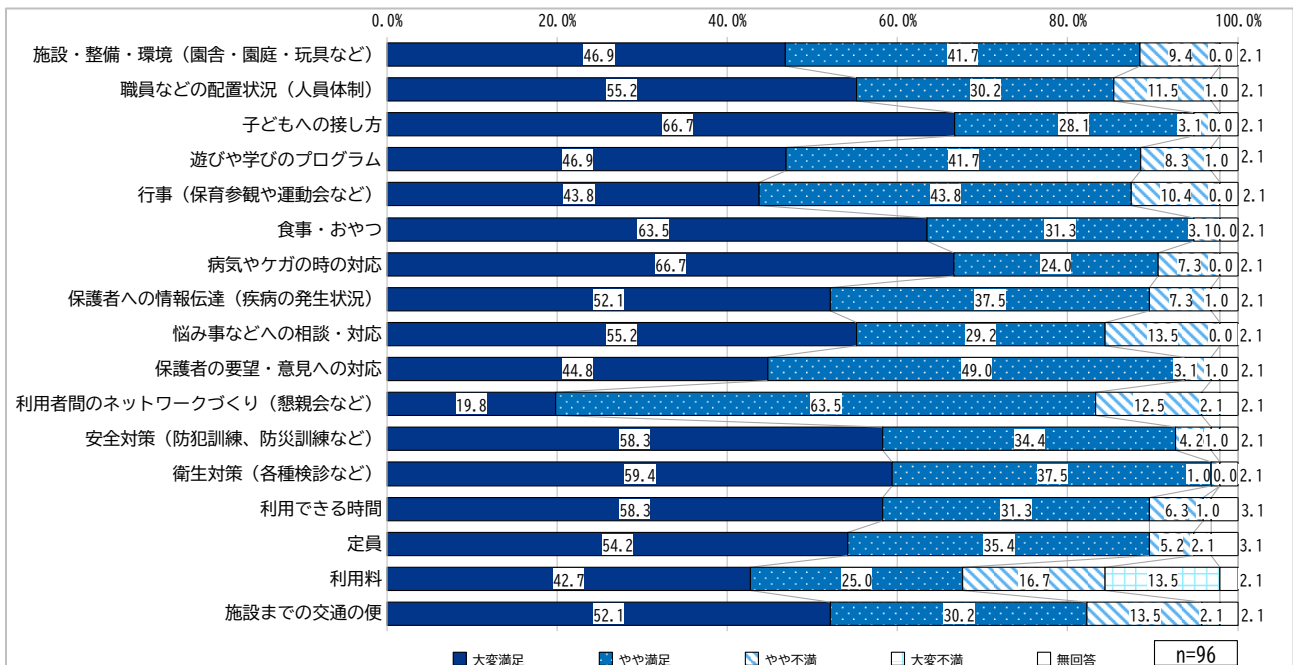
【問 11-2 で選んだ「主に利用している（利用が最も多い）」事業についてうかがいます。】

問 11-4 主に利用している事業に対する満足度はどのくらいですか。

ア. 市立認可保育所

市立認可保育所の満足度の割合（「大変満足」＋「やや満足」）について、「利用料」以外の項目で 8 割以上となっています。

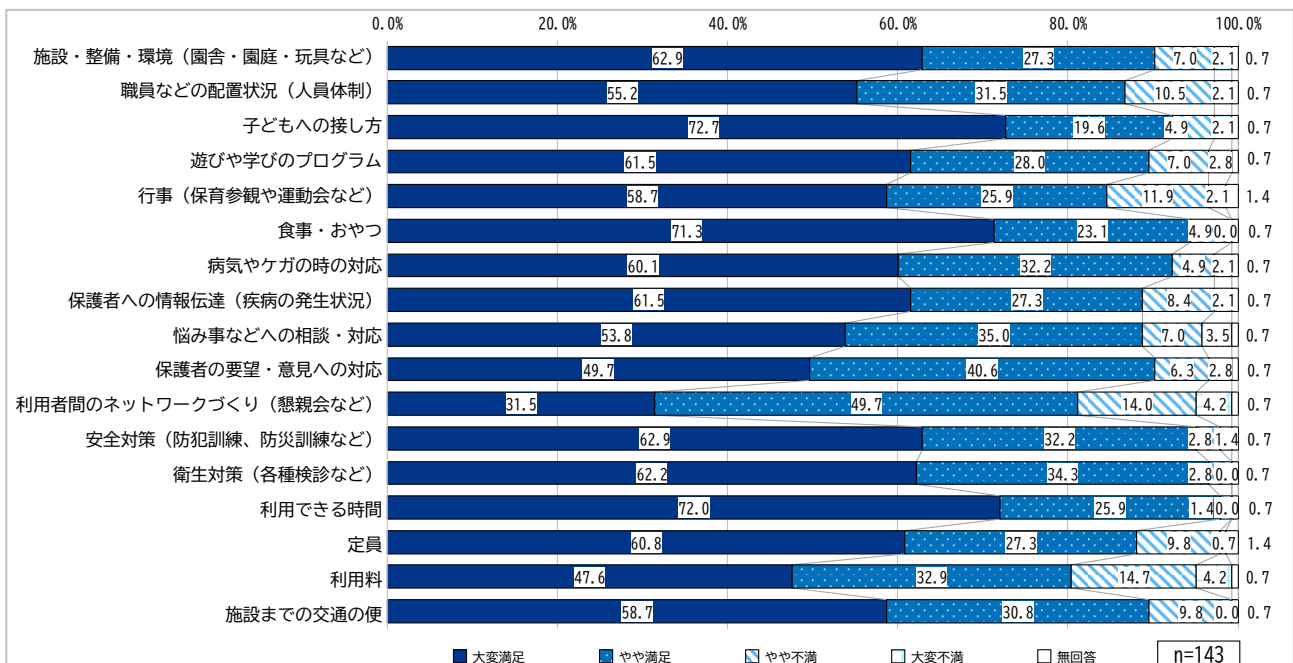
図 8-18-ア 市立認可保育所の満足度



イ. 民間認可保育所

民間認可保育所の満足度の割合（「大変満足」＋「やや満足」）について、全ての項目で 8 割以上となっています。

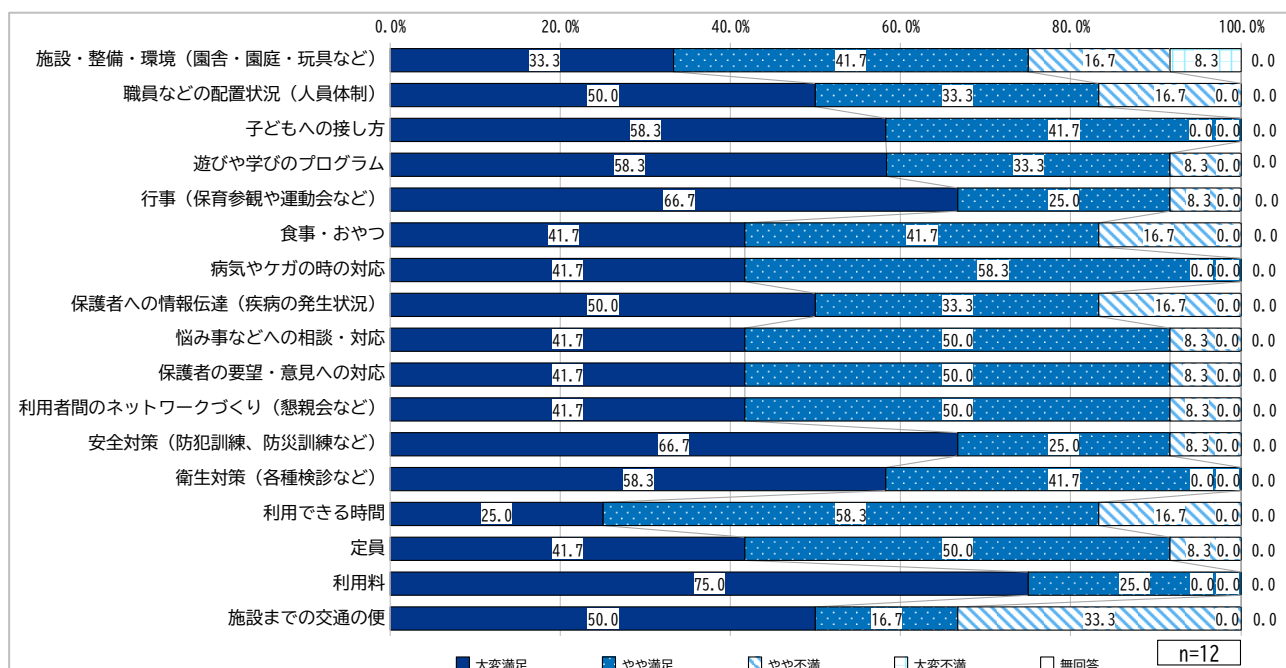
図 8-18-イ 民間認可保育所の満足度



ウ. 市立幼稚園（通常の就園時間）

市立幼稚園（通常の就園時間）の満足度の割合（「大変満足」＋「やや満足」）について、「施設・設備・環境（園舎・園庭・玩具など）」、「施設までの交通の便」以外の項目で8割以上となっています。

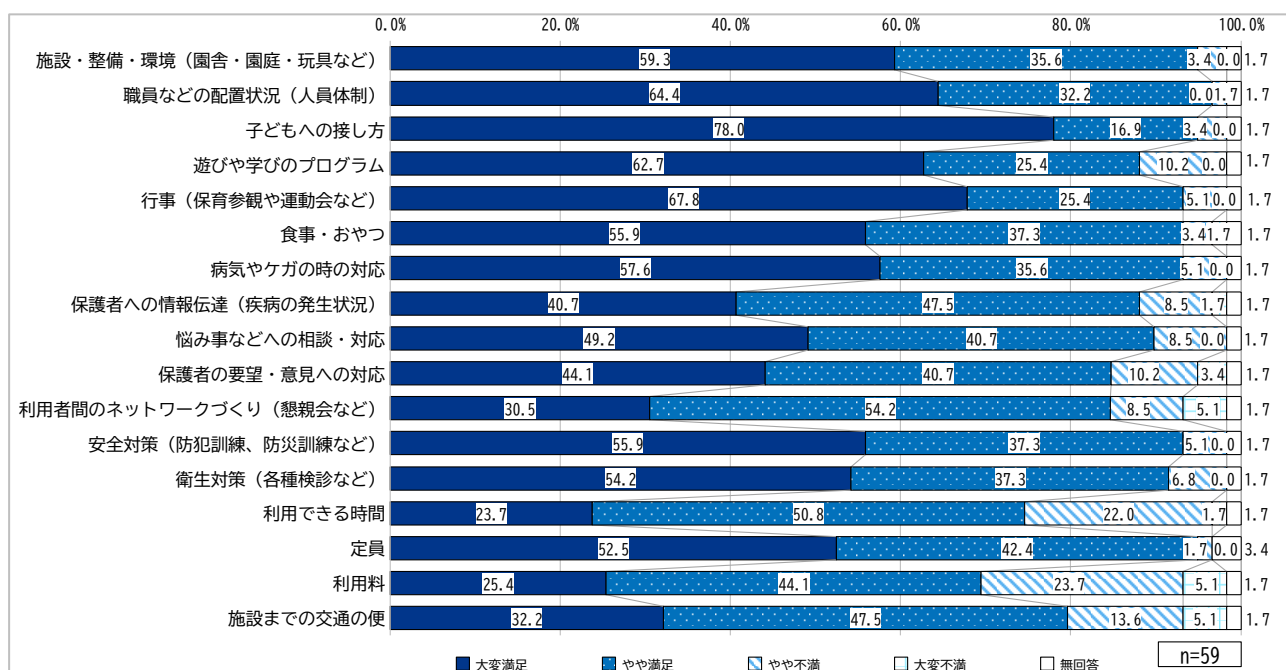
図8-18-ウ 市立幼稚園（通常の就園時間）の満足度



エ. 民間幼稚園（通常の就園時間）

民間幼稚園（通常の就園時間）の満足度の割合（「大変満足」＋「やや満足」）について、「利用できる時間」、「利用料」、「施設までの交通の便」以外の項目で8割以上となっています。

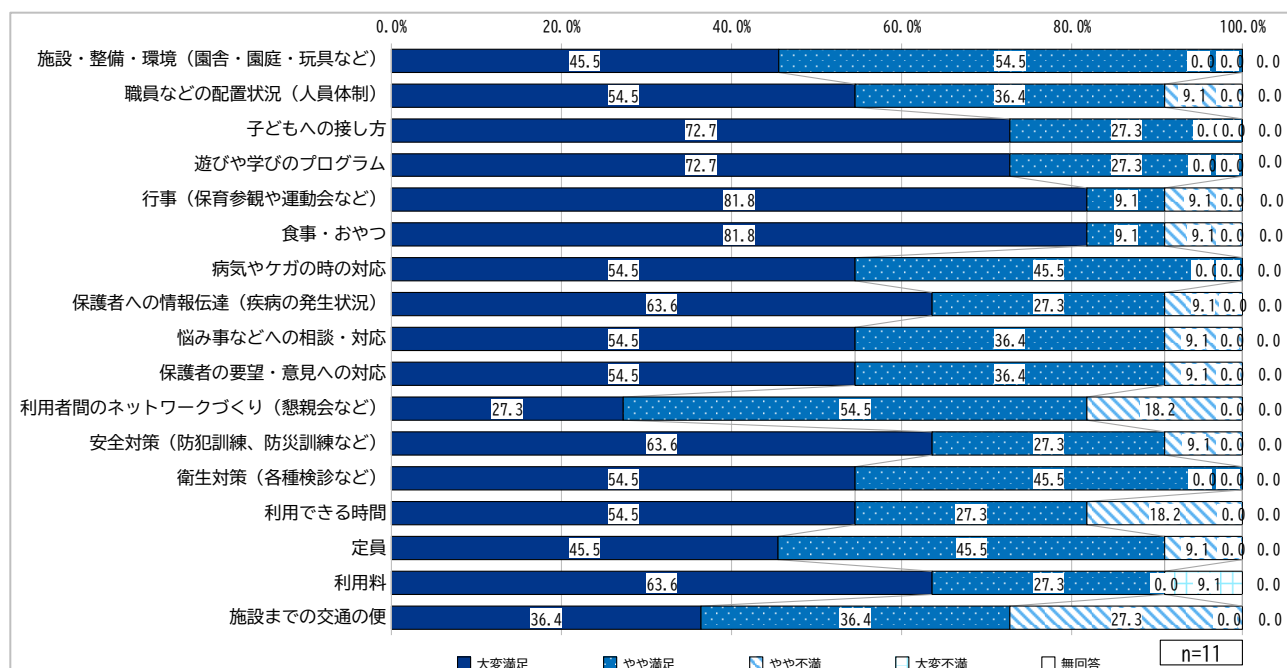
図8-18-エ 民間幼稚園（通常の就園時間）の満足度



オ. 幼稚園・認定こども園の預かり保育（市立・民間）

幼稚園・認定こども園の預かり保育（市立・民間）の満足度の割合（「大変満足」＋「やや満足」）について、「施設までの交通の便」以外の項目で8割以上となっています。

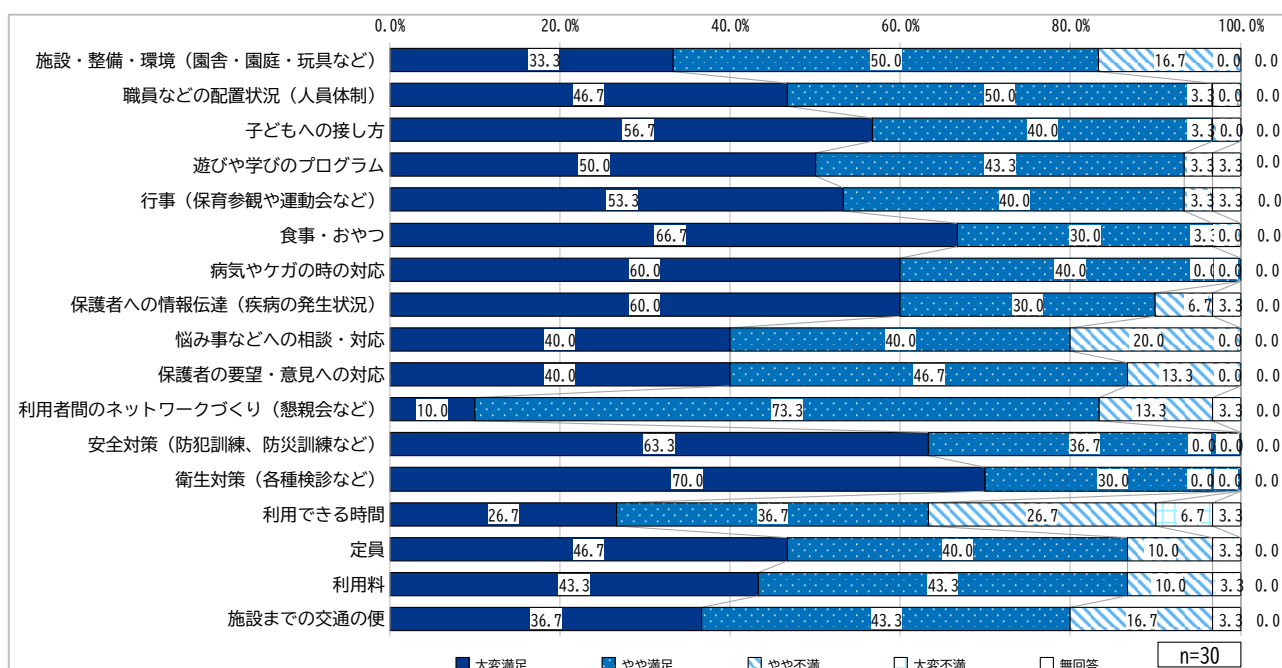
図8-18-オ 幼稚園・認定こども園の預かり保育（市立・民間）の満足度



カ. 認定こども園（短時間利用）（市立・民間）

認定こども園（短時間利用）（市立・民間）の満足度の割合（「大変満足」＋「やや満足」）について、「利用できる時間」、以外の項目で8割以上となっています。

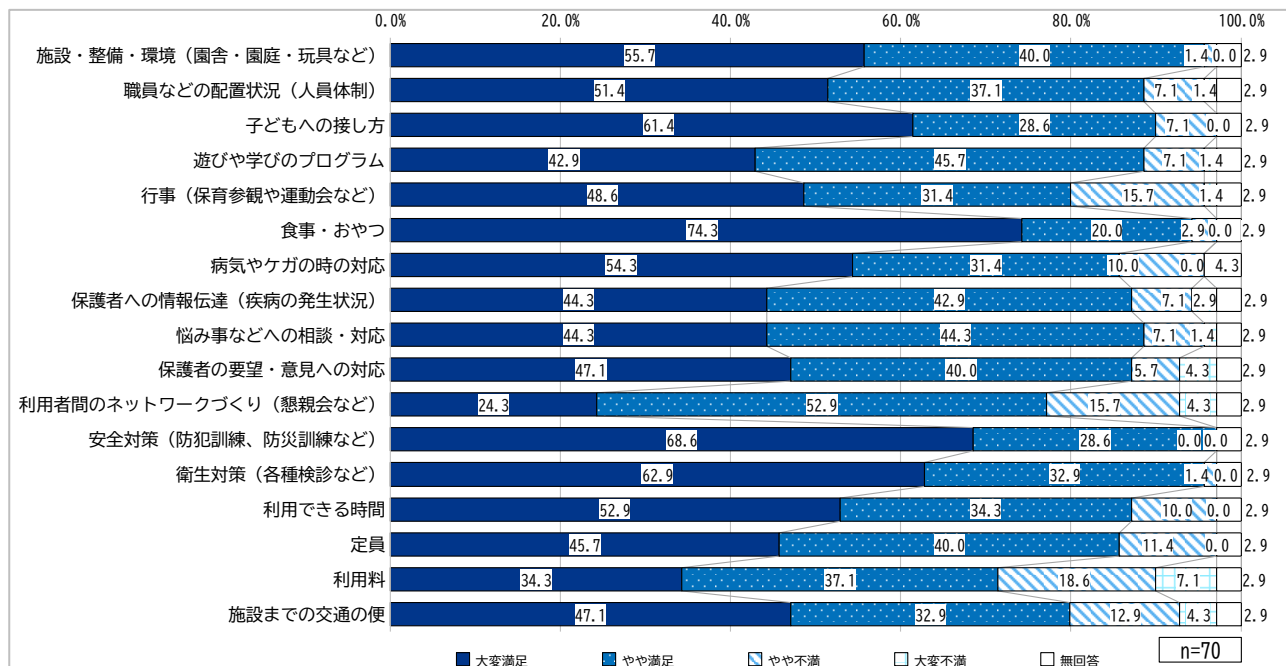
図8-18-カ 認定こども園（短時間利用）（市立・民間）の満足度



キ. 認定こども園（長時間利用）（市立・民間）

認定こども園（長時間利用）（市立・民間）の満足度の割合（「大変満足」＋「やや満足」）について、「利用者間のネットワークづくり（懇親会など）」、「利用料」以外の項目で8割以上となっています。

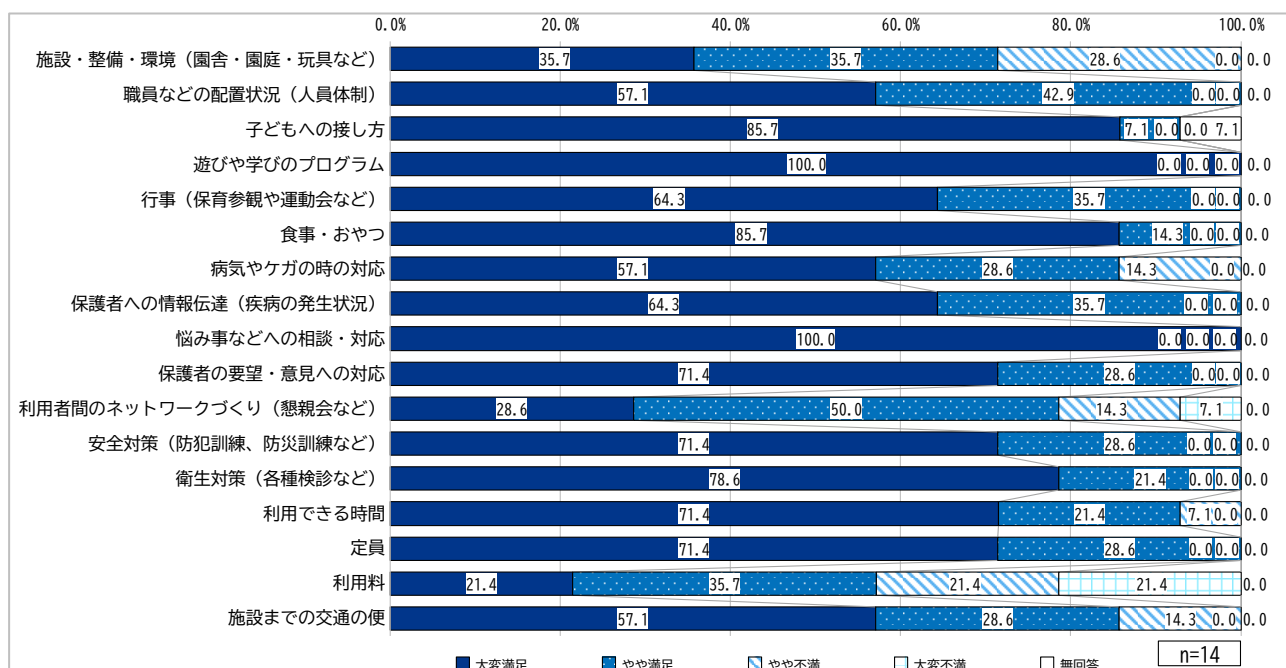
図8-18-キ 認定こども園（長時間利用）（市立・民間）の満足度



ク. 小規模保育事業所

小規模保育事業所の満足度の割合（「大変満足」＋「やや満足」）について、「施設・設備・環境（園舎・園庭・玩具など）」、「利用者間のネットワークづくり（懇親会など）」、「利用料」以外の項目で8割以上となっています。

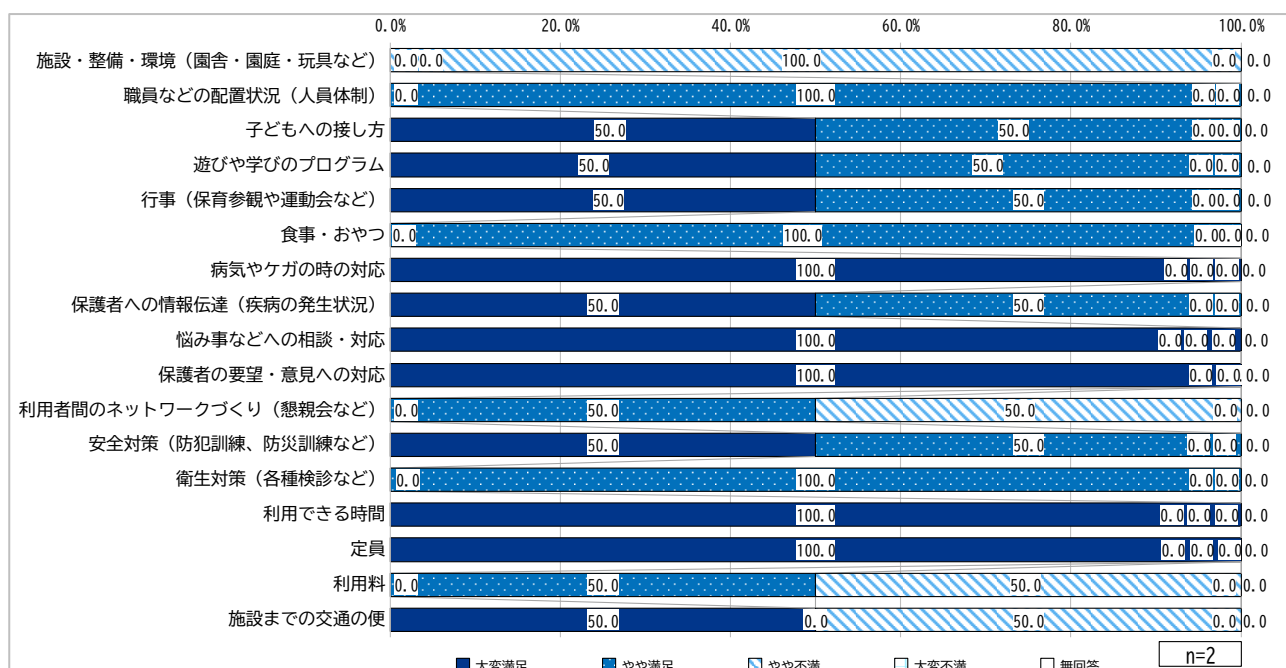
図8-18-ク 小規模保育事業所の満足度



ケ. 民間保育施設（認可外の保育施設）

民間保育施設（認可外の保育施設）の満足度の割合（「大変満足」＋「やや満足」）について、「施設・設備・環境（園舎・園庭・玩具など）」、「利用者間のネットワークづくり（懇親会など）」、「利用料」、「施設までの交通の便」以外の項目で8割以上となっています。

図8-18-ケ 民間保育施設（認可外の保育施設）の満足度



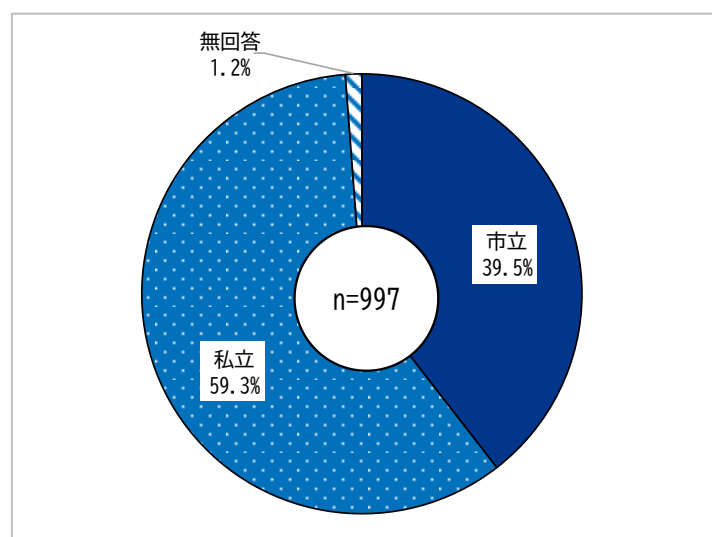
（6）市立、私立どちらに通わせているか

【問11-1で「1.」～「5.」のいずれかを選んだ方にうかがいます。】

問11-5 あて名のお子さんを通わせている、認可保育所、または幼稚園、または認定こども園は、「市立」、「私立」のどちらですか。

市立、私立どちらに通わせているかについて、「私立」が59.3%、「市立」が39.5%となっています。

図8-19 市立、私立どちらに通わせているか



(7) 教育・保育事業を利用していない理由

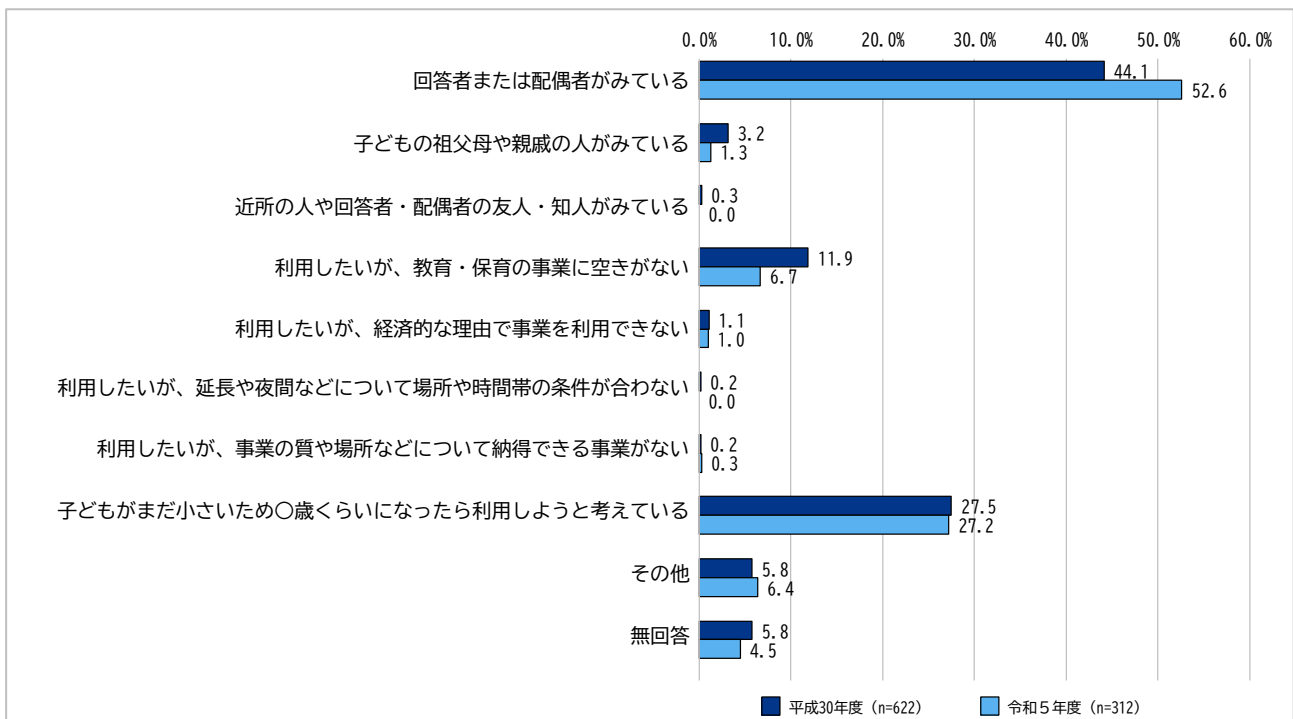
【問 11-1 で「2. 」を選んだ方にうかがいます。】

問 11-6 教育・保育の事業を利用していない理由は何ですか。

①事業を利用していない理由

事業を利用していない理由について、「回答者または配偶者がみている」が 52.6%で最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため〇歳くらいになったら利用しようと考えている」が 27.2%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「利用したいが、教育・保育の事業に空きがない」の割合が減少して、「回答者または配偶者がみている」の割合が増加しています。

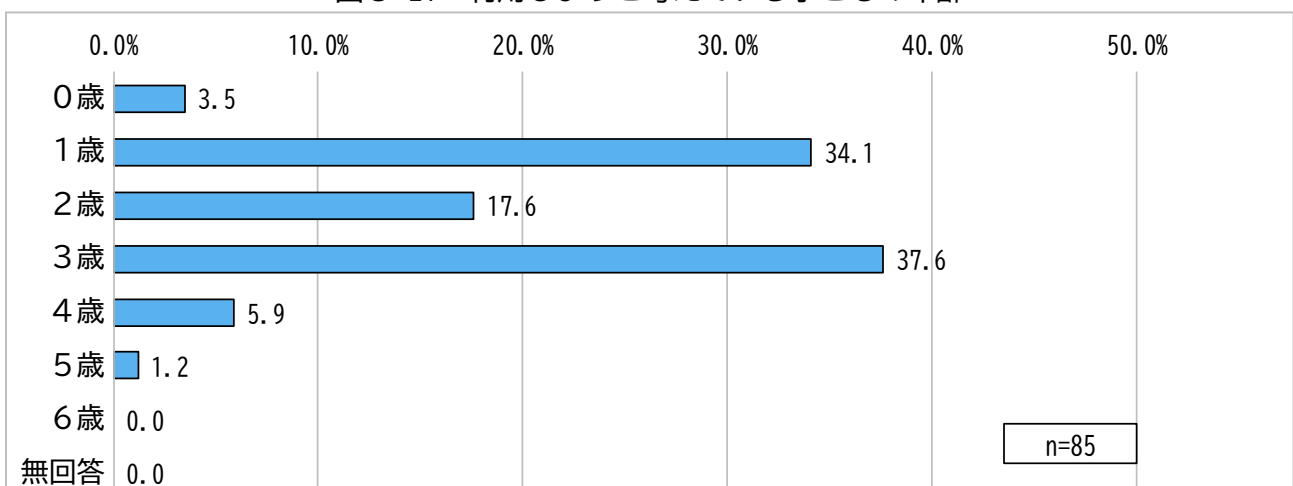
図 8-20 事業を利用していない理由（前回比較）



②利用しようと考えている子どもの年齢

利用しようと考えている子どもの年齢について、「子どもがまだ小さいため〇歳くらいになったら利用しようと考えている」と回答した方にたずねたところ、「3歳」が 37.6%で最も多く、次いで「1歳」が 34.1%となっています。

図 8-21 利用しようと考えている子どもの年齢

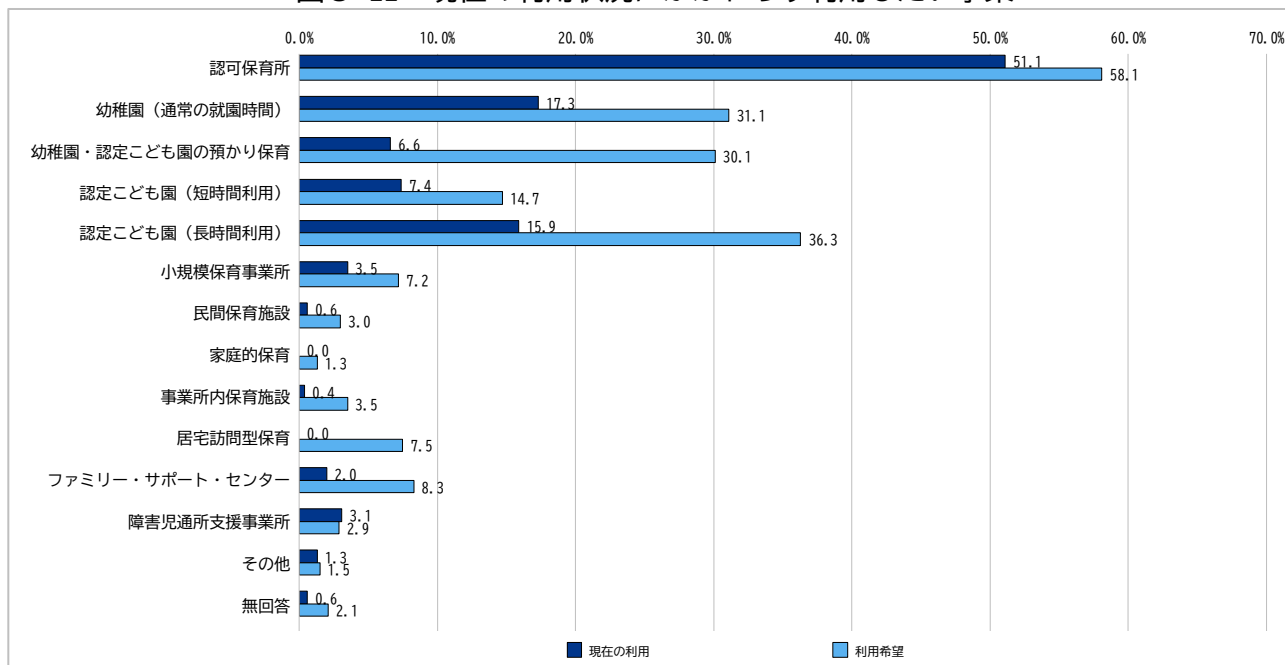


(8) 利用したい事業

問 12 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんについて、平日の日に「定期的に」利用したい教育・保育の事業はどれですか。

現在の利用状況にかかわらず利用したい事業について、「認可保育所」が 58.1%で最も多く、次いで「認定こども園（長時間利用）」が 36.3%となっています。

図 8-22 現在の利用状況にかかわらず利用したい事業



(9) 幼稚園の利用希望

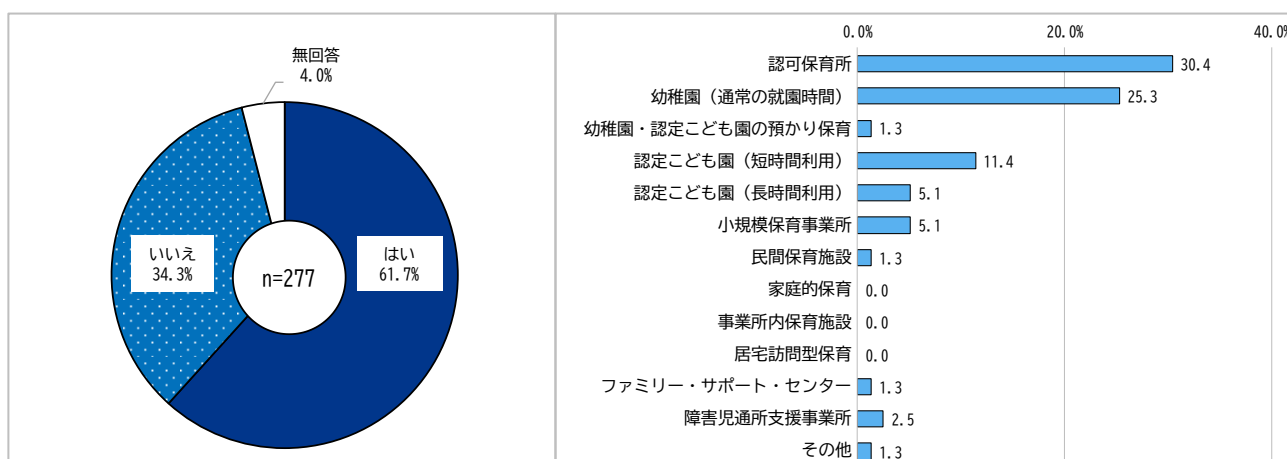
【問 12 で利用したい事業として「2.」～「4.」を選び、かつそれ以外（「1.」または「5.」～「12.」）のいずれかを選んだ方にうかがいます。】

問 12-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。

幼稚園の利用希望について、「はい」が 61.7%、「いいえ」が 34.3%となっています。現在の利用先について、「はい」と回答した方にたずねたところ、「認可保育所」が 30.4%で最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間）」が 25.3%となっています。

図 8-23 幼稚園の利用希望

「はい」と回答した方の現在の利用先



(10) 土曜日、日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望

問 13 あて名のお子さんについて、土曜日または日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業（一時的な利用は除きます）の利用希望がありますか。

土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育の利用希望時間について、土曜日、日曜日・祝日ともに、「利用希望はない」（土曜日：60.9%、日曜日・祝日：75.7%）が最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」（土曜日：28.6%、日曜日・祝日：16.6%）となっています。

平成30年度調査と比較すると、土曜日では、「月に1～2回は利用したい」の割合が増加し、日曜日・祝日では、大きな差はみられませんでした。

図8-24 利用希望時間（土曜日）

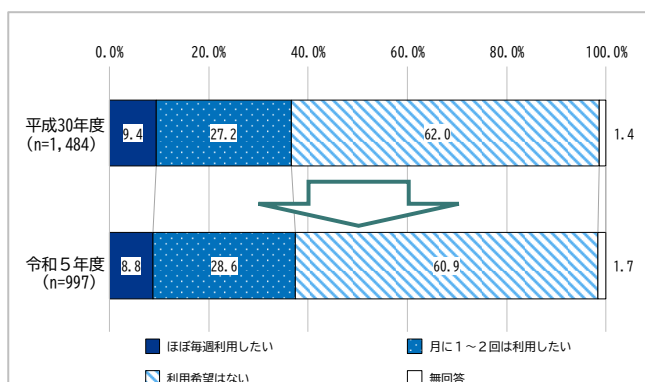
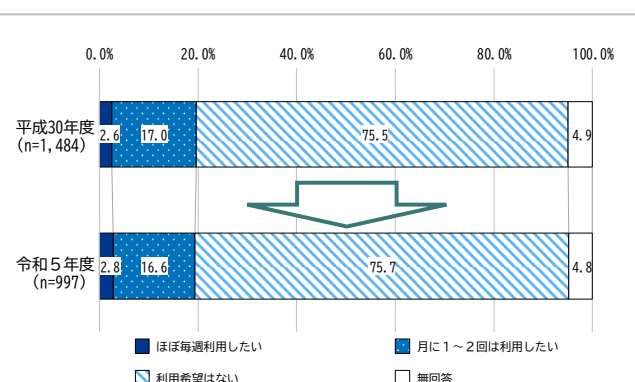


図8-25 利用希望時間（日曜日・祝日）



土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育の利用希望開始・終了時間について、土曜日、日曜日・祝日ともに、「9時開始」「17時終了」が最も多く、次いで「8時開始」「18時終了」となっています。

図8-26 利用希望開始時間（土曜日）

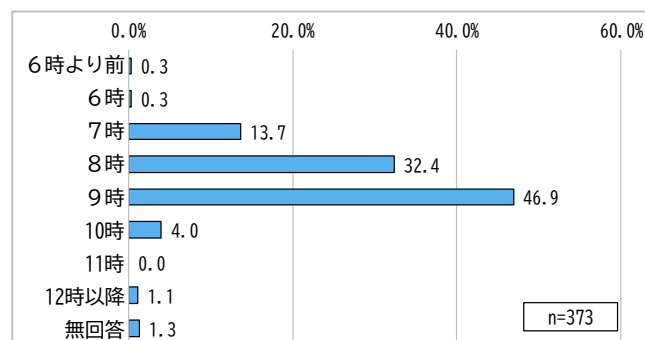


図8-27 利用希望開始時間（日曜日・祝日）

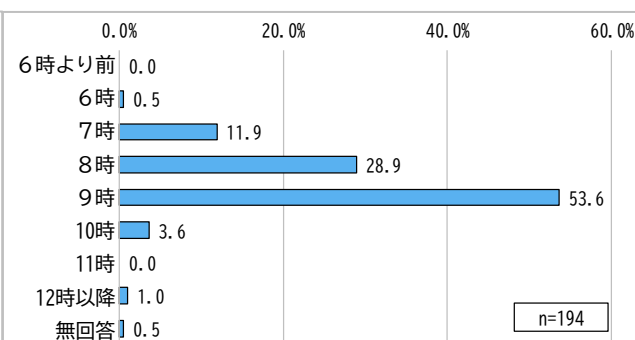


図8-28 利用希望終了時間（土曜日）

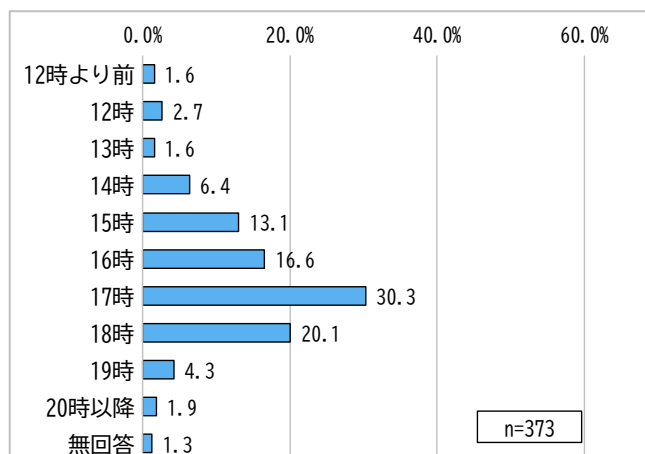
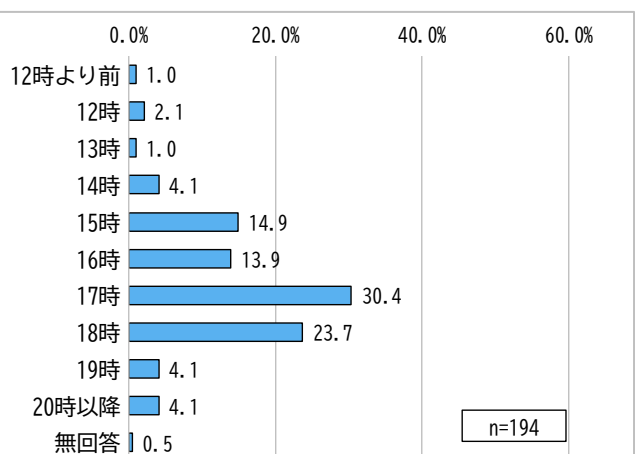


図8-29 利用希望終了時間（日曜日・祝日）



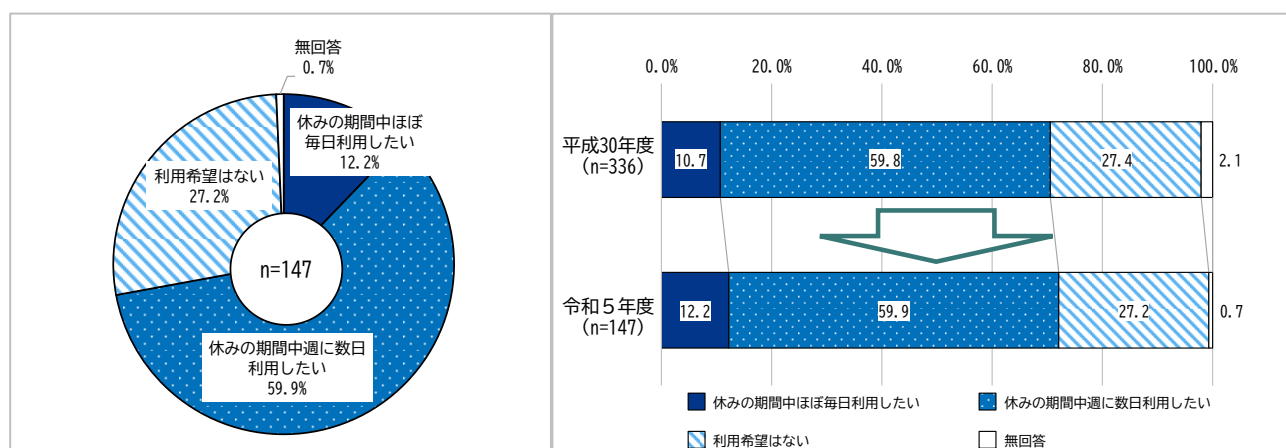
(11) 長期休業中の教育・保育事業の利用希望

【問 11-1 で「2.」～「4.」のいずれかを選んだ方にうかがいます】

問 14 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休業期間中に、教育・保育の事業の利用希望がありますか。

こども園、幼稚園の長期休業期間中の預かり保育事業の利用希望について、「休みの期間中週に数日利用したい」が 59.9% で最も多く、次いで「利用希望はない」が 27.2% となっております。平成 30 年度調査と比較すると、「休みの期間中ほぼ毎日利用したい」の割合が増加しています。

図 8-30 こども園、幼稚園の長期休業期間中の預かり保育事業の利用希望



こども園、幼稚園の長期休業期間中の預かり保育事業の利用希望開始・終了時間について、「9 時開始」「16 時終了」が最も多く、次いで「8 時開始」「17 時終了」となっています。

図 8-31 利用希望開始時間

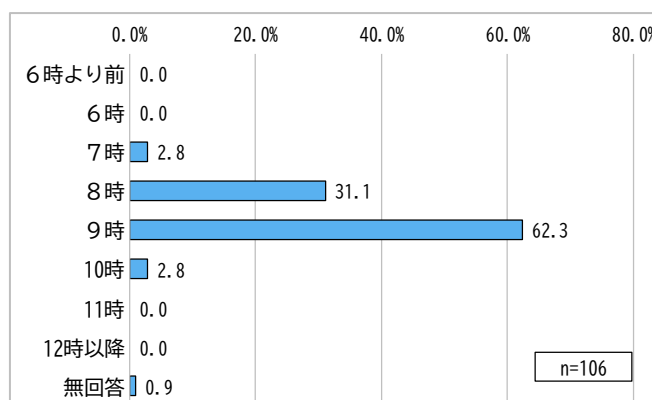
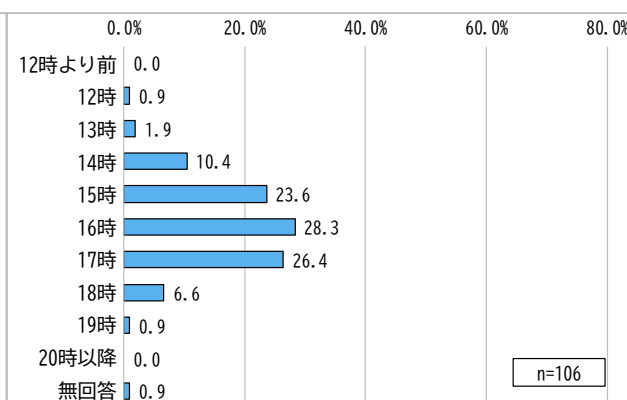


図 8-32 利用希望終了時間



9 子どもの病気の際の対応について

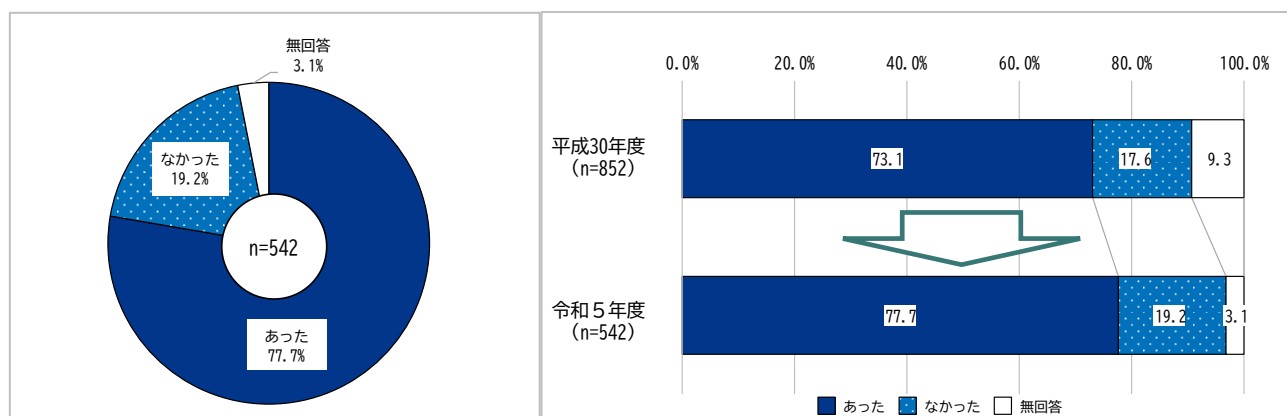
(1) 病気やケガで事業が利用できなかった経験

【問 11 で「1.」を選んだ方にうかがいます。】

問 15 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。

病気やケガで通常の教育・保育の事業が利用できなかった経験について、「あった」が77.7%、「なかった」が19.2%となっています。平成30年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。

図9-1 病気やケガで事業が利用できなかった経験



(2) 事業を利用できなかった場合の対処方法と日数

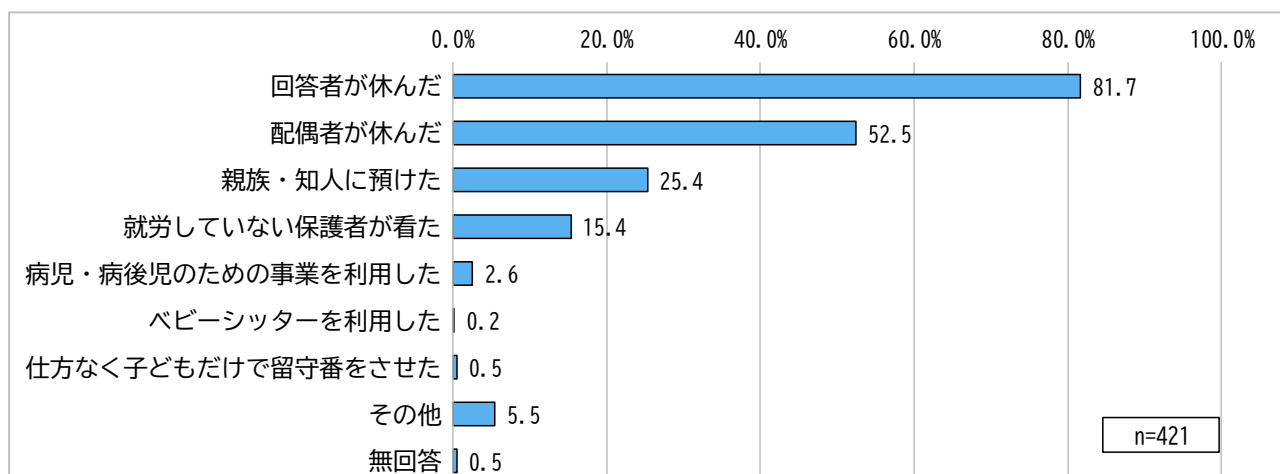
【問 15 で「1.」を選んだ方にうかがいます。】

問 15-1 その際、どのように対処しましたか。(複数選択)

①利用できなかった場合の対処方法

病気やケガで通常の教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法について、「回答者が休んだ」が81.7%で最も多く、次いで「配偶者が休んだ」が52.5%となっています。

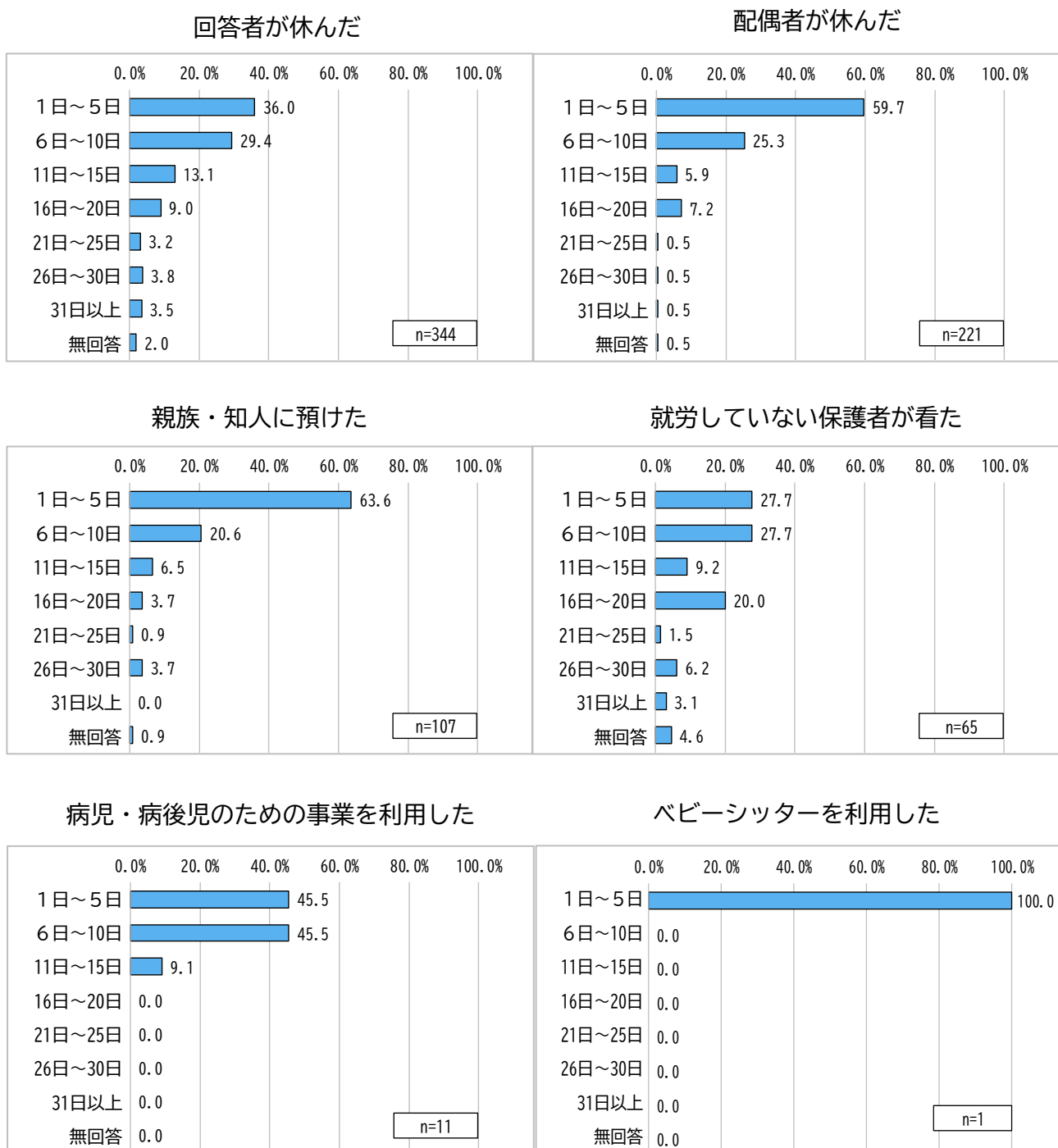
図9-2 事業を利用できなかった場合の対処方法



②対処方法別日数

対処方法別日数は以下の通りとなっています。「回答者が休んだ」について、「1日～5日」が36.0%で最も多く、次いで「6日～10日」が29.4%となっています。

図9-3 対処方法別日数



（３）病児・病後児のための事業を利用したかった日数

【問 15-1 で「１．」「２．」を選んだ方にうかがいます。】

問 15-2 回答者や配偶者（同居のパートナー含む）が休んだ際、利用可能であれば病児・病後児のための事業を利用したいと思うことがありましたか。

病児・病後児保育の利用希望について、「利用したいと思うことはなかった」が 40.9%で最も多く、次いで「利用したいと思うことがあった」が 42.1%となっています。

病児・病後児保育の利用希望日数について、「１日～５日」が 47.7%で最も多く、次いで「６日～１０日」が 30.5%となっています。

図 9-4 病児・病後児保育の利用希望

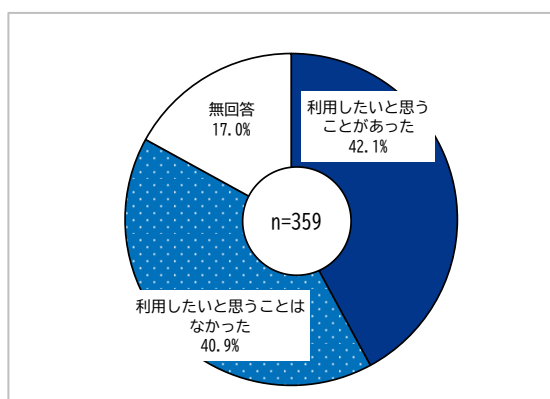
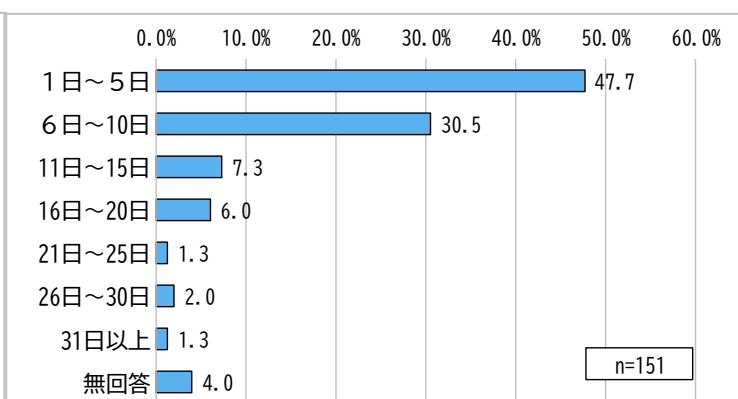


図 9-5 病児・病後児保育の利用希望日数



10 不定期の教育・保育事業の利用について

(1) 利用している不定期事業

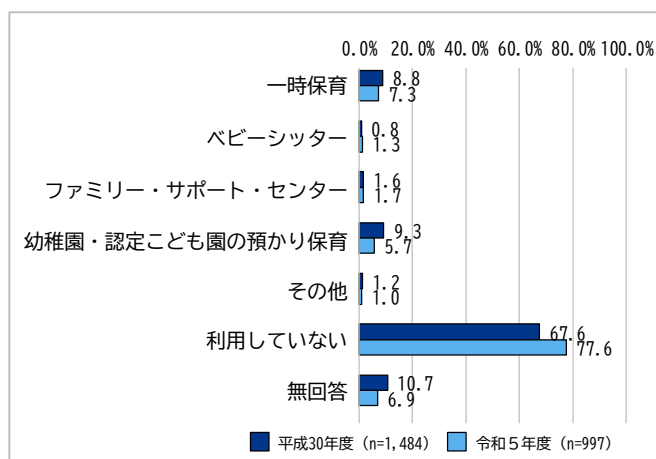
問 16 あて名のお子さんについて、平日日中の定期的な教育・保育や病気等で利用する以外に、保護者の私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）や通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。

①利用している事業

利用している事業について、「利用していない」が 77.6%で最も多く、次いで「一時保育」が 7.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「幼稚園・認定こども園の預かり保育」の割合が減少して、「利用していない」の割合が増加しています。

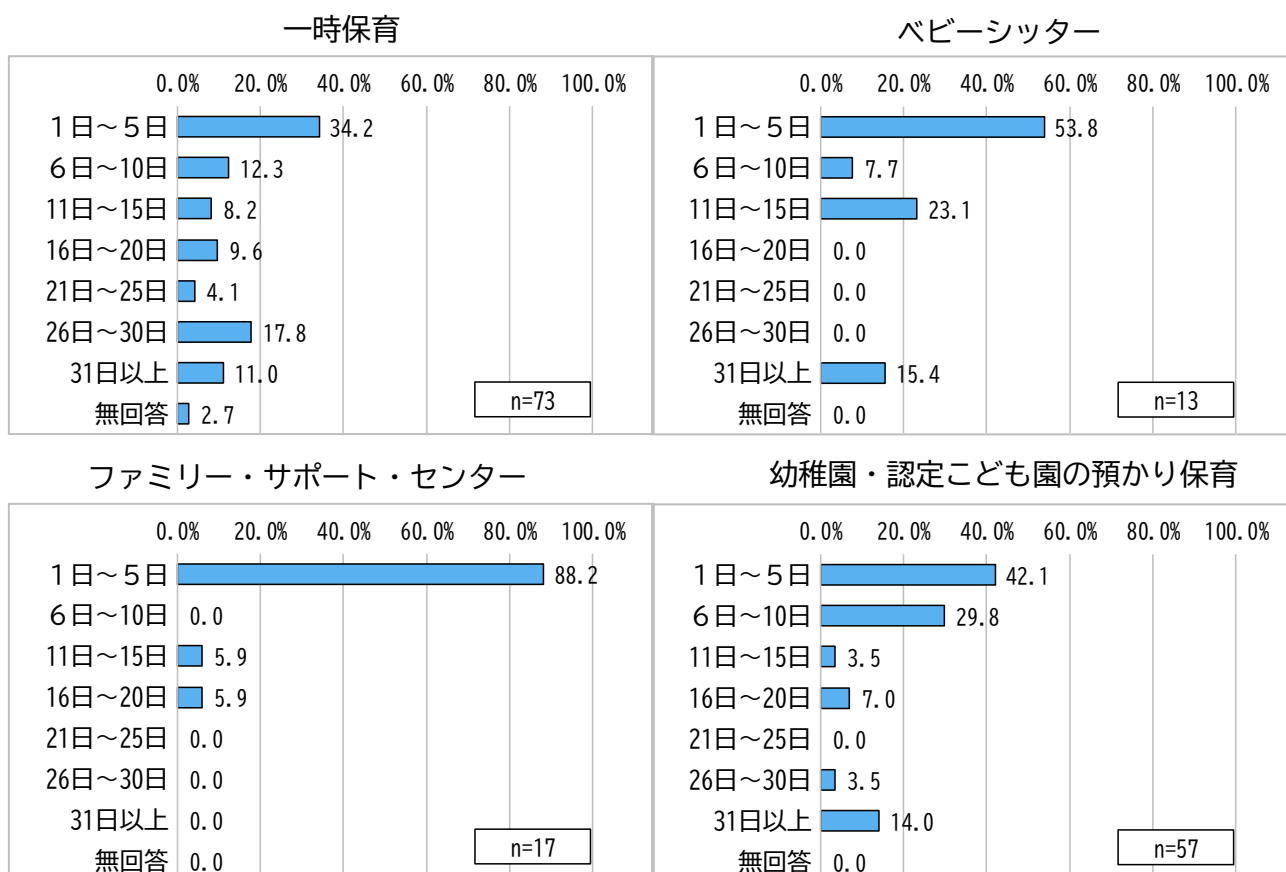
図 10-1 利用している事業



②利用している事業別日数

利用している事業別日数は以下の通りとなっています。「一時保育」について、「1日～5日」が 34.2%で最も多く、次いで「26日～30日」が 17.8%となっています。

図 10-2 利用している事業別日数

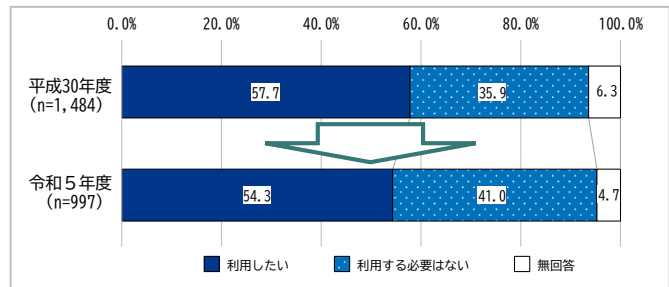


(2) 不定期事業の利用希望と理由

問 17 今後、あて名のお子さんについて、保護者の私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）や通院、不定期の就労等の目的で、問 16 の「1.」～「5.」の事業を利用する必要があると思いますか。

利用希望の有無について、「利用したい」が 54.3%、「利用する必要はない」が 41.0%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が減少しています。

図 10-3 利用希望の有無



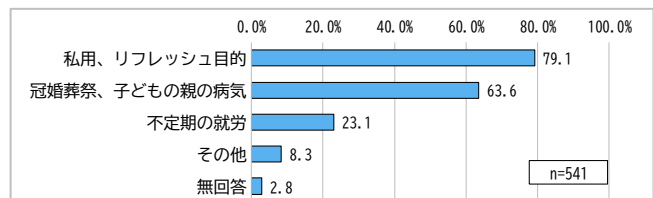
【問 17 で「1.」を選んだ方にうかがいます。】

問 17-1 それらの事業を年間何日くらい利用したいと思いますか。年間の利用希望日数の合計（おおよそ）と、利用したいと思う理由別の希望日数（おおよそ）を記入してください。（複数回答）

①利用目的

利用目的について、「私用、リフレッシュ目的」が 79.1%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、子どもの親の病気」が 63.6%となっています。

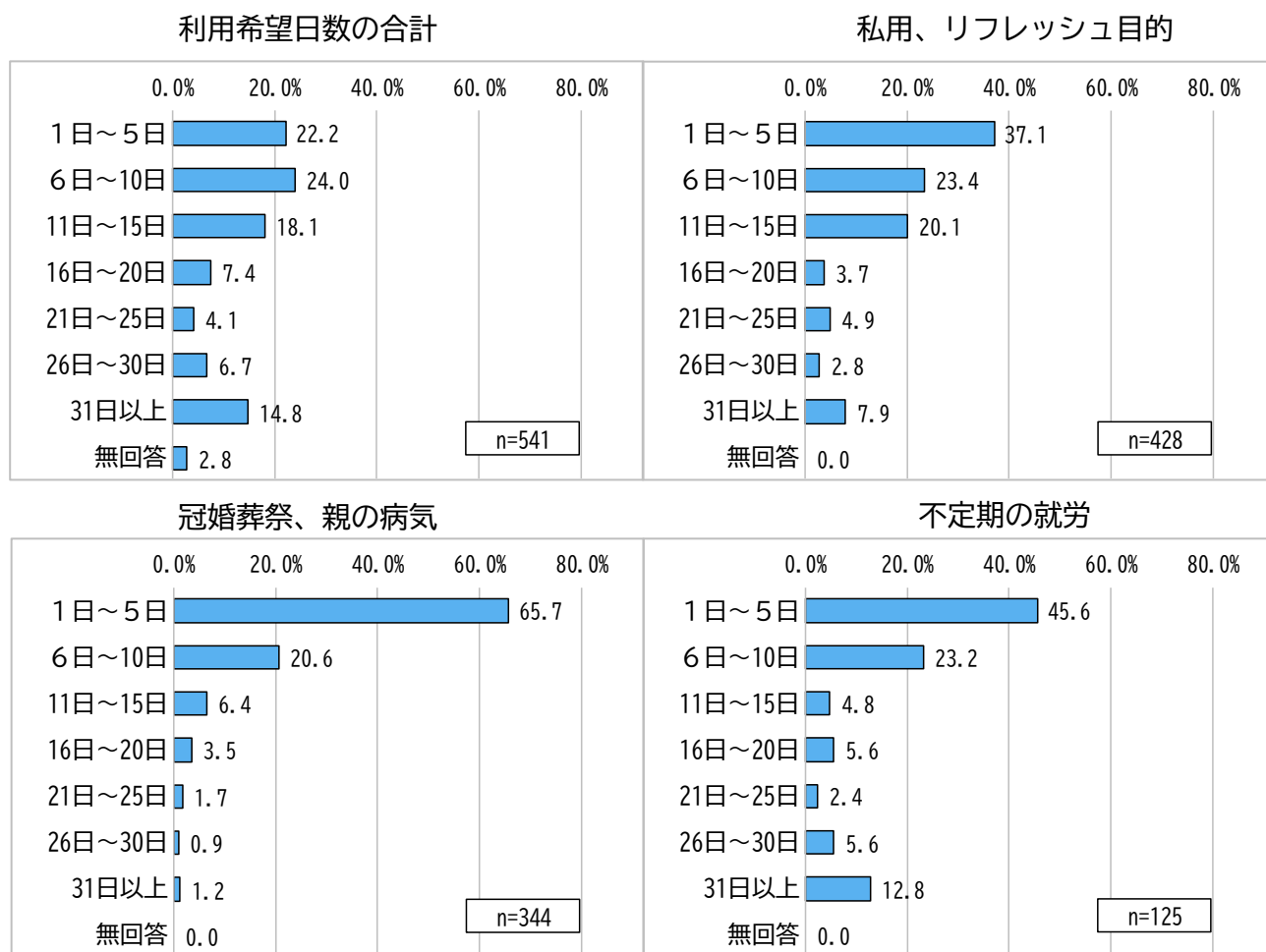
図 10-4 利用目的



②利用希望日数

利用希望日数は以下の通りとなっています。「私用、リフレッシュ目的」について、「1日～5日」が37.1%で最も多く、次いで「6日～10日」が23.4%となっています。

図 10-5 利用希望日数（合計・目的別）

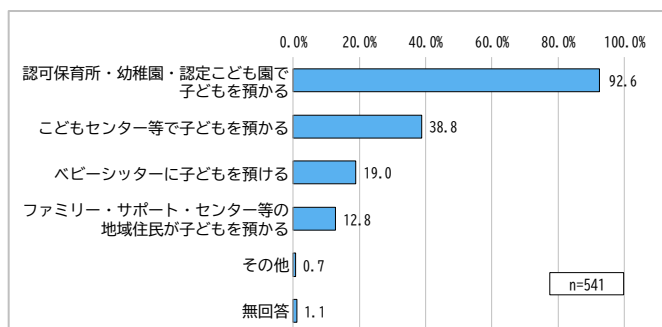


(3) 望ましい事業形態

問 17-2 その際、望ましいと思う事業形態はどれですか。（複数回答）

望ましい事業形態について、「認可保育所・幼稚園・認定こども園で子どもを預かる」が92.6%で最も多く、次いで「こどもセンター等で子どもを預かる」が38.8%となっています。

図 10-6 望ましい事業形態



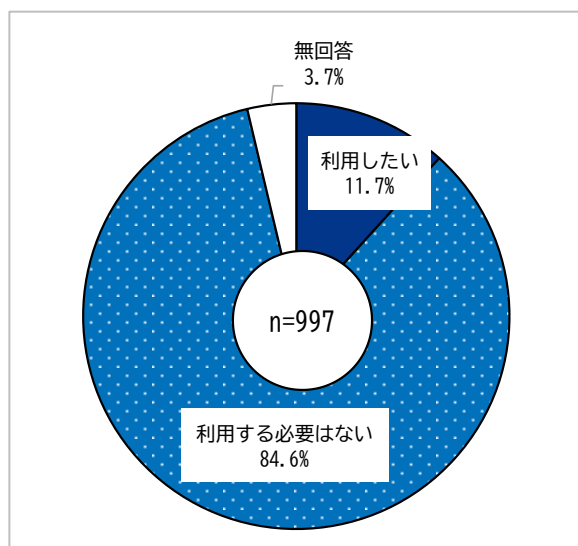
11 子どもの宿泊を伴う一時預かりについて

(1) 泊まりがけで家族以外に預ける必要の有無

問 18 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無をお答えください。

泊まりがけで家族以外に預ける必要の有無について、「利用する必要はない」が 84.6%、「利用したい」が 11.7%となっています。

図 11-1 泊まりがけで家族以外に預ける必要の有無



(2) 家族以外に預ける理由とその泊数

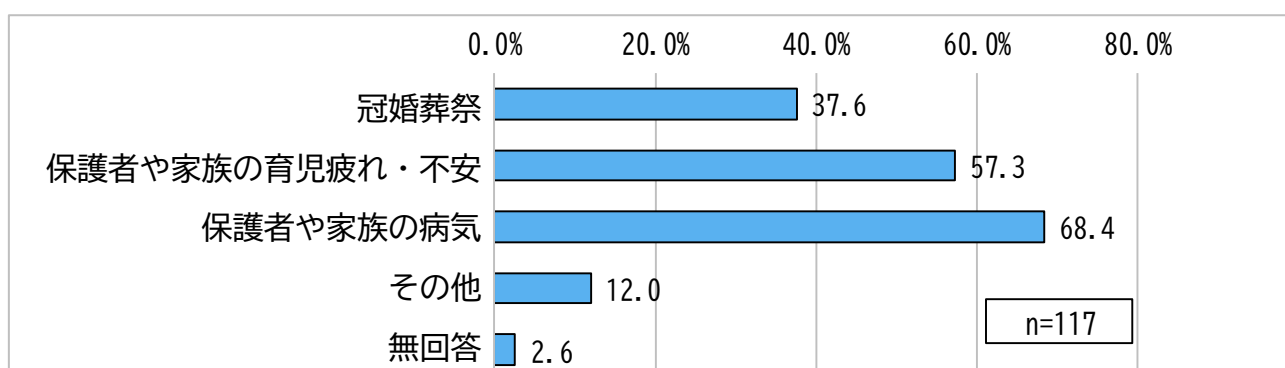
【問 18 で「1.」を選んだ方にうかがいます。】

問 18-1 その際、年間何泊くらい利用したいと思いますか。

①家族以外に預ける理由

家族以外に預ける理由について、「保護者や家族の病気」が 68.4%で最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 57.3%となっています。

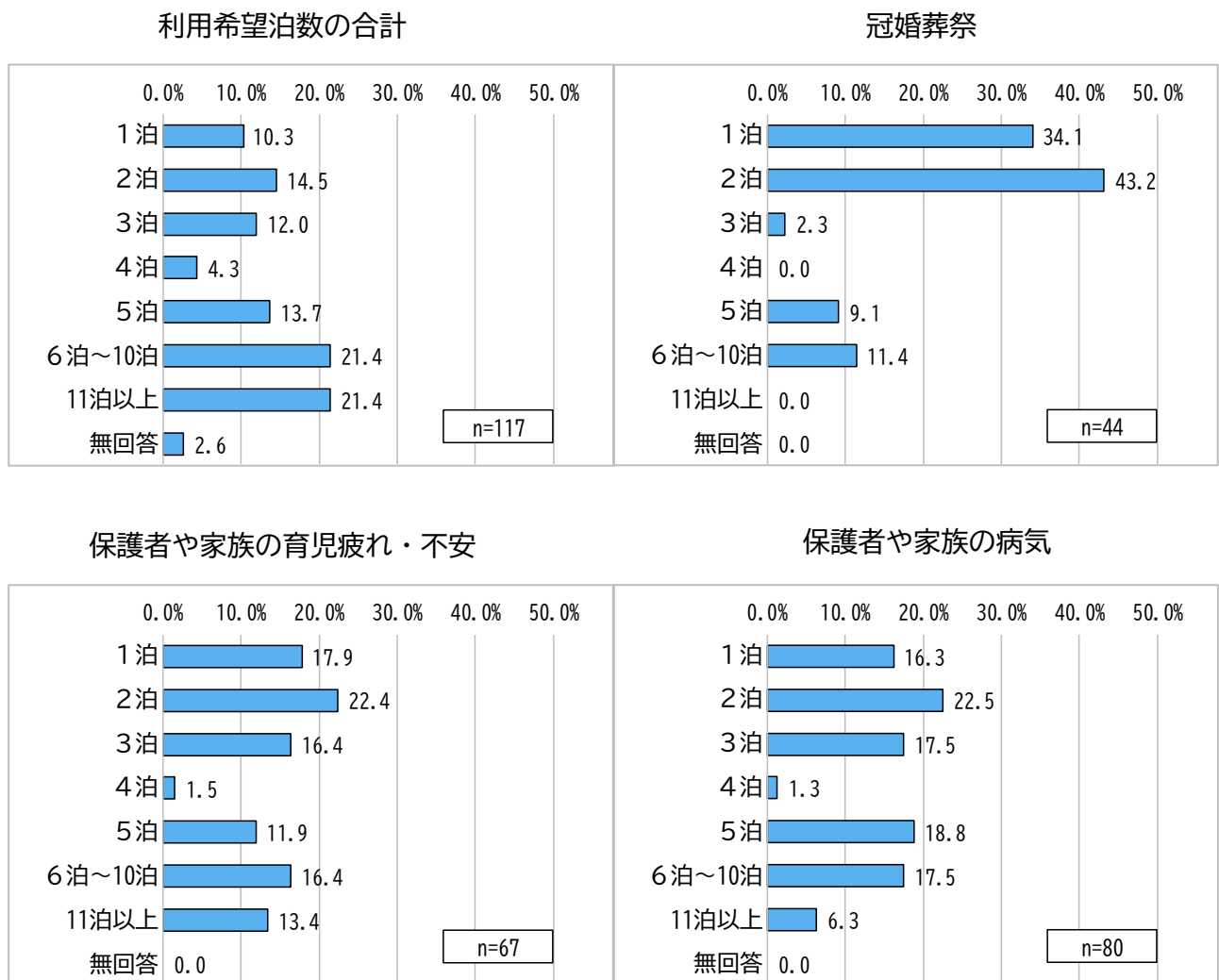
図 11-2 家族以外に預ける理由



②利用希望泊数

利用希望の泊数は以下の通りとなっています。「保護者や家族の病気」について、「2泊」が22.5%で最も多く、次いで「5泊」が18.8%となっています。

図 11-3 利用希望泊数（合計・目的別）



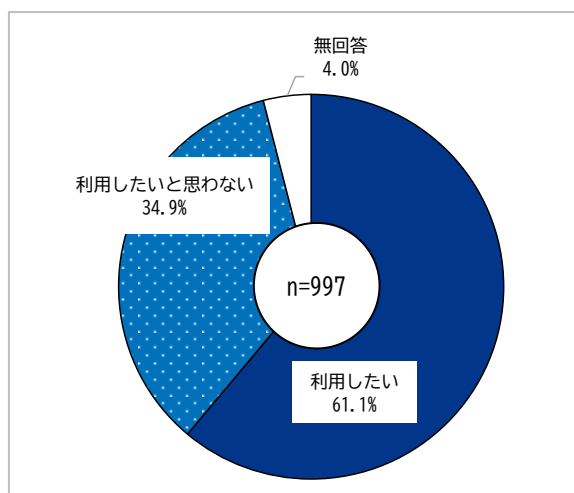
12 「こども誰でも通園制度（仮称）」について

（１）こども誰でも通園制度の利用希望

問 19 現在、国では、認定こども園や保育園、幼稚園等を利用していない６か月～３歳未満のお子さんが、月 10 時間を上限として、認定こども園や保育園、幼稚園等に通園することができる「こども誰でも通園制度（仮称）」の創設を検討しています。この制度が創設された場合、利用したいと思いますか。

こども誰でも通園制度の利用希望について、「利用したい」が 61.1%、「利用したいと思わない」が 34.9%となっています。

図 12-1 こども誰でも通園制度の利用希望



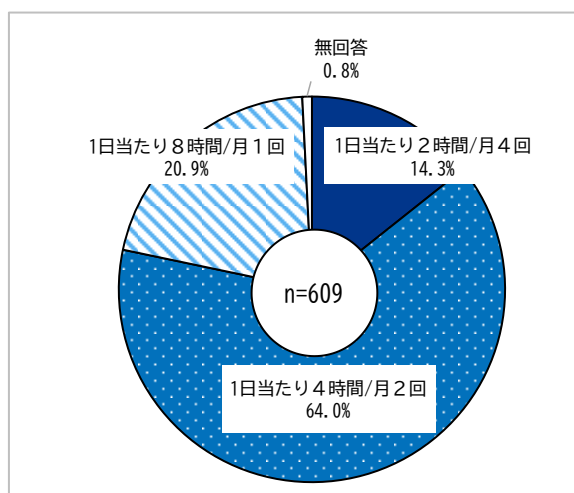
（２）月 10 時間の範囲での利用希望時間・利用希望回数

【問 19 で「１．」を選んだ方にうかがいます。】

問 19-1 月 10 時間の範囲内で利用する場合、どのような利用を希望しますか。

月 10 時間の範囲での利用希望時間・利用希望回数について、「１日当たり 4 時間/月 2 回」が 64.0%で最も多く、次いで「１日当たり 8 時間/月 1 回」が 20.9%となっています。

図 12-2 月 10 時間の範囲での利用希望時間・利用希望回数



(3) 必要と考える利用希望時間・利用希望回数

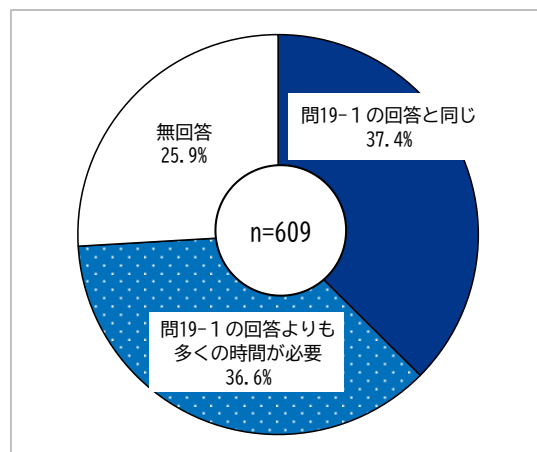
【問 19 で「1. 」を選んだ方にうかがいます。】

問 19-2 国が検討している月 10 時間の上限に関わらず、あなたが必要と考える月の利用時間をお答えください。

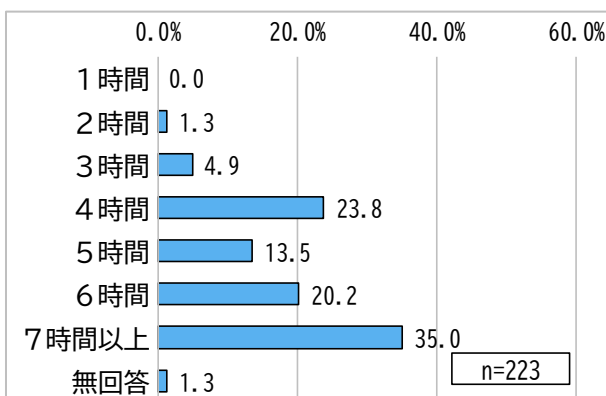
必要と考える利用希望時間・利用希望回数について、「問 19-1 の回答と同じ」が 37.4%、「問 19-1 の回答よりも多くの時間が必要」が 36.6%となっています。

1 日当たりの利用希望時間と月当たりの利用希望回数について、「問 19-1 の回答よりも多くの時間が必要」と回答した方にたずねたところ、「7 時間以上」「4 回」が最も多く、次いで「4 時間」「6 回以上」となっています。

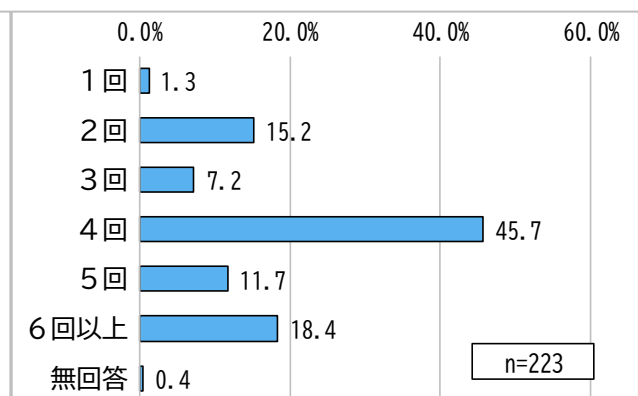
図 12-3 必要と考える利用希望時間・利用希望回数



問 12-4 1 日当たりの利用希望時間



問 12-5 月当たりの利用希望回数



13 子どもが小学生になったときのことについて

(1) 放課後に過ごさせたい場所と利用希望時間

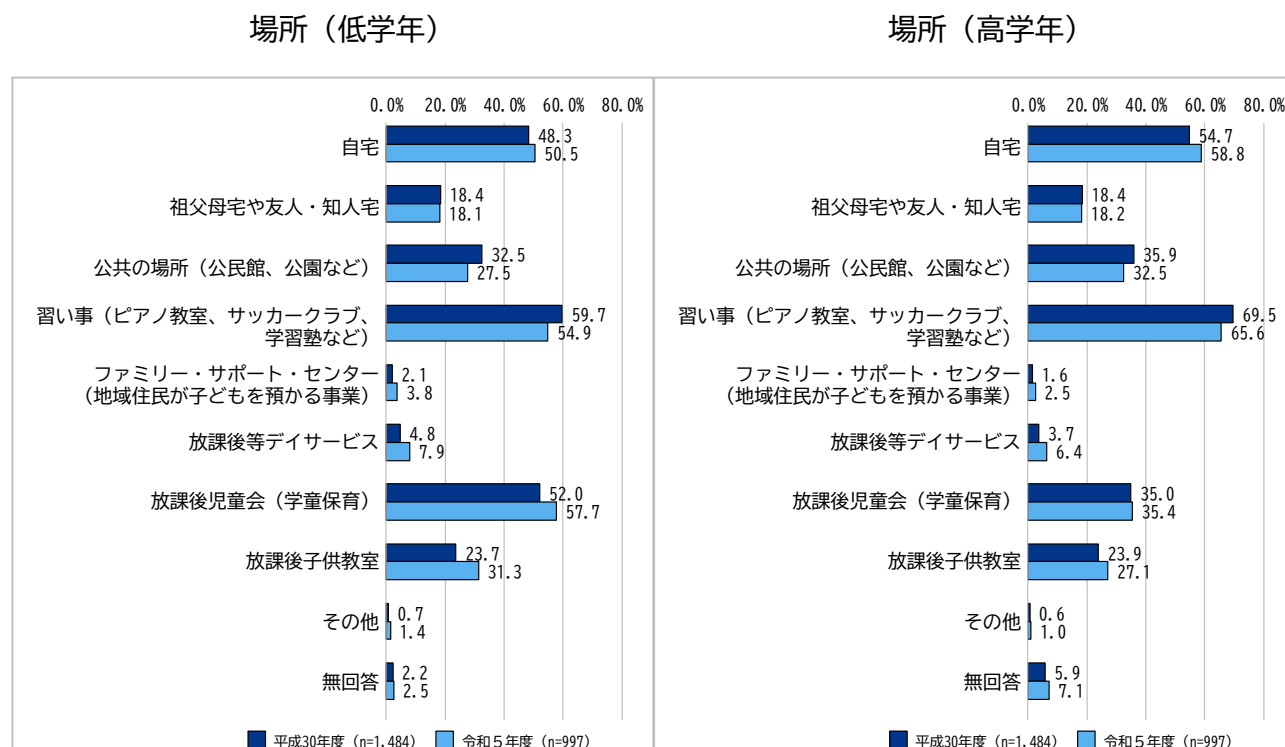
問 20 あて名のお子さんについて、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（複数回答）

①放課後に過ごさせたい場所

放課後に過ごさせた場所について、小学校低学年では「放課後児童会（学童保育）」が 57.7%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 54.9%となっています。小学校高学年では「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 65.6%で最も多く、次いで「自宅」が 58.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると小学校低学年・小学校高学年ともに、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が減少して、「放課後児童会（学童保育）」などの割合が増加しています。

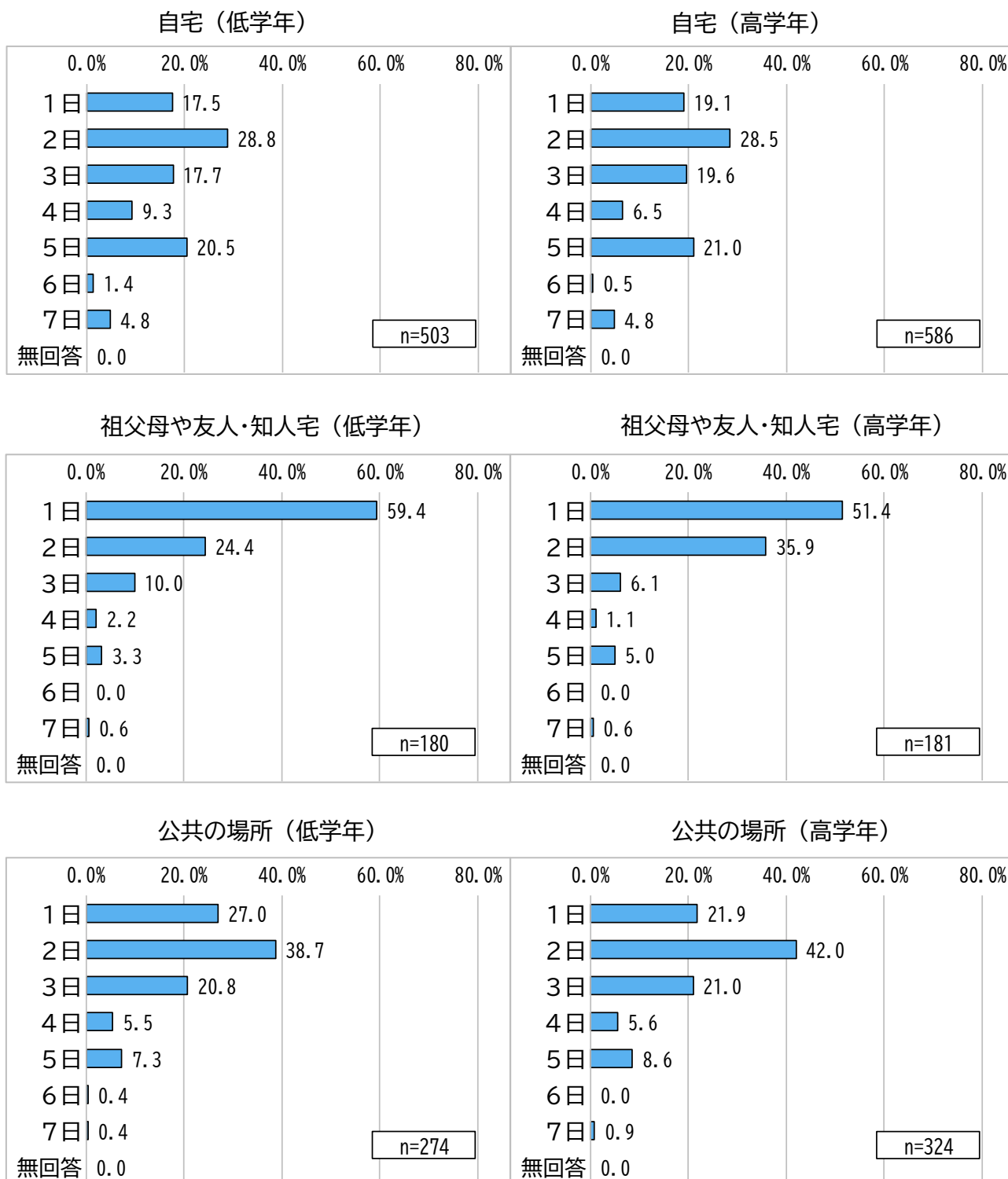
図 13-1 放課後に過ごさせたい場所



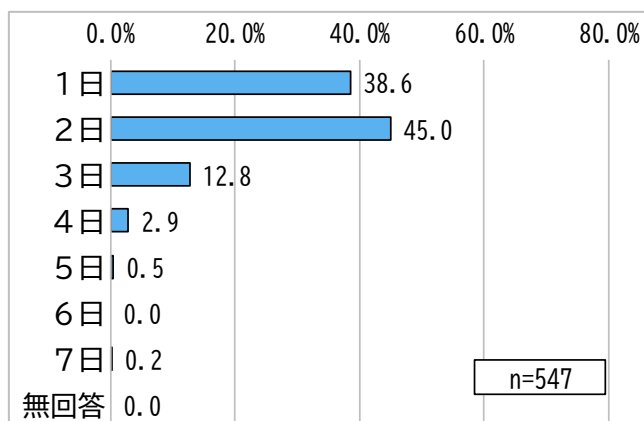
②過ごさせたい週間日数

放課後に過ごさせたい場所ごとの週間日数は以下の通りとなっております。小学校低学年・小学校高学年ともに「祖父母や友人・知人宅」では週1日、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」では週2日、「放課後児童会（学童保育）」では週5日（下校時から18時までの預かり希望）が最も多くなっています。

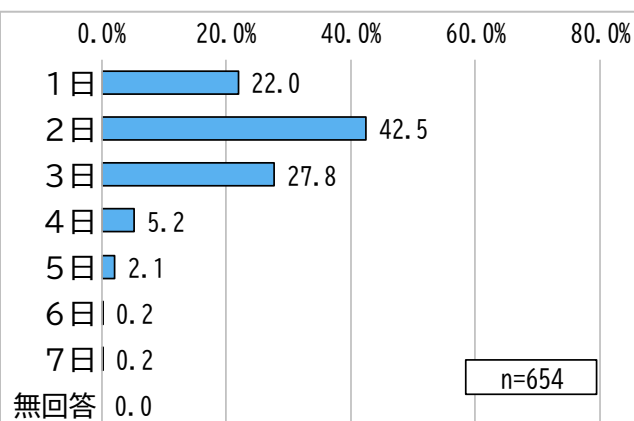
図 13-2 放課後に過ごさせたい場所ごとの週間日数



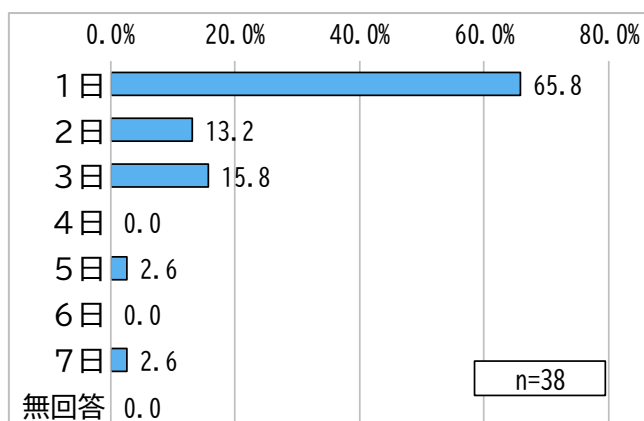
習い事（低学年）



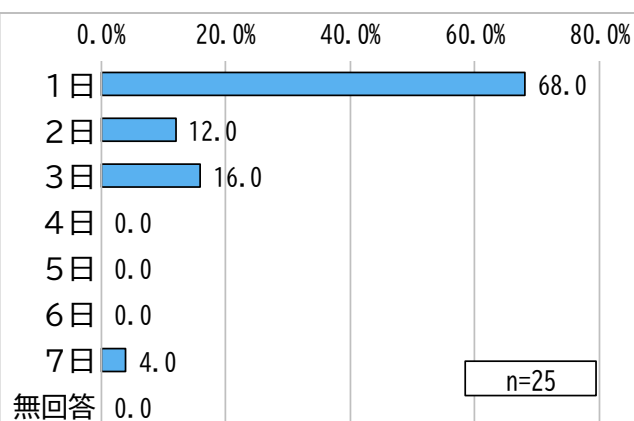
習い事（低学年）



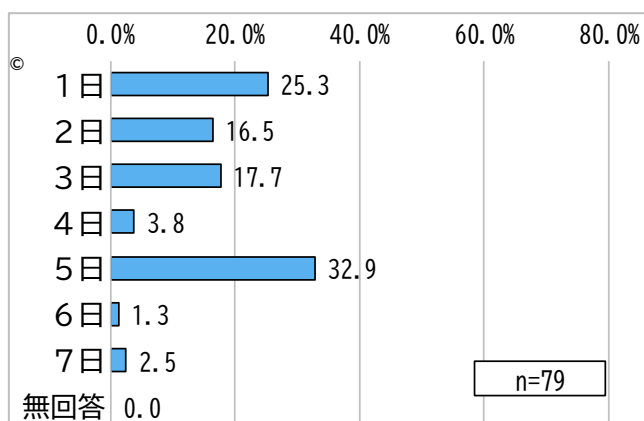
ファミリー・サポート・センター（低学年）



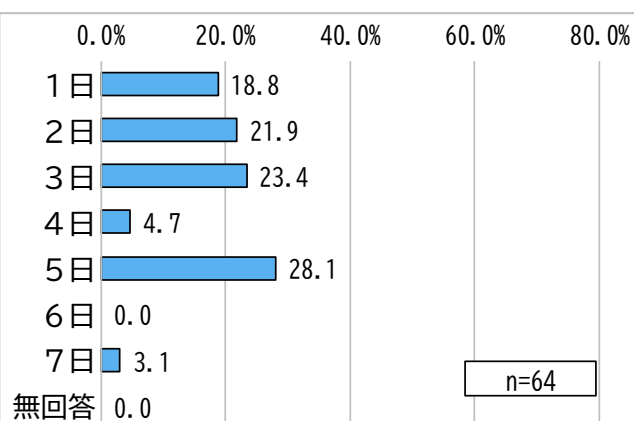
ファミリー・サポート・センター（高学年）



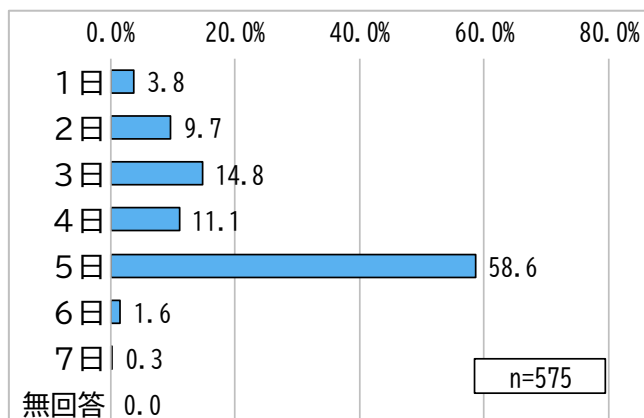
放課後等デイサービス（低学年）



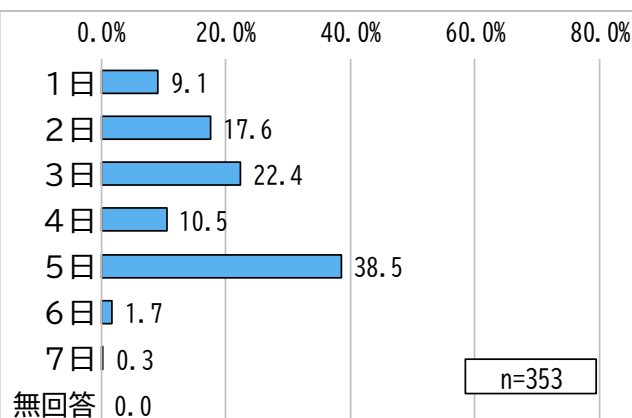
放課後等デイサービス（高学年）



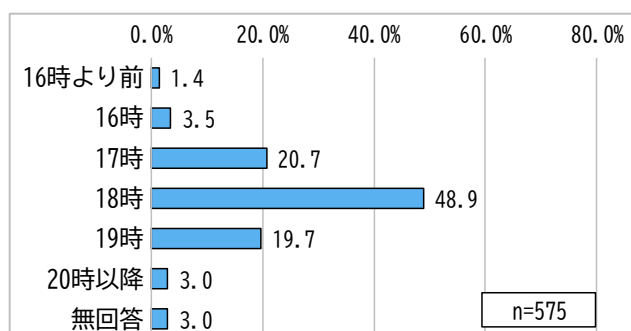
放課後児童会（低学年）



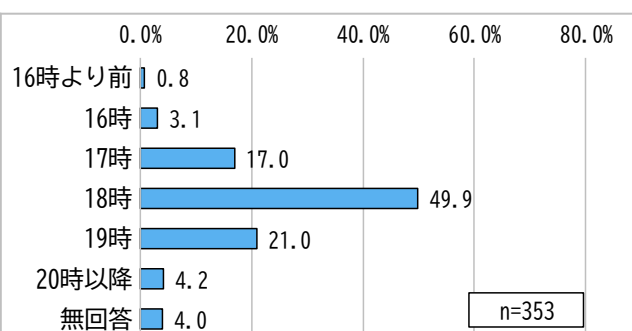
放課後児童会（高学年）



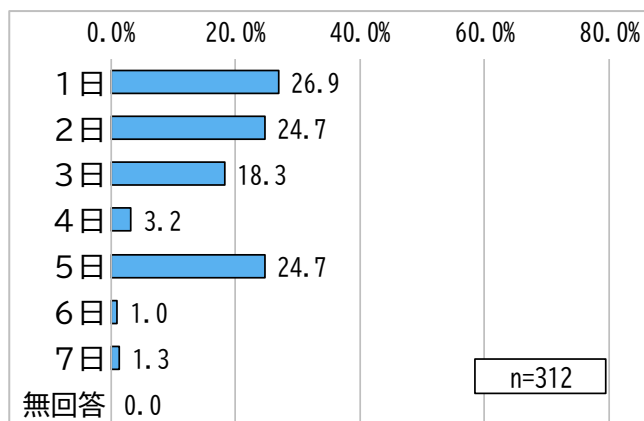
放課後児童会：何時まで（低学年）



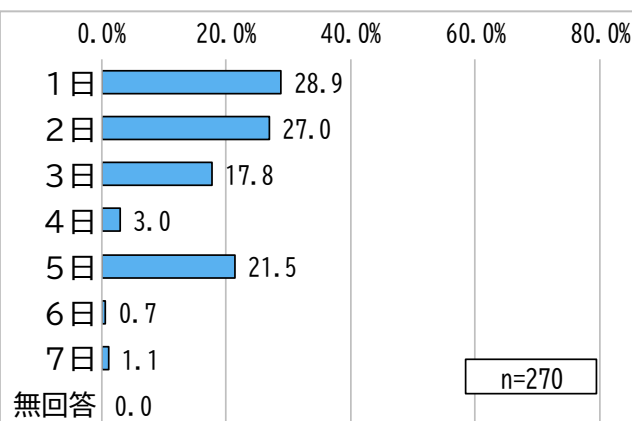
放課後児童会：何時まで（高学年）



放課後子供教室（低学年）



放課後子供教室（高学年）



（２）放課後児童会等の利用希望学年

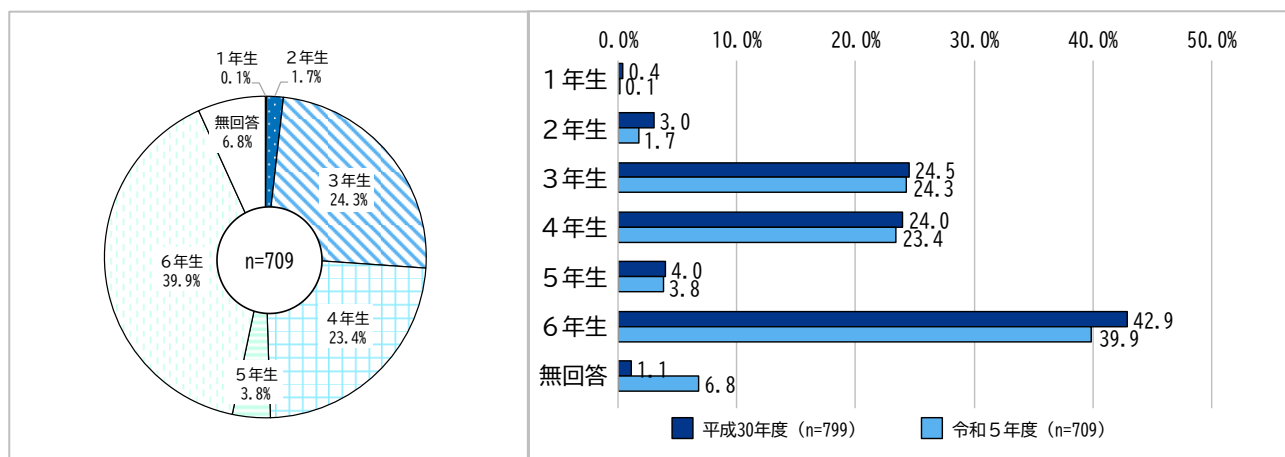
【問 20 の 1 ～ 3 年生 ・ 4 ～ 6 年生のいずれか、あるいは両方で「⑦放課後児童会（学童保育）」または「⑧放課後子供教室」を選んだ方にうかがいます。】

問 20-1 あて名のお子さんについて、「放課後児童会（学童保育）」または「放課後子供教室」の利用を何年生まで希望しますか。

放課後児童会（学童保育）の利用希望学年については、「6 年生」が 39.9%で最も多く、次いで「3 年生」が 24.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、全ての学年で割合が減少しています。

図 13-3 放課後児童会の利用希望学年



(3) 長期休業期間中の放課後児童会の利用希望

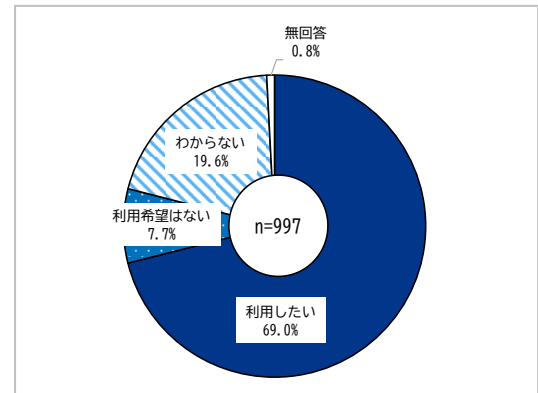
問 21 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休業期間中に「放課後児童会（学童保育）」または「放課後子供教室」の利用希望がありますか。

利用を希望する場合、何時から何時まで利用したいですか。また、何年生まで利用したいですか。

①利用希望

長期休業時の利用希望について、「利用したい」が69.0%で最も多く、次いで「わからない」が19.6%となっています。

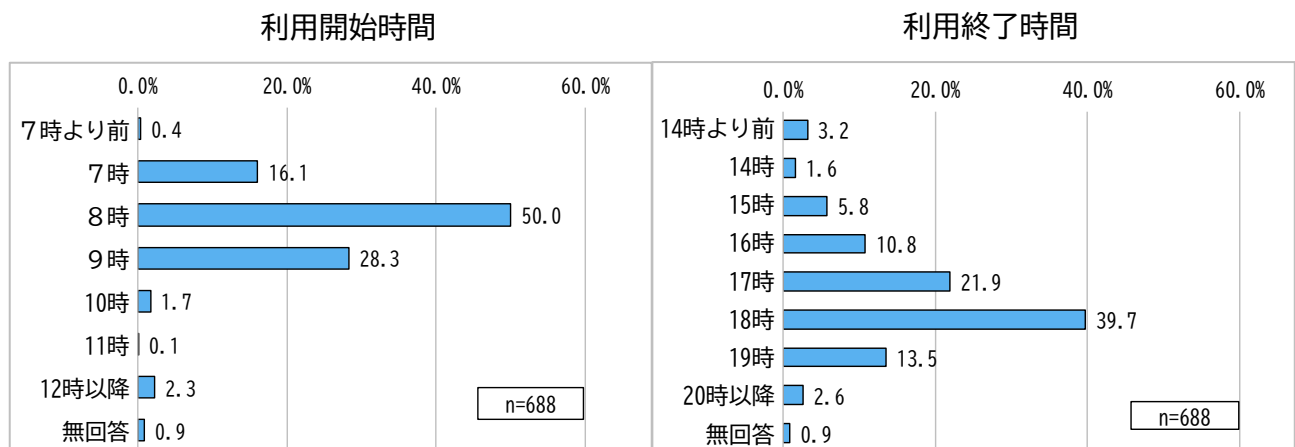
図 13-4 長期休業時の利用希望



②利用希望時間

利用希望時間について、利用開始時間は「8時」が50.0%で最も多く、次いで「9時」が28.3%となっています。利用終了時間は「18時」が39.7%で最も多く、次いで「17時」が21.9%となっています。

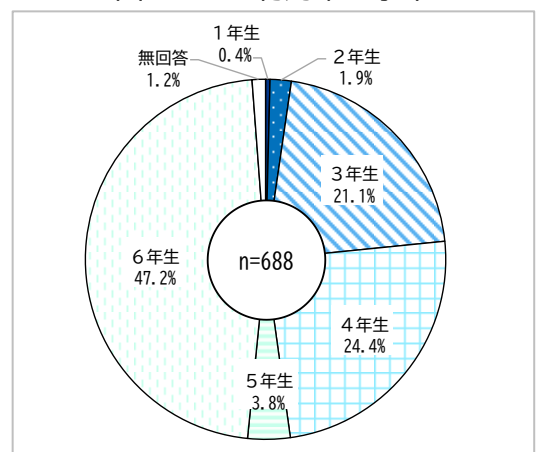
図 13-5 利用希望時間



③利用希望学年

利用希望学年について、「6年生」が47.2%で最も多く、次いで「4年生」が24.4%となっています。

図 13-6 利用希望学年



14 ご家庭の状況について

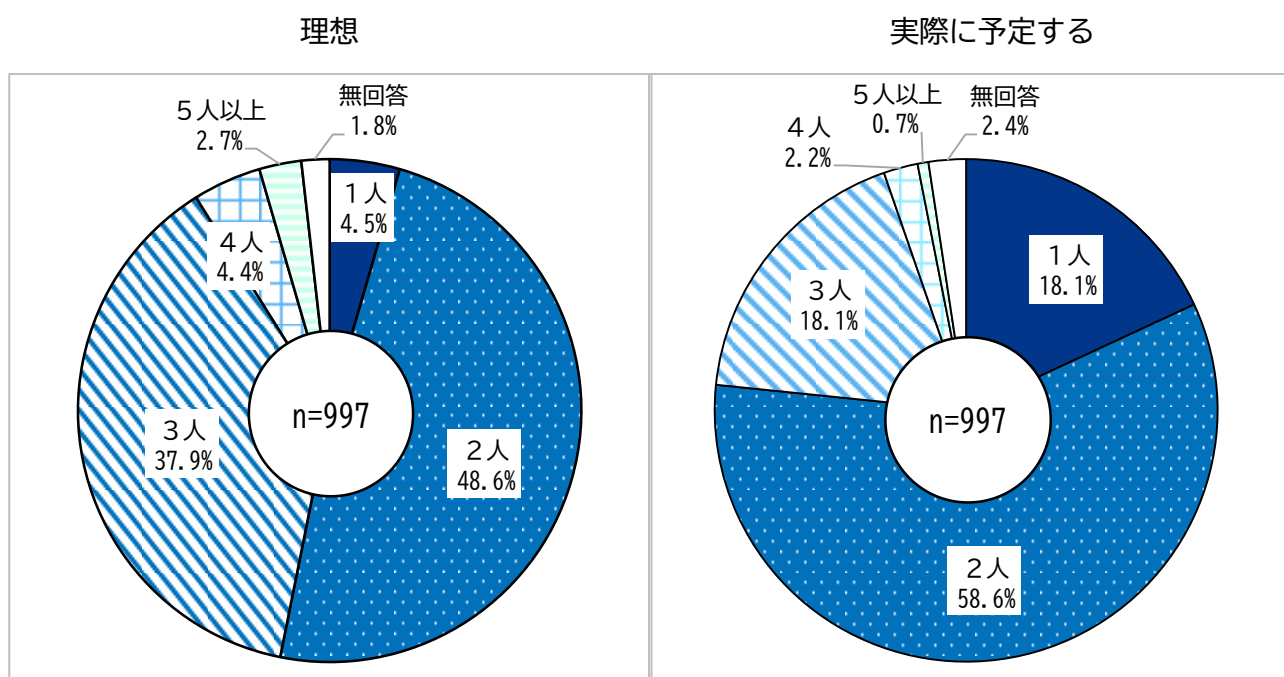
(1) 子どもの人数

問 22 あなた（ご夫婦）の理想とする子どもの数は何人ですか。また、実際に予定する子どもの数は何人ですか。

理想とする子どもの人数について、「2人」が48.6%で最も多く、次いで「3人」が37.9%となっています。

実際に予定する子どもの人数について、「2人」が58.6%で最も多く、次いで「1人」「3人」が18.1%となっています。

図 14-1 子どもの人数



(2) 理想とする子どもの数より少ない理由

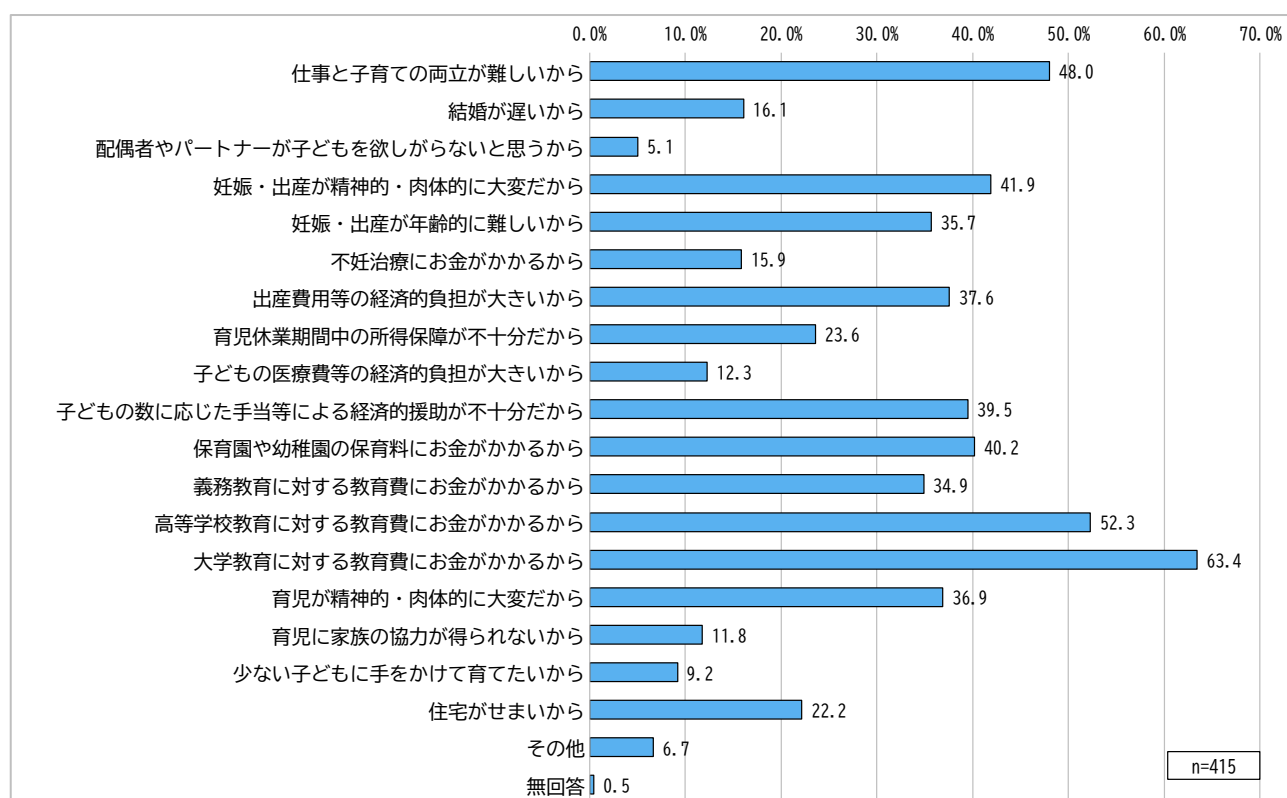
【問 22 で、実際に予定する子どもの数が、理想とする子どもの数より少ない方にうかがいます。】

問 22-1 実際に予定する子どもの数が、理想とする子どもの数より少ない理由は何ですか。

(複数回答)

理想とする子どもの数より少ない理由について、「大学教育に対する教育費にお金がかかるから」が 63.4%で最も多く、次いで「高等学校教育に対する教育費にお金がかかるから」が 52.3%となっています。

図 14-2 理想とする子どもの数より少ない理由

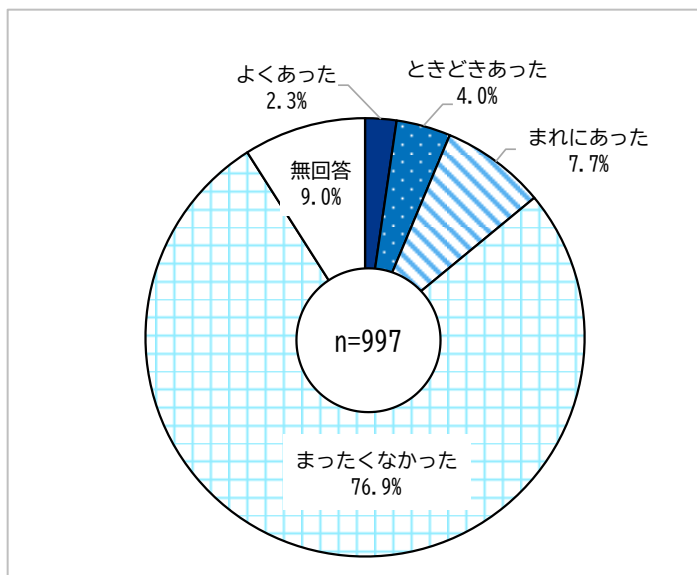


(3) 必要とする食料や衣類が買えなかった経験

問 23 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料や衣類が買えないことがありましたか。

必要とする食料や衣類が買えなかった経験について、「まったくなかった」が76.9%で最も多く、次いで「まれにあった」が7.7%となっています。

図 14-3 必要とする食料や衣類が買えなかった経験

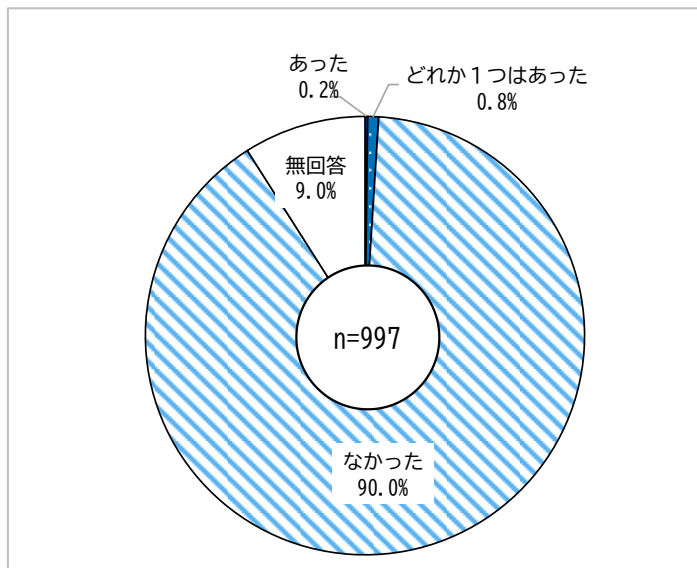


(4) 電気、ガス、水道を止められた経験

問 24 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道を止められたことがありましたか。

電気、ガス、水道を止められた経験について、「なかった」が90.0%で最も多く、次いで「どれか1つはあった」が0.8%となっています。

図 14-4 電気、ガス、水道を止められた経験



©

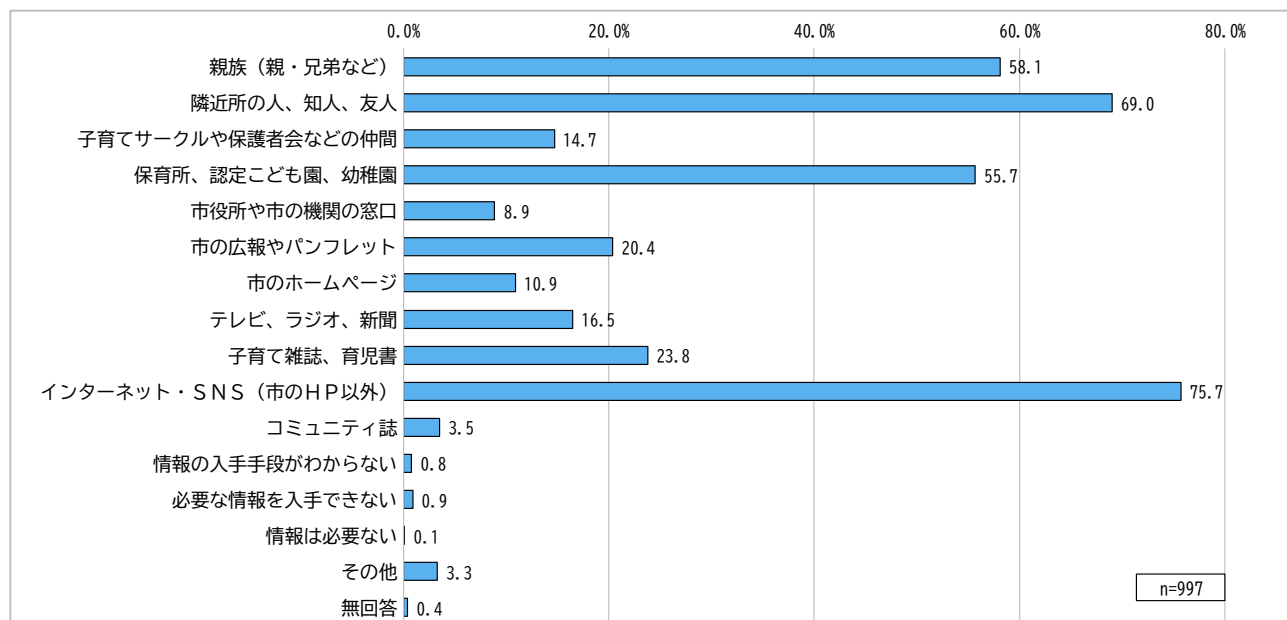
15 子育て環境について

(1) 情報の入手方法

問 25 あなたは、子育てに関する情報を主としてどこから（または、誰から）入手していますか。（複数回答）

情報の入手方法について、「インターネット・SNS（市のHP以外）」が75.7%で最も多く、次いで「隣近所の人、知人、友人」が69.0%となっています。

図 15-1 情報の入手方法

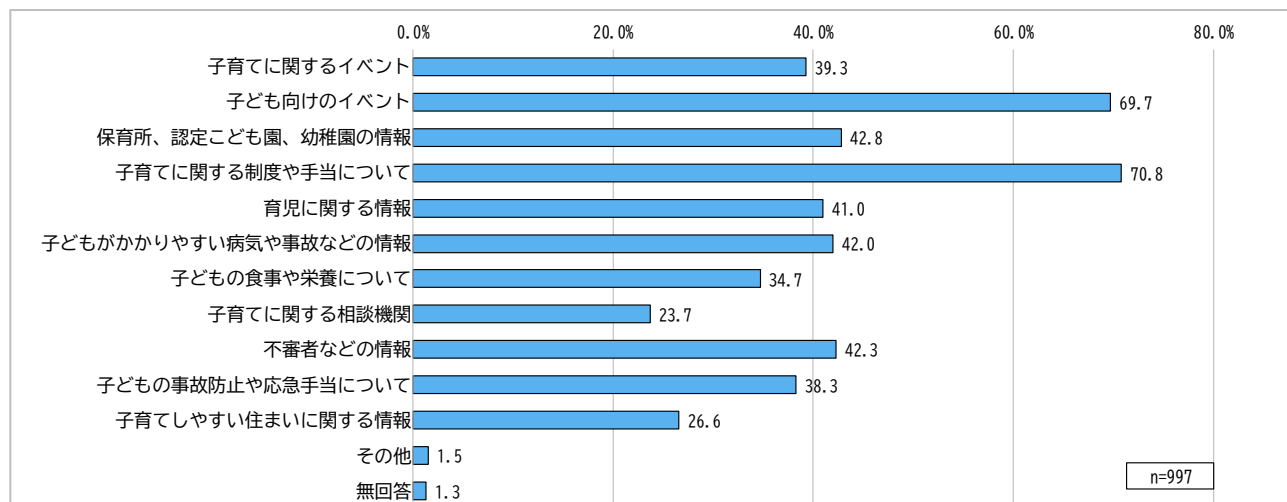


(2) 子育てに関して求める情報

問 26 あなたは、子育てに関するどのような情報がほしいですか。（複数回答）

子育てに関して求める情報について、「子育てに関する制度や手当について」が70.8%で最も多く、次いで「子ども向けのイベント」が69.7%となっています。

図 15-2 子育てに関して求める情報

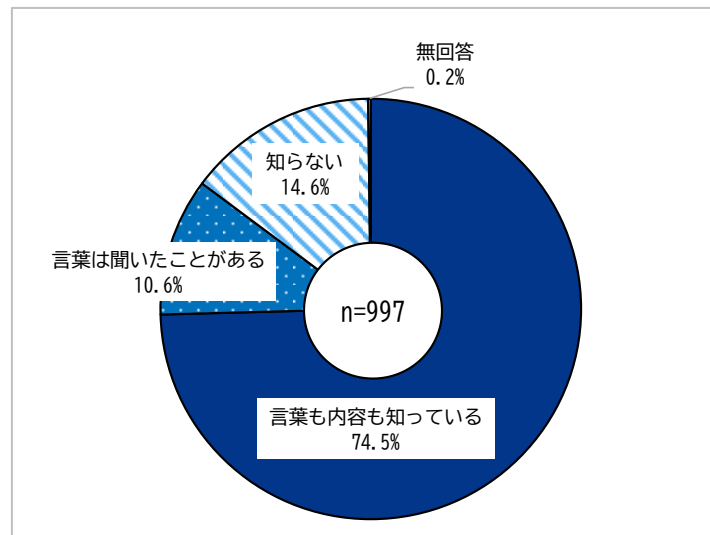


(3) ヤングケアラーの認知状況

問 27 あなたは、ヤングケアラーという言葉を知っていますか。

ヤングケアラーの認知状況について、「言葉も内容も知っている」が 74.5%で最も多く、次いで「知らない」が 14.6%となっています。

図 15-3 ヤングケアラーの認知状況

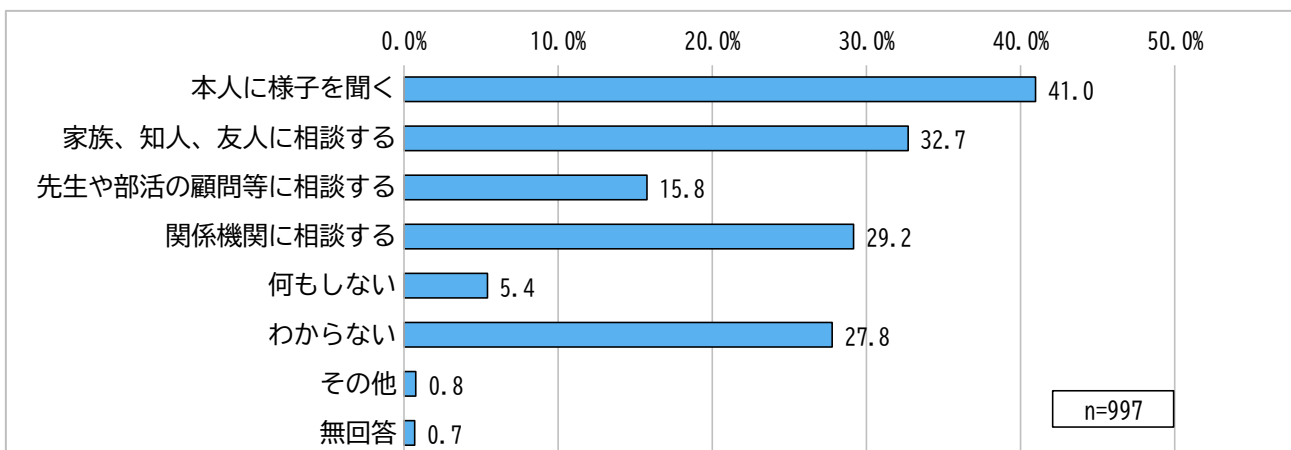


(4) ヤングケアラーと思われる人がいた場合の対処方法

問 28 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応しますか。
(複数回答)

ヤングケアラーと思われる人がいた場合の対処方法について、「本人に様子を聞く」が 41.0%で最も多く、次いで「家族、知人、友人に相談する」が 36.1%となっています。

図 15-4 ヤングケアラーと思われる人がいた場合の対処方法

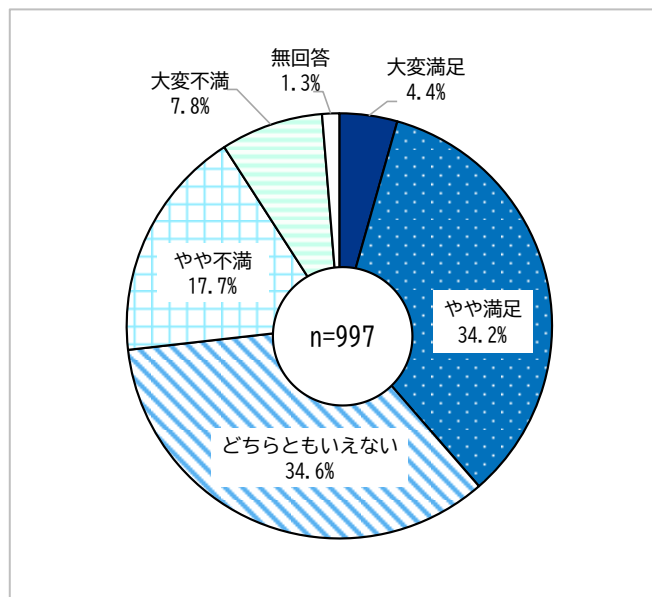


（５）習志野市における子育ての環境や支援への満足度

問 29 習志野市における子育ての環境や支援への満足度はいかがですか。

習志野市における子育ての環境や支援への満足度について、「どちらともいえない」が 34.6%で最も多く、次いで「やや満足」が 34.2%となっています。

図 15-5 習志野市における子育ての環境や支援への満足度

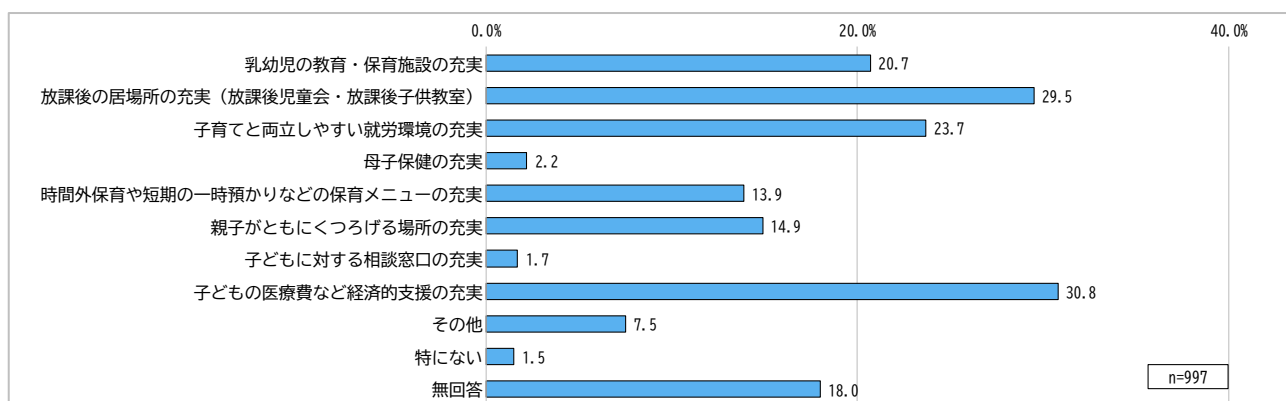


（６）子育てで特に取り組むべき支援策

問 30 習志野市が子育て支援策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。
(番号2つまで選択)

子育てで特に取り組むべき支援策について、「子どもの医療費など経済的支援の充実」が 30.8%で最も多く、次いで「放課後の居場所の充実（放課後児童会・放課後子供教室）」が 29.5%となっています。

図 15-6 子育てで特に取り組むべき支援策



Ⅲ 調査結果（就学児童）

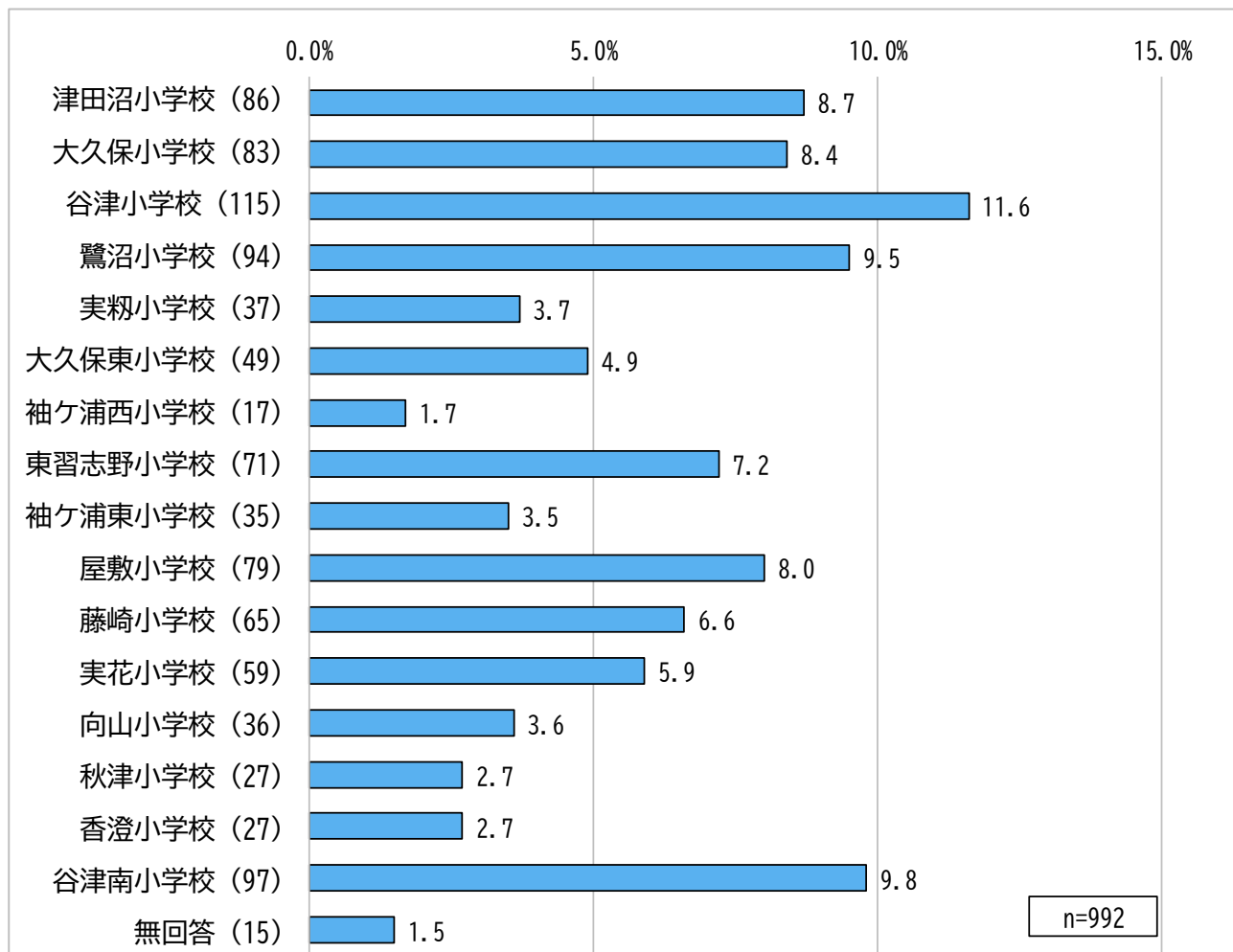
1 居住地域について

(1) 居住小学校区

問1 お住まいの地区はどの小学校区ですか。

居住小学校区について、「谷津小学校」が11.6%で最も多く、次いで「谷津南小学校」が9.8%となっています。

図1-1 居住小学校区

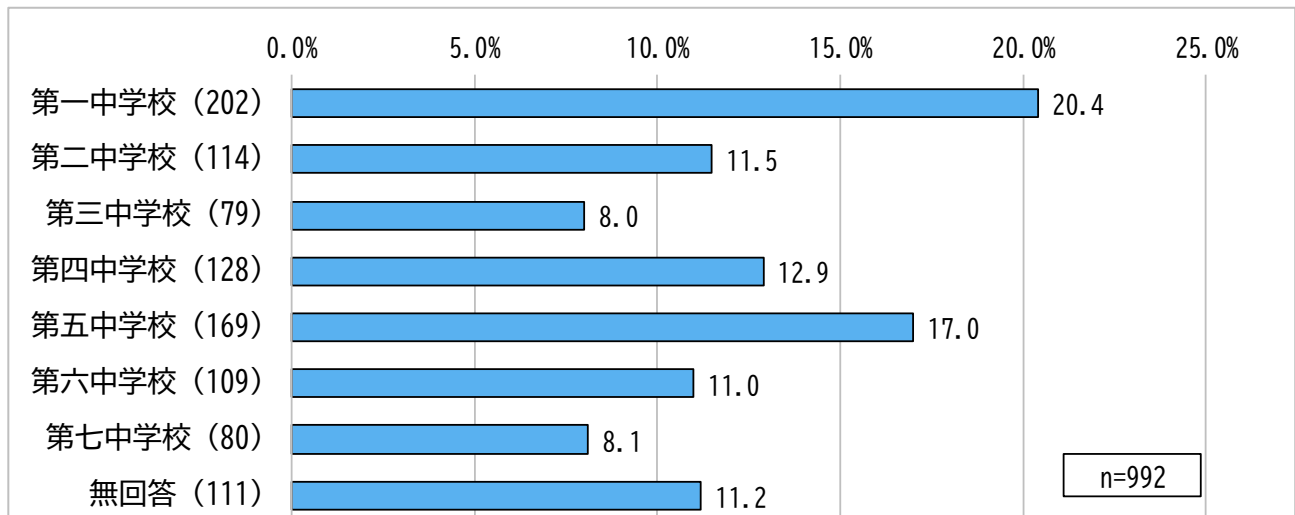


(2) 居住中学校区

問2 お住まいの地区はどの中学校区ですか。

居住中学校区について、「第一中学校」が20.4%で最も多く、次いで「第五中学校」が17.0%となっています。

図1-2 居住中学校区



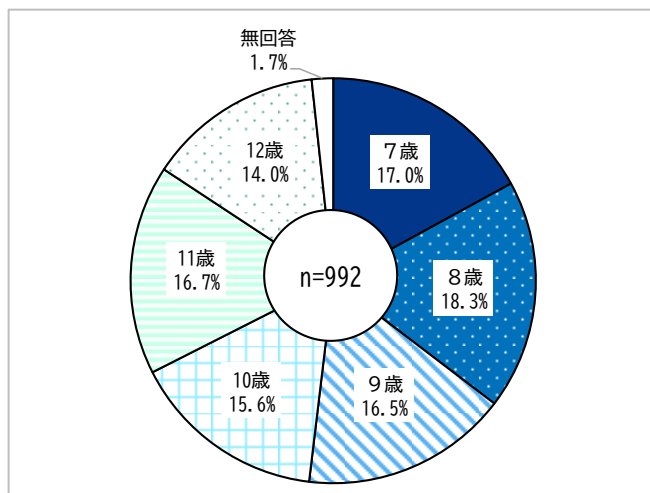
2 子どもについて

(1) 子どもの年齢

問3 あて名のお子さんの生年月をうかがいます。

子どもの年齢について、「8歳」が18.3%で最も多く、次いで「7歳」が17.0%となっています。

図2-1 子どもの年齢



※この設問では子どもの生年月をうかがいましたが、この報告書では以下の年齢区分に従って集計しています。また、年齢ごとの配布数及び回収数・回収率は以下のとおりです。

年齢		対象年齢該当生年月	配布数	回収数	回収率
就学児童	7歳	平成28年4月～平成29年3月	333	169	50.8%
	8歳	平成27年4月～平成28年3月	335	182	54.3%
	9歳	平成26年4月～平成27年3月	329	164	49.8%
	10歳	平成25年4月～平成26年3月	320	155	48.4%
	11歳	平成24年4月～平成25年3月	333	166	49.8%
	12歳	平成23年4月～平成24年3月	350	139	39.7%

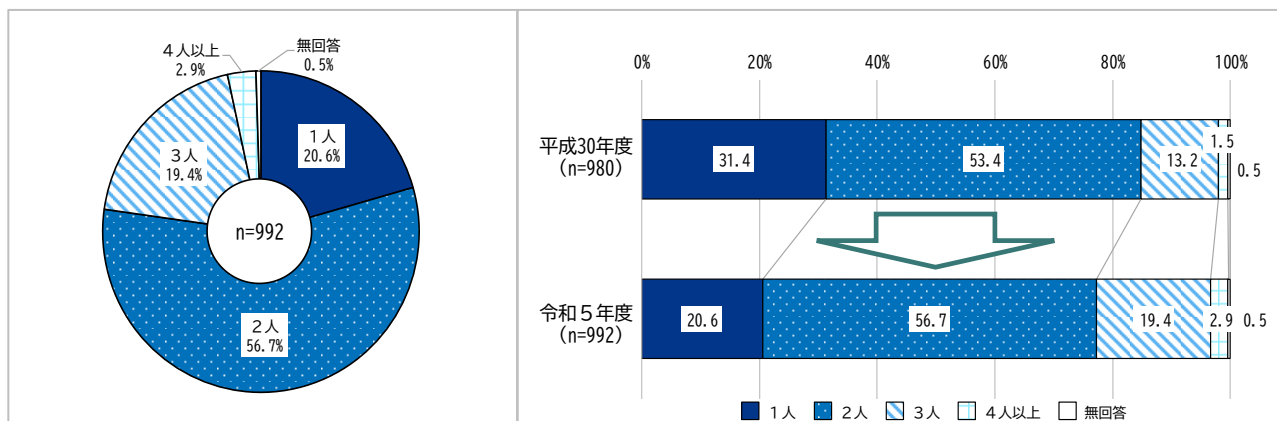
(2) 子どもの人数

問4 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、あて名のお子さんは、上から何人目のお子さんですか。

①子どもの人数

子どもの人数について、「2人」が56.7%で最も多く、次いで「1人」が20.6%となっています。平成30年度調査と比較すると、「1人」の割合が減少しています。

図2-2 子どもの人数

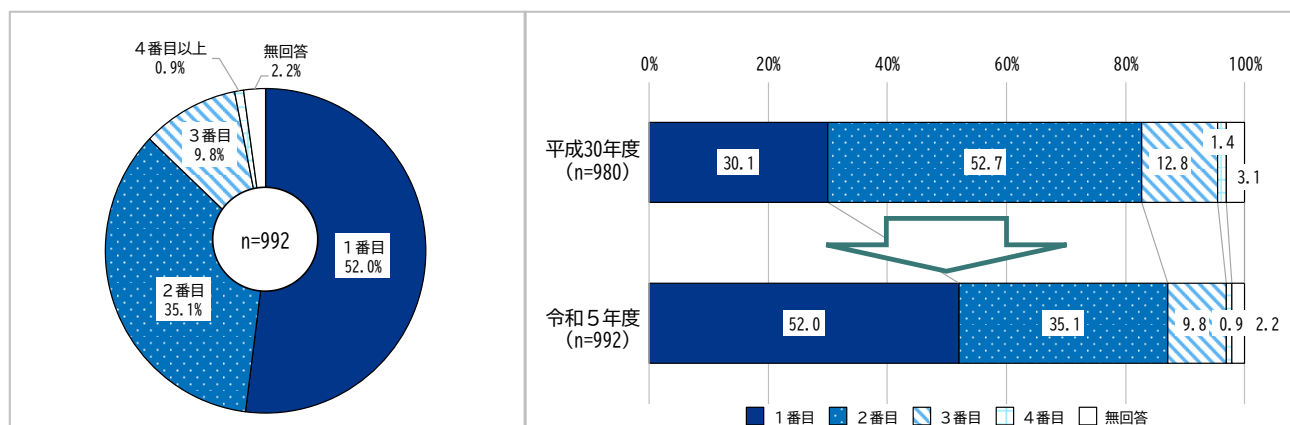


②あて名の子どもの出生順位

あて名の子どもの出生順位について、「1番目」が52.0%で最も多く、次いで「2番目」が35.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1番目」の割合が増加しています。

図2-3 あて名の子どもの出生順位



3 家族関係について

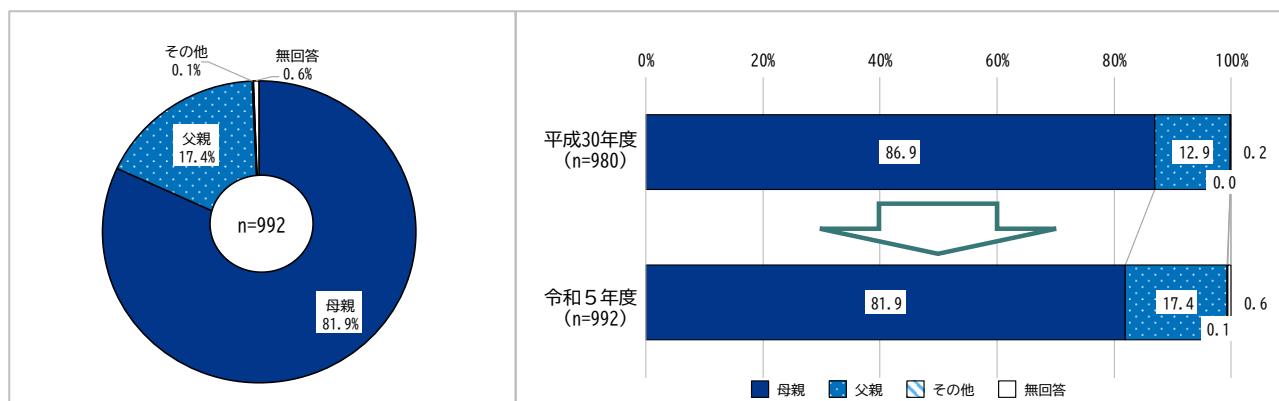
(1) 回答者の属性

問5 この調査票に回答いただいている方は、あて名のお子さんからみて次のどれにあたりますか。

回答者の属性について、「母親または母親に相当する方」が 81.9%で最も多く、次いで「父親または父親に相当する方」が 17.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「父親または父親に相当する方」の割合が増加しています。

図3-1 回答者の属性



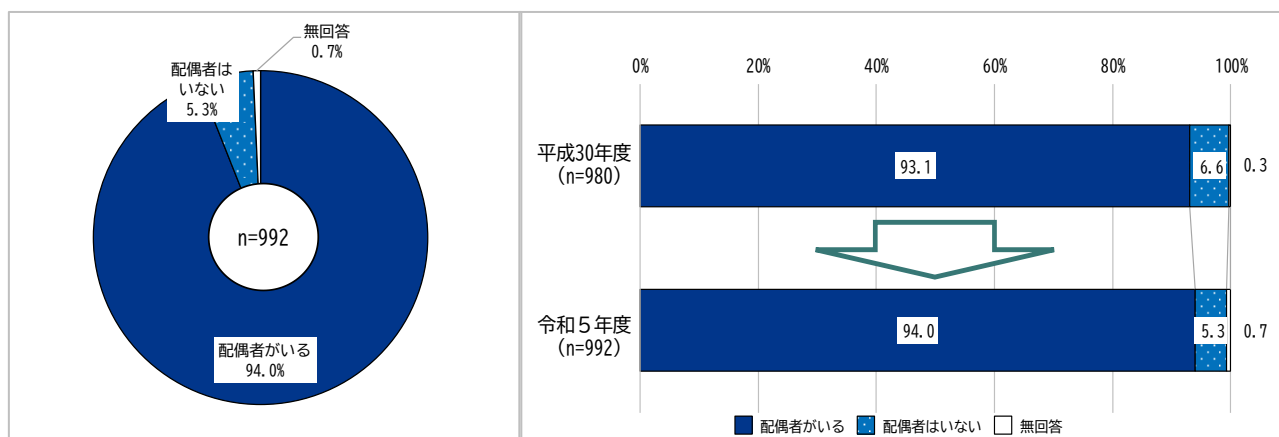
(2) 回答者の配偶者の有無

問6 この調査票に回答いただいている方に配偶者（パートナーを含む）はいますか。

配偶者の回答の有無について、「配偶者（パートナー含む）がいる」が 94.0%で最も多く、次いで「配偶者（パートナー含む）はいない」が 5.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「配偶者（パートナー含む）がいる」の割合が増加しています。

図3-2 回答者の配偶者の有無



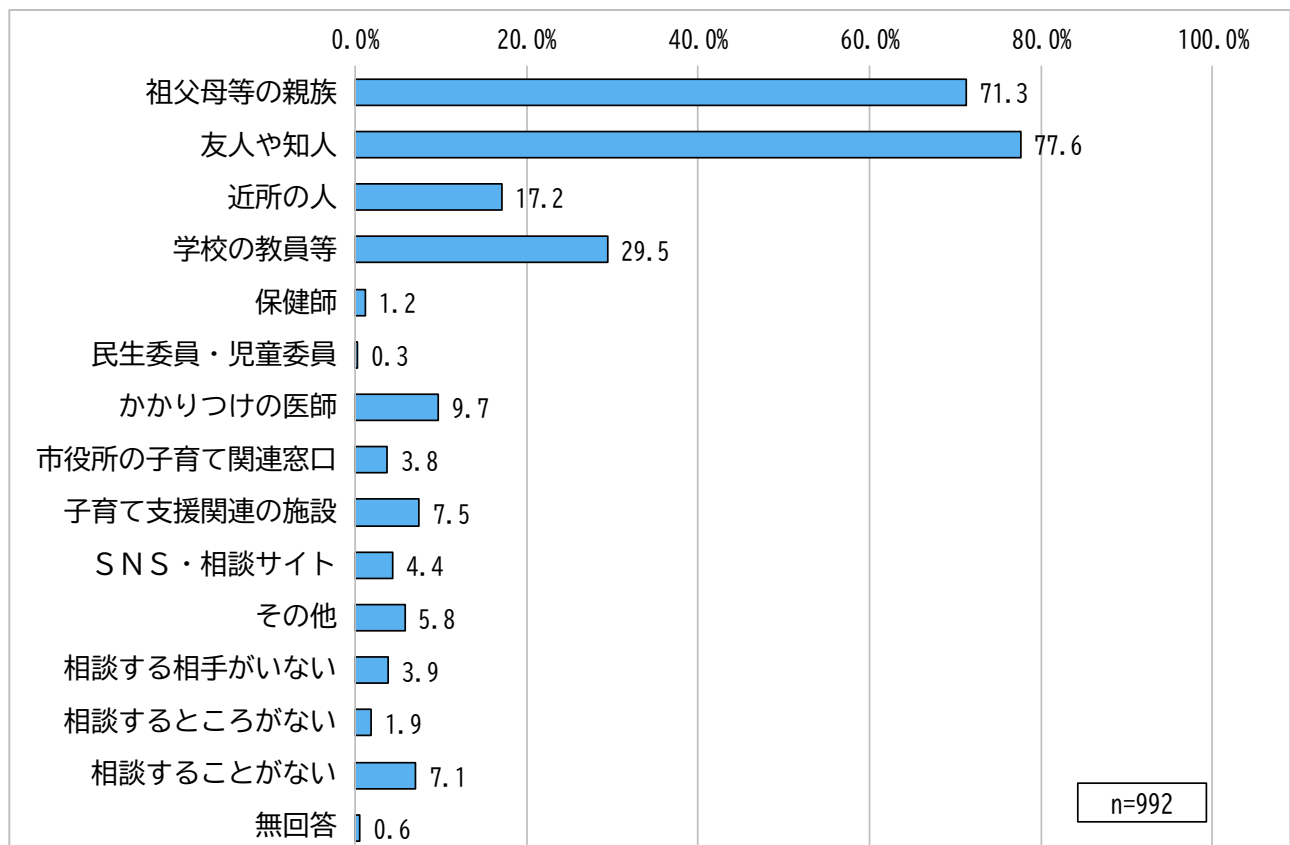
4 子育て環境について

(1) 気軽に相談できる先

問7 子育てに関して気軽に相談できる先はありますか。それは誰あるいはどこですか。
(複数回答)

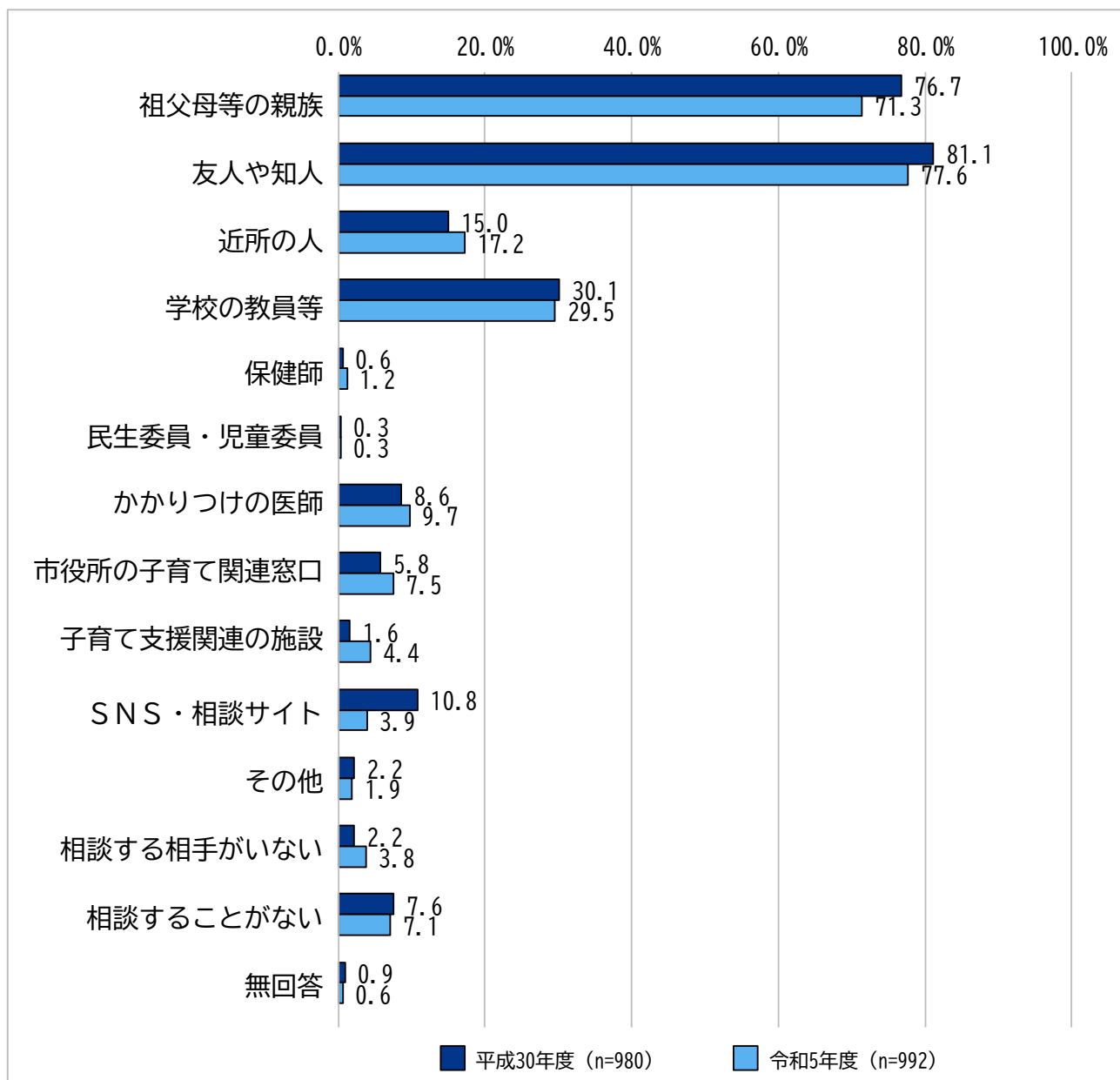
気軽に相談できる先について、「友人や知人」が77.6%で最も多く、次いで「祖父母等の親族」が71.3%となっています。

図4-1 気軽に相談できる先



平成 30 年度調査と選択肢等が同一ではないため単純比較はできないものの、平成 30 年度調査と比較すると、「SNS・相談サイト」の割合が減少して、「子育て支援関連の施設」の割合が増加しています。

図 4-1 気軽に相談できる先（前回比較）



5 保護者の就労状況について

(1) 就労状況

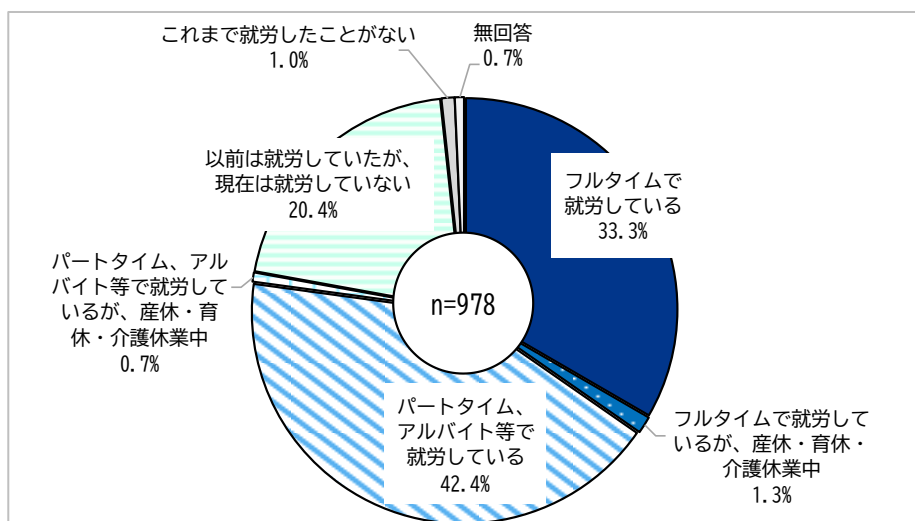
問8 回答者と配偶者（同居のパートナー含む）それぞれの就労状況をうかがいます。

ア 現在の就労状況

①母親の就労状況

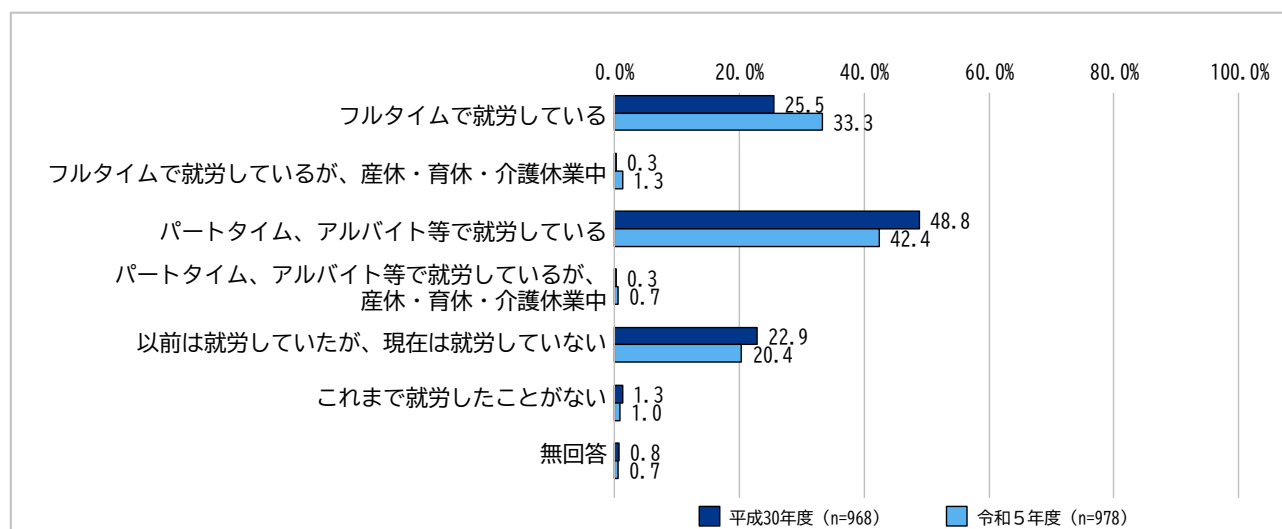
母親の就労状況について、「パート・アルバイト等で就労している」が42.4%で最も多く、次いで「フルタイムで就労している」が33.3%となっています。

図5-1 母親の就労状況



平成30年度調査と比較すると、「パートタイム、アルバイト等で就労している」の割合が減少して、「フルタイムで就労している」の割合が増加しています。

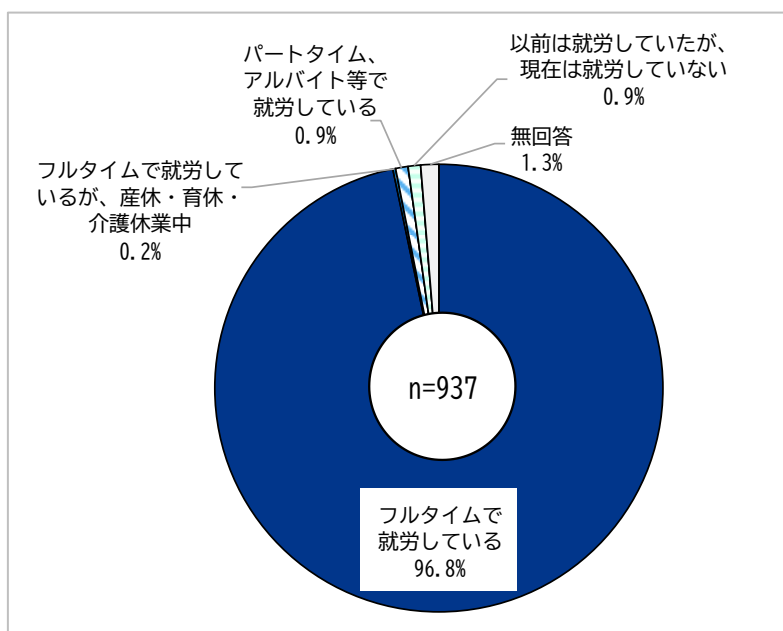
図5-1 母親の就労状況（前回比較）



②父親の就労状況

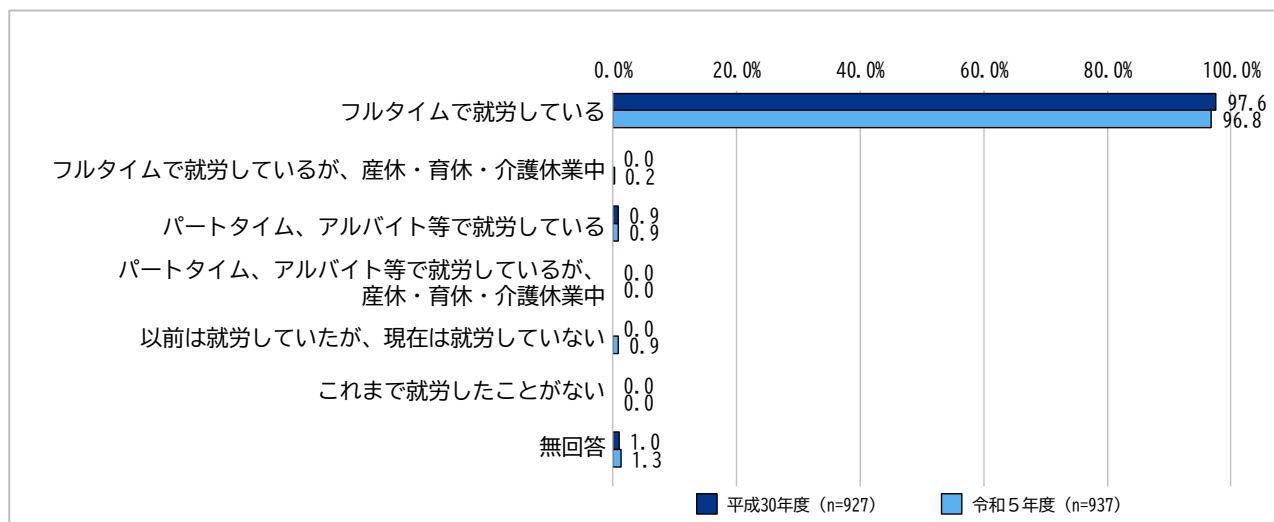
父親の就労状況について、「フルタイムで就労している」が96.8%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労している」「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.9%となっています。

図5-2 父親の就労状況



平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで就労している」の割合が減少して、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が増加しています。

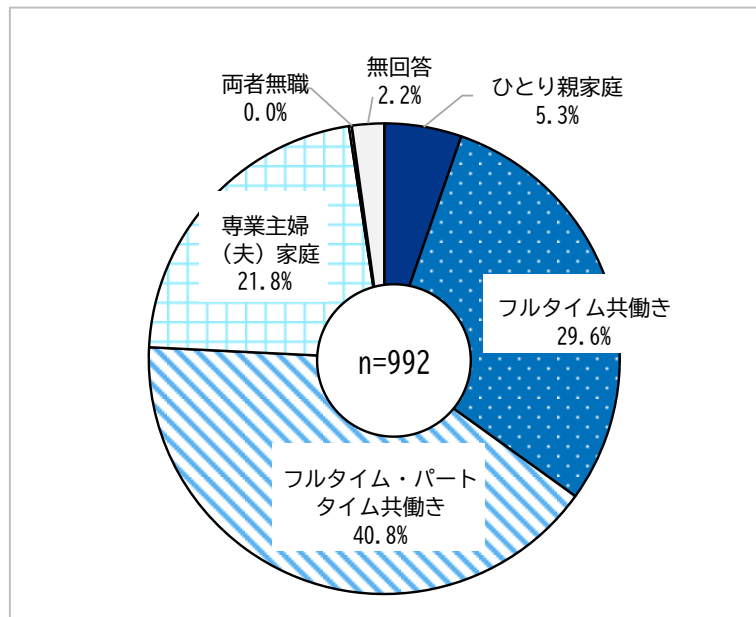
図5-2 父親の就労状況（前回比較）



③就労状況の家族類型

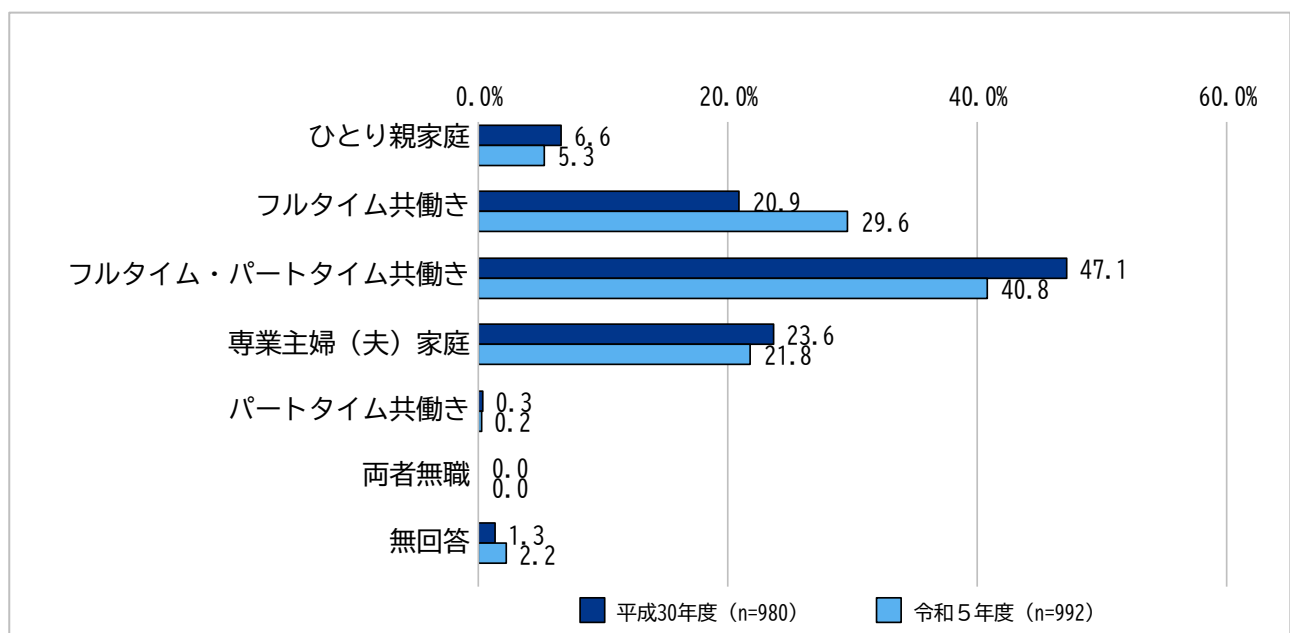
就労状況の家族類型について、「フルタイム・パートタイム共働き」が40.8%で最も多く、次いで「フルタイム共働き」が29.6%となっています。

図5-3 就労状況の家族類型



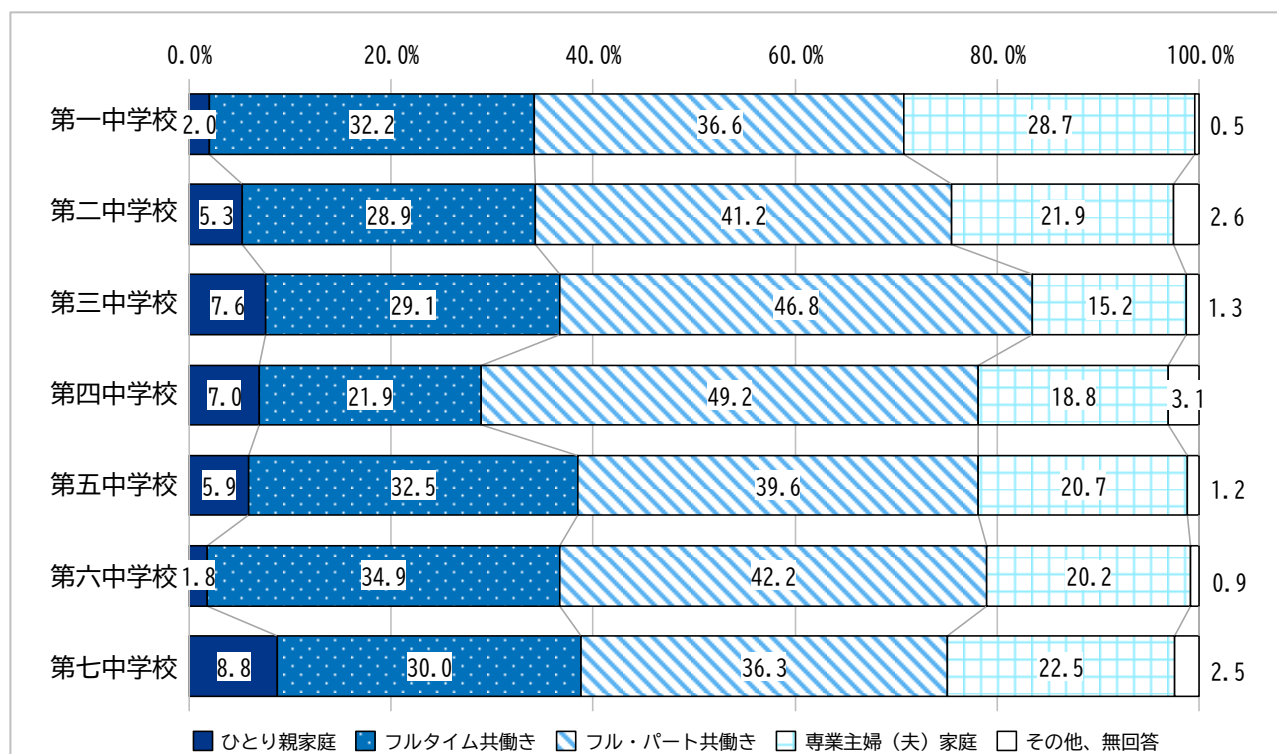
平成30年度調査と比較すると、「フルタイム・パートタイム共働き」の割合が減少して、「フルタイム共働き」の割合が増加しています。

図5-3 就労状況の家族類型（前回比較）



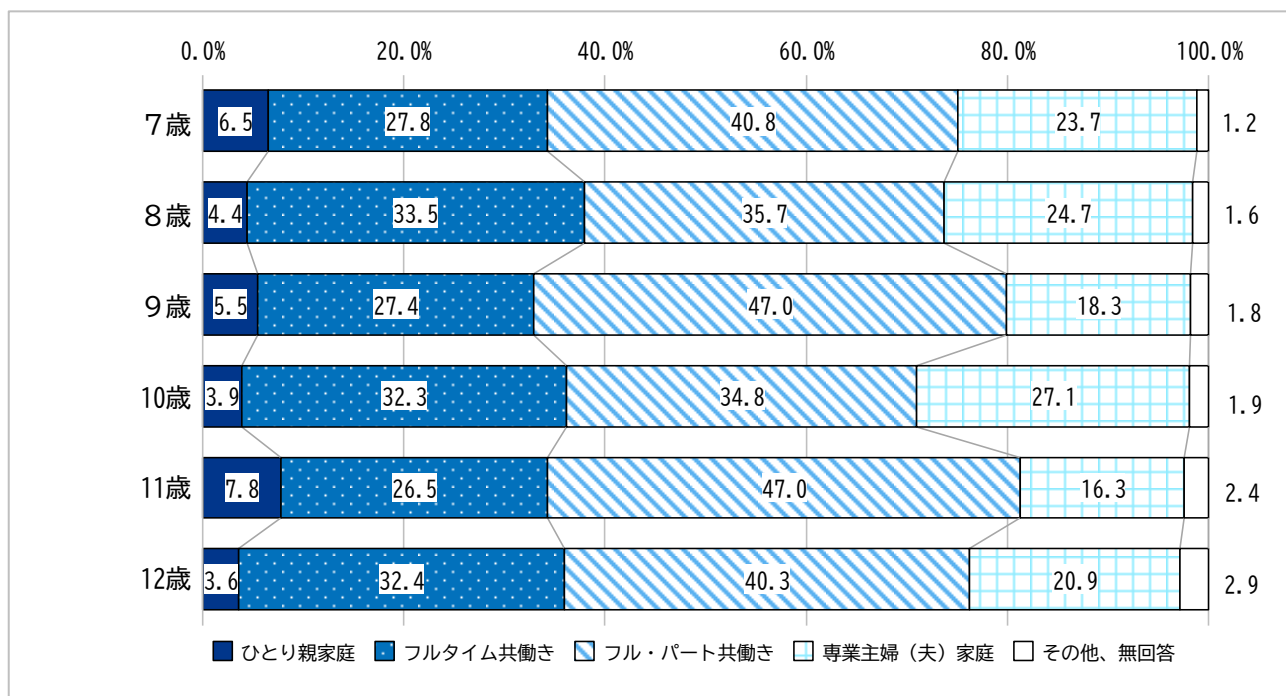
居住中学校区別でみると、全ての中学校区で「フルタイム・パートタイム共働き」が最も多くなっています。次いで、「フルタイム共働き」が多くなっています。

図5-4 就労状況の家族類型（中学校区別）



家族類型でみると、全ての年齢で「フルタイム・パートタイム共働き」が最も多くなっています。次いで、「フルタイム共働き」が多くなっています。

図5-5 就労状況の家族類型（年齢別）



(2) 平均就労日数と時間

【アで「1.」～「4.」（就労している）を選んだ方にうかがいます。（産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。）】

問8 イ 1週当たりの平均的な就労日数

ウ 1日当たりの平均的な就労時間

① 1週当たりの平均就労日数（休業中を含む就労している方）

1週当たりの平均就労日数について、母親、父親ともに「5日」（母親：51.9%、父親 84.1%）が最も多く、次いで母親では「3日」（19.4%）、父親では「6日」（10.5%）となっています。

図5-6 1週当たりの平均就労日数（母親）

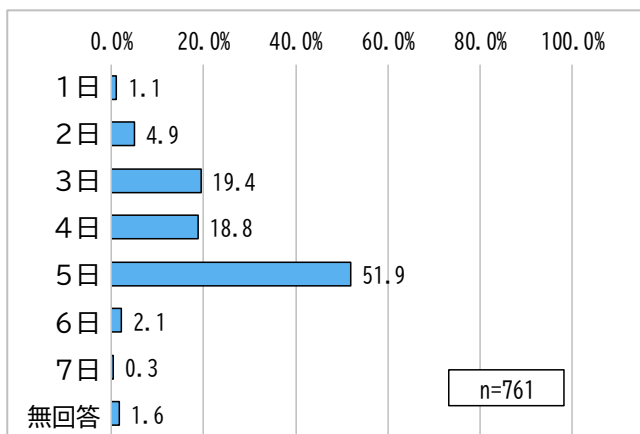
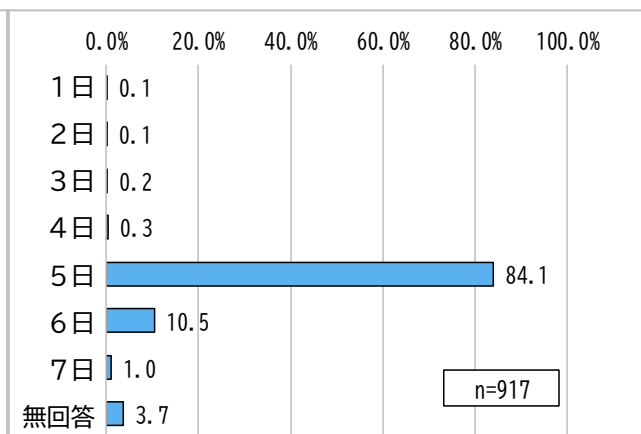


図5-7 1週当たりの平均就労日数（父親）



② 1日当たりの平均就労時間（休業中を含む就労している方）

1日当たりの平均就労時間について、母親、父親ともに「8時間」（母親：26.4%、父親：38.3%）が最も多く、次いで母親では「5時間」（17.5%）、父親では「10時間」（20.7%）となっています。

図5-8 1日当たりの平均就労時間（母親）

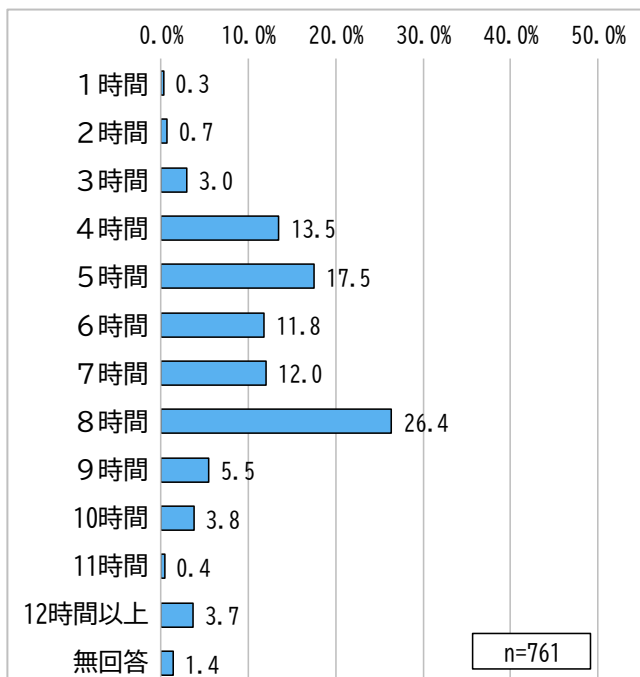
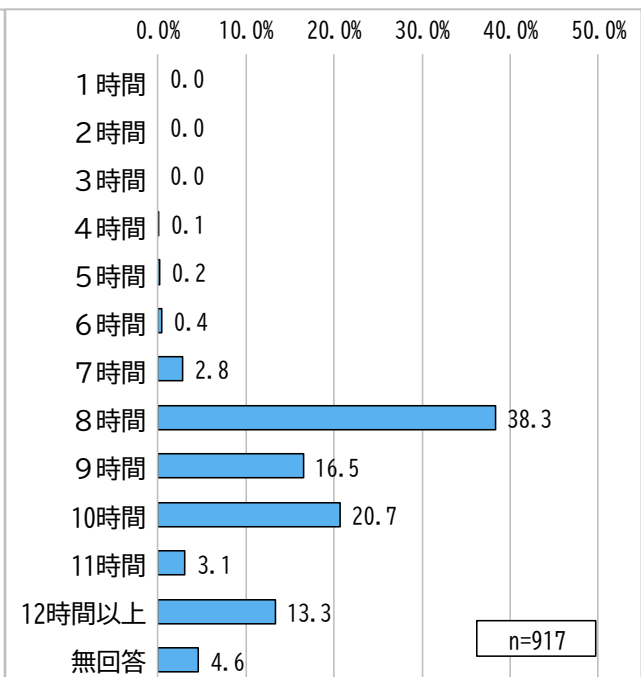


図5-9 1日当たりの平均就労時間（父親）



(3) フルタイムへの移行希望

【アで「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）を選んだ方にうかがいます。】

問8 エ フルタイムへの移行希望

フルタイムへの移行希望について、母親では「パート・アルバイト等が続けたい」が59.7%で最も多く、次いで「フルタイムへの移行希望はあるが、実現できる見込みはない」が26.5%となっています。

図5-10 フルタイムへの移行希望（母親）

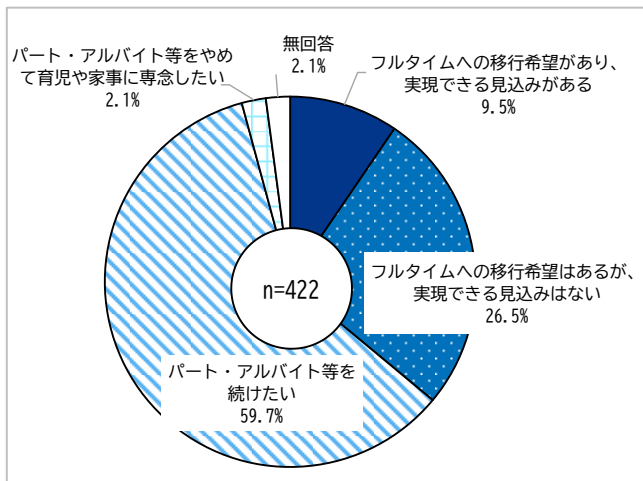
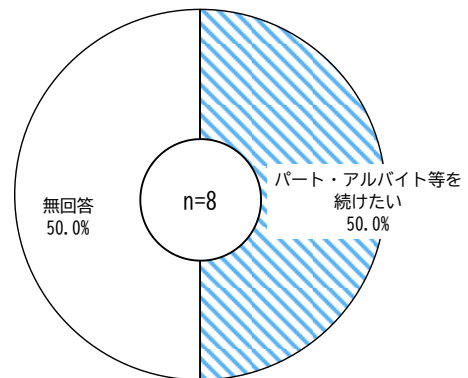


図5-11 フルタイムへの移行希望（父親）



(4) 就労希望（母親）

【アで「5.」または「6.」（就労していない）を選んだ方にうかがいます。】

問8 オ 今後の就労希望

今後の就労希望について、「すぐにでも、または1年以内に就労したい」が48.1%で最も多く、次いで「1年より先、一番下の子どもが○歳になったら」が27.1%となっています。

就労希望の末子年齢について、「1年より先、一番下の子どもが○歳になったら」と回答した方にたずねたところ、「7歳以下」が35.1%で最も多く、次いで「8歳」が14.0%となっています。

図5-12 今後の就労希望（母親）

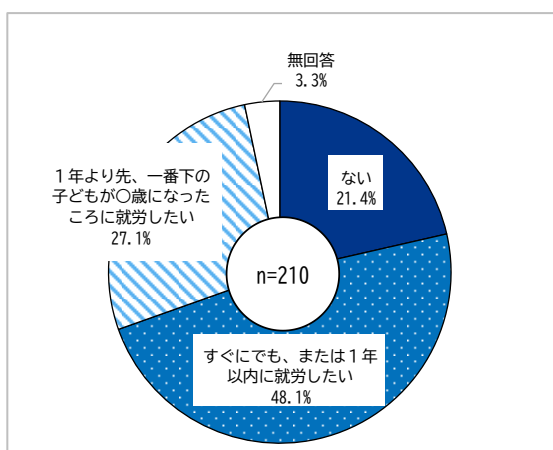
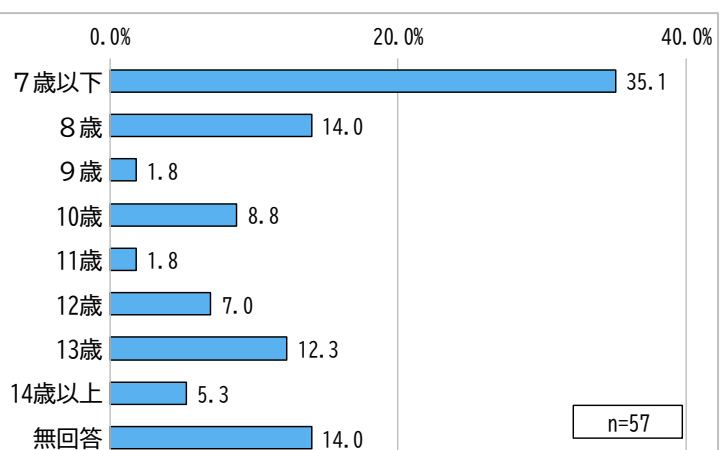


図5-13 就労希望の末子年齢（母親）



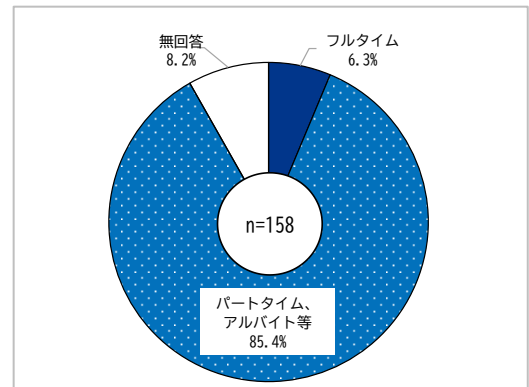
（５）希望する就労形態（母親）

【オで「２．」または「３．」（就労希望有）を選んだ方にうかがいます。】

問８カ 希望する就労形態

希望する就労形態について、「パートタイム、アルバイト等」が85.4%で最も多く、次いで「フルタイム」が6.3%となっています。

図５-14 希望する就労形態



（６）希望する就労日数と時間（母親）

問８キ・ク 希望する就労形態で「パートタイム、アルバイト等」を選んだ方に希望する就労日数と時間をうかがいました。

キ １週当たりの就労希望日数

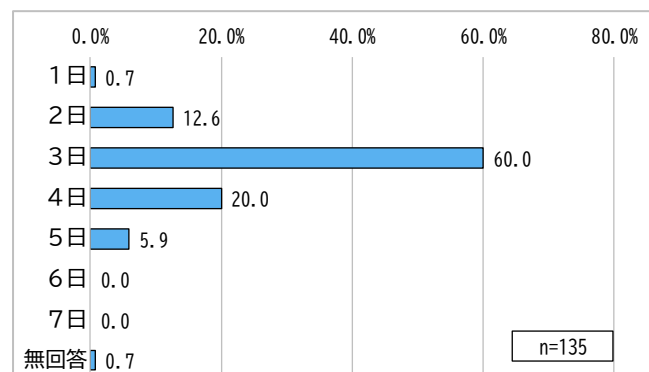
ク １日当たりの就労希望時間

① １週当たりの希望就労日数

（パートタイム、アルバイト等による就労希望者）

１週当たりの希望就労日数について、「３日」が60.0%で最も多く、次いで「４日」が20.0%となっています。

図５-15 １週当たりの希望就労日数

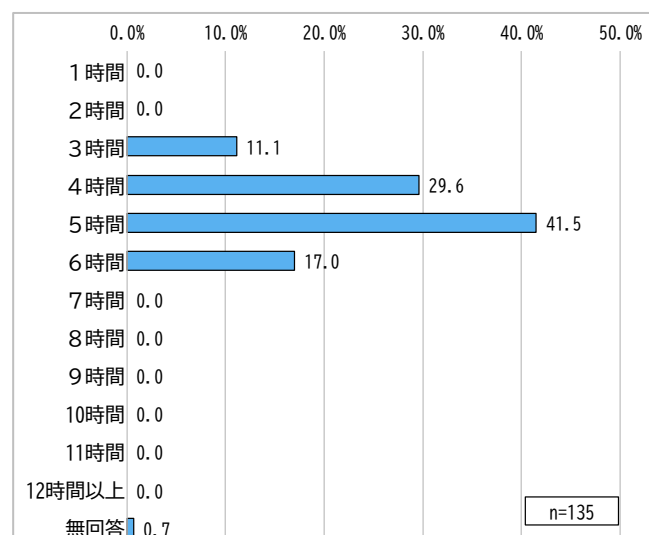


② １日当たりの希望就労時間

（パートタイム、アルバイト等による就労希望者）

１日当たりの希望就労時間について、「５時間」が41.5%で最も多く、次いで「４時間」が29.6%となっています。

図５-16 １日当たりの希望就労時間



6 放課後の過ごし方について

(1) 放課後に過ごさせたい場所と利用希望時間

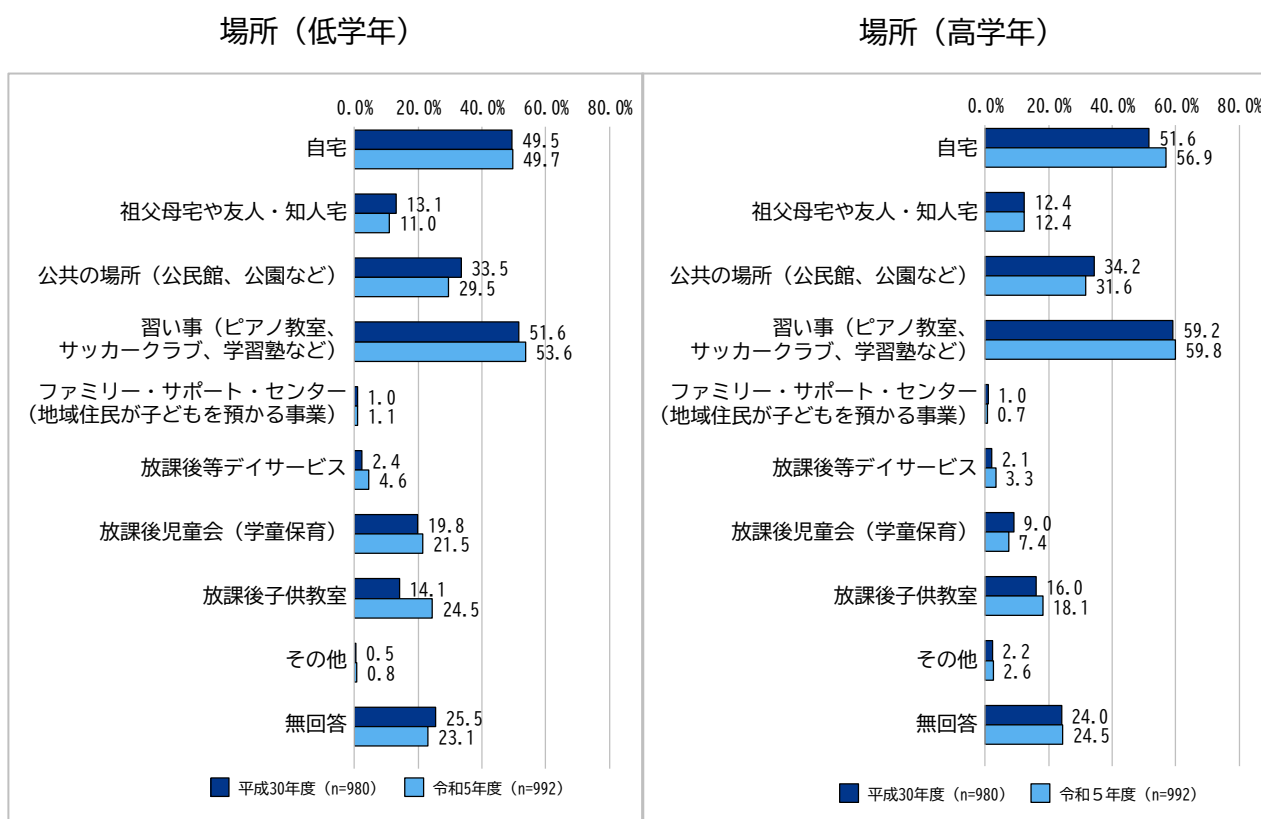
問9 あて名のお子さんについて、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（複数回答）

①放課後に過ごさせたい場所

放課後に過ごさせたい場所について、小学校低学年・小学校高学年ともに、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（低学年：53.6%、高学年：59.8%）が最も多く、次いで「自宅」（低学年：49.7%、高学年：56.9%）となっています。

平成30年度調査と比較すると、小学校低学年・小学校高学年ともに、「公共の場所（公民館、公園など）」の割合が減少して、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「放課後子供教室」などの割合が増加しています。

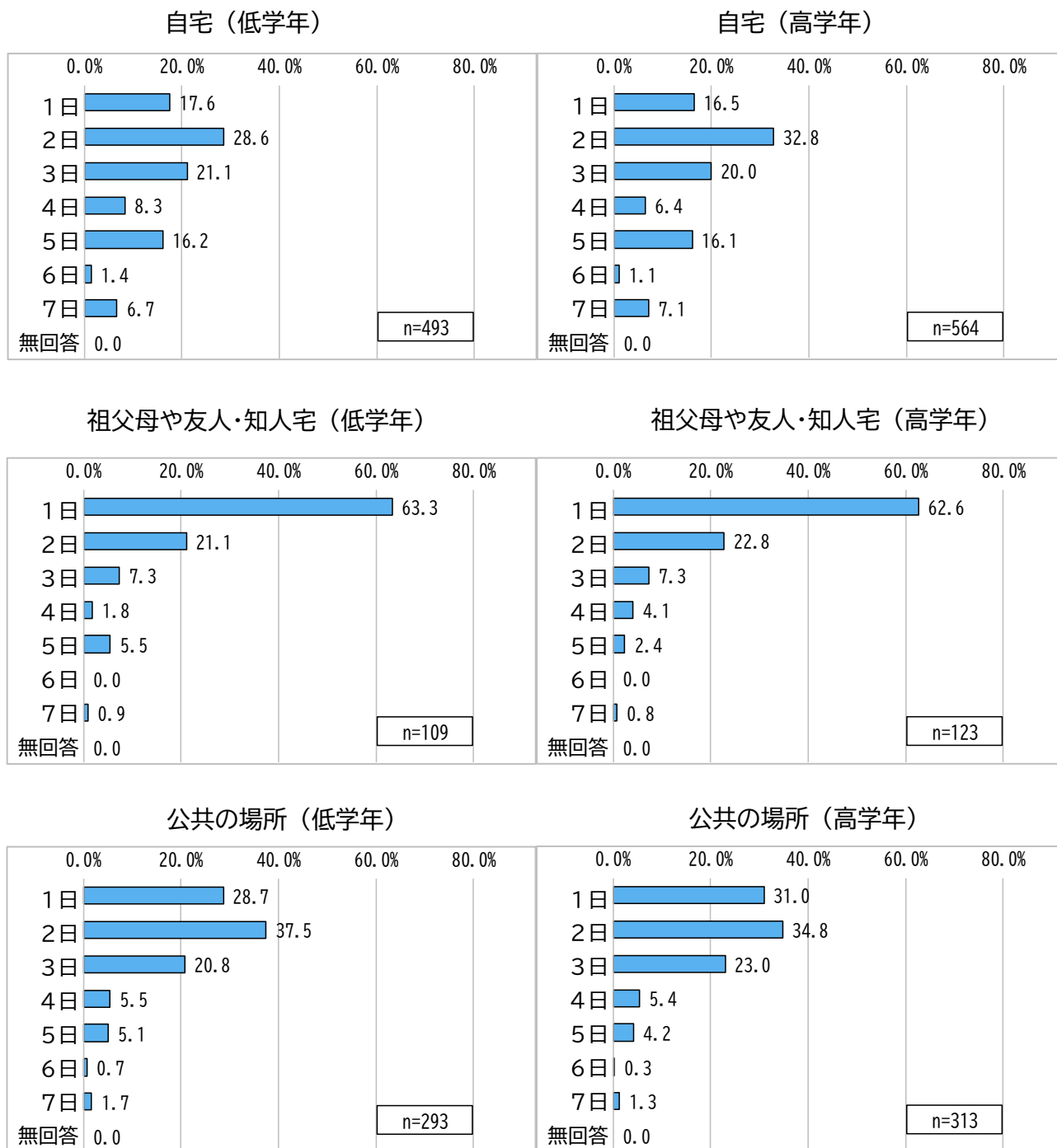
図6-1 放課後に過ごさせたい場所



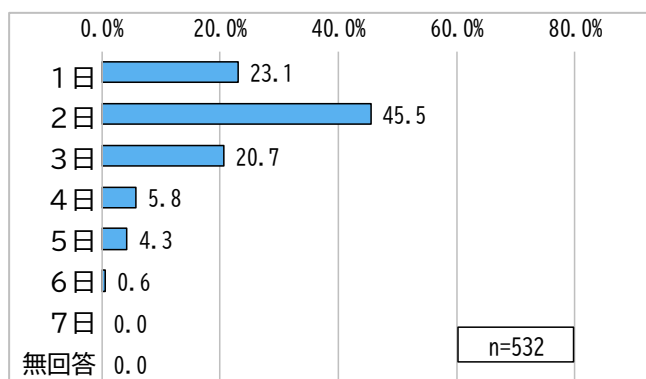
②過ごさせたい週間日数

放課後に過ごさせたい場所ごとの週間日数は以下の通りとなっております。小学校低学年・小学校高学年ともに「祖父母や友人・知人宅」では週1日、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」では週2日、「放課後児童会（学童保育）」では週5日（下校時から18時までの預かり希望）が最も多くなっています。

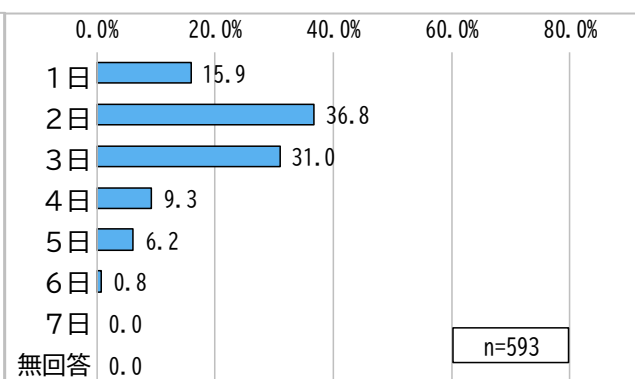
図6-2 放課後に過ごさせたい場所ごとの週間日数



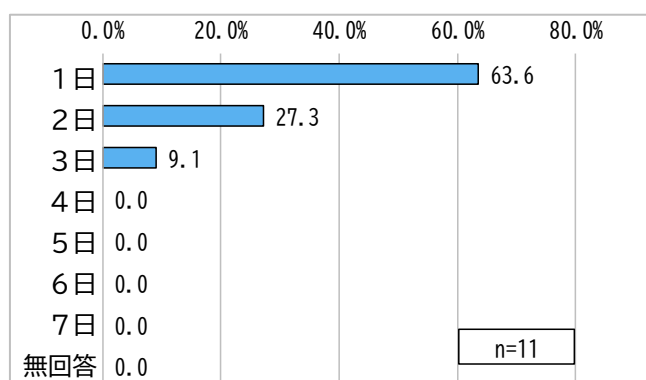
習い事（低学年）



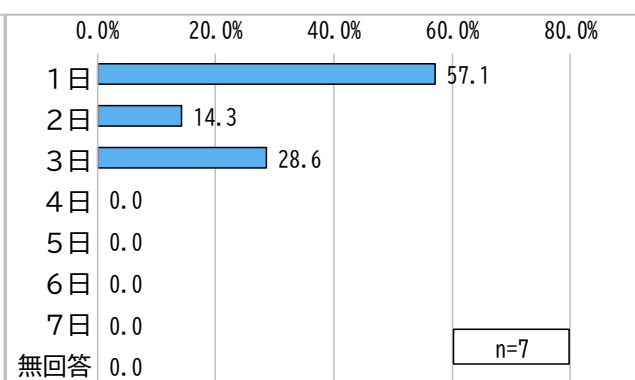
習い事（低学年）



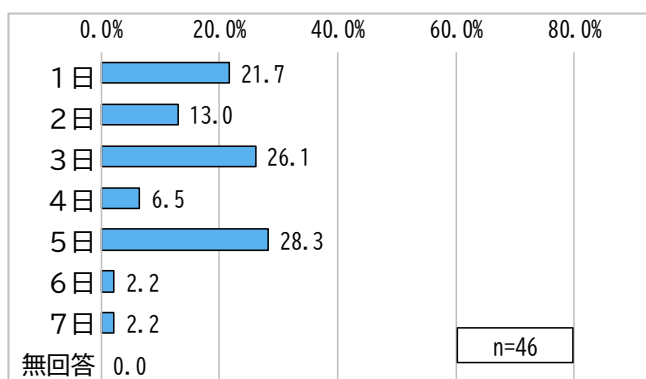
ファミリー・サポート・センター（低学年）



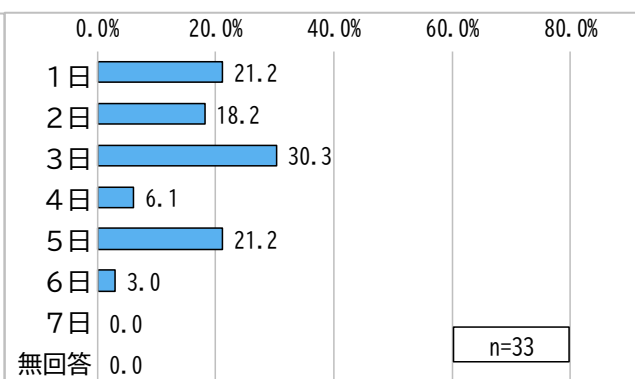
ファミリー・サポート・センター（高学年）



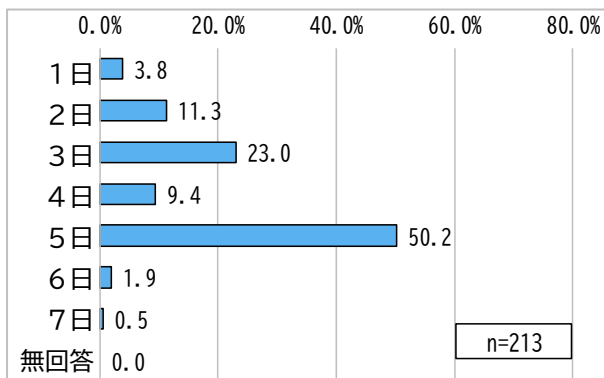
放課後等デイサービス（低学年）



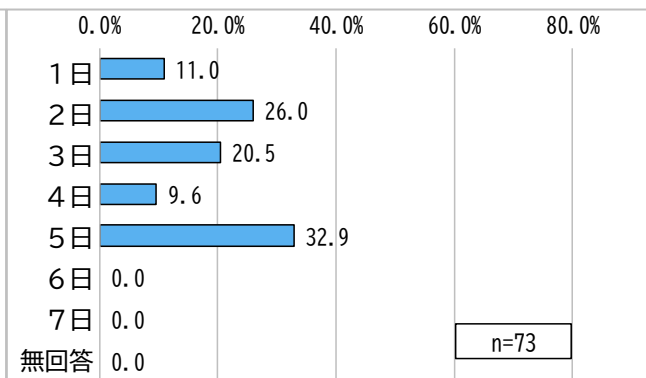
放課後等デイサービス（高学年）



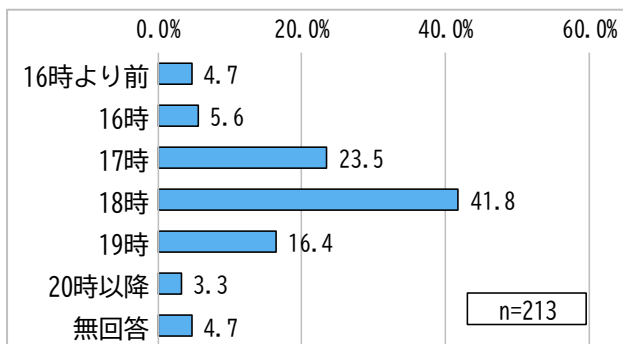
放課後児童会（低学年）



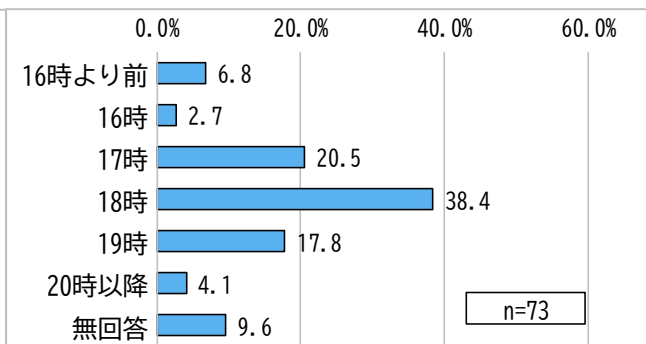
放課後児童会（高学年）



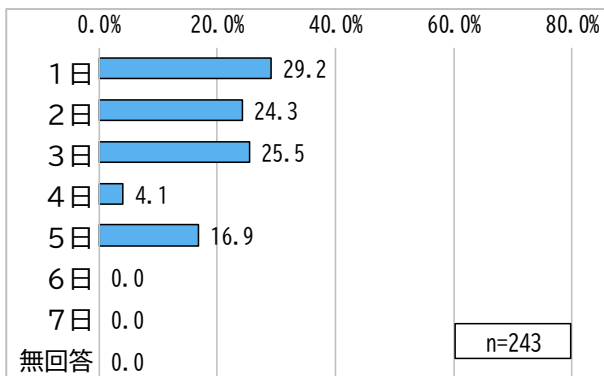
放課後児童会：何時まで（低学年）



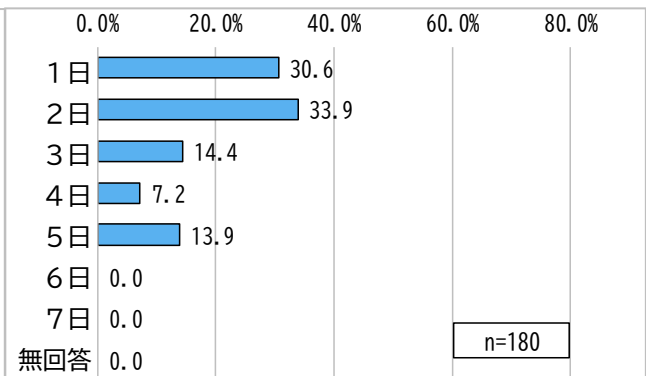
放課後児童会：何時まで（高学年）



放課後子供教室（低学年）



放課後子供教室（高学年）



（２）放課後児童会等の利用希望学年

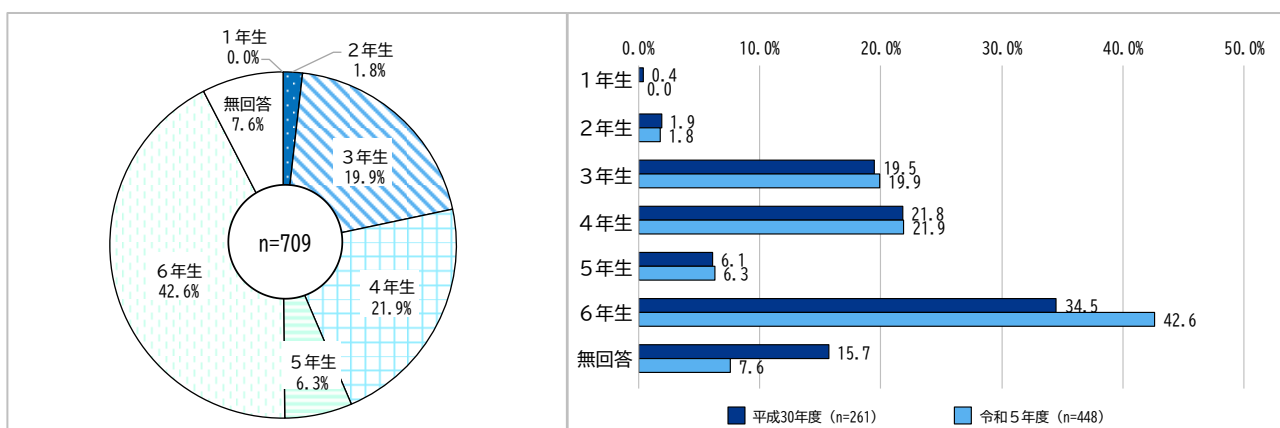
【問9の1～3年生・4～6年生のいずれか、あるいは両方で「⑦放課後児童会（学童保育）」または「⑧放課後子供教室」を選んだ方にうかがいます。】

問9-1 あて名のお子さんについて、「放課後児童会（学童保育）」または「放課後子供教室」の利用を何年生まで希望しますか。

放課後児童会（学童保育）の利用希望学年については、「6年生」が42.6%で最も多く、次いで「4年生」が21.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1年生」の割合が減少して、「6年生」の割合が増加しています。

図6-3 放課後児童会の利用希望学年



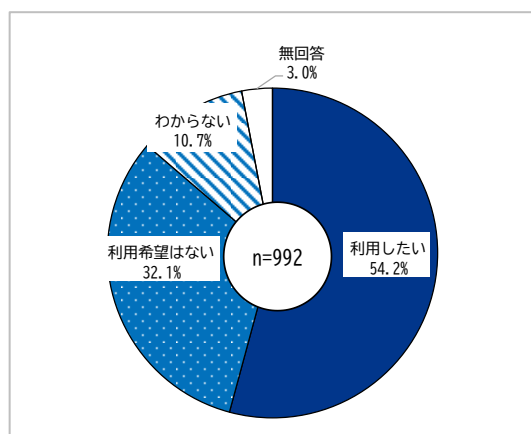
(3) 長期休業期間中の放課後児童会の利用希望

問 10 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休業期間中に放課後児童会（学童保育）または「放課後子供教室」の利用希望がありますか。利用を希望する場合、何時から何時まで利用したいですか。また、何年生まで利用したいですか。

①利用希望

長期休業時の利用希望について、「利用したい」が54.2%で最も多く、次いで「利用希望はない」が32.1%となっています。

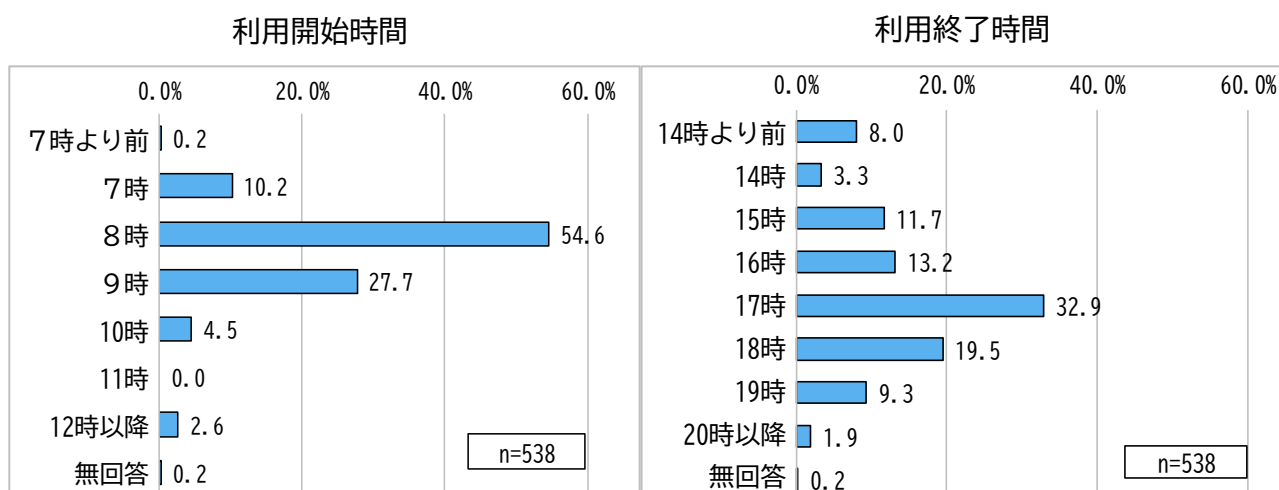
図6-4 長期休業時の利用希望



②利用希望時間

利用希望時間について、開始時間は「8時」が54.6%で最も多く、次いで「9時」が27.7%となっています。終了時間は「17時」が32.9%と最も多く、次いで「18時」が19.5%となっています。

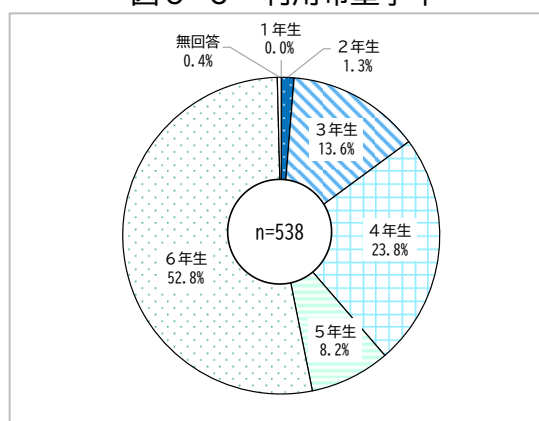
図6-5 利用希望時間



③利用希望学年

利用希望学年について、「6年生」が52.8%で最も多く、次いで「4年生」が23.8%となっています。

図6-6 利用希望学年



7 子どもの病気の際の対応について

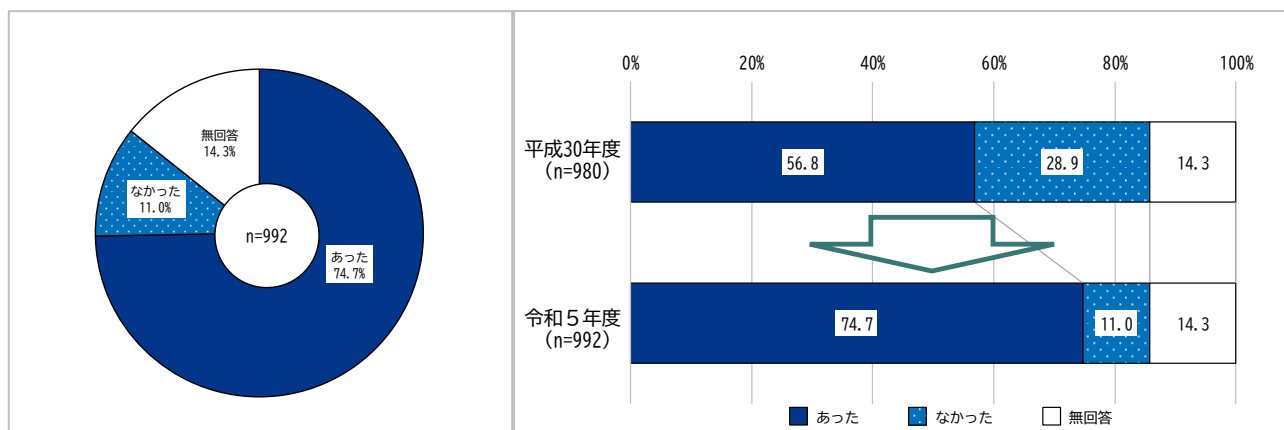
(1) 病気やケガで学校を休んだ経験

問 11 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。

病気やケガで事業が利用できなかった経験について、「あった」が74.7%で最も多く、次いで「なかった」が11.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。

図7-1 病気やケガで事業が利用できなかった経験



(2) 学校を休んだ場合の対処方法と日数

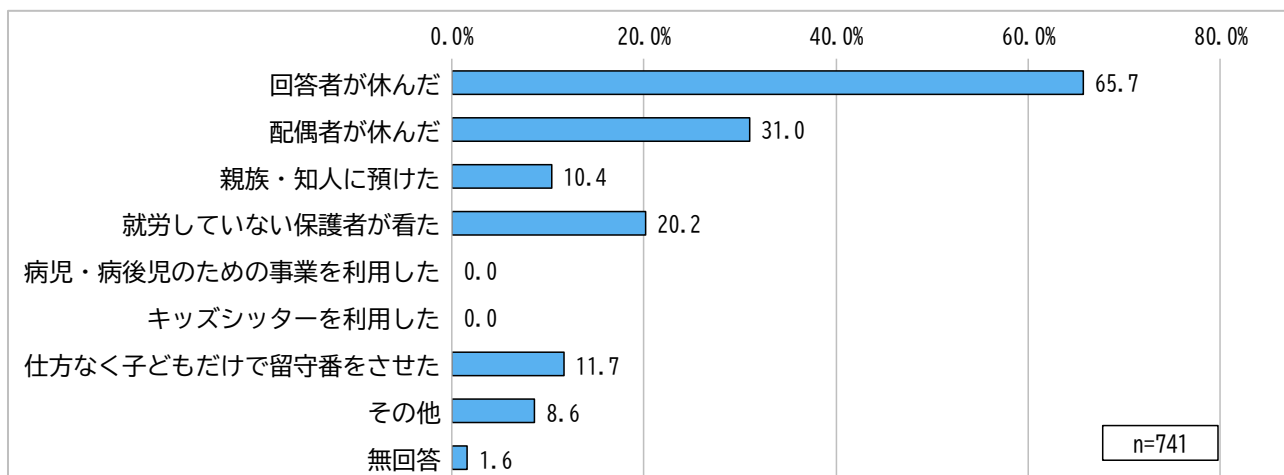
【問 11 で「1. 」を選んだ方にうかがいます。】

問 11-1 その際、どのように対処しましたか。（複数選択）

①学校を休んだ場合の対処方法

事業を利用できなかった場合の対処方法について、「回答者が休んだ」が65.7%で最も多く、次いで「配偶者（同居のパートナーを含む）が休んだ」が31.0%となっています。

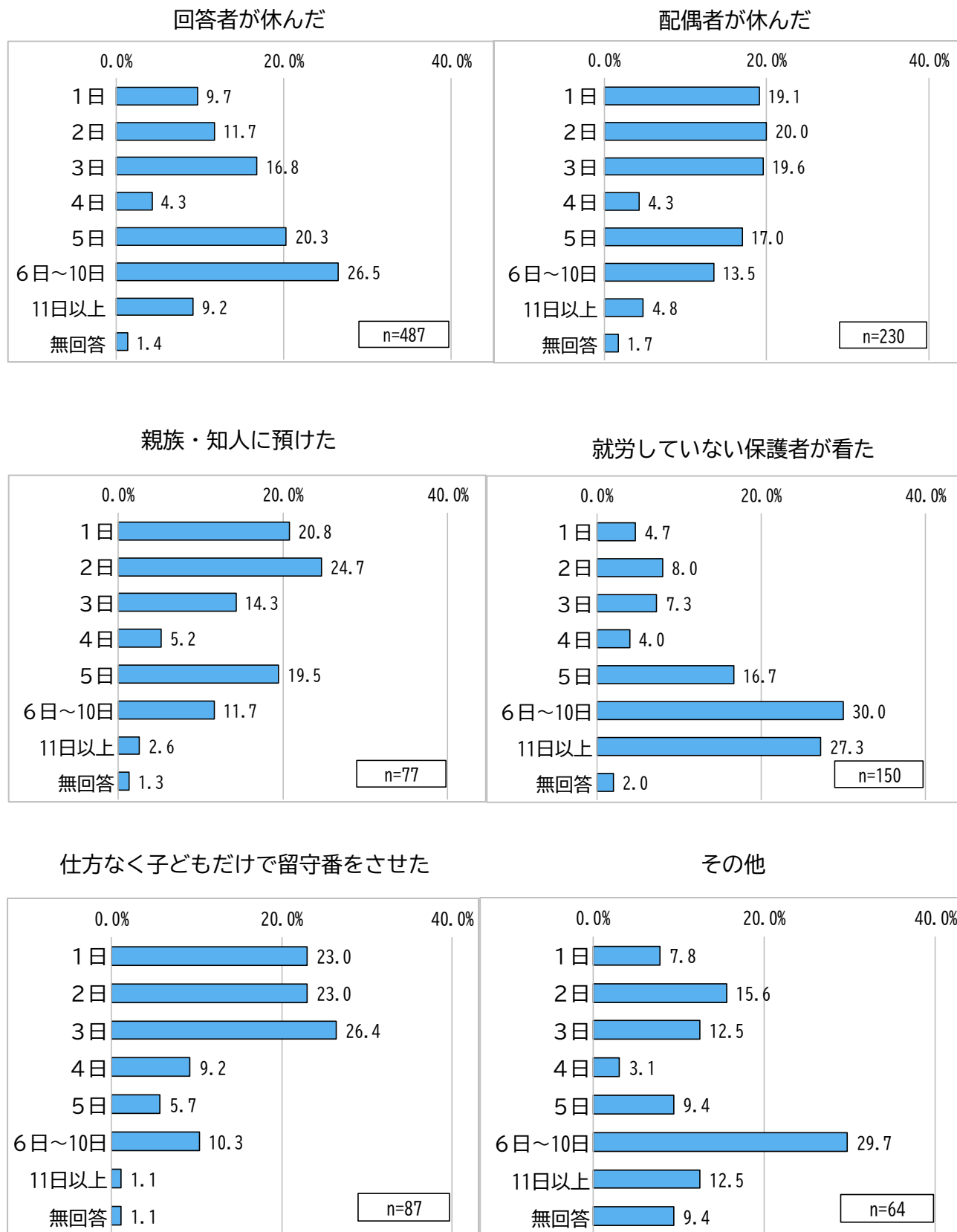
図7-2 事業を利用できなかった場合の対処方法



②対処方法別日数

対処方法別日数は以下の通りとなっています。「回答者が休んだ」について、「6～10日」が26.5%と最も多く、次いで「5日」が20.3%となっています。

図7-3 対処方法別日数



(3) 病児・病後児のための事業を利用したかった日数

【問 11-1 で「1.」「2.」を選んだ方にうかがいます。】

問 11-2 回答者や配偶者（同居のパートナー含む）が休んだ際、利用可能であれば病児・病後児のための事業を利用したいと思うことがありましたか。

病児・病後児保育の利用希望について、「利用したいと思うことはなかった」が 66.4%で最も多く、「利用したいと思うことがあった」が 20.2%となっています。

利用希望日数について、「6～10 日」が 31.8%で最も多く、次いで「5 日」が 24.3%となっています。

図 7-4 病児・病後児保育の利用希望

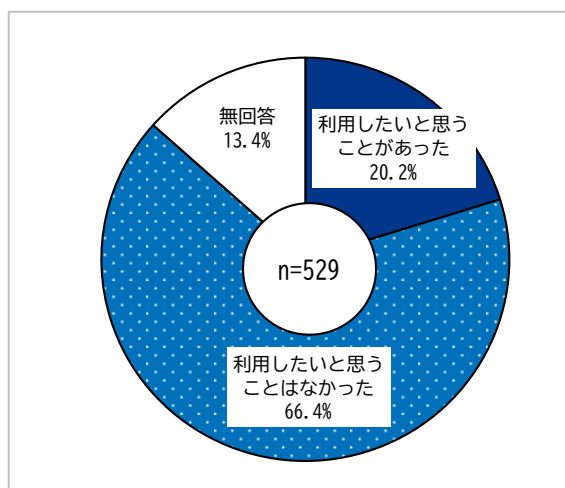
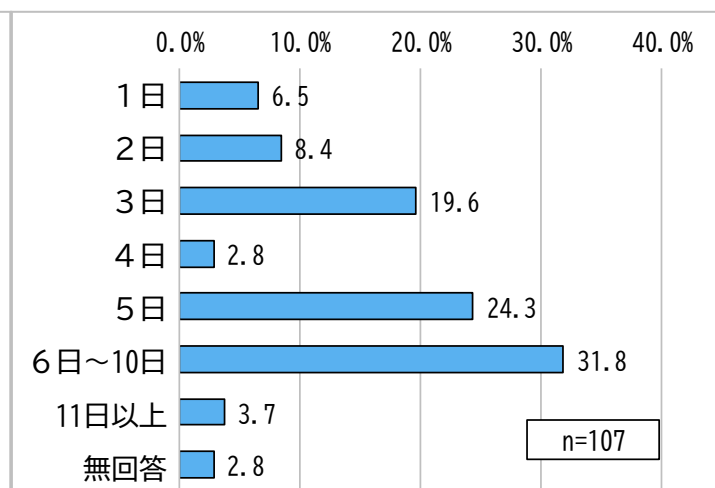


図 7-5 病児・病後児保育の利用希望日数



8 一時預かりについて

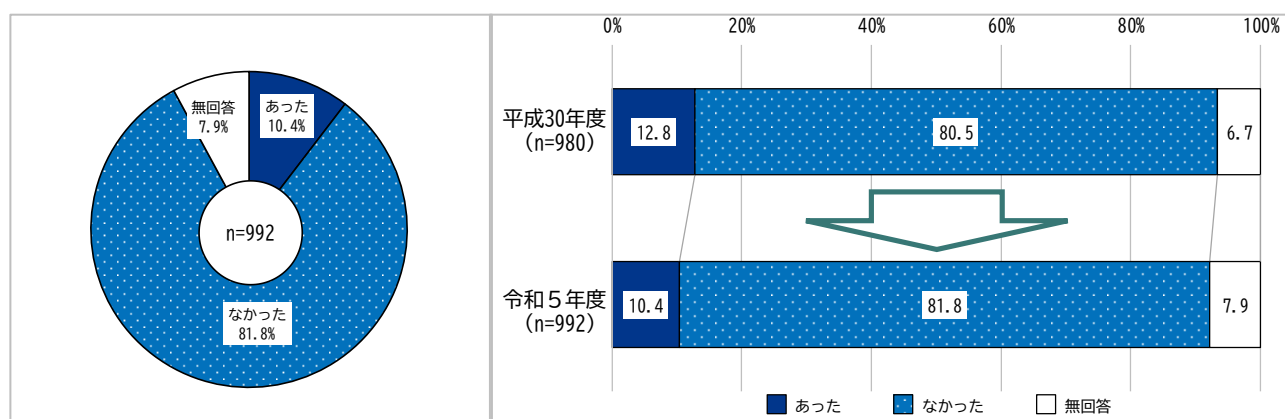
(1) 家族以外に預けた経験

問 12 この1年間で、保護者の私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）や通院、不定期の就労等の目的で、あて名のお子さんを家族以外に預けたことはありましたか。

家族以外に預けた経験について、「なかった」が81.8%で最も多く、「あった」が10.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「なかった」の割合が増加しています。

図8-1 家族以外に預けた経験



(2) 家族以外に預けた理由とその日数

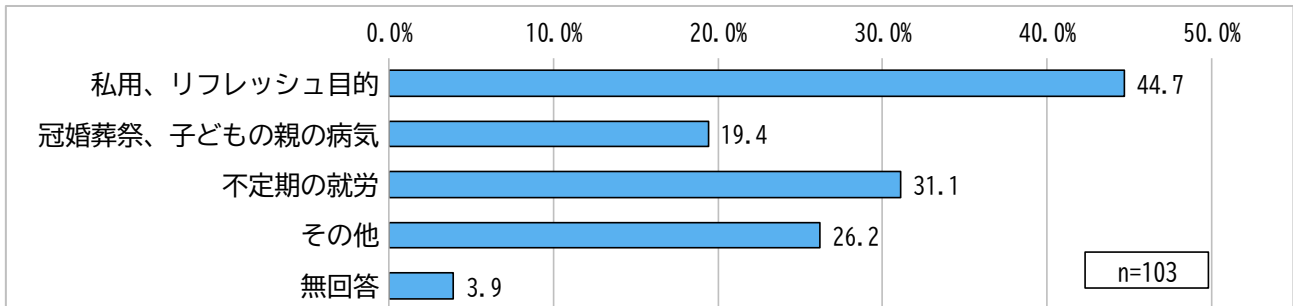
【問12で「1.」を選んだ方にうかがいます。】

問12-1 あて名のお子さんを家族以外に預けたことは何日くらいありましたか。

①家族以外に預けた理由

家族以外に預けた理由について、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が44.7%で最も多く、次いで「不定期の就労」が31.1%となっています。

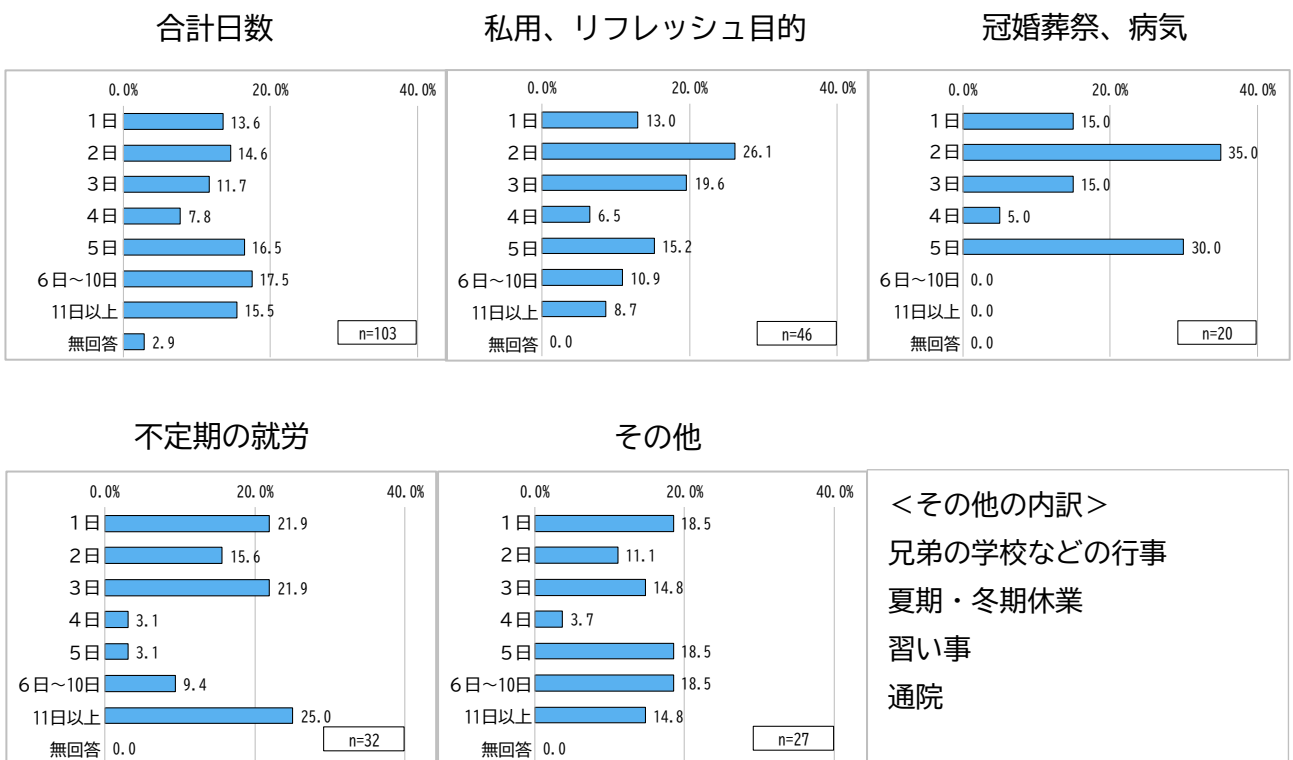
図8-2 家族以外に預けた理由



②理由別預けた日数

理由別の預けた日数は以下の通りとなっています。「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」について、「2日」が26.1%で最も多く、次いで「3日」が19.6%となっています。

図8-3 理由別預けた日数



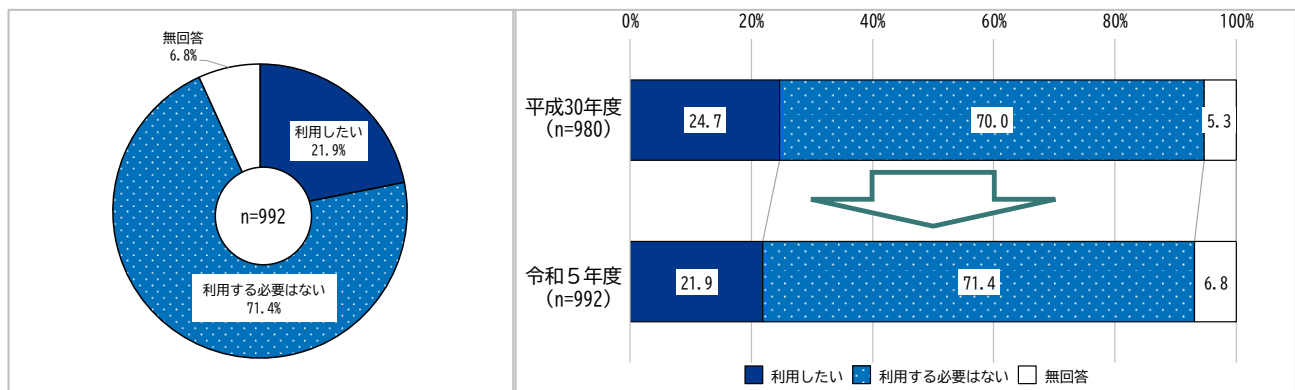
(3) 一時預かりをする事業の利用希望

問 13 今後、あて名のお子さんについて、保護者の私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）や通院、不定期の就労等の目的で、一時預かりをする事業を利用する必要があると思いますか。

事業の利用希望について、「利用する必要はない」が71.4%で最も多く、次いで「利用したい」が21.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。

図8-4 事業の利用希望



(4) 一時預かりをする事業の利用希望の理由とその日数

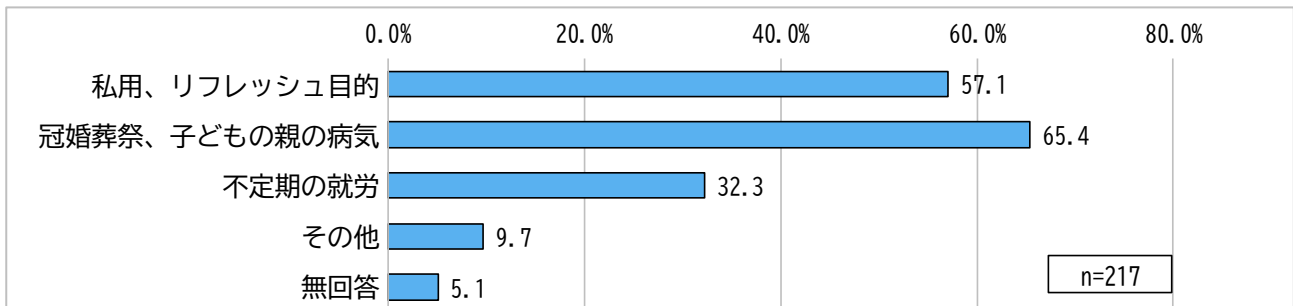
【問13で「1.」を選んだ方にうかがいます。】

問13-1 一時預かりをする事業を、年間何日くらい利用したいと思いますか。

①一時預かりをする事業を利用したい理由

預ける必要の理由について、「冠婚葬祭、子どもの親の病気」が65.4%で最も多く、次いで「私用、リフレッシュ目的」が57.1%となっています。

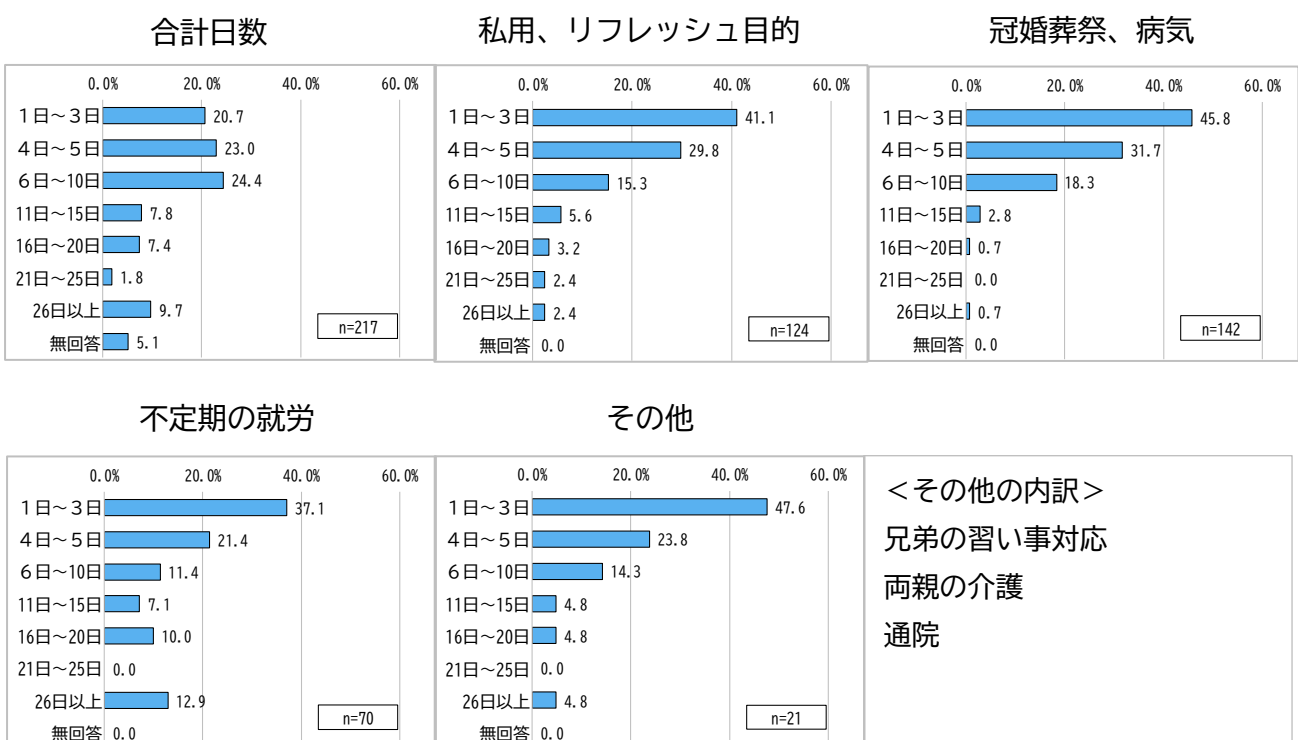
図8-5 預ける必要の理由



②理由別預けたい日数

理由別の預けたい日数は以下の通りとなっています。「冠婚葬祭、子どもの親の病気」について、「1～3日」が45.8%で最も多く、次いで「4～5日」が31.7%となっています。

図8-6 理由別預けたい日数



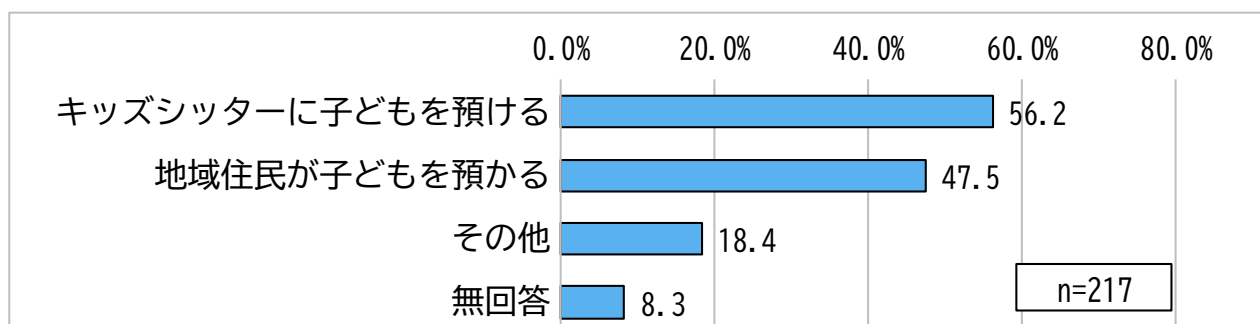
(5) 望ましい事業形態

問 13-2 その際、望ましいと思う事業形態はどれですか。（複数回答）

望ましい事業形態について、「キッズシッター（ベビーシッターの小学生版）に子どもを預ける」が 56.2%で最も多く、次いで「ファミリー・サポート・センター等の地域住民が子どもを預かる」が 47.5%となっています。

「その他」の内訳は、放課後児童会（学童保育）、放課後等デイサービス、小学校、公共施設などとなっています。

図 8-7 望ましい事業形態



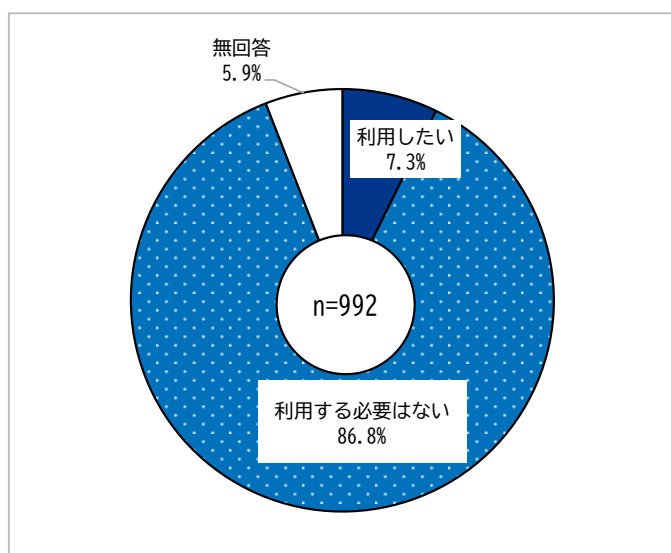
9 子どもの宿泊を伴う一時預かりについて

(1) 泊まりがけで家族以外に預ける必要の有無

問 14 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無をお答えください。

泊まりがけで家族以外に預ける必要の有無について、「利用する必要はない」が 86.8%、「利用したい」が 7.3%となっています。

図9-1 泊まりがけで家族以外に預ける必要の有無



(2) 家族以外に預ける理由とその泊数

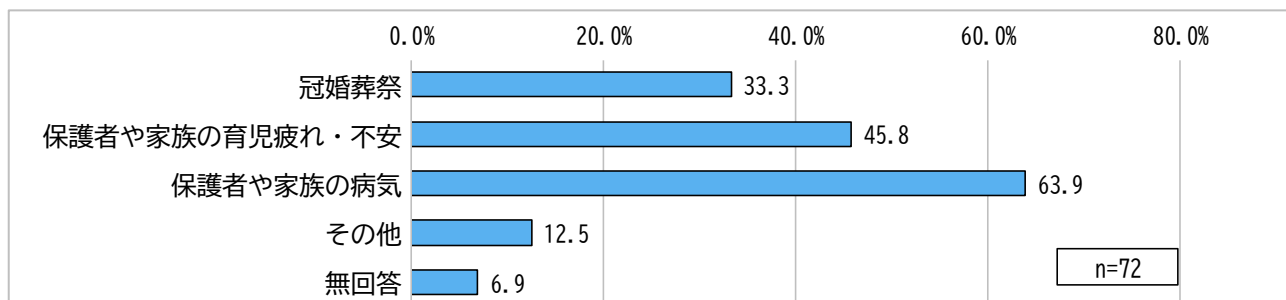
【問 14 で「1.」を選んだ方にうかがいます。】

問 14-1 その際、年間何泊くらい利用したいと思いますか。

①家族以外に預ける理由

家族以外に預ける理由について、「保護者や家族の病気」が 63.9%で最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 45.8%となっています。

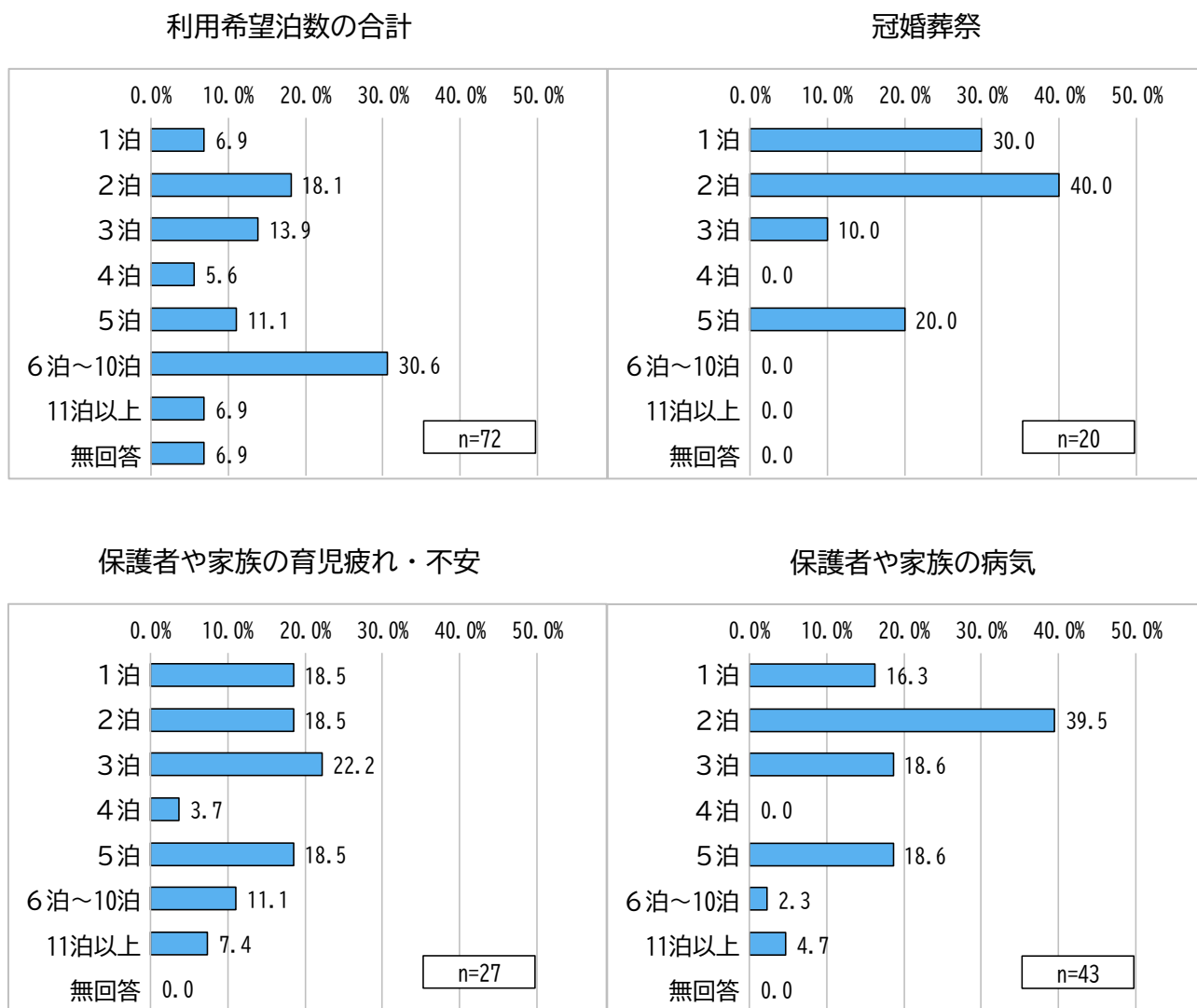
図9-2 家族以外に預ける理由



②利用希望泊数

利用希望の泊数は以下の通りとなっています。「保護者や家族の病気」について、「2泊」が39.5%で最も多く、次いで「3泊」「5泊」が18.6%となっています。

図9-3 利用希望泊数（合計・目的別）



10 ご家庭の状況について

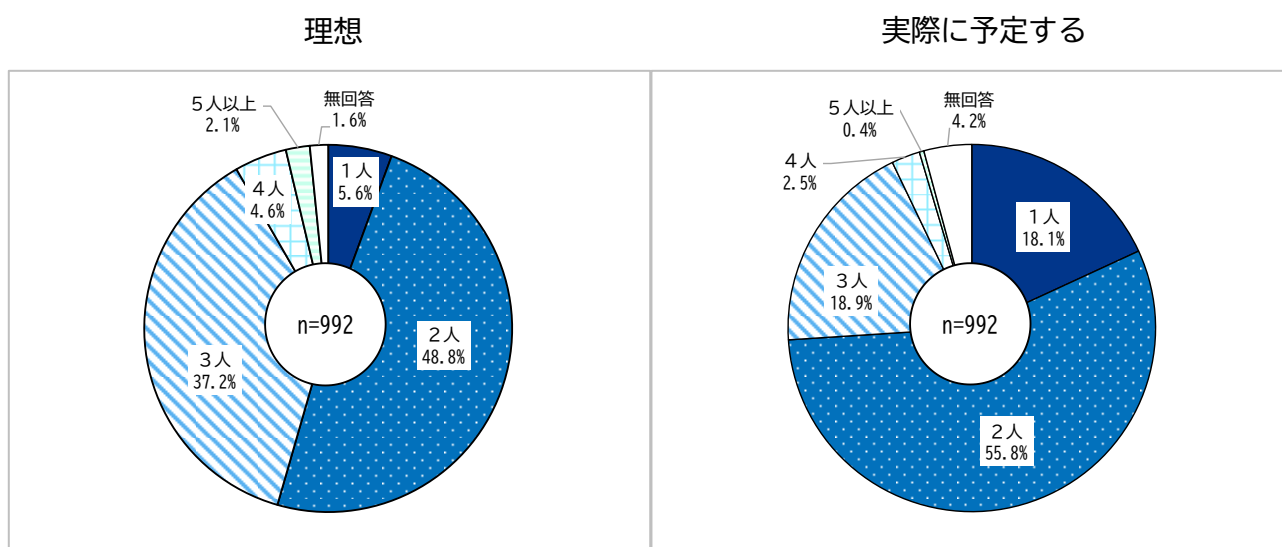
(1) 理想とする子どもの人数と実際に予定する子どもの人数

問 15 あなた（ご夫婦）の理想とする子どもの数は何人ですか。また、実際に予定する子どもの数は何人ですか。

理想とする子どもの人数について、「2人」が48.8%で最も多く、次いで「3人」が37.2%となっています。

実際に予定する子どもの人数について、「2人」が55.8%で最も多く、次いで「3人」が18.9%となっています。

図 10-1 子どもの人数

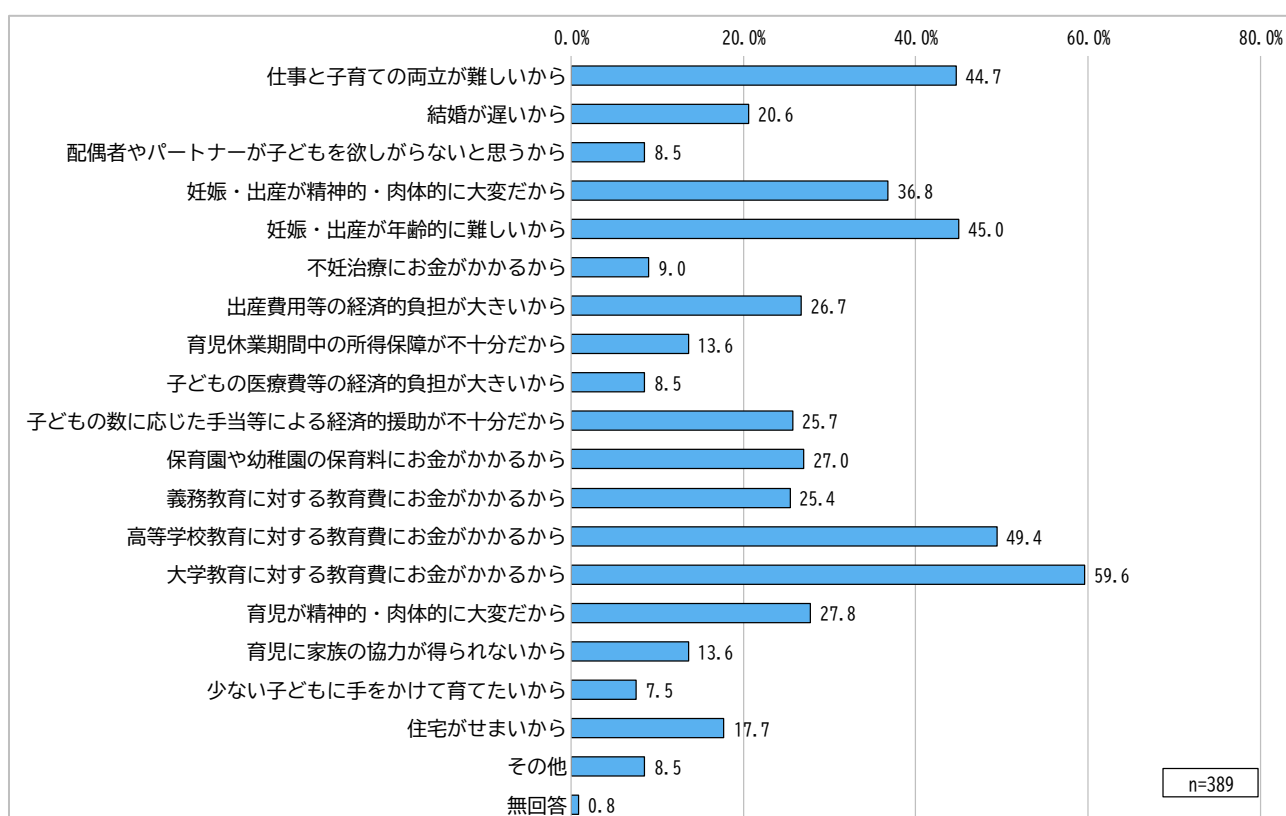


(2) 理想とする子どもの数より少ない理由

【問 15 で、実際に予定する子どもの数が、理想とする子どもの数より少ない方にうかがいます。】
 問 15-1 実際に予定する子どもの数が、理想とする子どもの数より少ない理由は何ですか。（複数回答）

理想とする子どもの数より少ない理由について、「大学教育に対する教育費にお金がかかるから」が 59.6%で最も多く、次いで「高等学校教育に対する教育費にお金がかかるから」が 49.4%となっています。

図 10-2 理想とする子どもの数より少ない理由

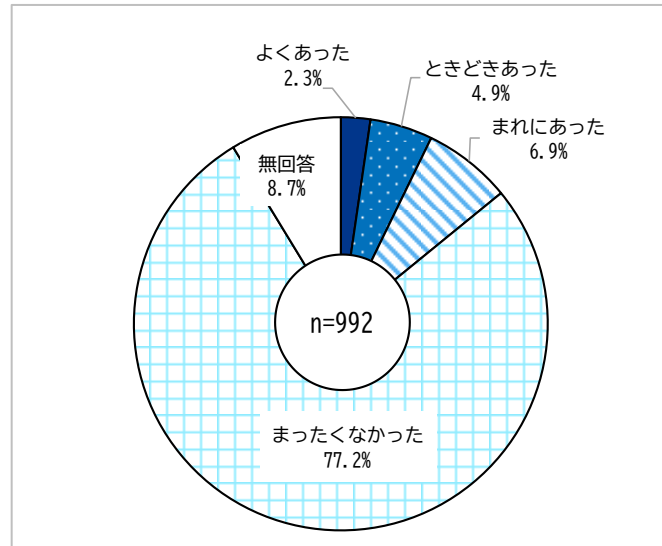


(3) 必要とする食料や衣類が買えなかった経験

問 16 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料や衣類が買えないことがありましたか。

必要とする食料や衣類が買えなかった経験について、「まったくなかった」が77.2%で最も多く、次いで「まれにあった」が6.9%となっています。

図 10-3 必要とする食料や衣類が買えなかった経験

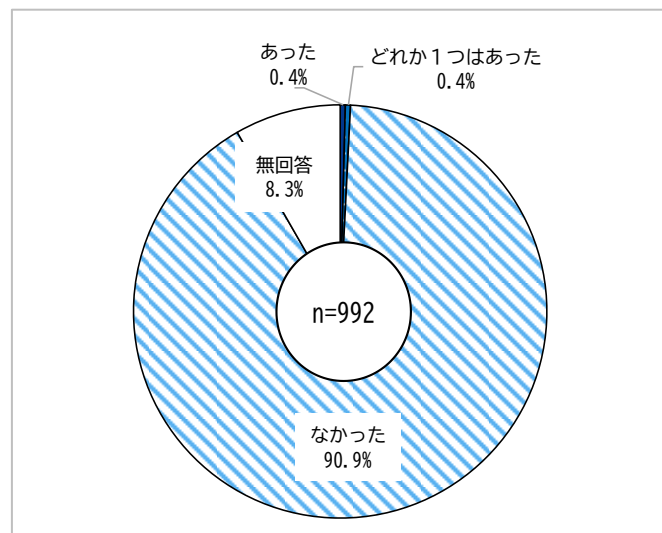


(4) 電気、ガス、水道を止められた経験

問 17 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道を止められたことがありましたか。

電気、ガス、水道を止められた経験について、「なかった」が90.9%で最も多く、次いで「あった」「どちらか1つはあった」が0.4%となっています。

図 10-4 電気、ガス、水道を止められた経験



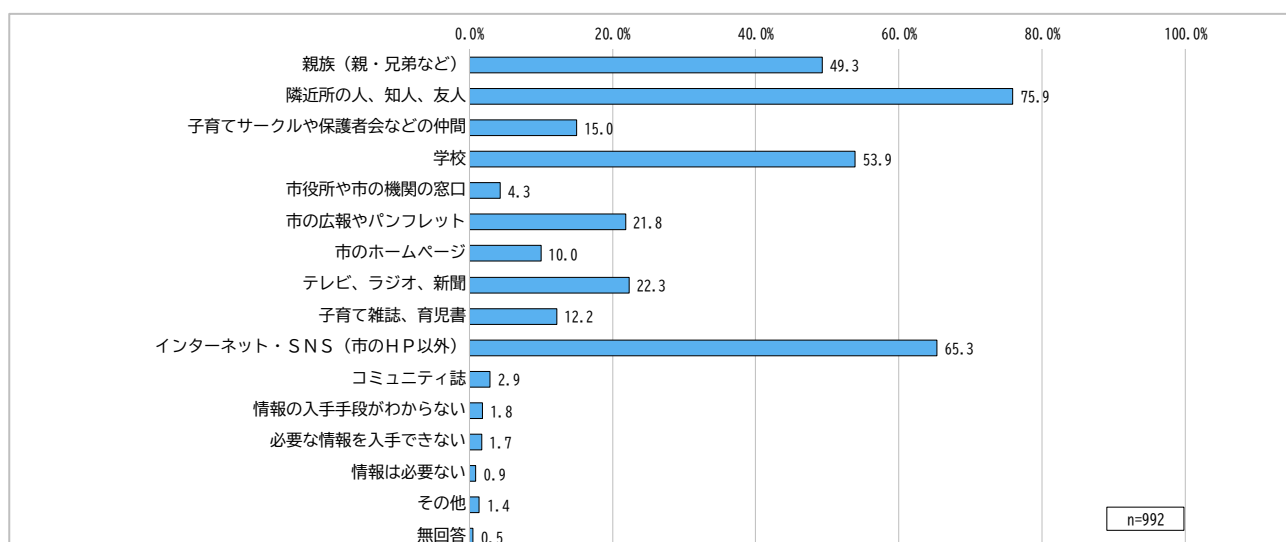
11 子育て環境について

(1) 情報の入手方法

問 18 あなたは、子育てに関する情報を主としてどこから（または、誰から）入手していますか。（複数回答）

情報の入手方法について、「隣近所の人、知人、友人」が75.9%で最も多く、次いで「インターネット・SNS（市のHP以外）」が65.3%となっています。

図 11-1 情報の入手方法

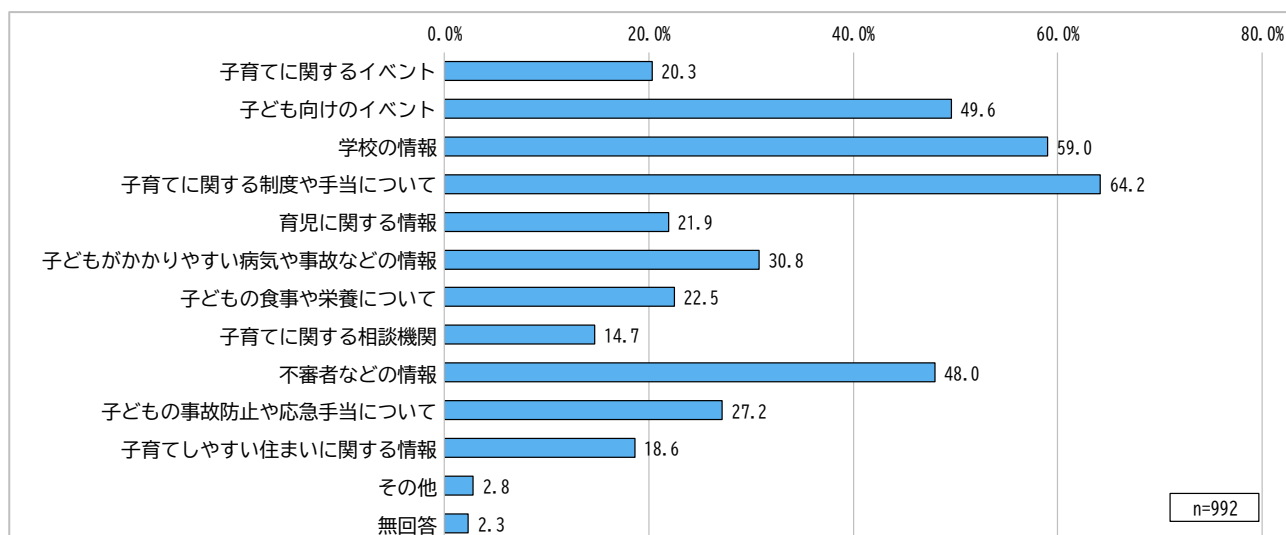


(2) 子育てに関して求める情報

問 19 あなたは、子育てに関するどのような情報がほしいですか。（複数回答）

子育てに関して求める情報について、「子育てに関する制度や手当について」が64.2%で最も多く、次いで「学校の情報」が59.0%となっています。

図 11-2 子育てに関して求める情報

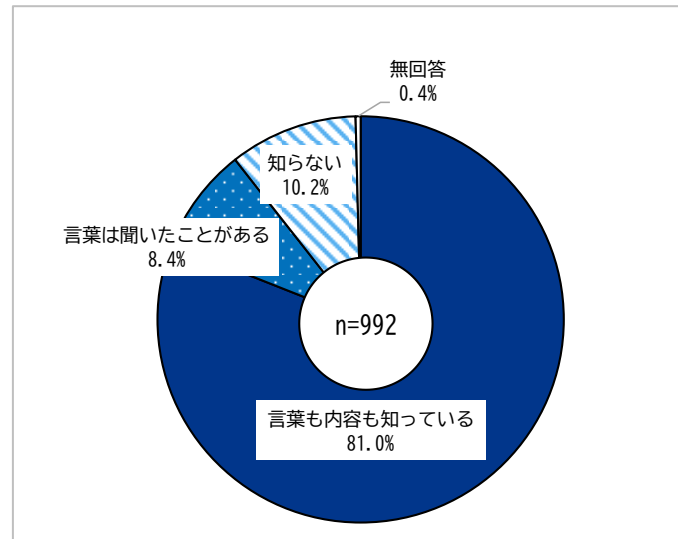


(3) ヤングケアラーの認知状況

問 20 あなたは、ヤングケアラーという言葉を知っていますか。

ヤングケアラーの認知状況について、「言葉も内容も知っている」が81.0%で最も多く、次いで「知らない」が10.2%となっています。

図 11-3 ヤングケアラーの認知状況

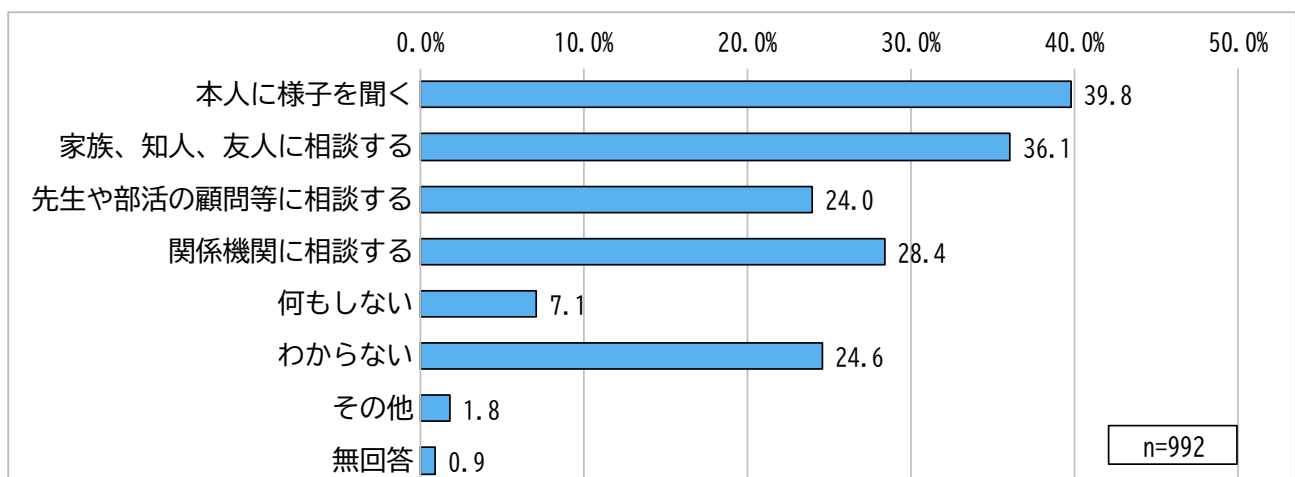


(4) ヤングケアラーと思われる人がいた場合の対処方法

問 21 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応しますか。
(複数回答)

ヤングケアラーと思われる人がいた場合の対処方法について、「本人に様子を聞く」が39.8%で最も多く、次いで「家族、知人、友人に相談する」が36.1%となっています。

図 11-4 ヤングケアラーと思われる人がいた場合の対処方法

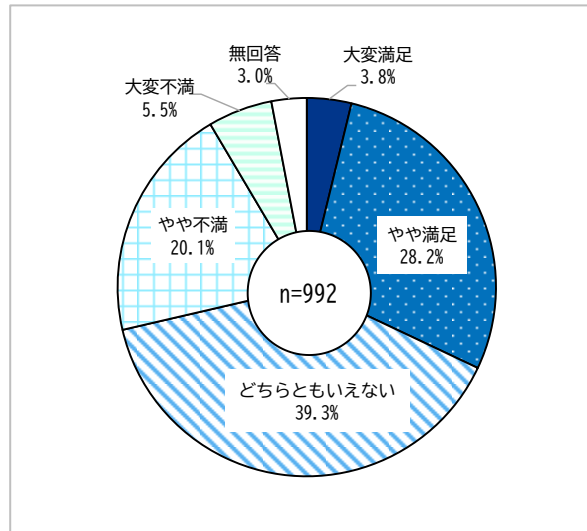


（５）習志野市における子育ての環境や支援への満足度

問 22 習志野市における子育ての環境や支援への満足度はいかがですか。

習志野市における子育ての環境や支援への満足度について、「どちらともいえない」が 39.3%で最も多く、次いで「やや満足」が 28.2%となっています。

図 11-5 習志野市における子育ての環境や支援への満足度

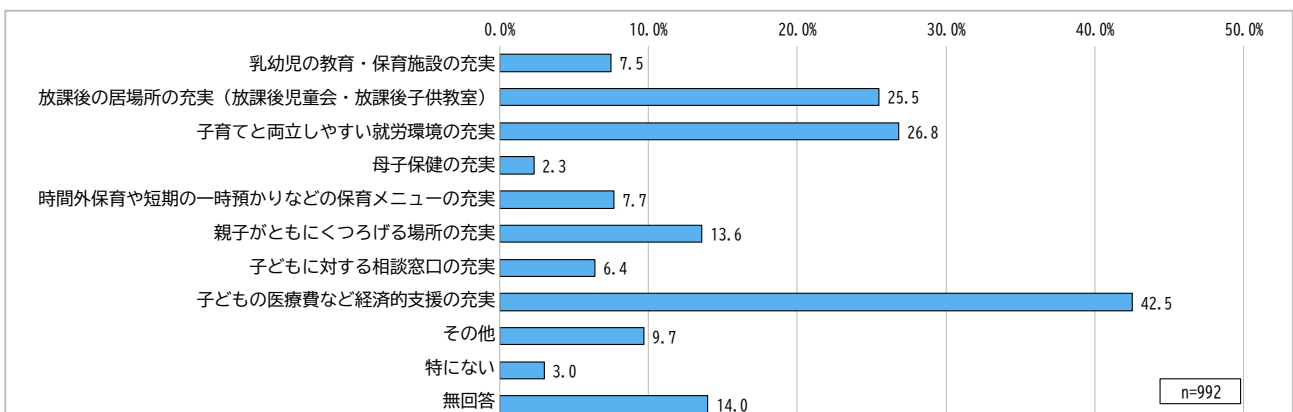


（６）子育てで特に取り組むべき支援策

問 23 習志野市が子育て支援策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。
(番号2つまで選択)

子育てで特に取り組むべき支援策について、「子どもの医療費など経済的支援の充実」が 42.5%で最も多く、次いで「子育てと両立しやすい就労環境の充実」が 26.8%となっています。

図 11-6 子育てで特に取り組むべき支援策



IV 調査結果（高校生年齢相当～29 歳）

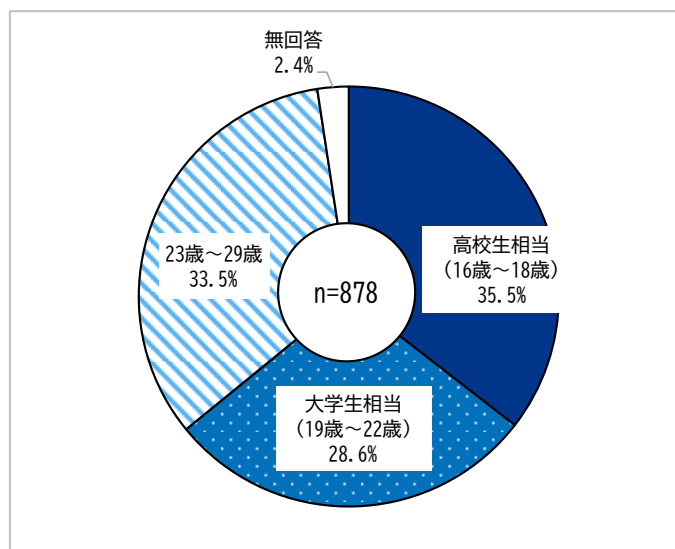
1 あなた自身について

(1) 回答者の年齢

問1 あなたの年齢について教えてください。

回答者の年齢について、「高校生相当（16歳～18歳）」が35.5%で最も多く、次いで「23～29歳」が33.5%となっています。

図1-1 回答者の年齢（3区分）



※この設問では回答者の生年月をうかがいましたが、この報告書では以下の年齢区分に従って集計しています。また、年齢ごとの配布数及び回収数・回収率は以下のとおりです。

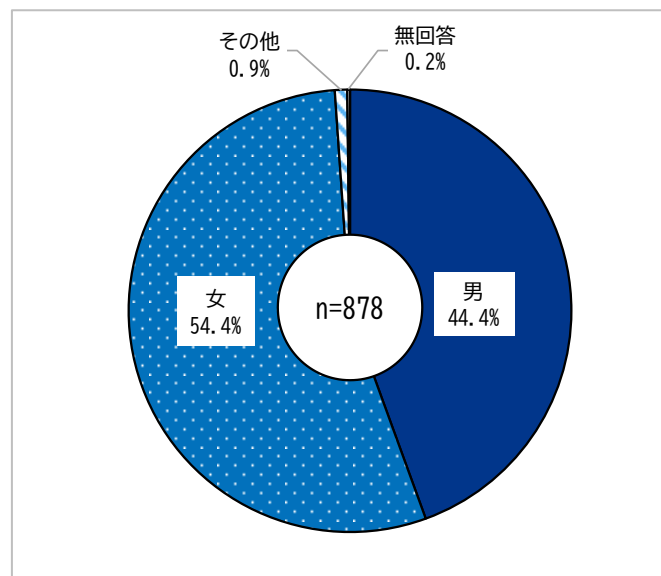
年齢区分	年齢	対象年齢該当生年月	配布数	回収数	回収率
高校生相当	16歳	平成19年4月～平成20年3月	471	115	24.4%
	17歳	平成18年4月～平成19年3月	522	101	19.3%
	18歳	平成17年4月～平成18年3月	507	96	18.9%
大学生相当	19歳	平成16年4月～平成17年3月	417	56	13.4%
	20歳	平成15年4月～平成16年3月	411	46	11.2%
	21歳	平成14年4月～平成15年3月	482	72	14.9%
	22歳	平成13年4月～平成14年3月	490	77	15.7%
23歳～29歳	23歳	平成12年4月～平成13年3月	275	39	14.2%
	24歳	平成11年4月～平成12年3月	284	35	12.3%
	25歳	平成10年4月～平成11年3月	280	31	11.1%
	26歳	平成9年4月～平成10年3月	279	39	14.0%
	27歳	平成8年4月～平成9年3月	265	39	14.7%
	28歳	平成7年4月～平成8年3月	272	56	20.6%
	29歳	平成6年4月～平成7年3月	245	55	22.4%

(2) 回答者の性別

問2 あなたの性別について教えてください。

回答者の性別について、「女」が54.4%、「男」が44.4%となっています。

図1-2 回答者の性別

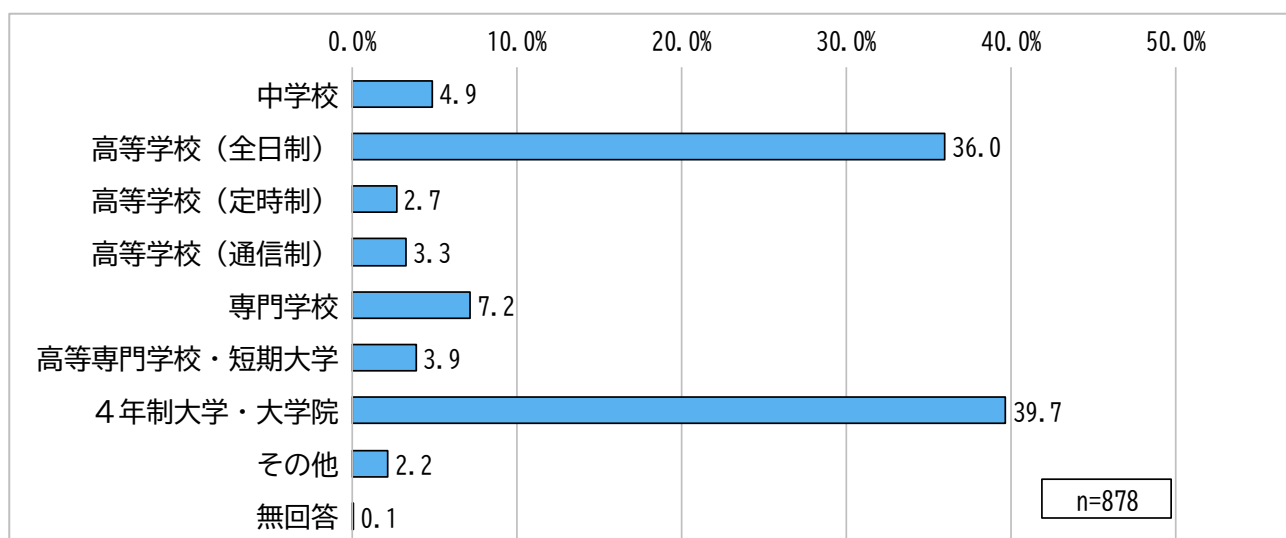


(3) 最後に卒業した学校

問3 あなたが最後に卒業した（中退含む）学校を教えてください。在学中の方は、現在在学している学校を教えてください。

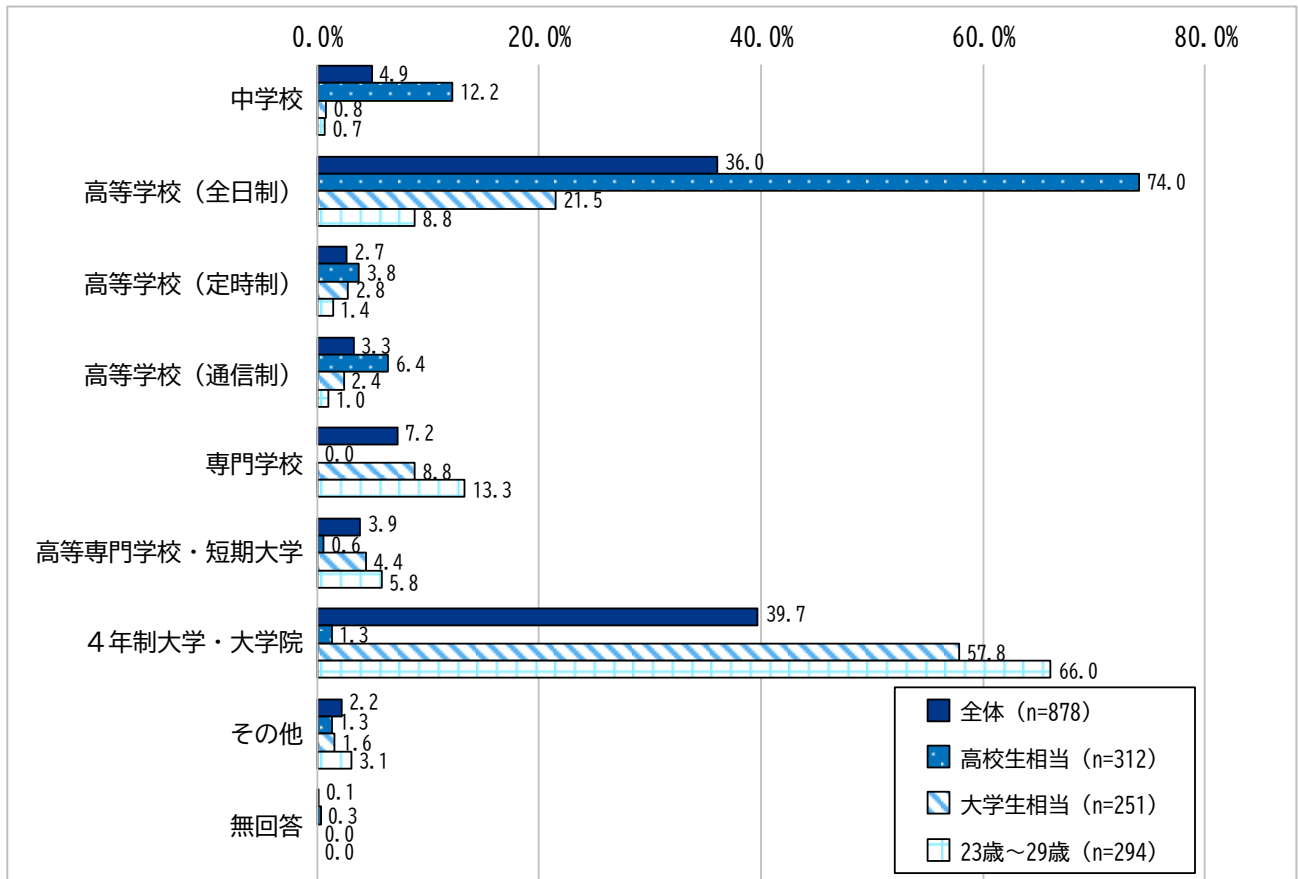
最後に卒業した学校について、「4年制大学・大学院」が39.7%で最も多く、次いで「高等学校（全日制）」が36.0%となっています。

図1-3 最後に卒業した学校



年齢別でみると、高校生相当では「高等学校（全日制）」、大学生相当と23歳～29歳ではともに「4年生大学・大学院」が最も多く、次いで高校生相当では「中学校」、大学生相当では「高等学校（全日制）」、23歳～29歳では「専門学校」となっています。

図1-4 最後に卒業した学校（年齢別）



(4) 同居している方の有無

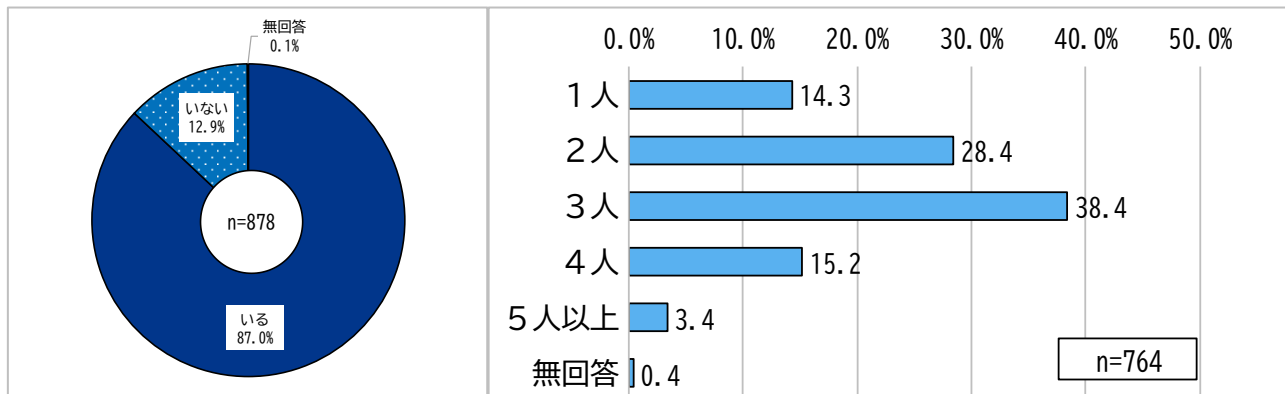
問4 あなたには、同居している方がいますか。いる場合には、同居している方の人数を教えて下さい（あなたを除く）。なお、長期の出張や単身赴任をしている方も含めてください。

同居している方の有無について、「いる」が87.0%、「いない」が12.9%となっています。

同居している方の人数について、「いる」と回答した方にその人数をたずねたところ、「3人」が38.4%で最も多く、次いで「2人」が28.4%となっています。

図1-5 同居している方の有無

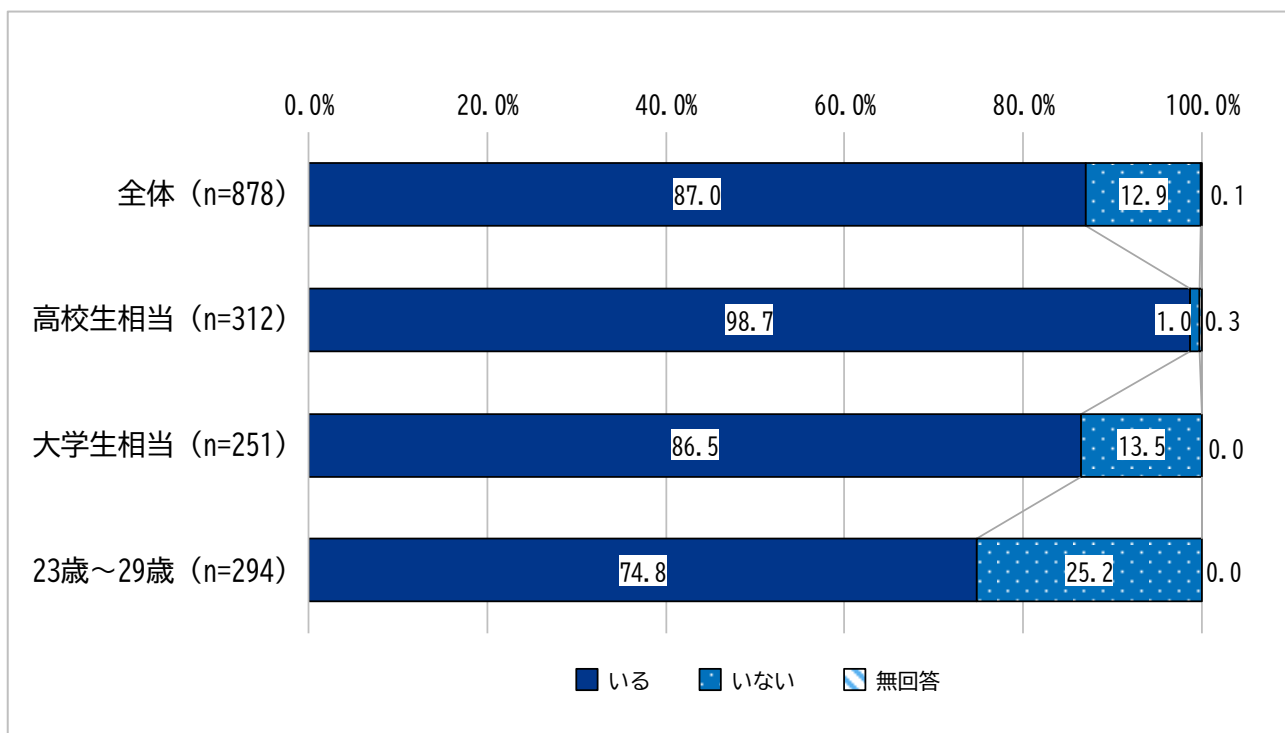
図1-6 同居している方の人数



年齢別でみると、全ての年齢で「いる」が最も多くなっています。

23歳～29歳では、他の年齢に比べて「いない」が多くなっています。

図1-7 同居している方の有無（年齢別）



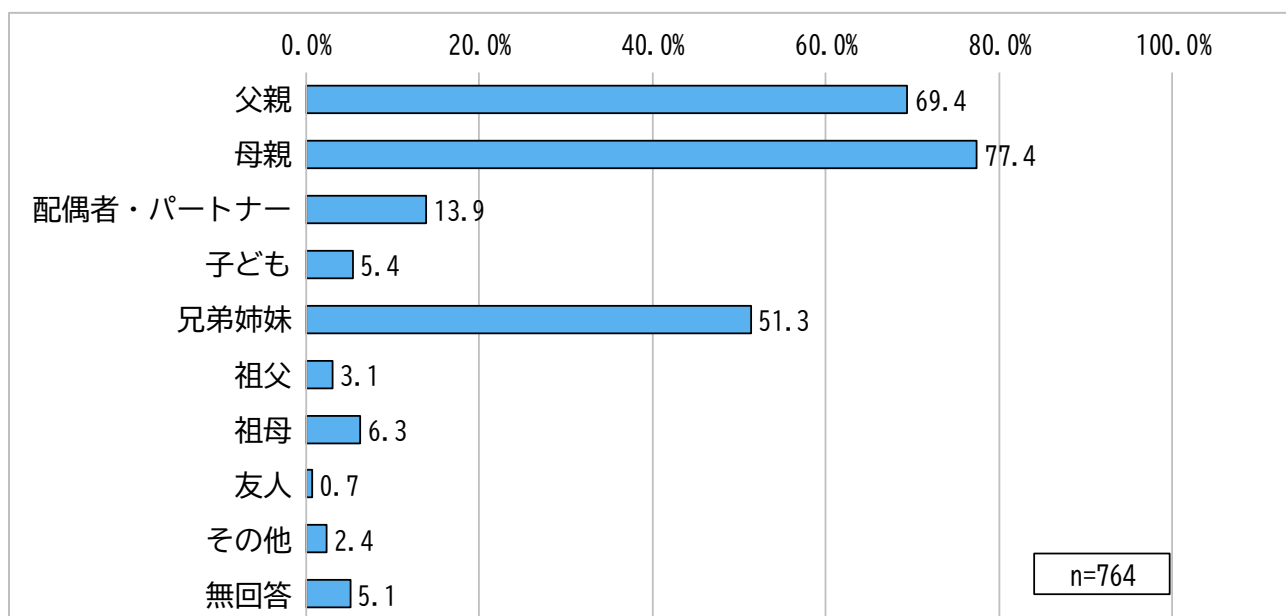
（５）同居している方の属性

【問４で「１．」を選択した方にうかがいます。】

問４-１ 同居の方はどなたですか。あなたからみた関係で、お答えください。（複数回答）

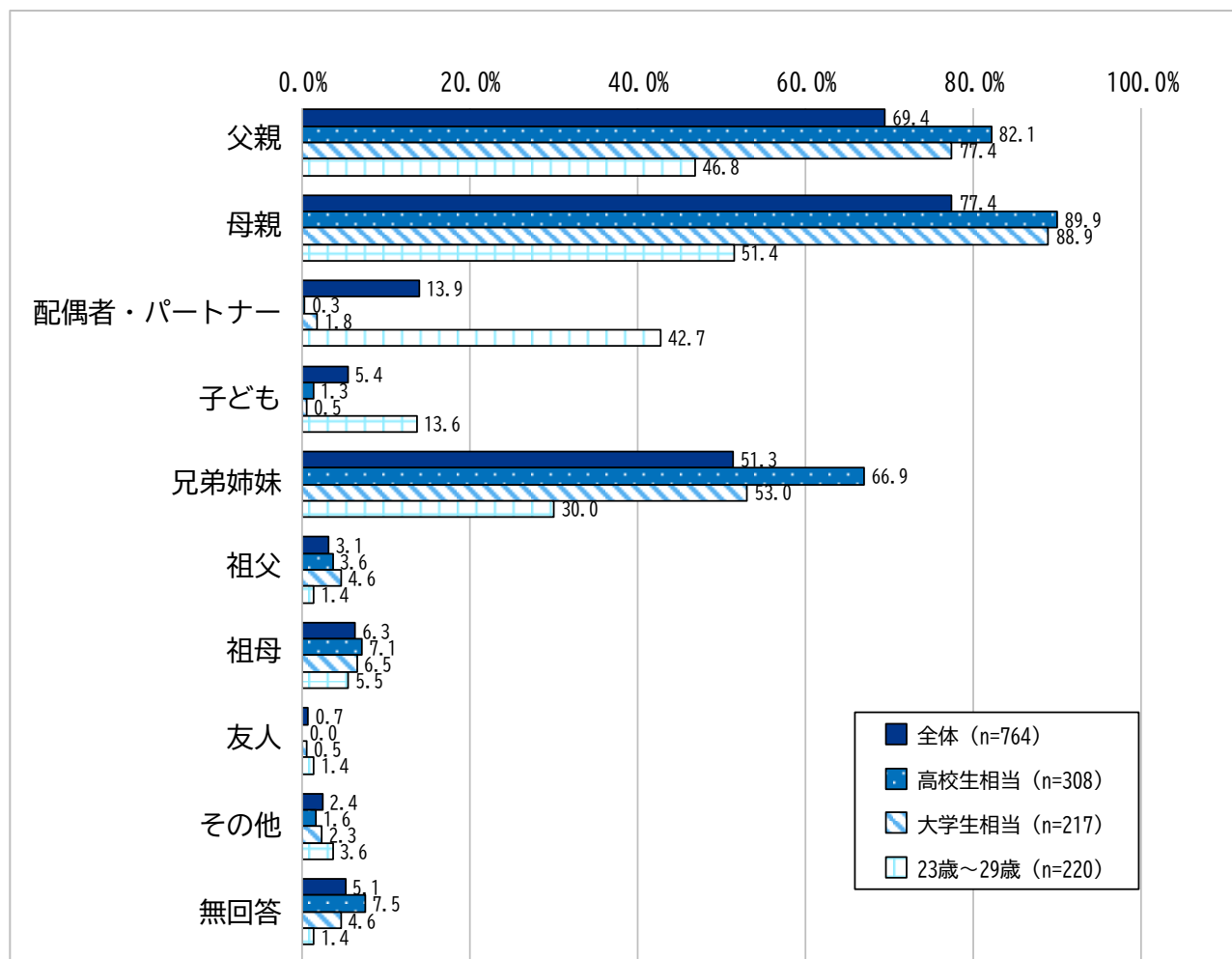
同居している方の属性について、「母親」が77.4%で最も多く、次いで「父親」が69.4%となっています。

図1-8 同居している方の属性



年齢別でみると、全ての年齢で「母親」が最も多く、次いで「父親」となっています。

図1-9 同居している方の属性（年齢別）

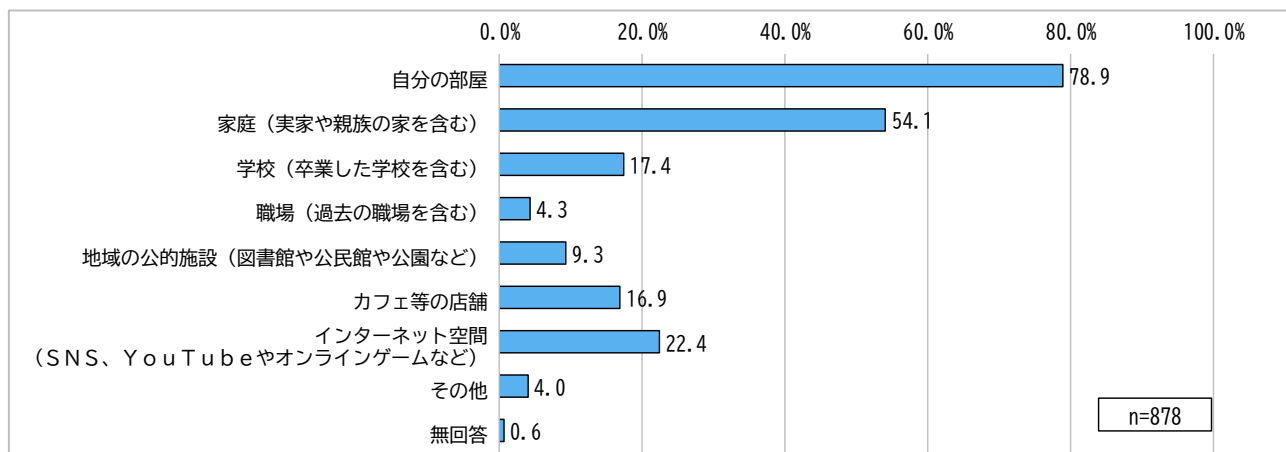


(6) 居心地が良いと感じる場所

問5 あなたが普段、居心地が良いと感じる場所（ほっとできる場所）はどこですか。
（複数回答）

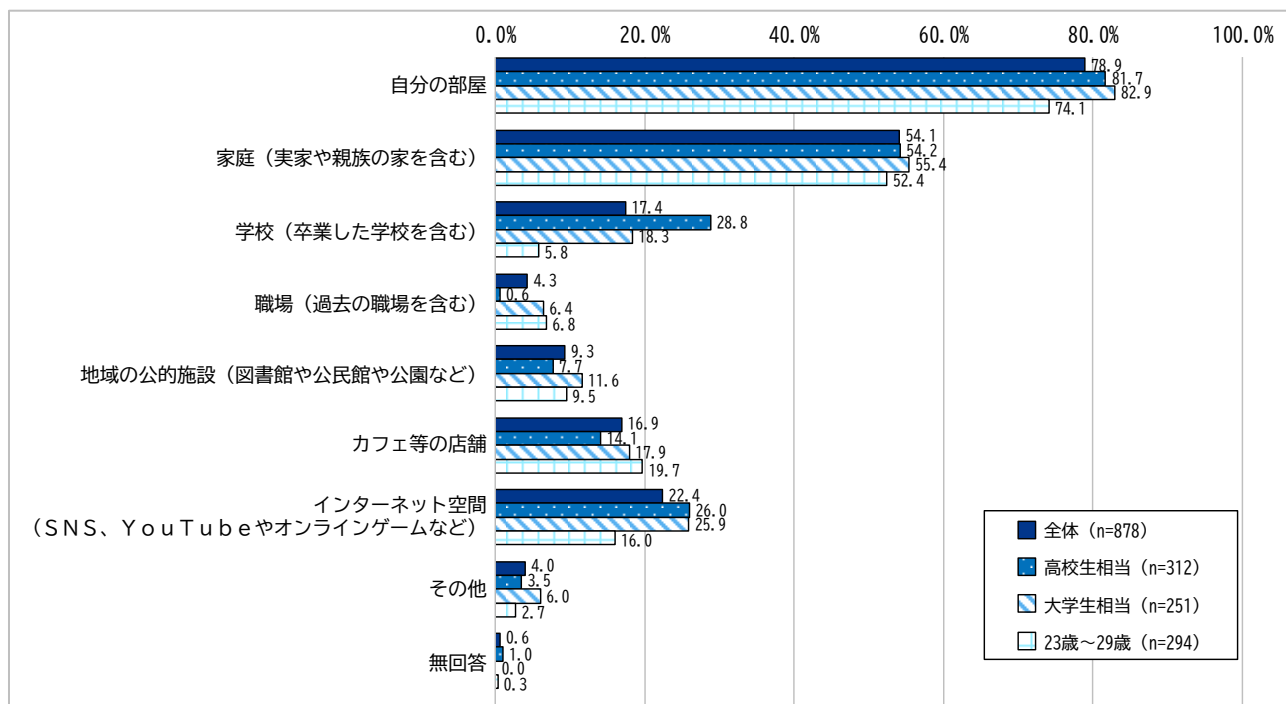
居心地が良いと感じる場所について、「自分の部屋」が78.9%で最も多く、次いで「家庭（実家や新属の家も含む）」が54.1%となっています。

図1-10 居心地が良いと感じる場所



年齢別でみると、全ての年齢で「自分の部屋」が最も多く、次いで「家庭（実家や親族の家を含む）」となっています。

図1-11 居心地が良いと感じる場所（年齢別）

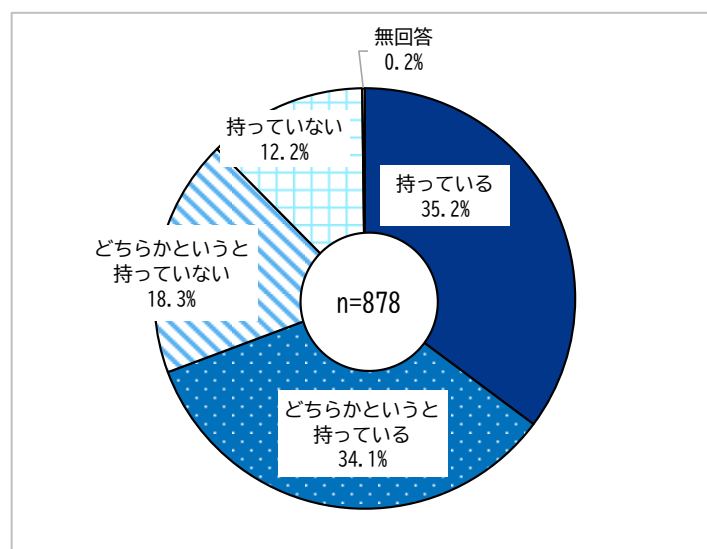


(7) 将来の夢や目標

問6 将来の夢や目標を持っていますか。

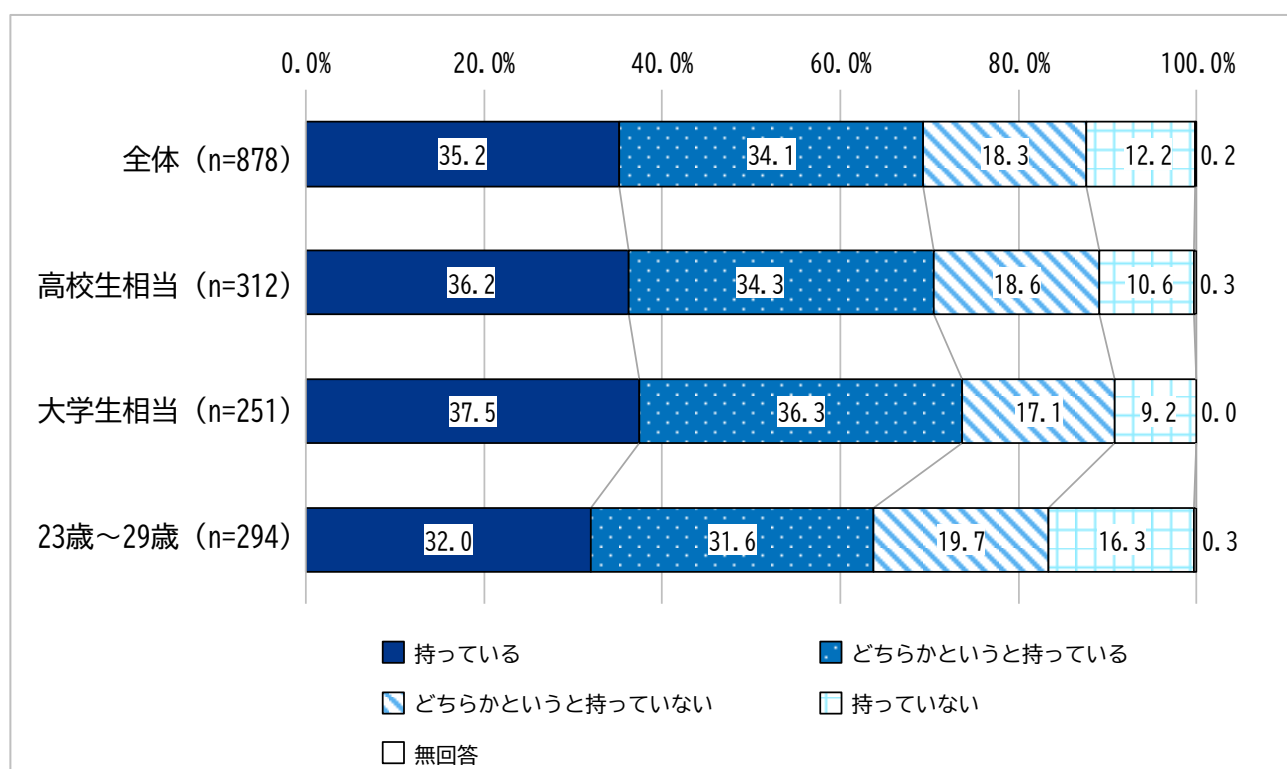
将来の夢や目標について、「持っている」が35.2%で最も多く、次いで「どちらかというを持っている」が34.1%となっています。

図1-12 将来の夢や目標



年齢別でみると、全ての年齢で「持っている」が最も多く、次いで「どちらかというを持っている」となっています。

図1-13 将来の夢や目標（年齢別）

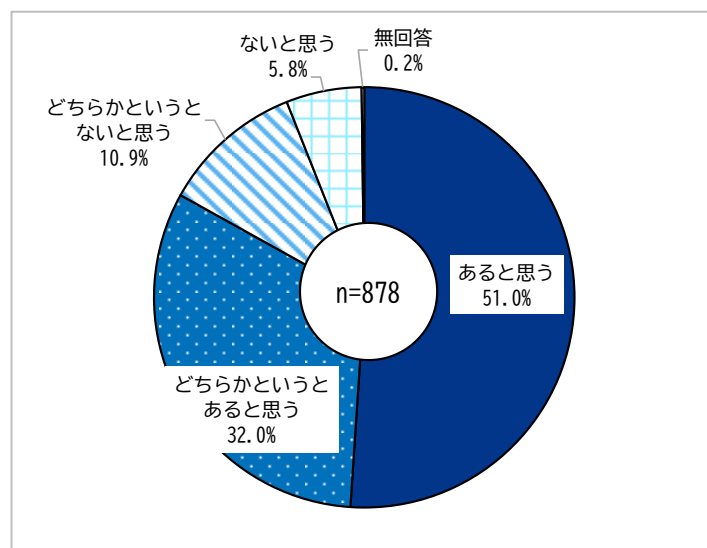


（８）自分にはよいところがあると思うか

問７ 自分にはよいところがあると思いますか。

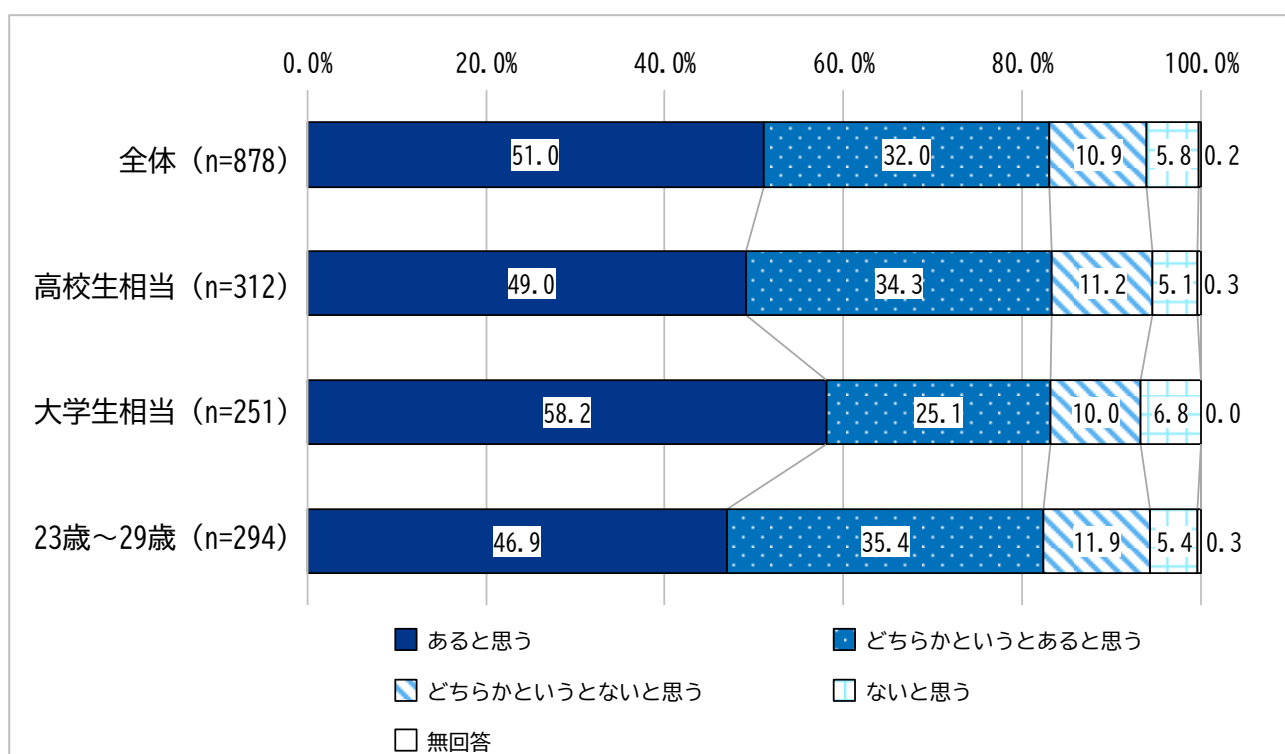
自分にはよいところがあると思うかについて、「あると思う」が51.0%で最も多く、次いで「どちらかというと思う」が32.0%となっています。

図1-14 自分にはよいところがあると思うか



年齢別でみると、全ての年齢で「あると思う」が最も多く、次いで「どちらかというと思う」となっています。

図1-15 自分にはよいところがあると思うか（年齢別）



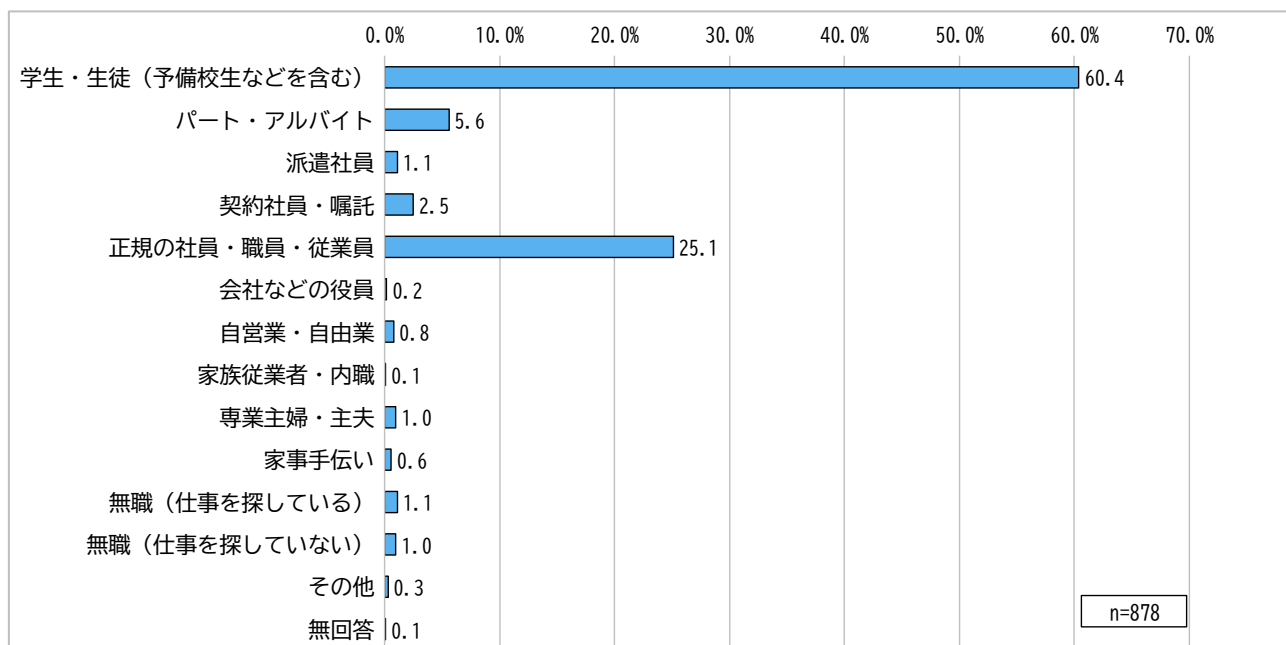
2 現在の状況について

(1) 現在の就労、就学状況

問8 あなたの現在の就労・就学状況についてお答えください。

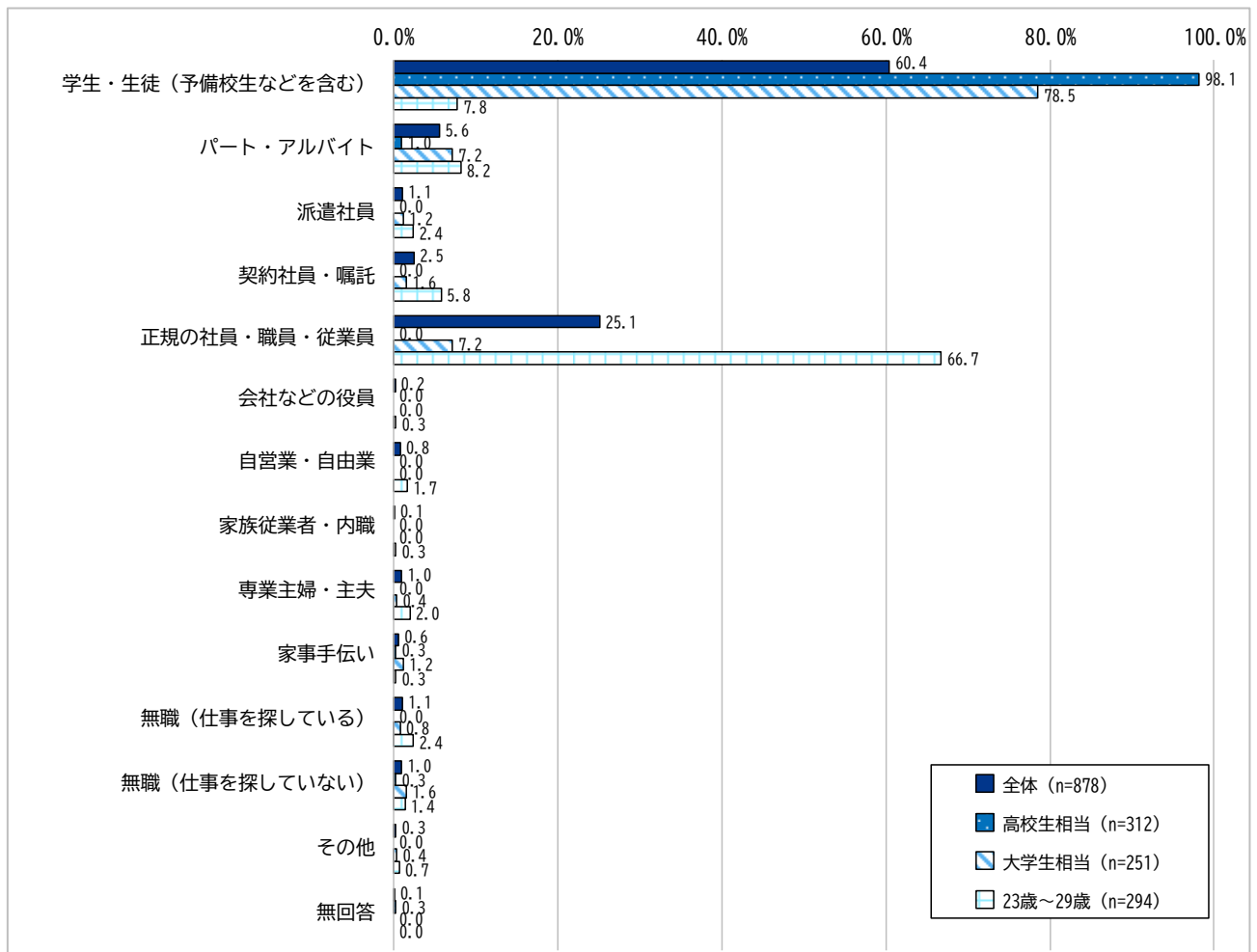
現在の就労、就学状況について、「学生・生徒（予備校生などを含む）」が60.4%で最も多く、次いで「正規の社員・職員・従業員」が25.1%となっています。

図2-1 現在の就労、就学状況



年齢別でみると、高校生相当と大学生相当ではともに「学生・生徒（予備校生などを含む）」、23歳～29歳では「正規の社員・職員・従業員」が最も多く、次いで高校生相当と23歳～29歳ではともに「パート・アルバイト」、大学生相当では「パート・アルバイト」「正規の社員・職員・従業員」となっています。

図2-2 現在の就労、就学状況（年齢別）



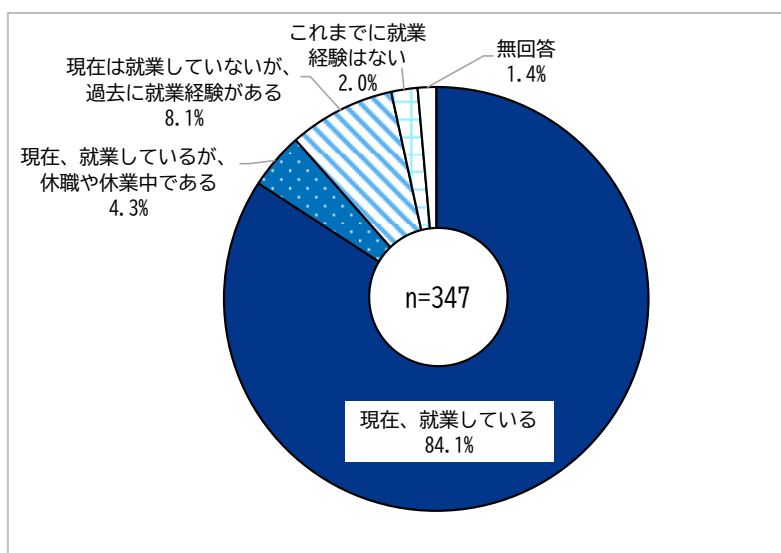
(2) 就業経験

【問8で「2.」～「13.」のいずれかを選択した方にうかがいます。】

問9 あなたの就業経験についてお答えください。（パート・アルバイトを含む）

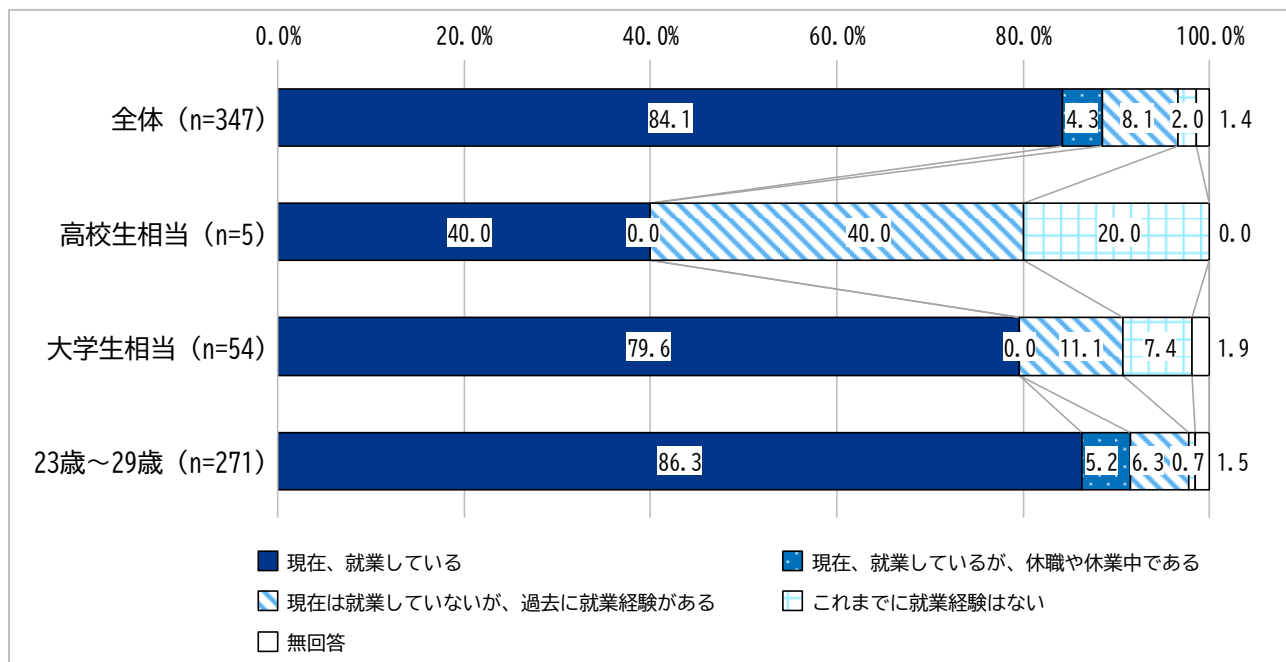
就業経験について、「現在、就労している」が84.1%で最も多く、次いで「現在は就業していないが、過去に就業経験がある」が8.1%となっています。

図2-3 就業経験



年齢別でみると、高校生相当では「現在、就労している」「現在は就業していないが、過去に就業経験がある」、大学生相当と23歳～29歳ではともに「現在、就労している」が最も多く、次いで高校生相当では「これまでに就業経験はない」、大学生相当と23歳～29歳ではともに「現在は就業していないが、過去に就業経験がある」となっています。

図2-4 就業経験（年齢別）

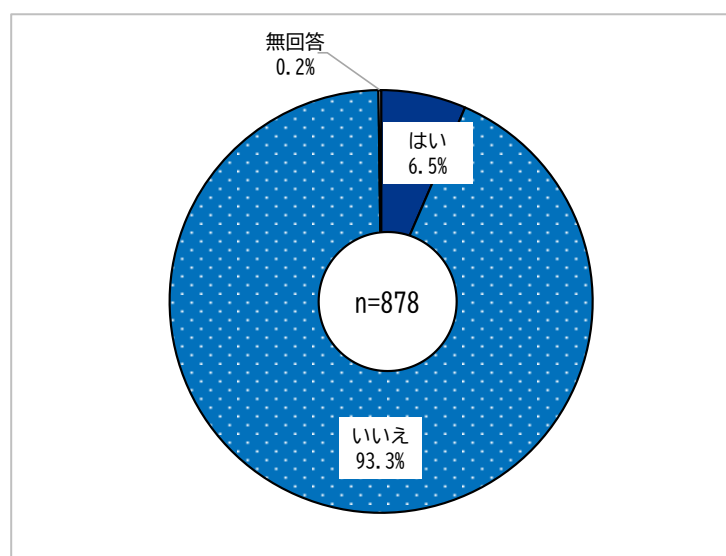


(3) 外出を控えているか

問 10 あなたは人と交わることに困難を感じて、外出を控えていますか。

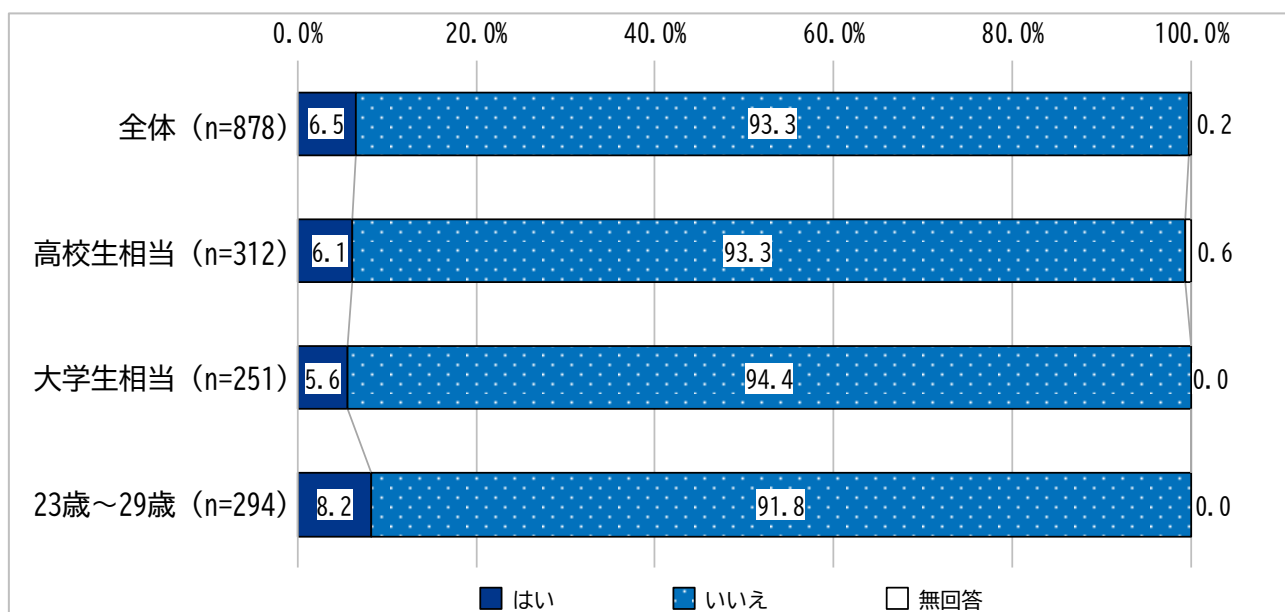
外出を控えているかについて、「いいえ」が93.3%、「はい」が6.5%となっています。

図2-5 外出を控えているか



年齢別でみると、全ての年齢で「いいえ」が最も多くなっています。

図2-6 外出を控えているか（年齢別）



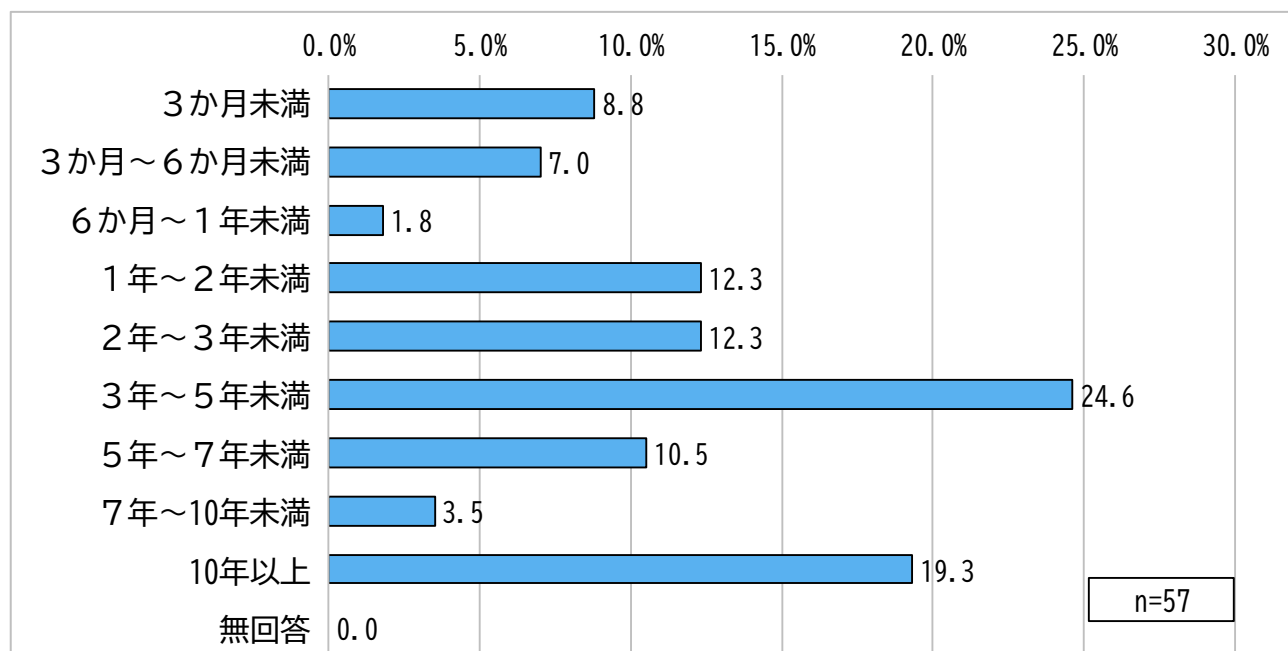
(4) ひきこもりとなってどのくらい経つか

【問10で「1.」を選択した方にうかがいます。】

問10-1 あなたがその状態となって、どのくらい経ちますか。

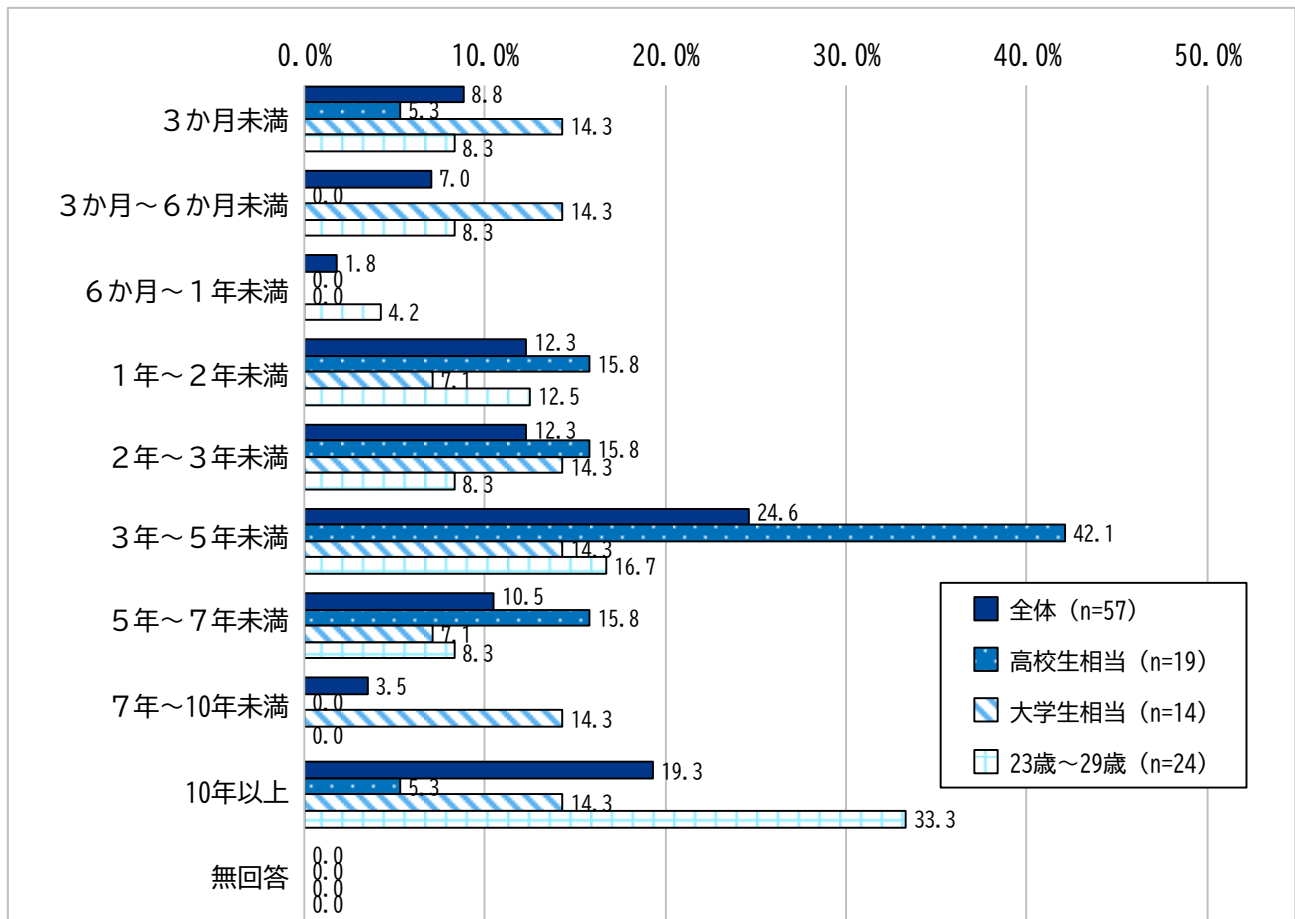
ひきこもりとなってどのくらい経つかについて、「3年～5年」が24.6%で最も多く、次いで「10年以上」が19.3%となっています。

図2-7 ひきこもりとなってどのくらい経つか



年齢別でみると、高校生相当では「3年～5年未満」、大学生相当では「3か月未満」「3か月～6か月未満」「2年～3年未満」「3年～5年未満」「7年～10年未満」「10年以上」、23歳～29歳では「10年以上」が最も多く、次いで高校生相当では「1年～2年未満」「2年～3年未満」「5年～7年未満」、大学生相当では「1年～2年未満」「5年～7年未満」、23歳～29歳では「3年～5年未満」となっています。

図2-8 ひきこもりとなってどのくらい経つか（年齢別）



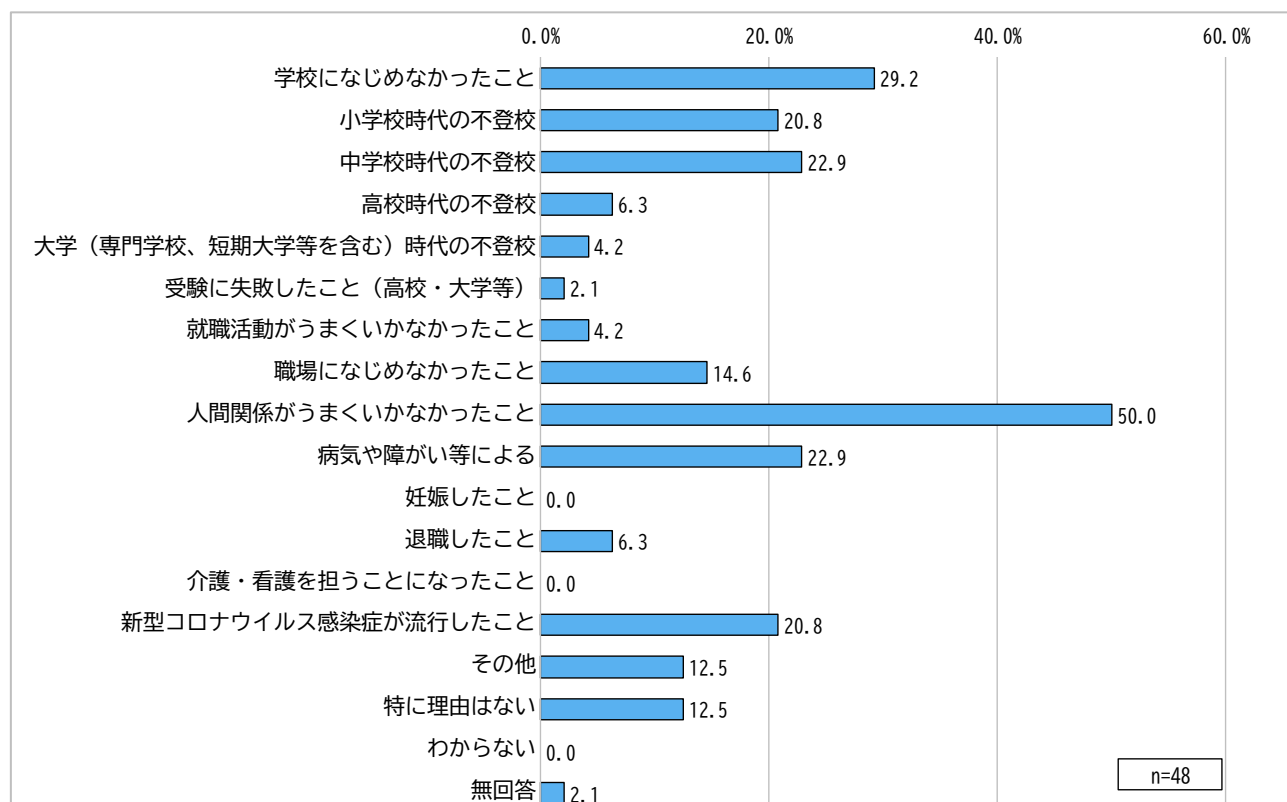
(5) ひきこもりになった主な理由

【問10-1で「3.」～「9.」のいずれかを選択した方にうかがいます。】

問10-2 あなたがその状態になった主な理由は何ですか。（複数回答）

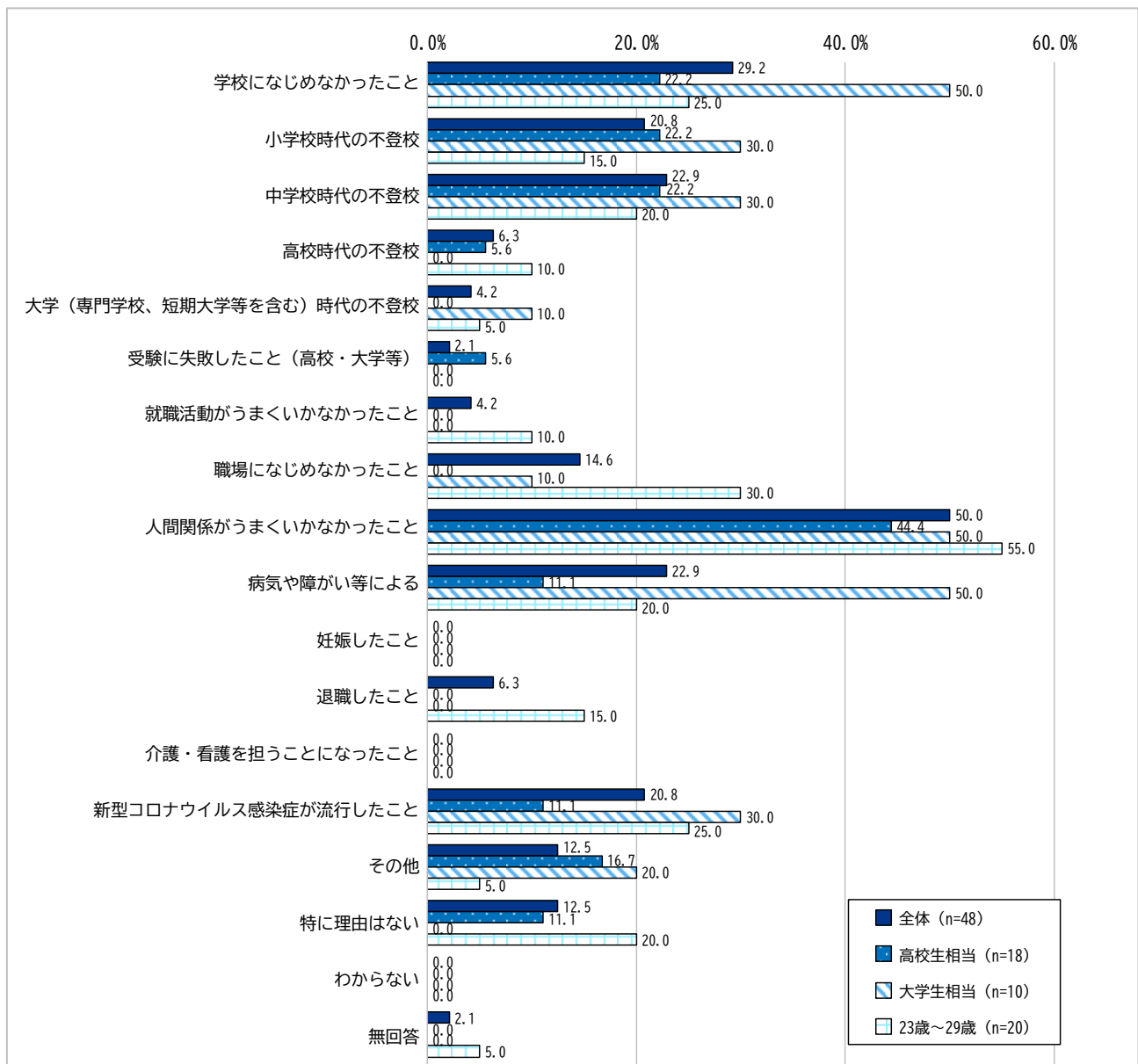
ひきこもりになった主な理由について、「人間関係がうまくいかなかったこと」が50.0%で最も多く、次いで「学校になじめなかったこと」が29.2%となっています。

図2-9 ひきこもりになった主な理由



年齢別でみると、高校生相当では「人間関係がうまくいかなかったこと」、大学生相当では「学校になじめなかったこと」「人間関係がうまくいかなかったこと」「病気や障がい等による」、23歳～29歳では「人間関係がうまくいかなかったこと」が最も多く、次いで高校生相当では「学校になじめなかったこと」「小学校時代の不登校」「中学校時代の不登校」、大学生相当では「小学校時代の不登校」「中学校時代の不登校」「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」、23歳～29歳では「職場になじめなかったこと」となっています。

図2-10 ひきこもりになった主な理由（年齢別）



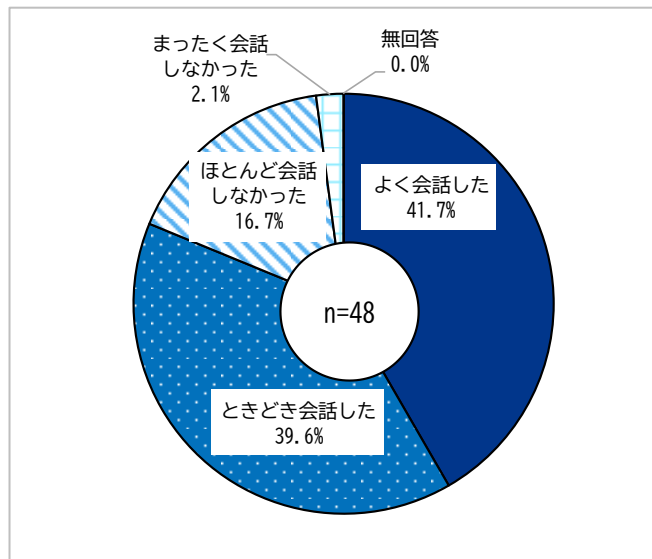
（６）最近６か月間での家族以外の人と会話をしたか

【問 10-1 で「３．」～「９．」のいずれかを選択した方にうかがいます。】

問 10-3 最近６か月間に、家族以外の人と会話しましたか。

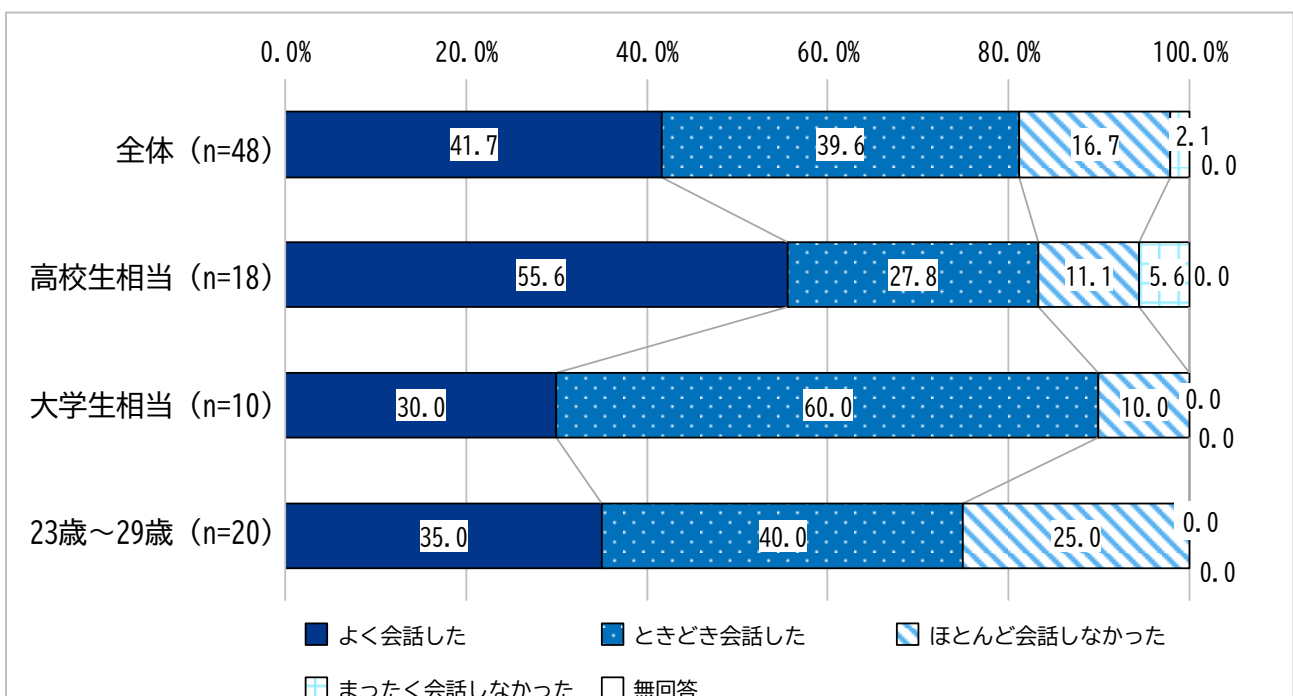
最近６か月間での家族以外の人と会話をしたかについて、「よく会話した」が 41.7% で最も多く、次いで「ときどき会話した」が 39.6% となっています。

図 2-11 最近６か月間での家族以外の人と会話をしたか



年齢別でみると、高校生相当では「よく会話した」、大学生相当と 23 歳～29 歳では「ときどき会話した」が最も多くなっています。

図 2-12 最近６か月間での家族以外の人と会話をしたか（年齢別）



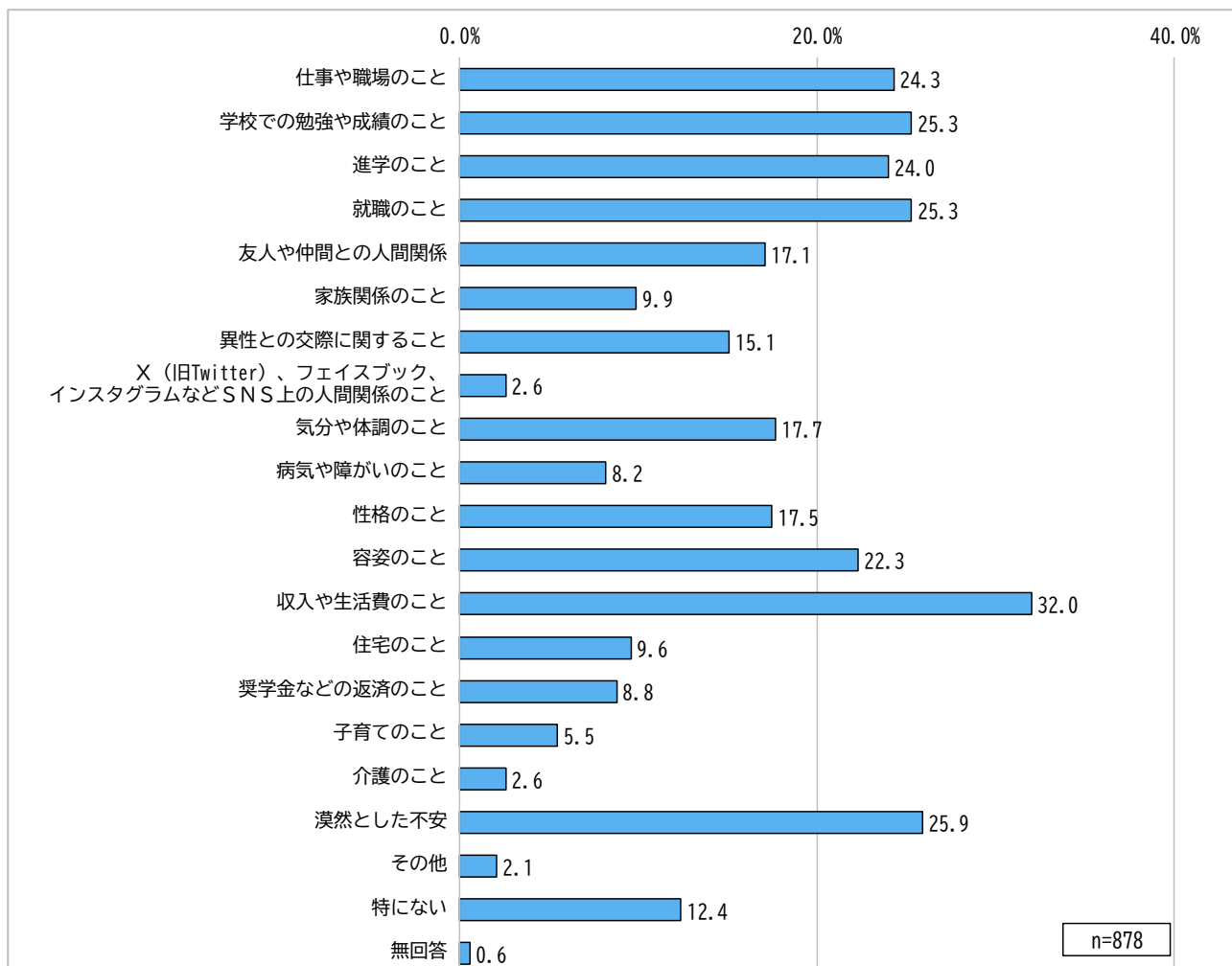
3 自身の経験、悩みや不安について

(1) 悩みや不安

問11 現在、悩みや不安はありますか。（複数選択）

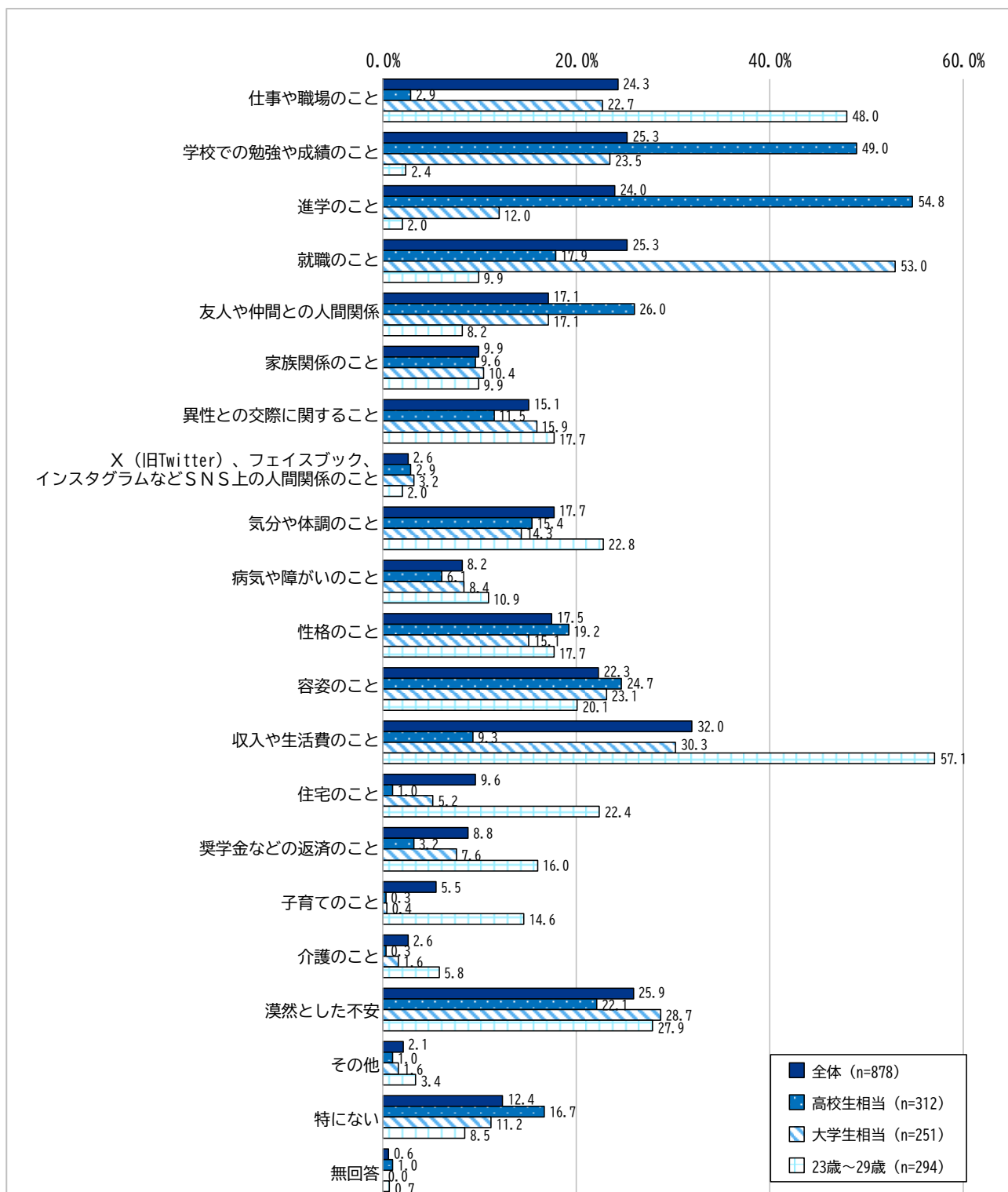
悩みや不安について、「収入や生活費のこと」が32.0%で最も多く、次いで「漠然とした不安」が25.9%となっています。

図3-1 悩みや不安



年齢別でみると、高校生相当では「進学のこと」、大学生相当では「就職のこと」、23歳～29歳では「収入や生活費のこと」が最も多く、次いで高校生相当では「学校での勉強や成績のこと」、大学生相当では「収入や生活費のこと」、23歳～29歳では「仕事や職場のこと」となっています。

図3-2 悩みや不安（年齢別）

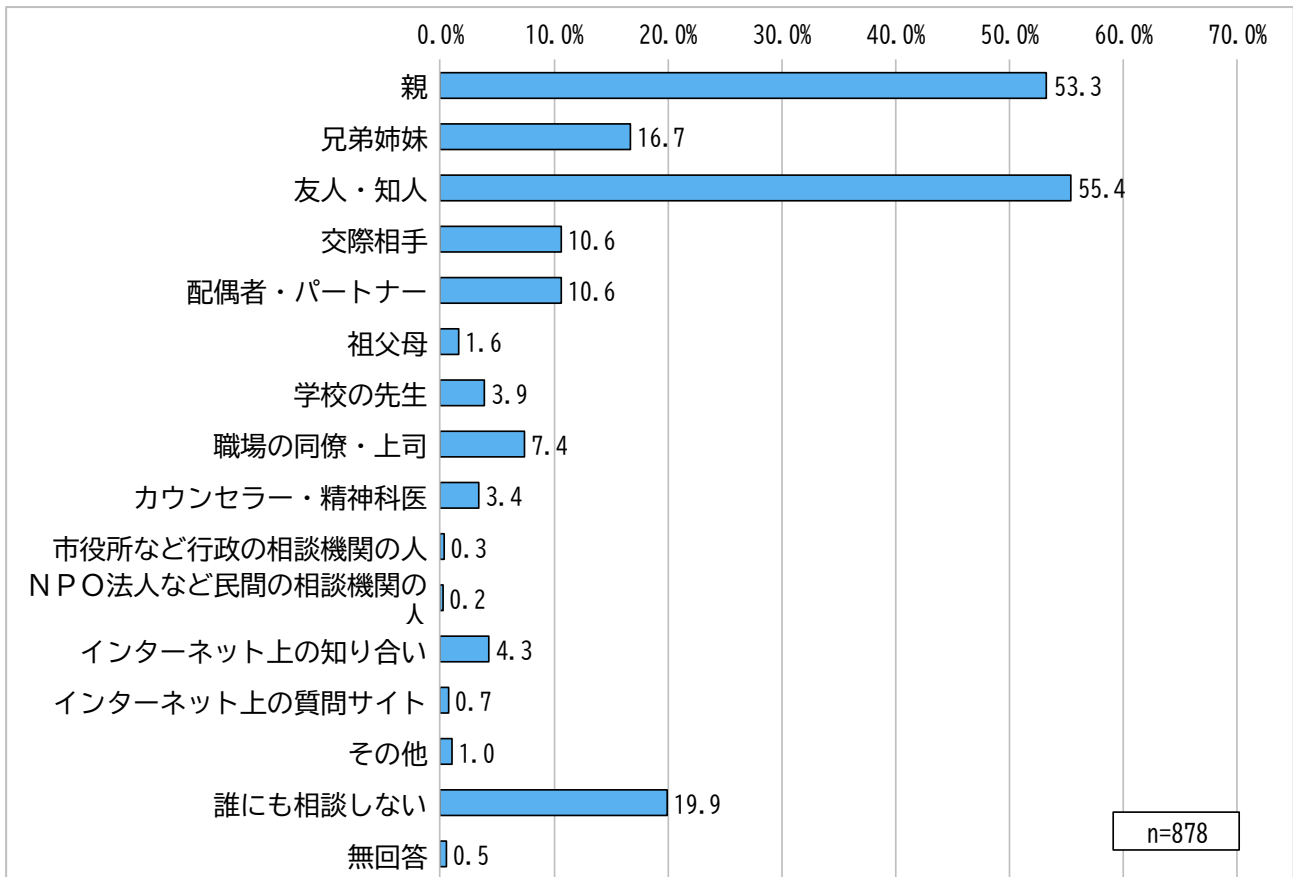


(2) 悩み事の相談相手

問 12 ふだん悩み事を誰に相談しますか。(複数選択)

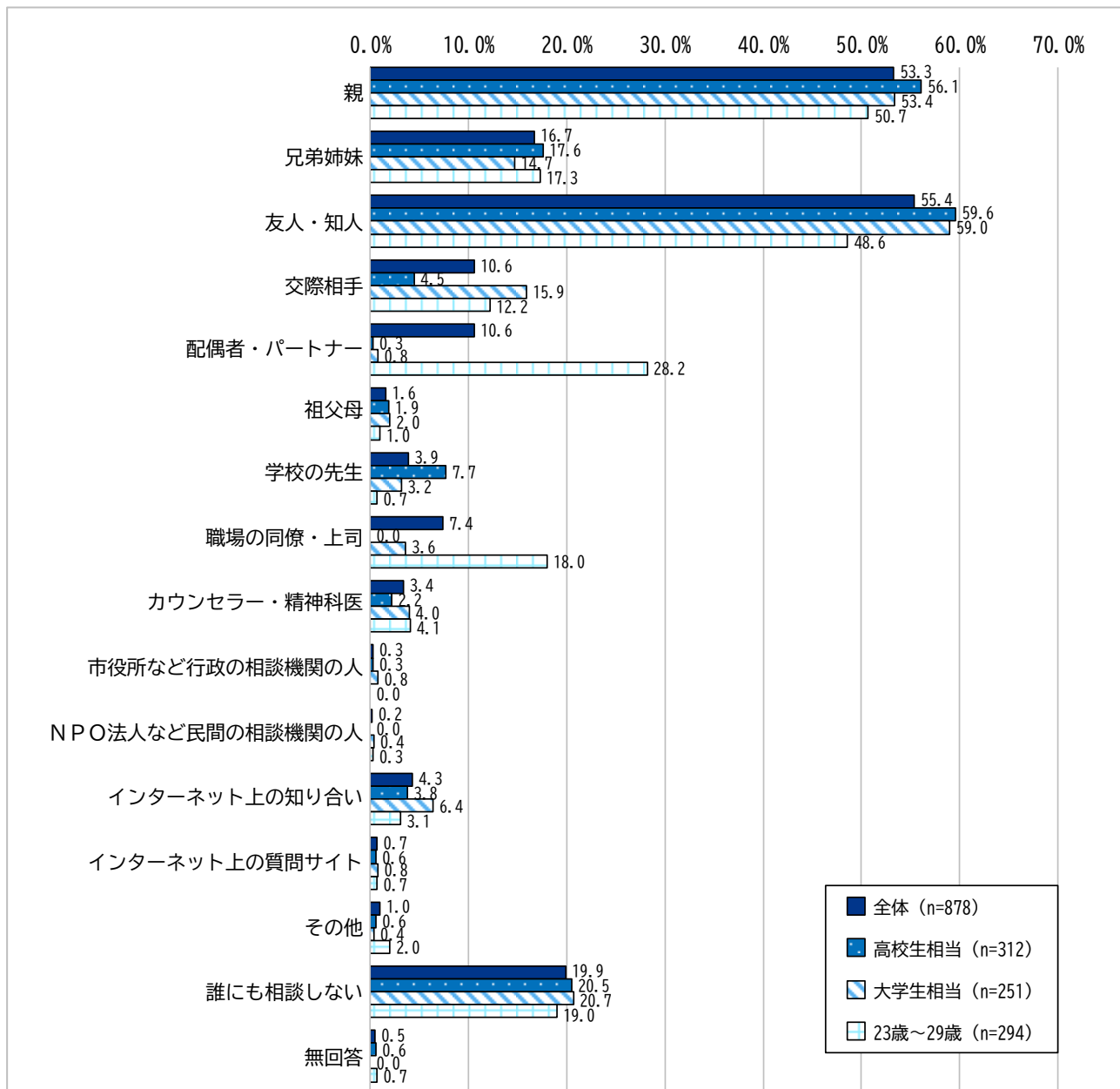
悩み事の相談相手について、「友人・知人」が55.4%で最も多く、次いで「親」が53.3%となっています。

図3-3 悩み事の相談相手



年齢別でみると、高校生相当と大学生相当では「知人・友人」、23歳～29歳では「親」が最も多く、次いで高校生相当と大学生相当では「親」、23歳～29歳では「友人・知人」となっています。

図3-4 悩み事の相談相手（年齢別）

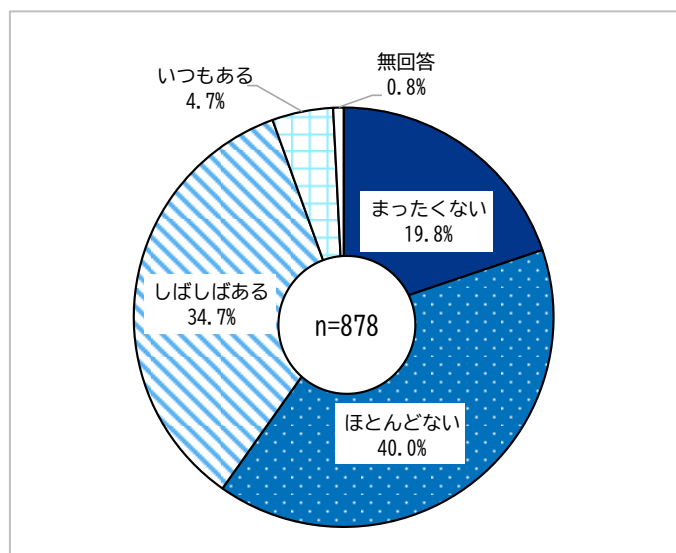


(3) どの程度、孤独であると感じるか

問 13 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。

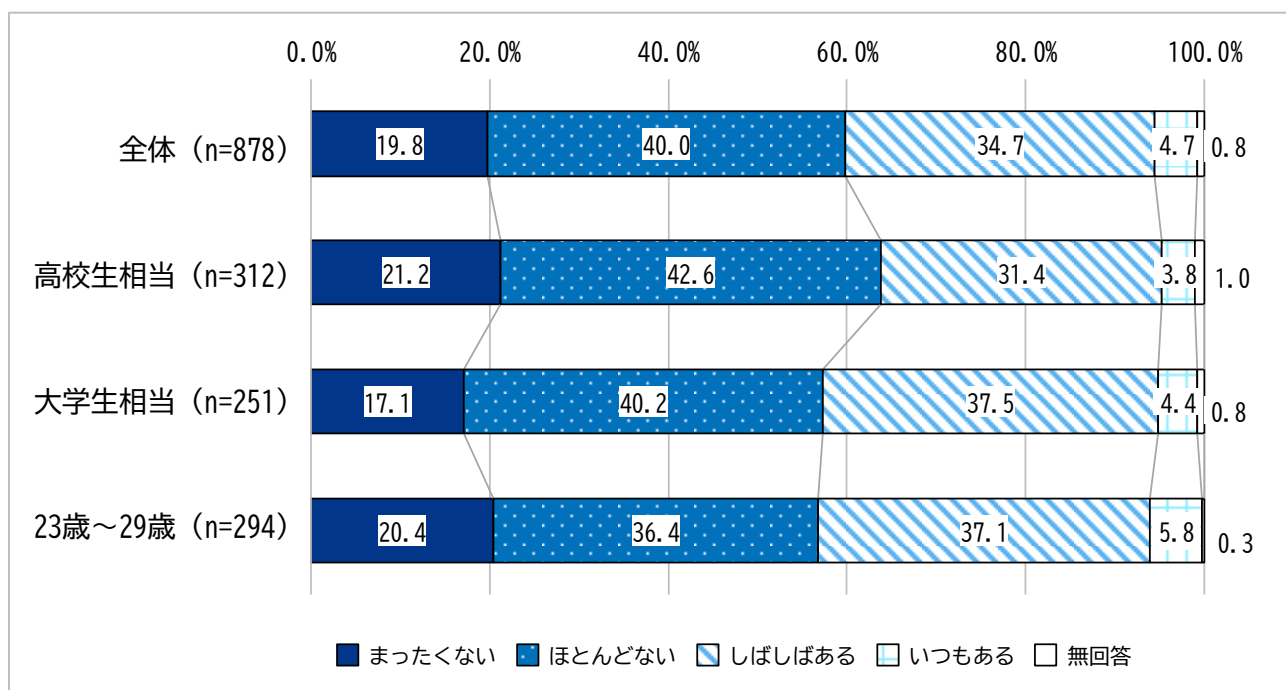
どの程度、孤独であると感じるかについて、「ほとんどない」が40.0%で最も多く、次いで「しばしばある」が34.7%となっています。

図3-5 どの程度、孤独であると感じるか



年齢別でみると、高校生相当と大学生相当ではともに「ほとんどない」、23歳～29歳では「しばしばある」が最も多く、次いで高校生相当と大学生相当ではともに「しばしばある」、23歳～29歳では「ほとんどない」となっています。

図3-6 どの程度、孤独であると感じるか（年齢別）



(4) 過去に経験したこと

問 14 あなたはこれまでに、次のようなことを経験したことはありますか。実際に経験したことのあるものをすべて選択してください。（複数選択）

過去に経験したことについて、「上記のことを経験したことはない」が 67.8%で最も多く、次いで「クラスや職場への不適應」が 15.1%となっております。

通っていた学校について、「学校の中途退学」と回答した方にたずねたところ、「高等学校」「大学・短期大学」が 32.4%で最も多く、次いで「専門学校」が 18.9%となっています。

図3-7 過去に経験したこと

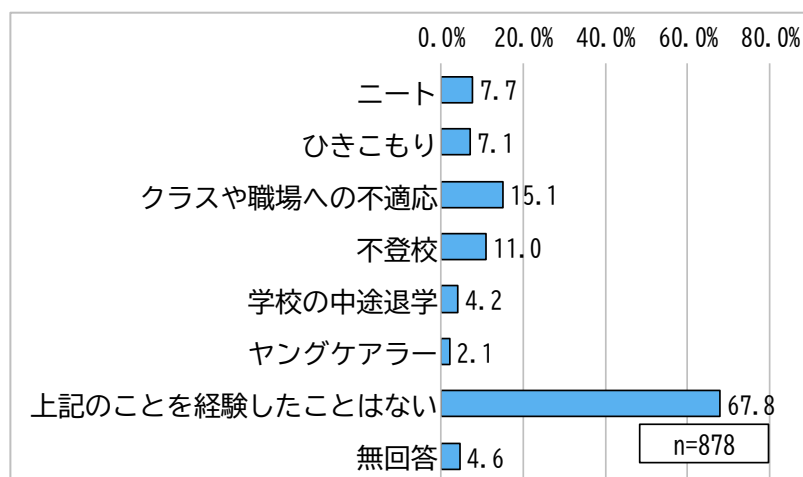
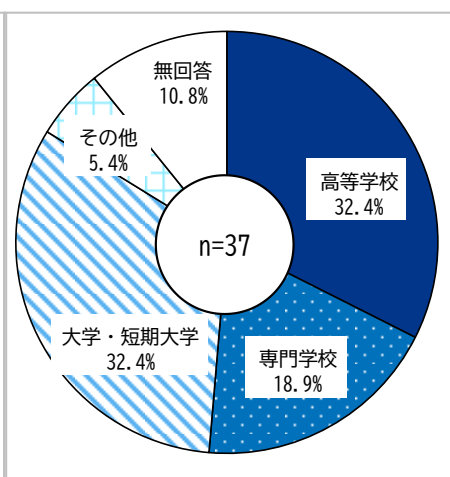
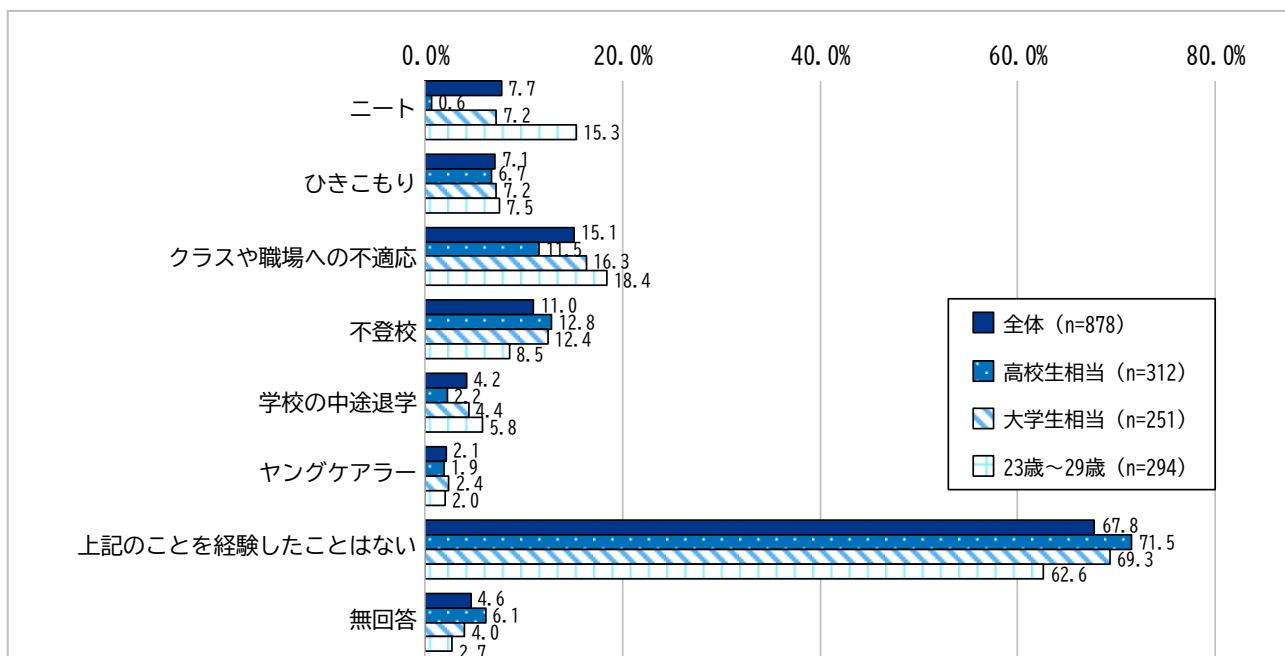


図3-8 通っていた学校



年齢別でみると、全ての年齢で「上記のことを経験したことはない」が最も多く、次いで高校生相当では「不登校」、大学生相当と 23 歳～29 歳ではともに「クラスや職場への不適應」となっています。

図3-9 次のような経験をしたことがあるか（年齢別）



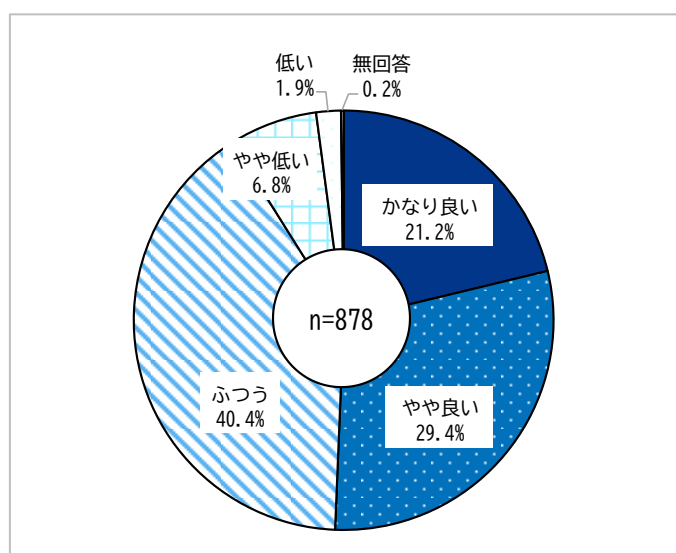
4 自身の生活について

(1) 家庭の暮らし向き

問 15 あなたの家の暮らし向き（衣食住、レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べて、どの程度だと思いますか。

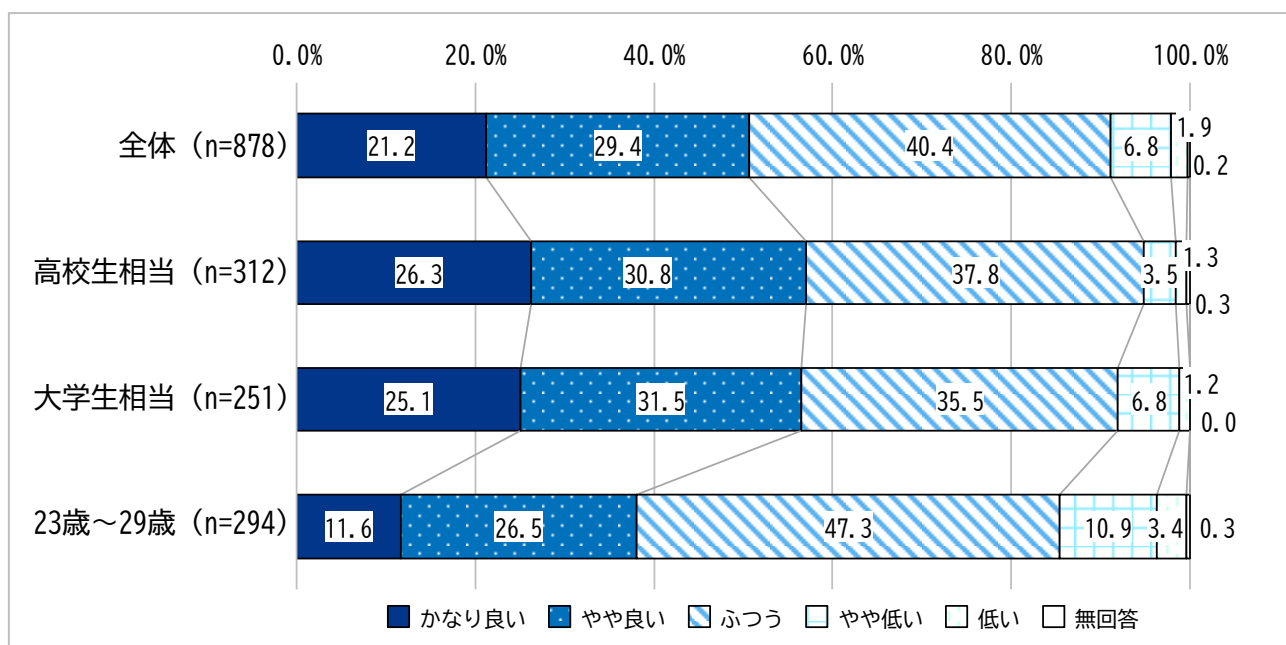
家庭の暮らし向きについて、「ふつう」が40.4%で最も多く、次いで「やや良い」が29.4%となっています。

図4-1 家庭の暮らし向き



年齢別でみると、全ての年齢で「ふつう」が最も多く、次いで「やや良い」となっています。

図4-2 家庭の暮らし向き（年齢別）

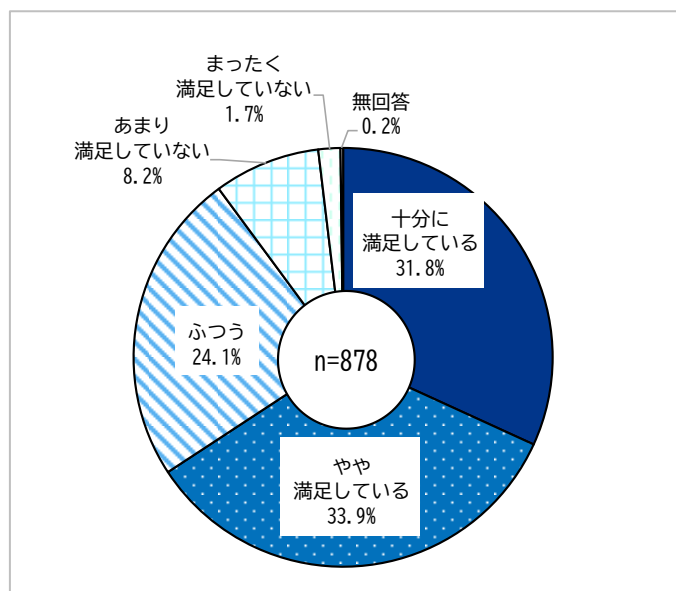


(2) 生活の満足度

問 16 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

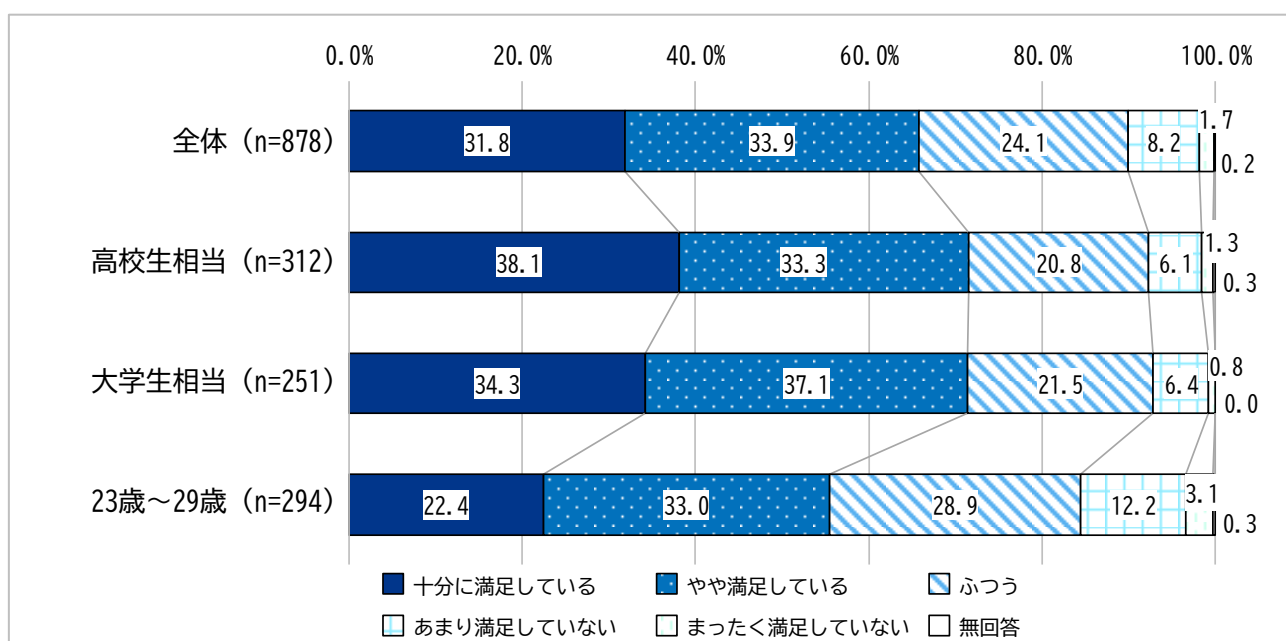
生活の満足度について、「やや満足している」が 33.9%で最も多く、次いで「十分に満足している」が 31.8%となっています。

図4-3 生活の満足度



年齢別でみると、高校生相当では「十分に満足している」、大学生相当と 23 歳～29 歳ではともに「やや満足している」が最も多く、次いで高校生相当では「やや満足している」、大学生相当では「十分に満足している」、23 歳～29 歳では「ふつう」となっています。

図4-4 生活の満足度（年齢別）

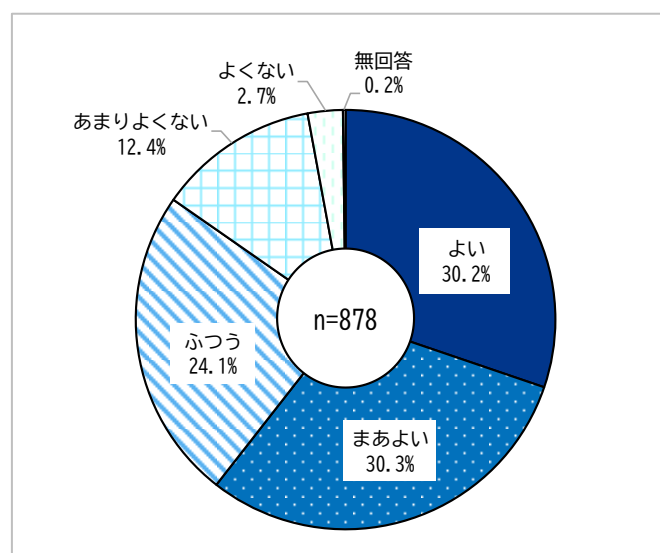


(3) 自分の健康状態

問 17 あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。

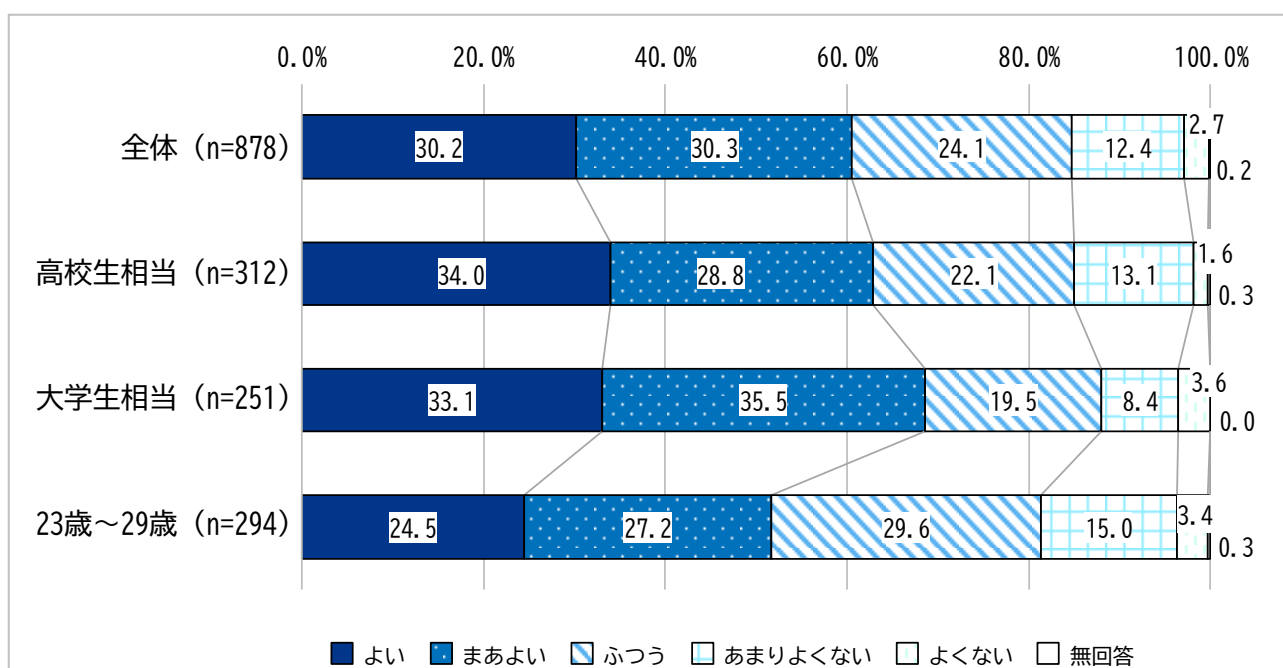
自分の健康状態について、「まあよい」が 30.3%で最も多く、次いで「よい」が 30.2%となっています。

図4-5 自分の健康状態



年齢別でみると、高校生相当では「よい」、大学生相当では「まあよい」、23歳～29歳では「あまりよくない」が最も多く、次いで高校生相当と23歳～29歳ではともに「まあよい」、大学生相当では「よい」となっています。

図4-6 自分の健康状態（年齢別）

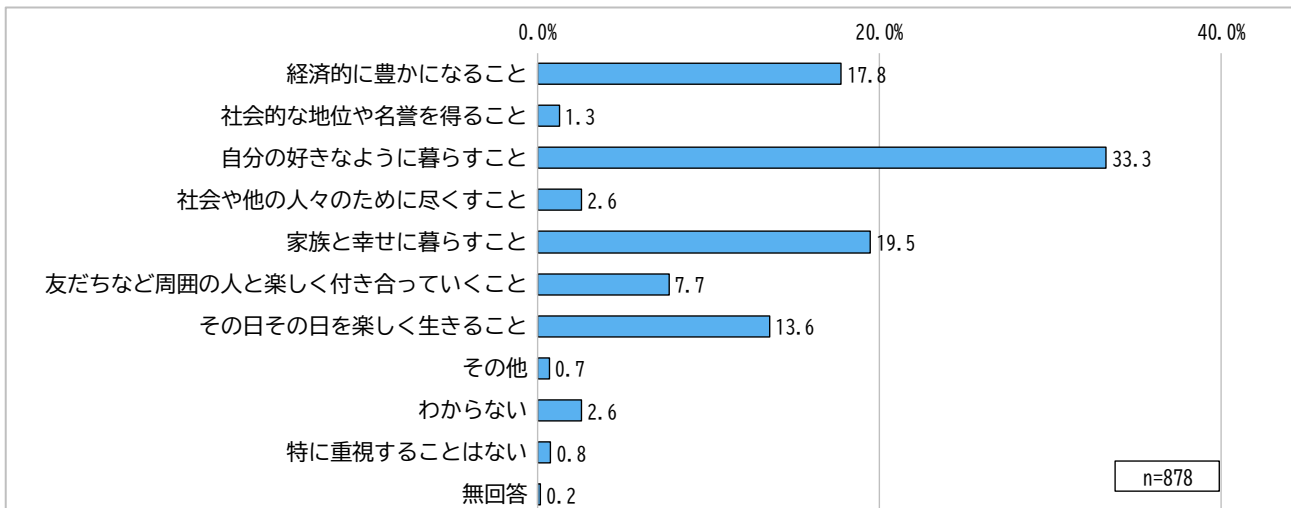


(4) 理想とする生き方で重視すること

問 18 理想とする生き方について、次の中で特に重視することは何ですか。

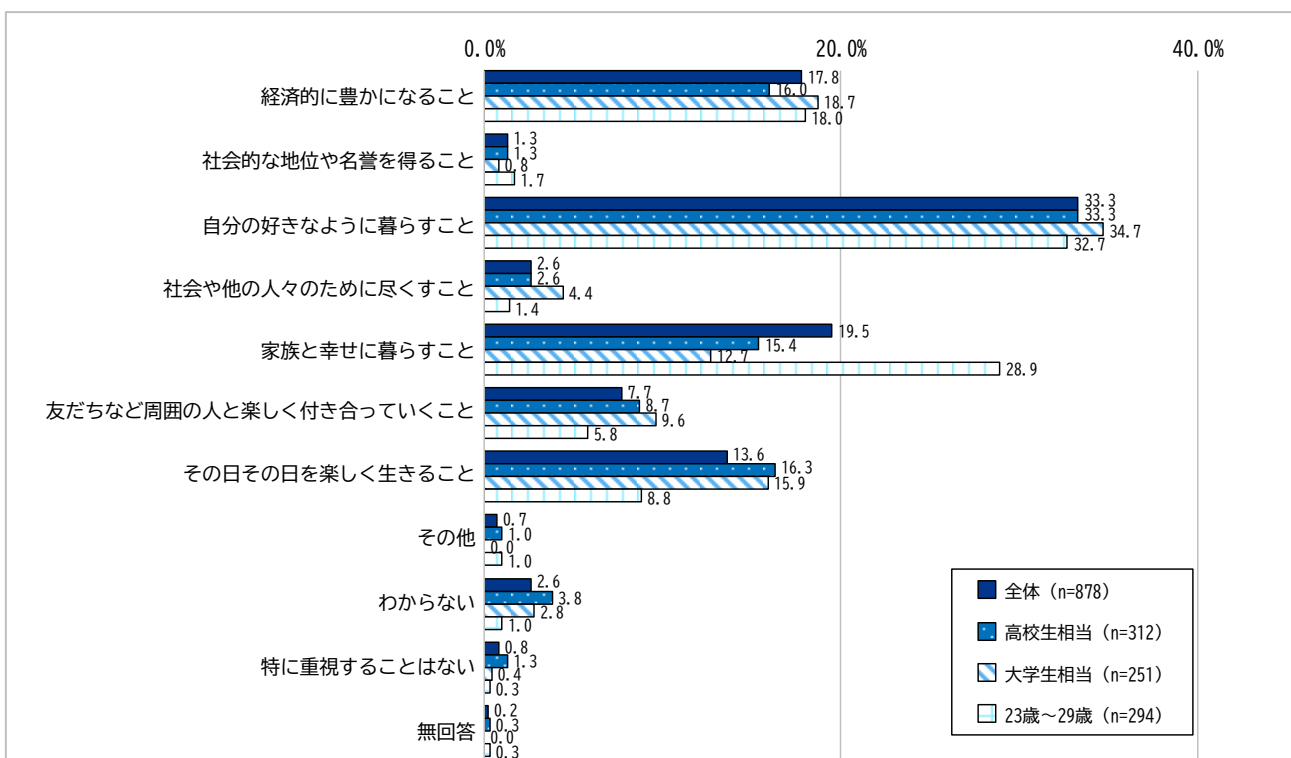
理想とする生き方で重視することについて、「自分の好きなように暮らすこと」が 33.3% で最も多く、次いで「家族と幸せに暮らすこと」が 19.5% となっています。

図 4-7 理想とする生き方で重視すること



年齢別でみると、全ての年齢で「自分の好きなように暮らすこと」が最も多く、次いで高校生相当では「その日その日を楽しく生きること」、大学生相当では「経済的に豊かになること」、23 歳～29 歳では「家族と幸せに暮らすこと」となっています。

図 4-8 理想とする生き方で重視すること（年齢別）

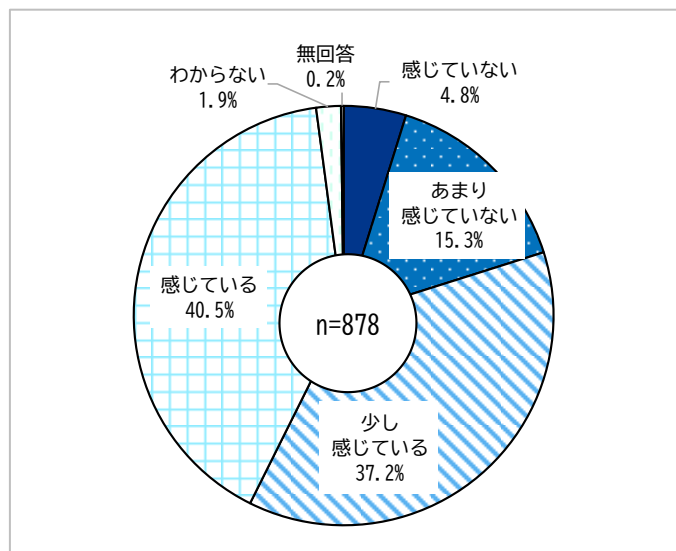


（５）将来に不安を感じるか

問 19 将来に不安を感じていますか。

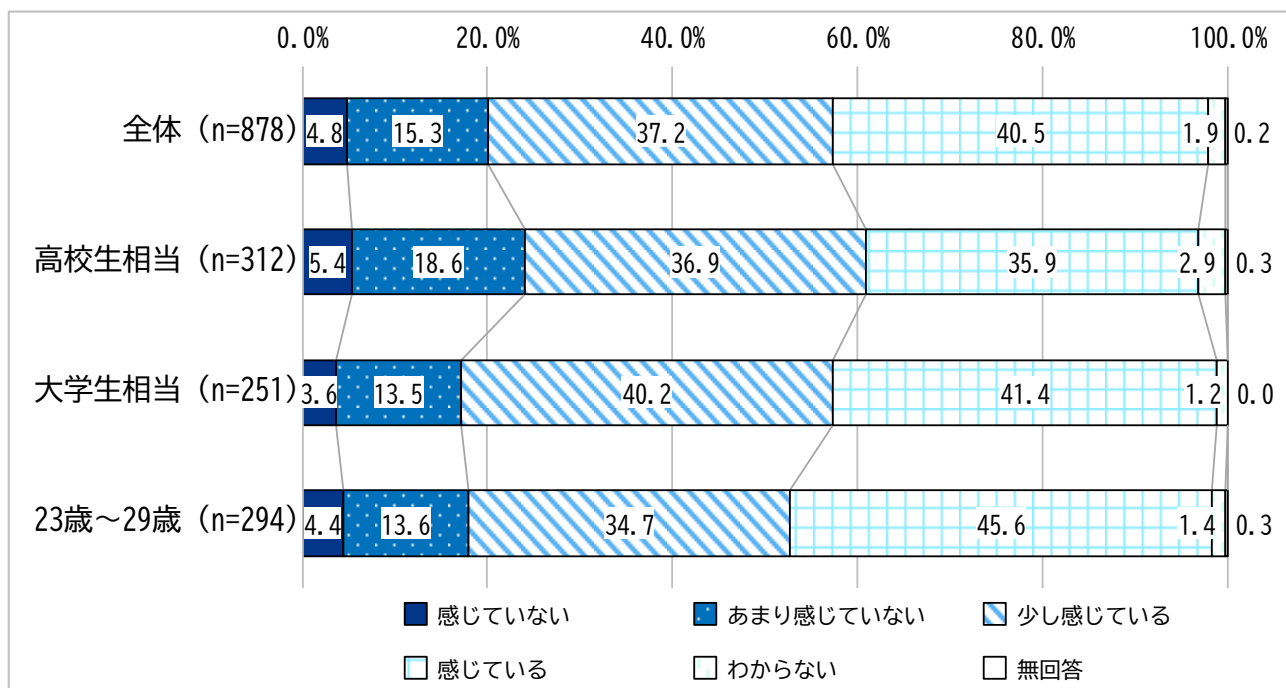
将来に不安を感じるかについて、「感じている」が40.5%で最も多く、次いで「少し感じている」が37.2%となっています。

図4-9 将来に不安を感じるか



年齢別でみると、高校生相当では「少し感じている」、大学生相当と23歳～29歳ではともに「感じている」が最も多く、次いで高校生相当では「感じている」、大学生相当と23歳～29歳ではともに「少し感じている」となっています。

図4-10 将来に不安を感じるか（年齢別）



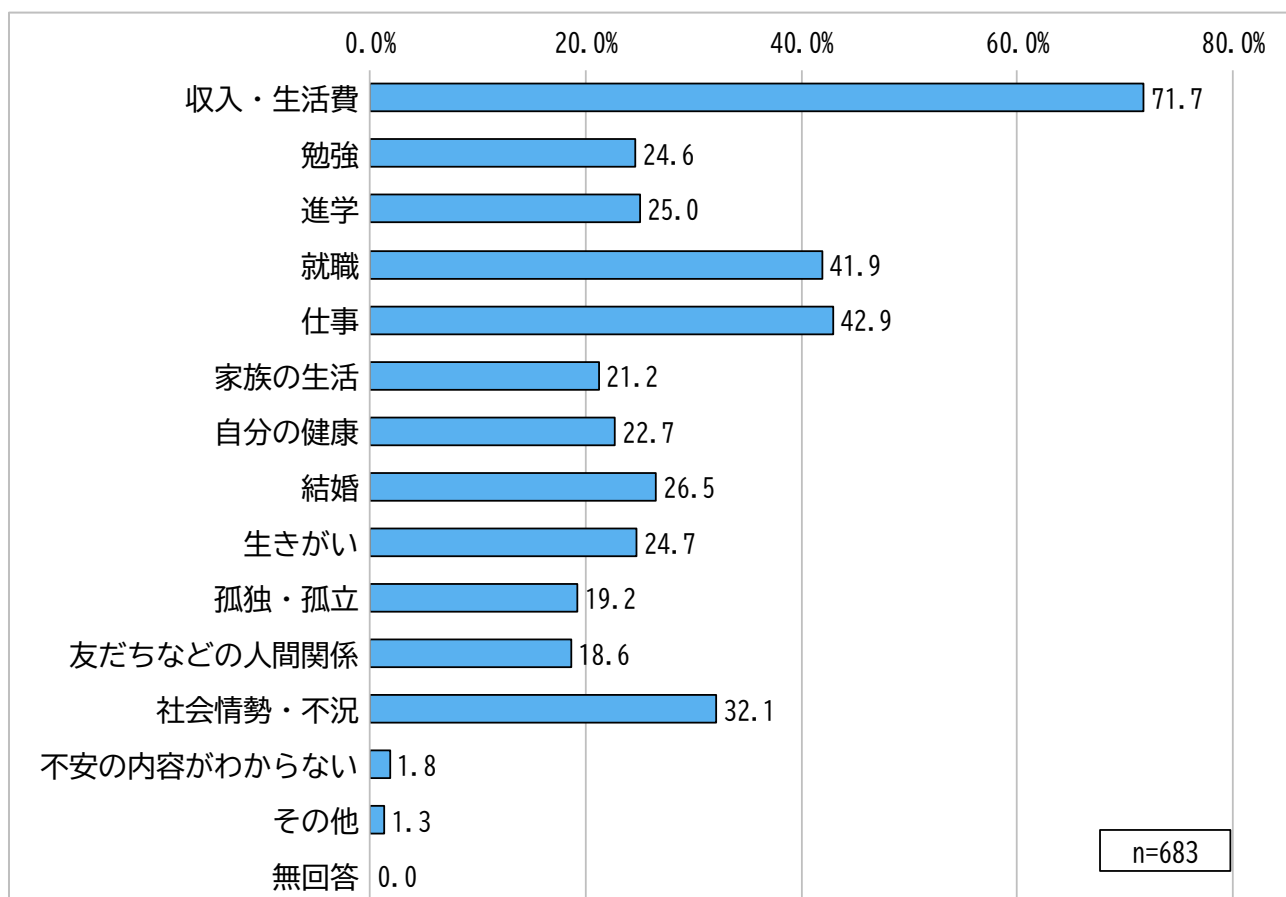
（６）将来への不安

【問 19 で「３．」または「４．」を選択した方にうかがいます。】

問 19-１ 将来への不安は何ですか。（複数選択）

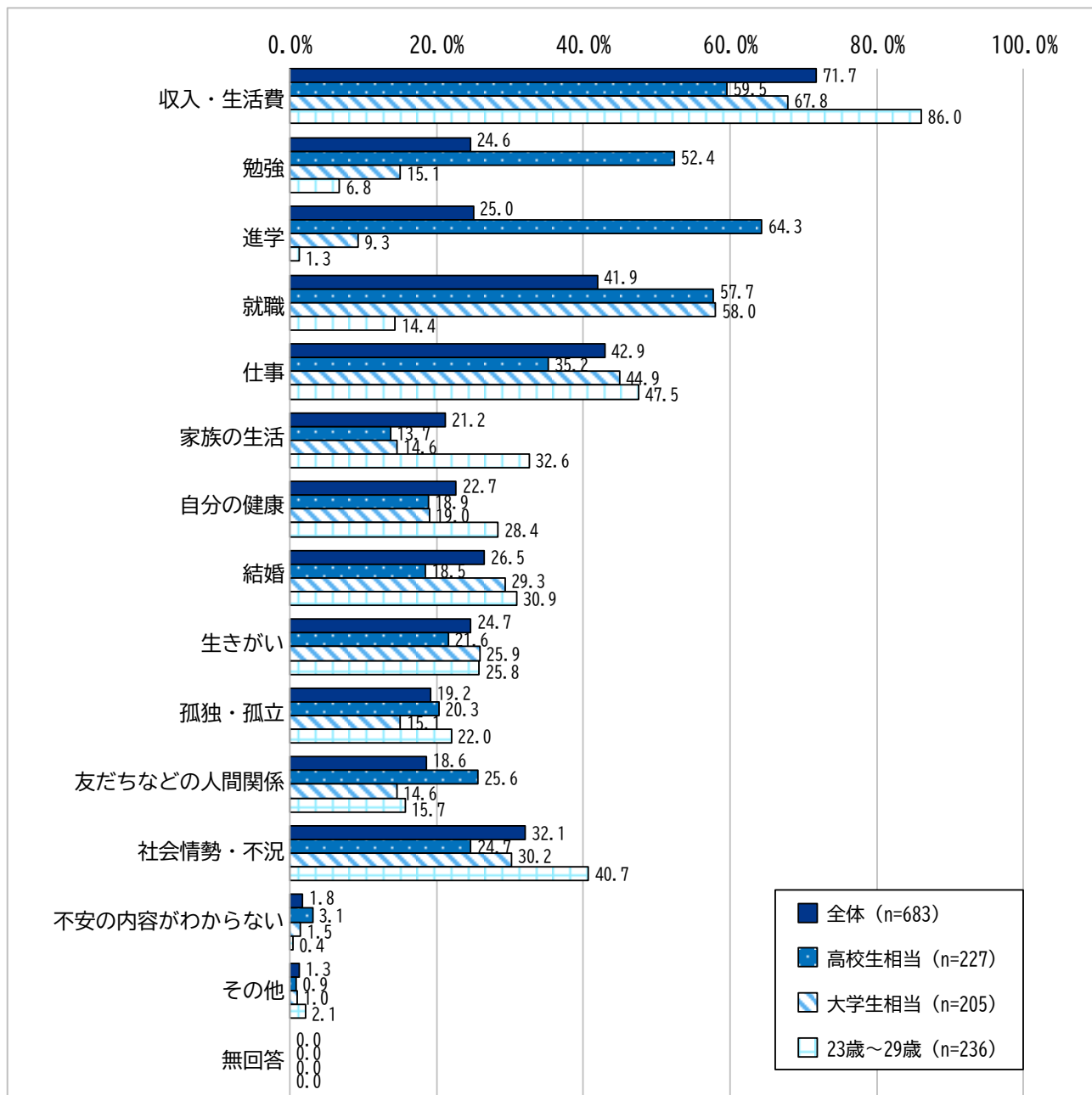
将来への不安について、「収入・生活費」が 71.7%で最も多く、次いで「仕事」が 42.9%となっています。

図 4-11 将来への不安



年齢別でみると、高校生相当では「進学」、大学生相当、23歳～29歳ではともに「収入・生活費」が最も多く、次いで高校生相当では「収入・生活費」、大学生相当では「就職」、23歳～29歳では「仕事」となっています。

図4-12 将来への不安（年齢別）



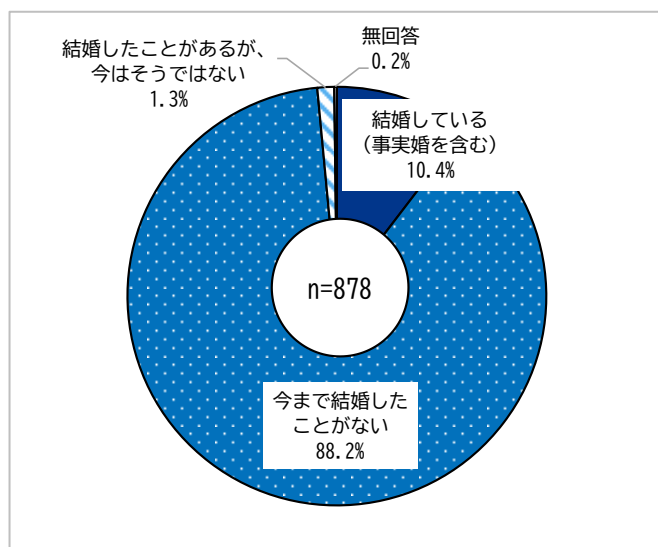
5 結婚・子育てについて

(1) 結婚の有無

問 20 あなたは、結婚していますか。

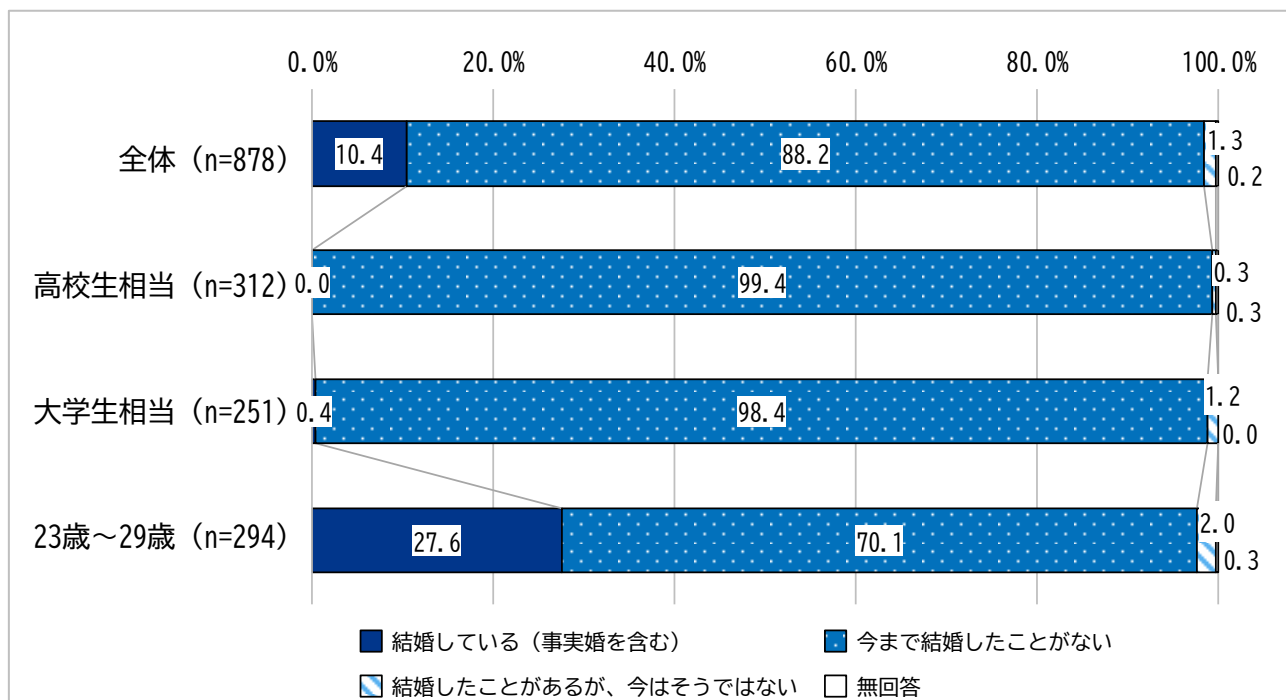
結婚の有無について、「今まで結婚したことがない」が 88.2%で最も多く、次いで「結婚している（事実婚を含む）」が 10.4%となっています。

図 5-1 結婚の有無



年齢別でみると、全ての年齢で「今まで結婚したことがない」が最も多く、次いで高校生相当と大学生相当ではともに「結婚したことがあるが、今はそうではない」、23歳～29歳では「結婚している（事実婚を含む）」となっています。

図 5-2 結婚の有無（年齢別）



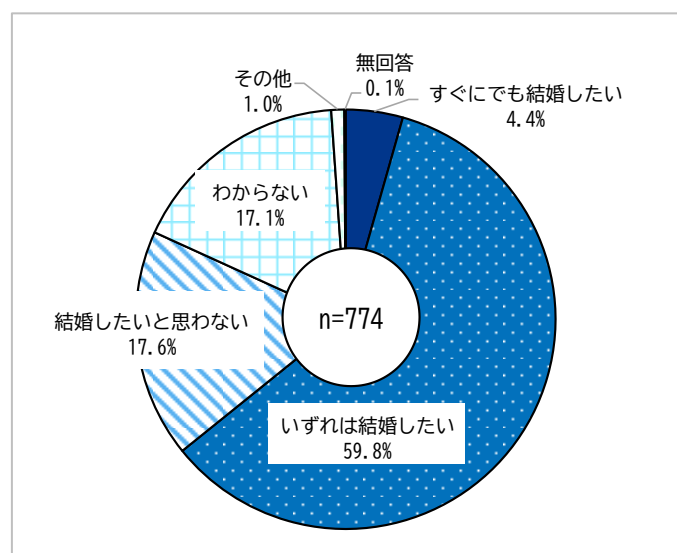
(2) 今後の結婚願望

【問 20 で「2.」を選択した方にうかがいます。】

問 20-1 今後結婚したいと思いますか。

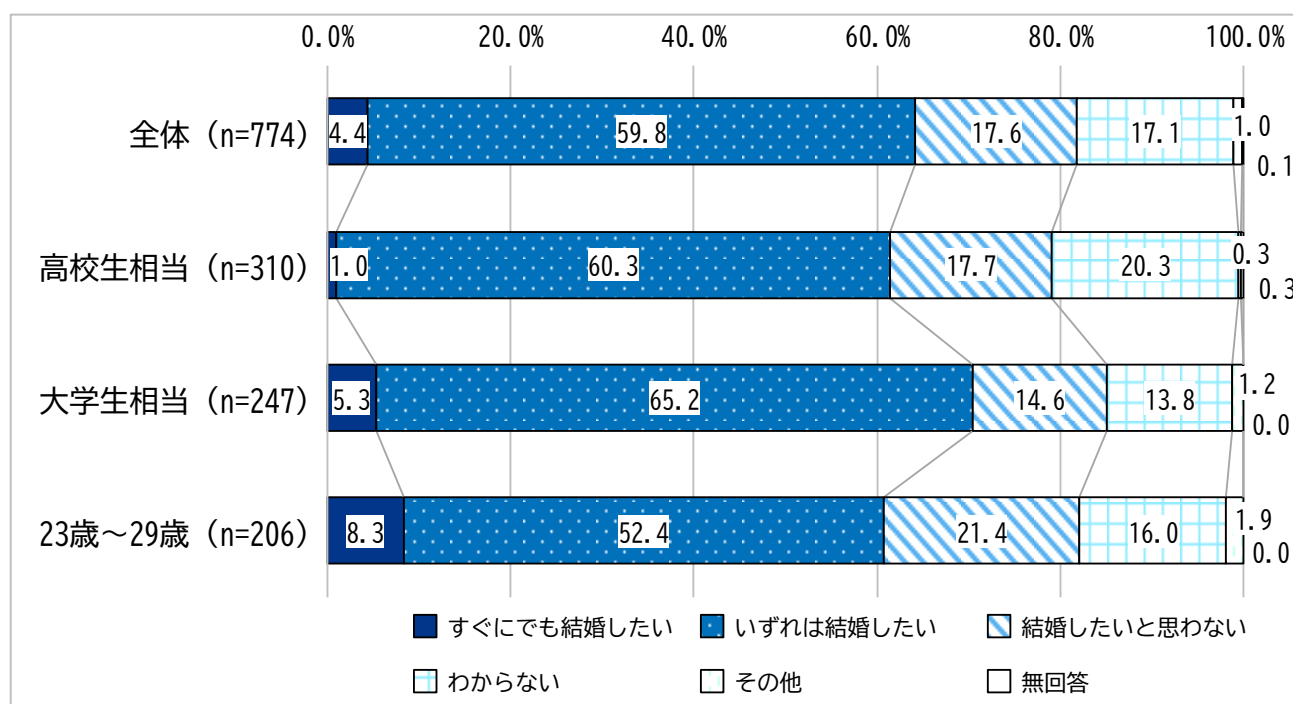
今後の結婚願望について、「いずれは結婚したい」が 59.8%で最も多く、次いで「結婚したいと思わない」が 17.6%となっています。

図 5-3 今後の結婚願望



年齢別でみると、全ての年齢で「いずれは結婚したい」が最も多く、次いで高校生相当では「わからない」、大学生相当と 23 歳～29 歳ではともに「結婚したいと思わない」となっています。

図 5-4 今後の結婚願望（年齢別）



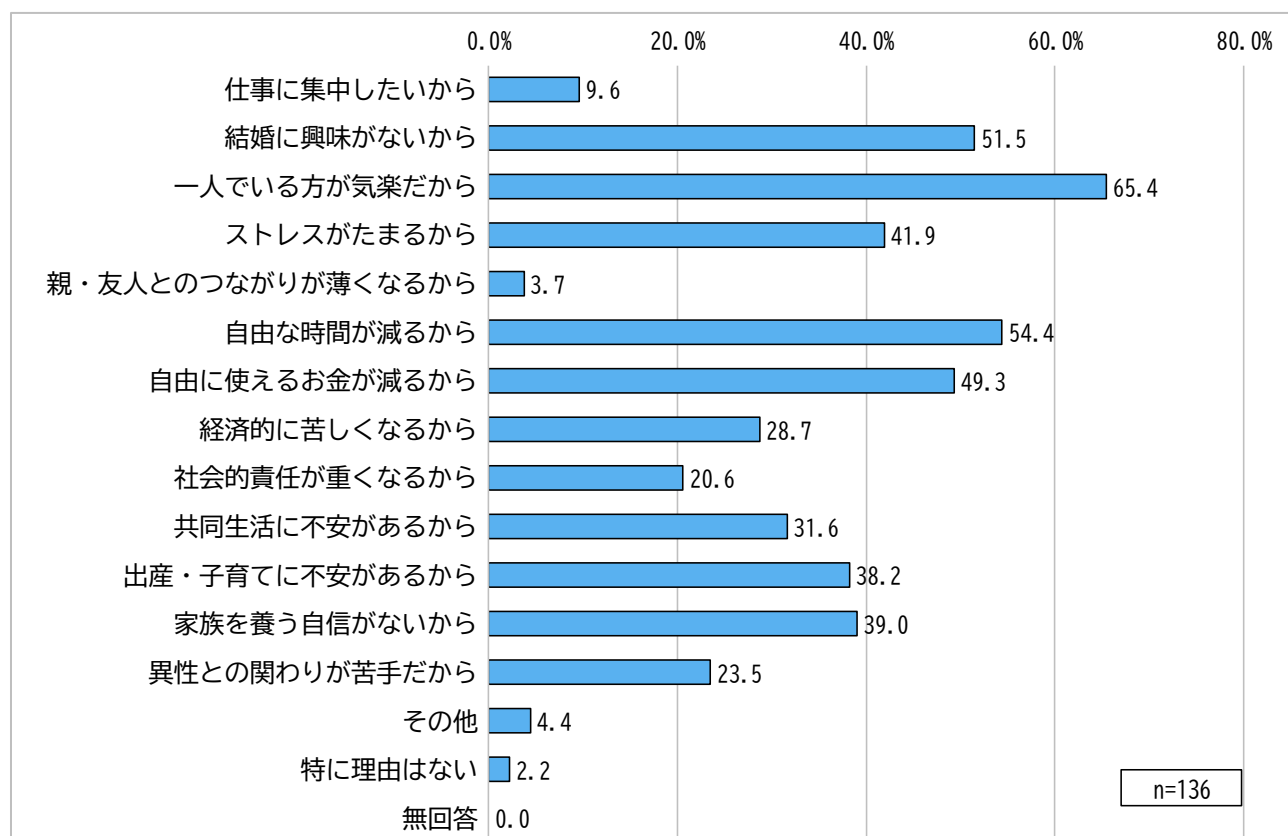
(3) 結婚したいと思わない理由

【問 20-1 で「3. 」を選択した方にうかがいます。】

問 20-2 結婚したいと思わない理由について教えてください。（複数選択）

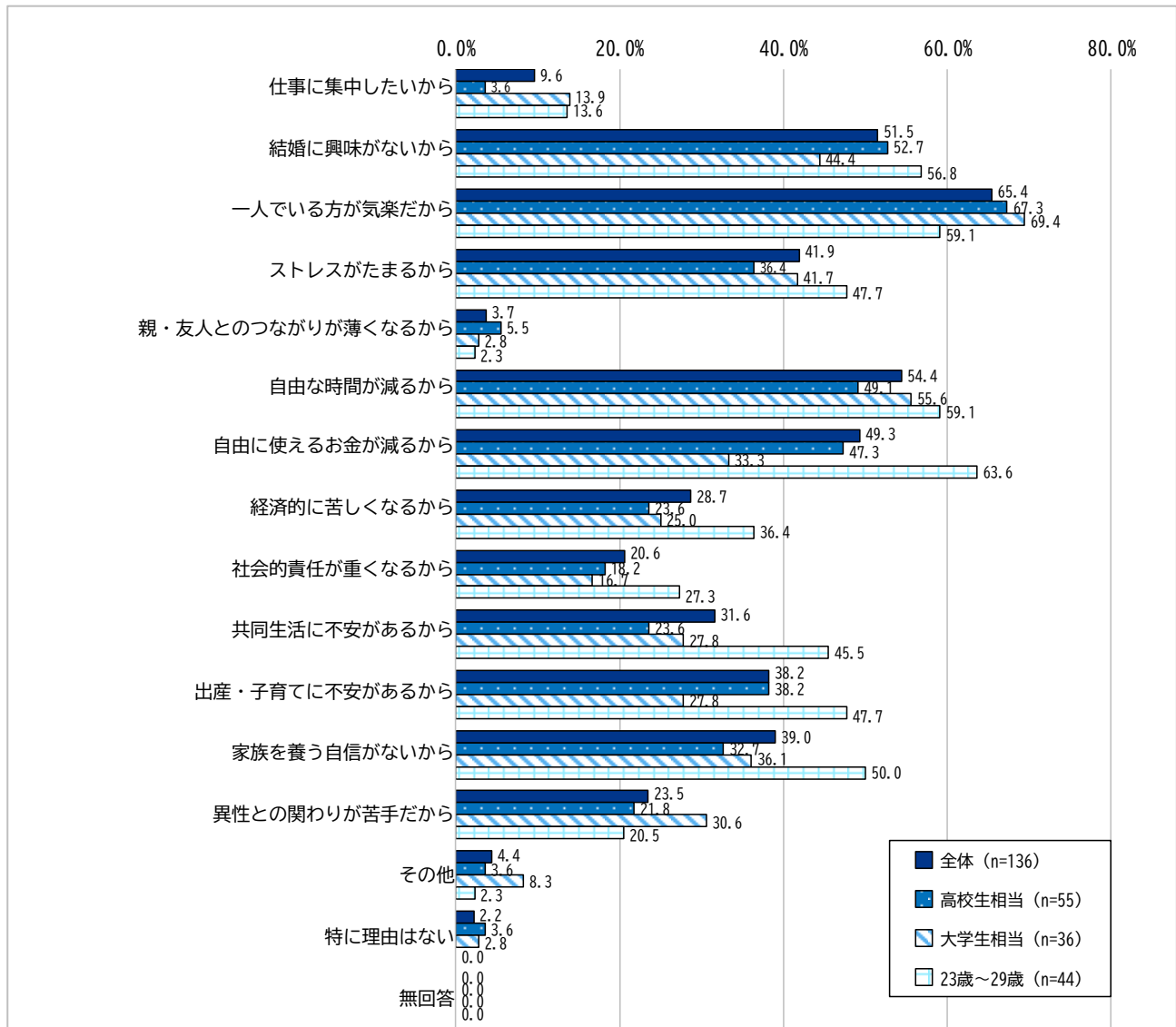
結婚したいと思わない理由について、「一人でいる方が気楽だから」が 65.4%で最も多く、次いで「自由な時間が減るから」が 54.4%となっています。

図5-5 結婚したいと思わない理由



年齢別でみると、高校生相当と大学生相当ではともに「一人でいる方が気楽だから」、23歳～29歳では「自由に使えるお金が減るから」が最も多く、次いで高校生相当では「結婚に興味がないから」、大学生相当では「自由な時間が減るから」、23歳～29歳では「一人でいる方が気楽だから」「自由な時間が減るから」となっています。

図5-6 結婚したいと思わない理由（年齢別）

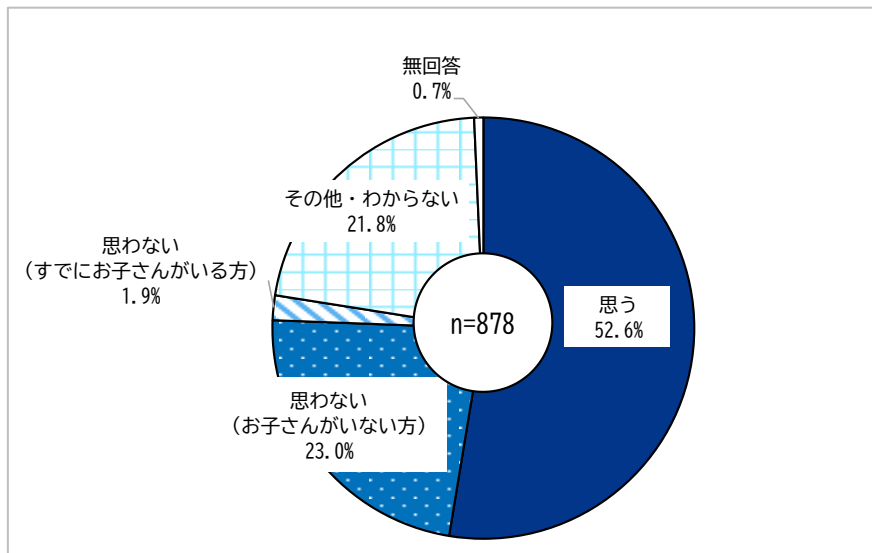


(4) 今後お子さんを持ちたいと思うか

問 21 今後お子さんを持ちたいと思いますか。現在すでにお子さんがいらっしゃる方は、さらにお子さんを持ちたいと思いますか。

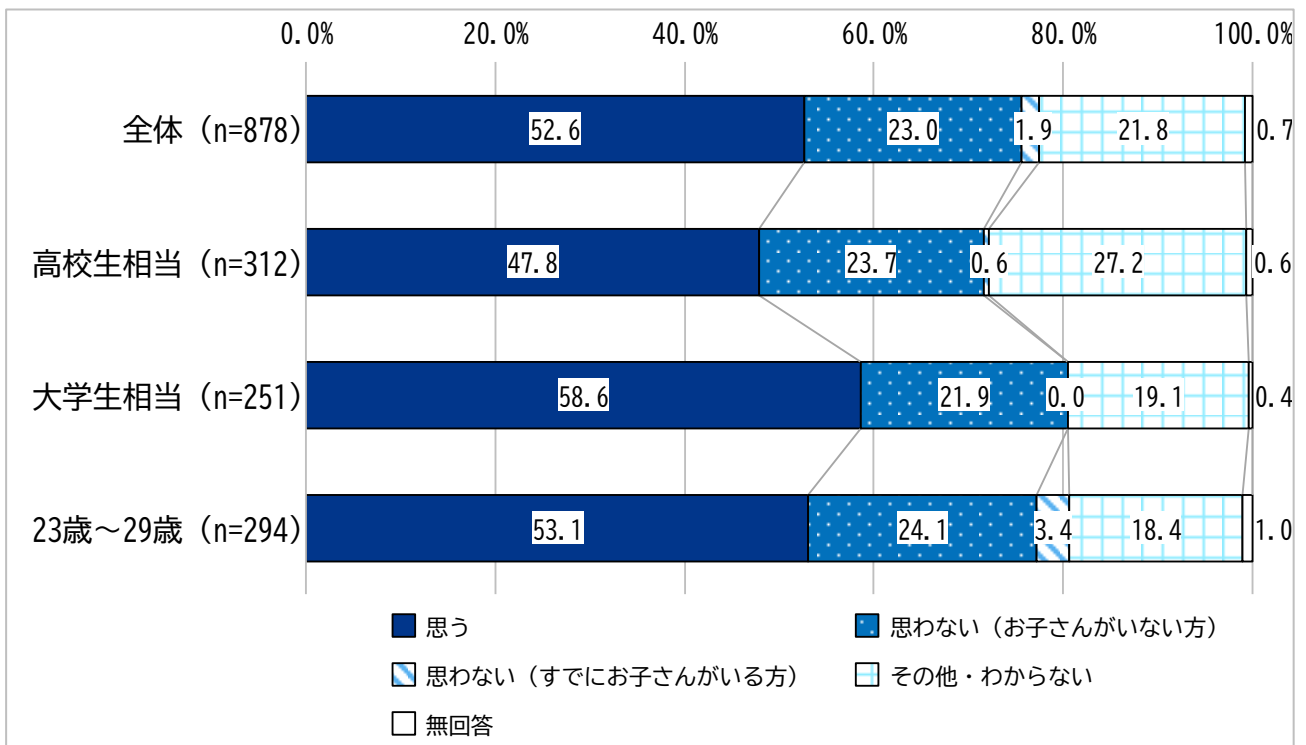
今後お子さんを持ちたいかと思うかについて、「思う」が 52.6%で最も多く、次いで「思わない（お子さんがいない方）」が 23.0%となっています。

図5-7 今後お子さんを持ちたいと思うか



年齢別でみると、全ての年齢で「思う」が最も多く、次いで高校生相当では「その他・わからない」、大学生相当と 23 歳～29 歳ではともに「思わない（お子さんがいない方）」となっています。

図5-8 今後お子さんを持ちたいと思うか（年齢別）



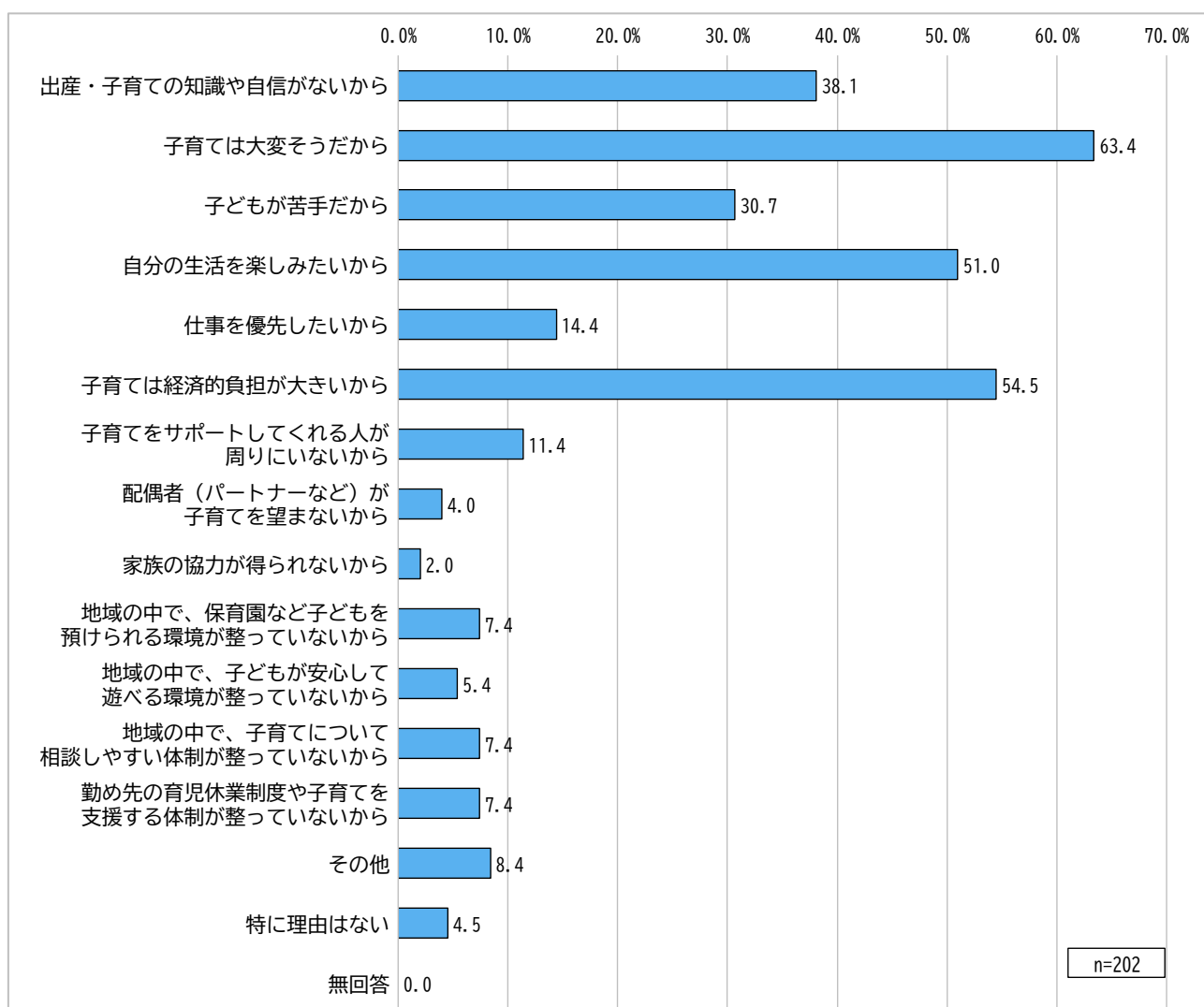
(5) お子さんを持ちたいと思わない理由

【問 21 で「2. 」を選択した方にうかがいます。】

問 21-1 お子さんを持ちたいと思わない理由について教えてください。（複数選択）

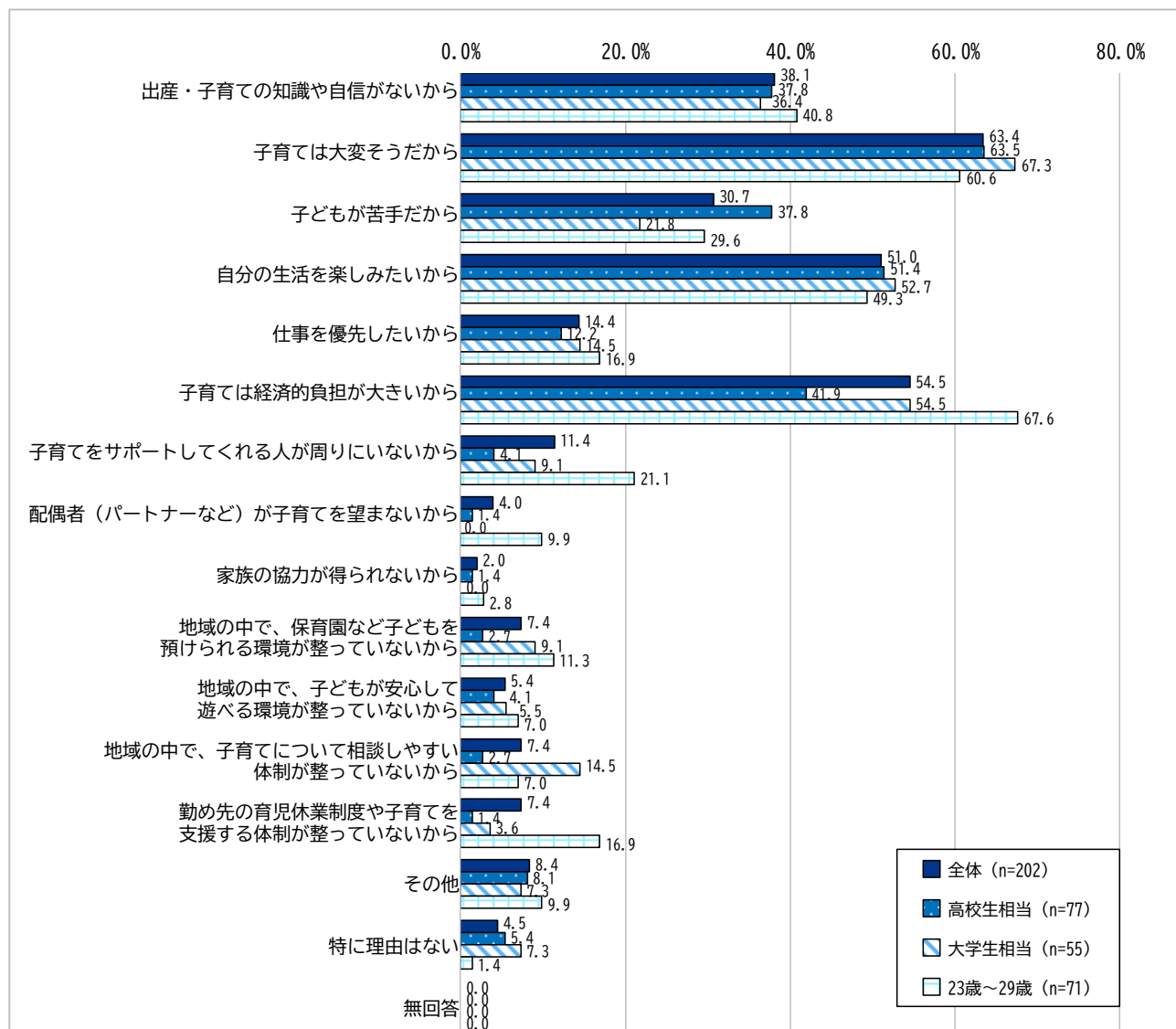
お子さんを持ちたいと思わない理由について、「子育ては大変そうだから」が 63.4%で最も多く、次いで「子育ては経済的負担が大きいから」が 54.5%となっています。

図5-9 お子さんを持ちたいと思わない理由



年齢別でみると、高校生相当と大学生相当ではともに「子育ては大変そうだから」、23歳～29歳では「子育ては経済的負担が大きい」が最も多く、次いで高校生相当では「自分の生活を楽しみたいから」、大学生相当では「子育ては経済的負担が大きい」、23歳～29歳では「子育ては大変そうだから」となっています。

図5-10 お子さんを持ちたいと思わない理由（年齢別）



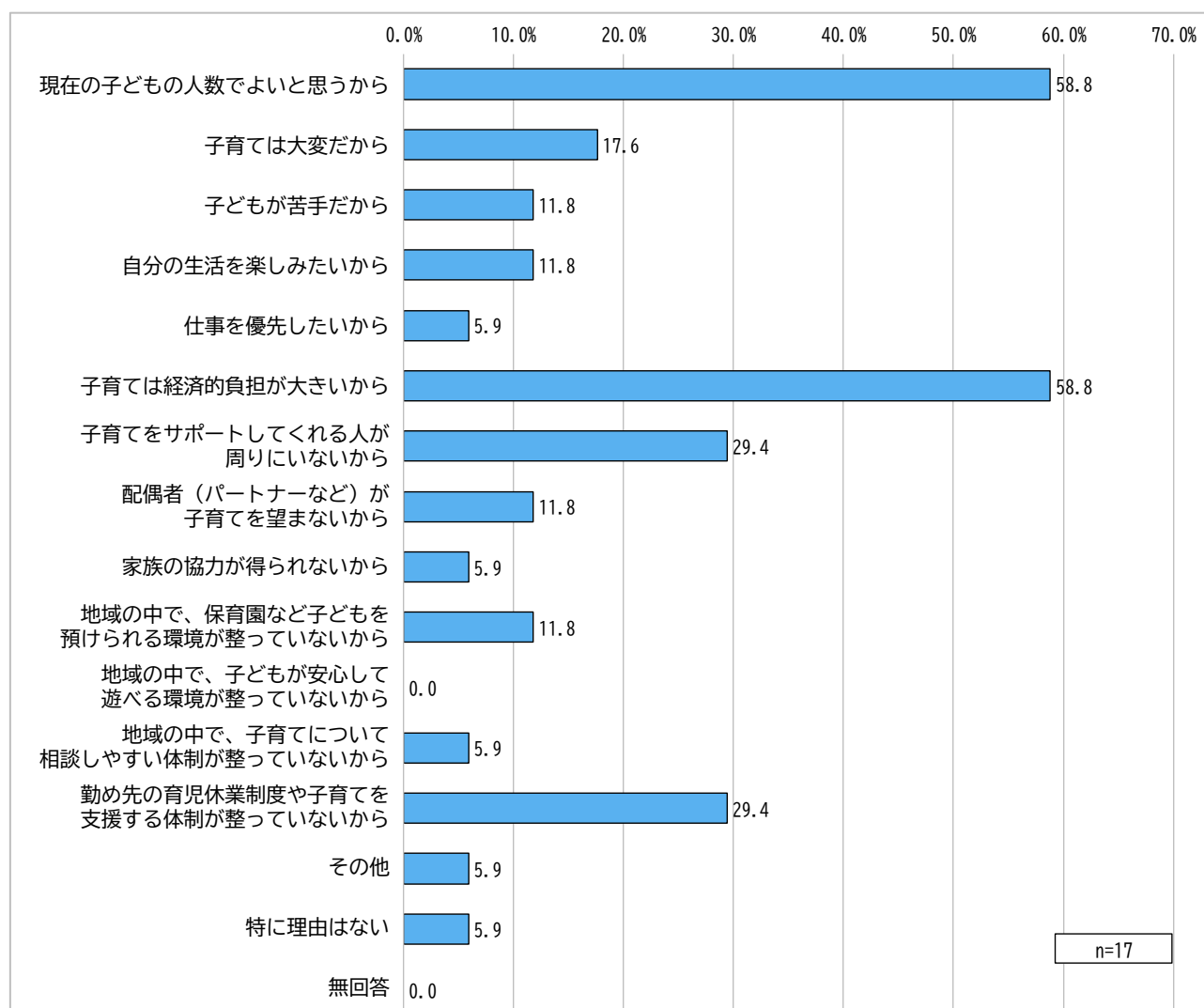
（６）さらにお子さんを持ちたいと思わない理由

【問 21 で「３．」を選択した方にうかがいます。】

問 21-2 お子さんがある方で、さらにお子さんを持ちたいと思わない理由について教えてください。（複数選択）

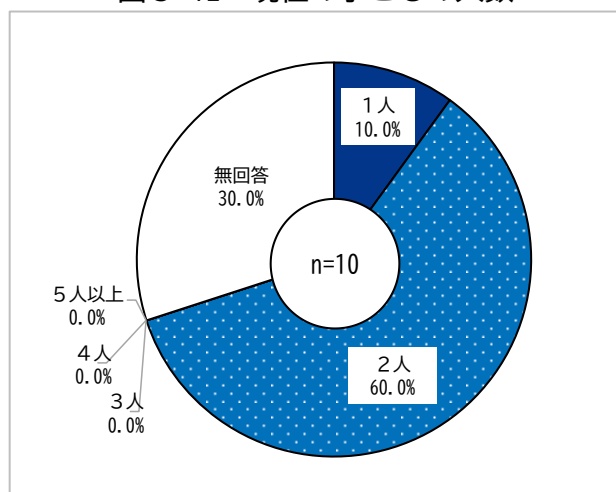
さらにお子さんを持ちたいと思わない理由について、「現在の子ども的人数でよいと思うから」「子育ては経済的負担が大きいから」が 58.8%で最も多く、次いで「子育てをサポートしてくれる人が周りにいないから」「勤め先の育児休業制度や子育てを支援する体制が整っていないから」が 29.4%となっています。

図 5-11 さらにお子さんを持ちたいと思わない理由



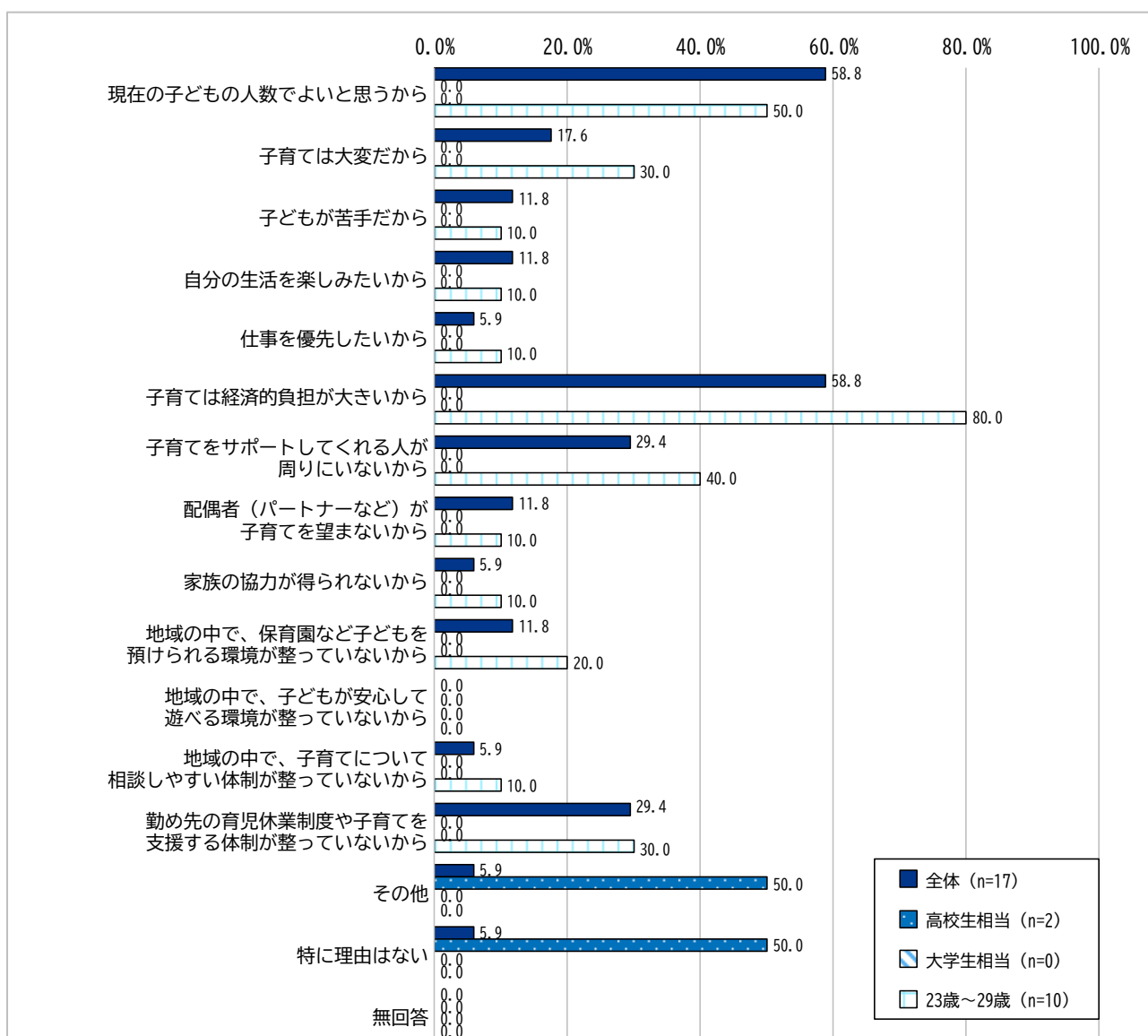
現在の子どもの人数について、「現在の子どもの人数でよいと思うから」と回答した方にたずねたところ、「2人」が60.0%で最も多く、次いで「1人」が10.0%となっています。

図5-12 現在の子どもの人数



年齢別でみると、高校生相当では「その他」「特に理由はない」、23歳～29歳では「子育ては経済的負担が大きいから」が最も多く、次いで23歳～29歳では「現在の子どもの人数でよいと思うから」となっています。

図5-13 さらにお子さんを持ちたいと思わない理由(年齢別)

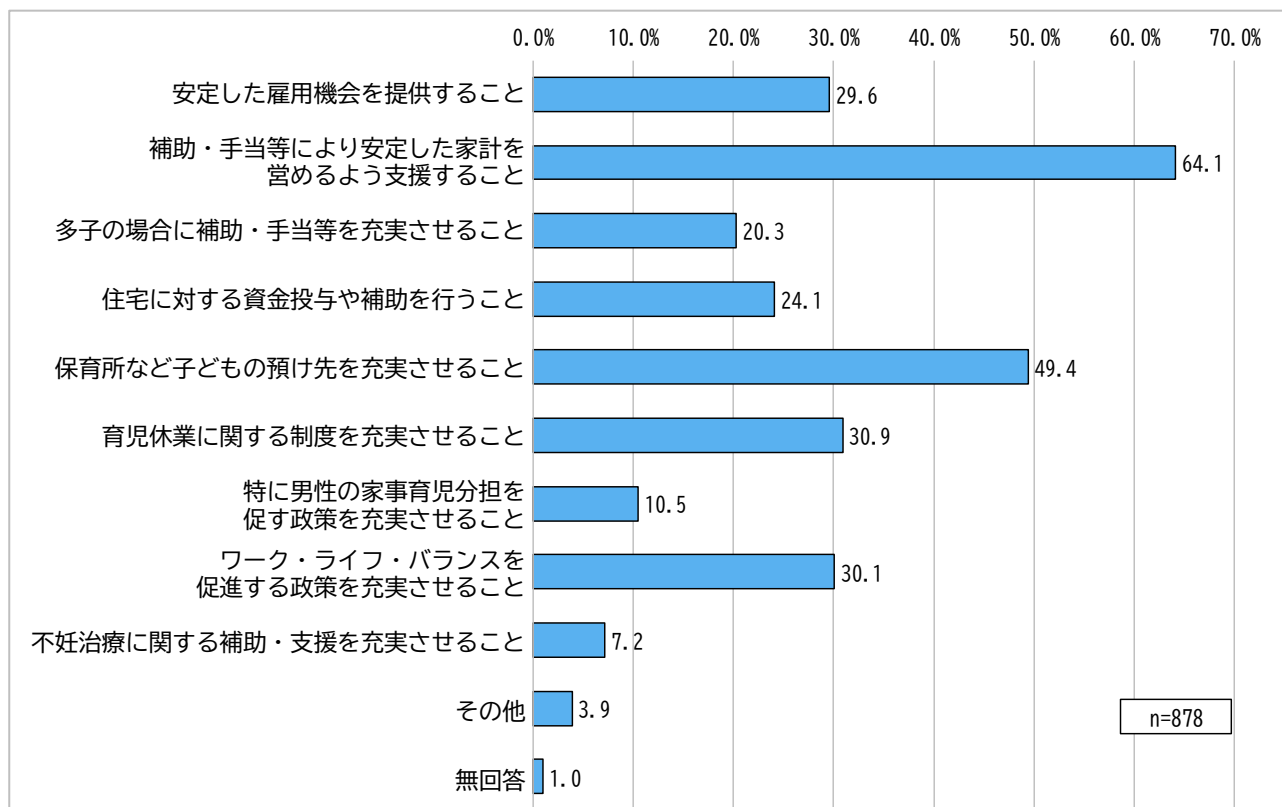


（７）子どもを持つことを希望する人を支援する施策

問 22 子どもを持つことを希望する人を支援する施策としてどのようなことが重要だと思いますか。（複数選択）

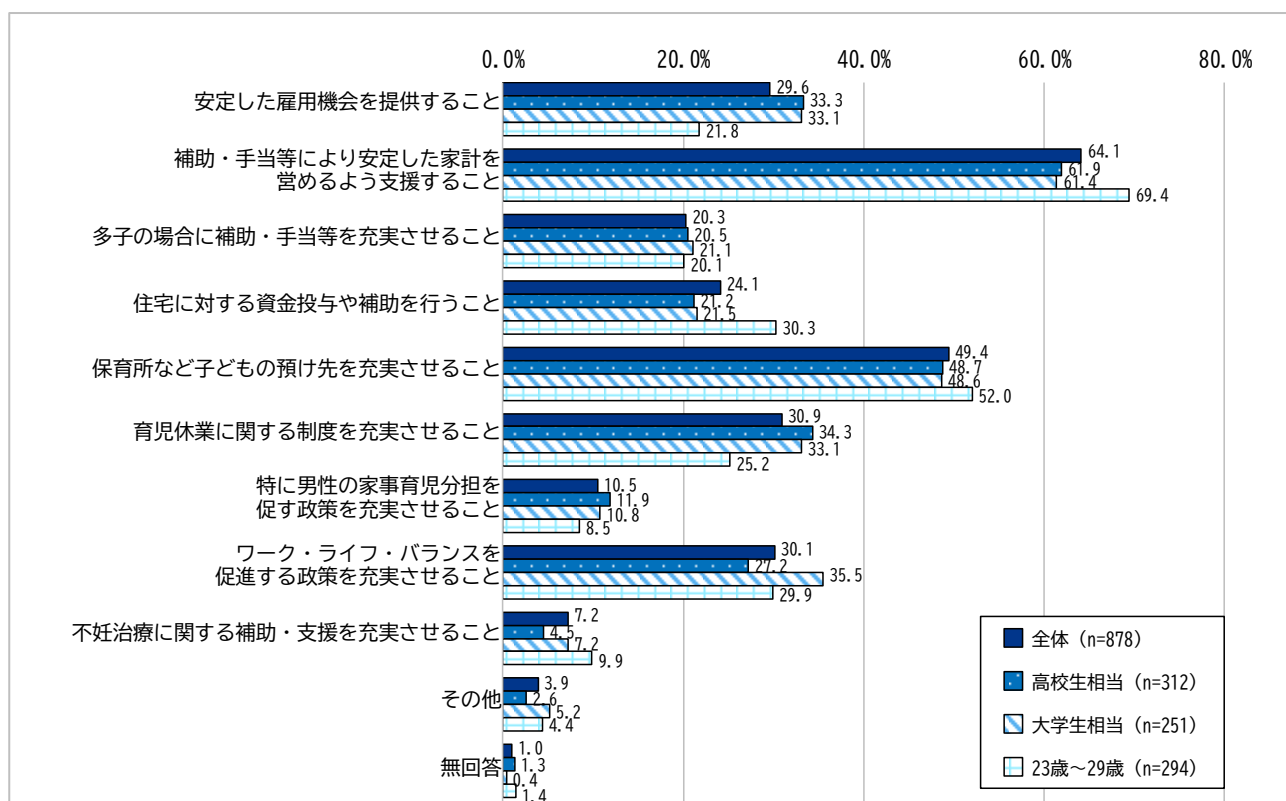
子どもを持つことを希望する人を支援する施策について、「補助・手当等により安定した家計を営めるよう支援すること」が64.1%で最も多く、次いで「保育所など子どもの預け先を充実させること」が49.4%となっています。

図5-14 子どもを持つことを希望する人を支援する施策



年齢別でみると、全ての年齢で「補助・手当等により安定した家計を営めるよう支援すること」が最も多く、次いで「保育所など子どもの預け先を充実させること」となっています。

図5-15 子どもを持つことを希望する人を支援する施策(年齢別)



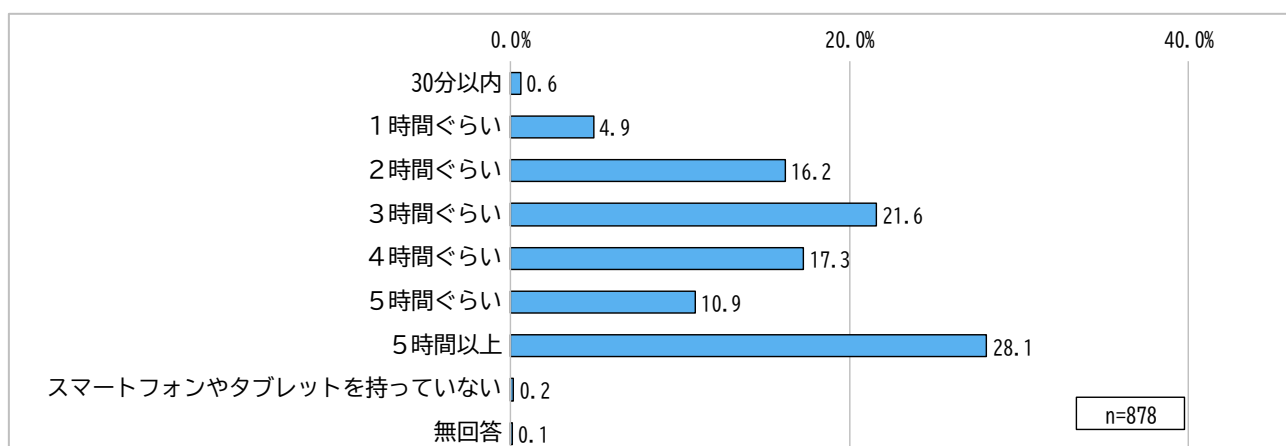
6 スマートフォン・タブレットの利用について

(1) 平日のスマートフォンやタブレットの平均使用時間

問 23 あなたは、学校や仕事以外で、スマートフォンやタブレットなどをどのくらい使用しますか。平日1日あたりの平均使用時間に近いものを選んでください。

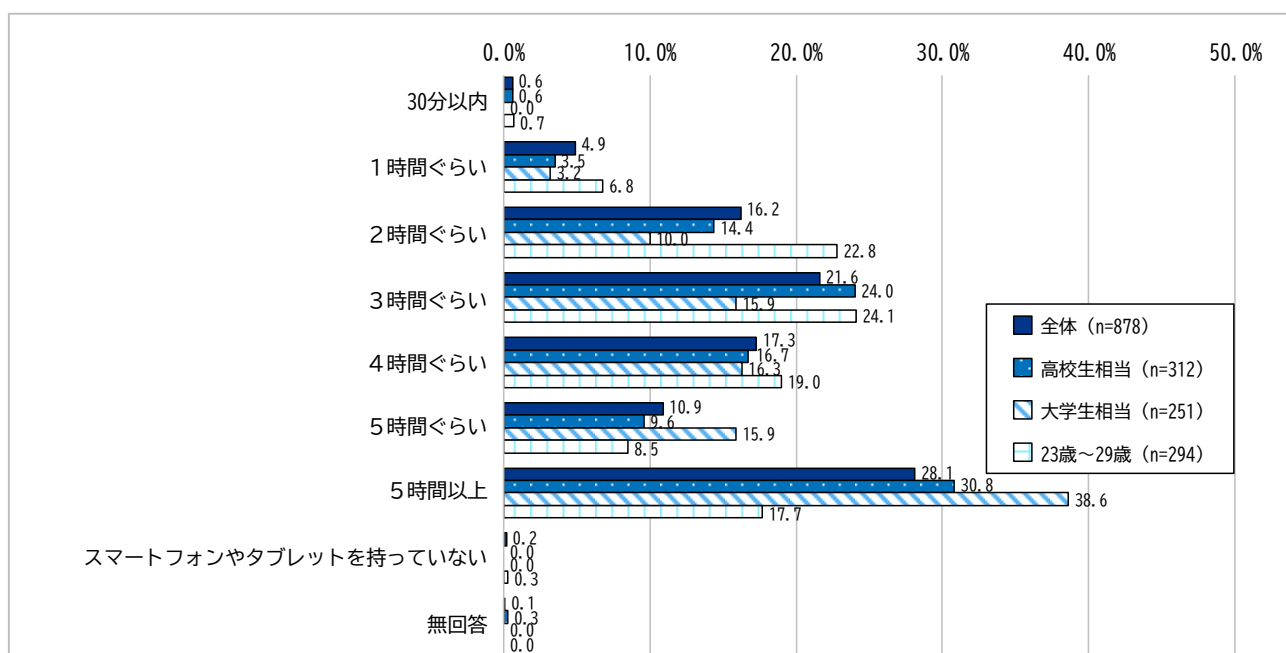
平日のスマートフォンやタブレットの平均使用時間について、「5時間以上」が28.1%で最も多く、次いで「3時間ぐらい」が21.6%となっています。

図6-1 平日のスマートフォンやタブレットの平均使用時間



年齢別でみると、高校生相当と大学生相当ではともに「5時間以上」、23歳～29歳では「3時間ぐらい」が最も多く、次いで高校生相当では「3時間ぐらい」、大学生相当では「4時間ぐらい」、23歳～29歳では「2時間ぐらい」となっています。

図6-2 平日のスマートフォンやタブレットの平均使用時間（年齢別）



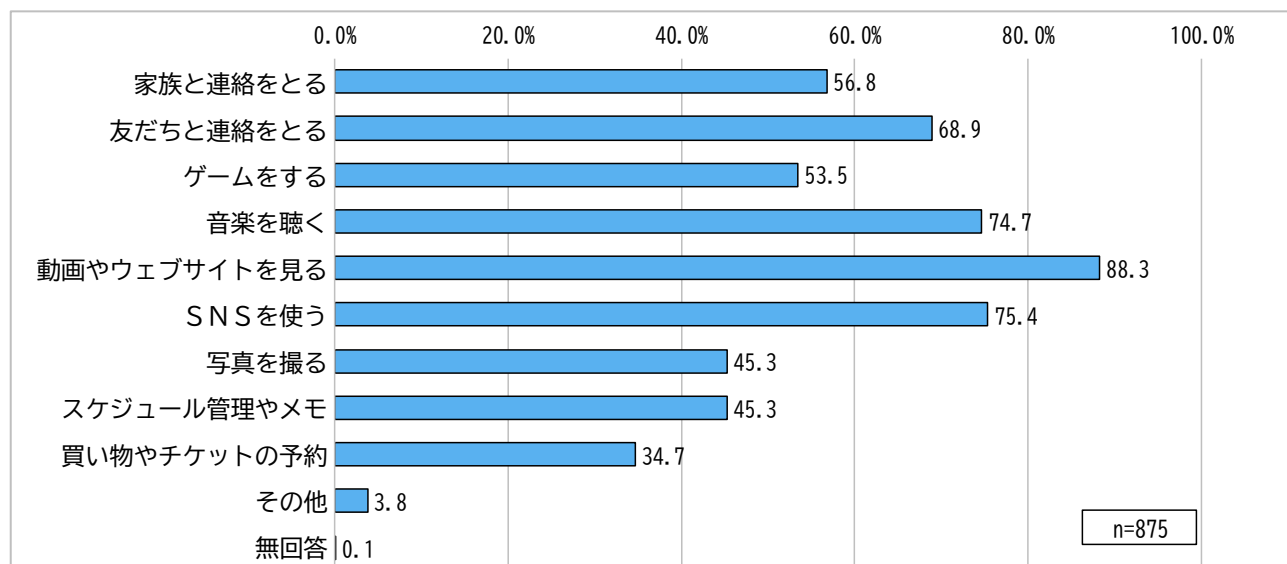
(2) スマートフォンやタブレットの使用目的

【問 23 で「1. 」～「7. 」のいずれかを選択した方にうかがいます。】

問 23-1 スマートフォンやタブレットなどをどのような目的で使うことが多いですか。
(複数選択)

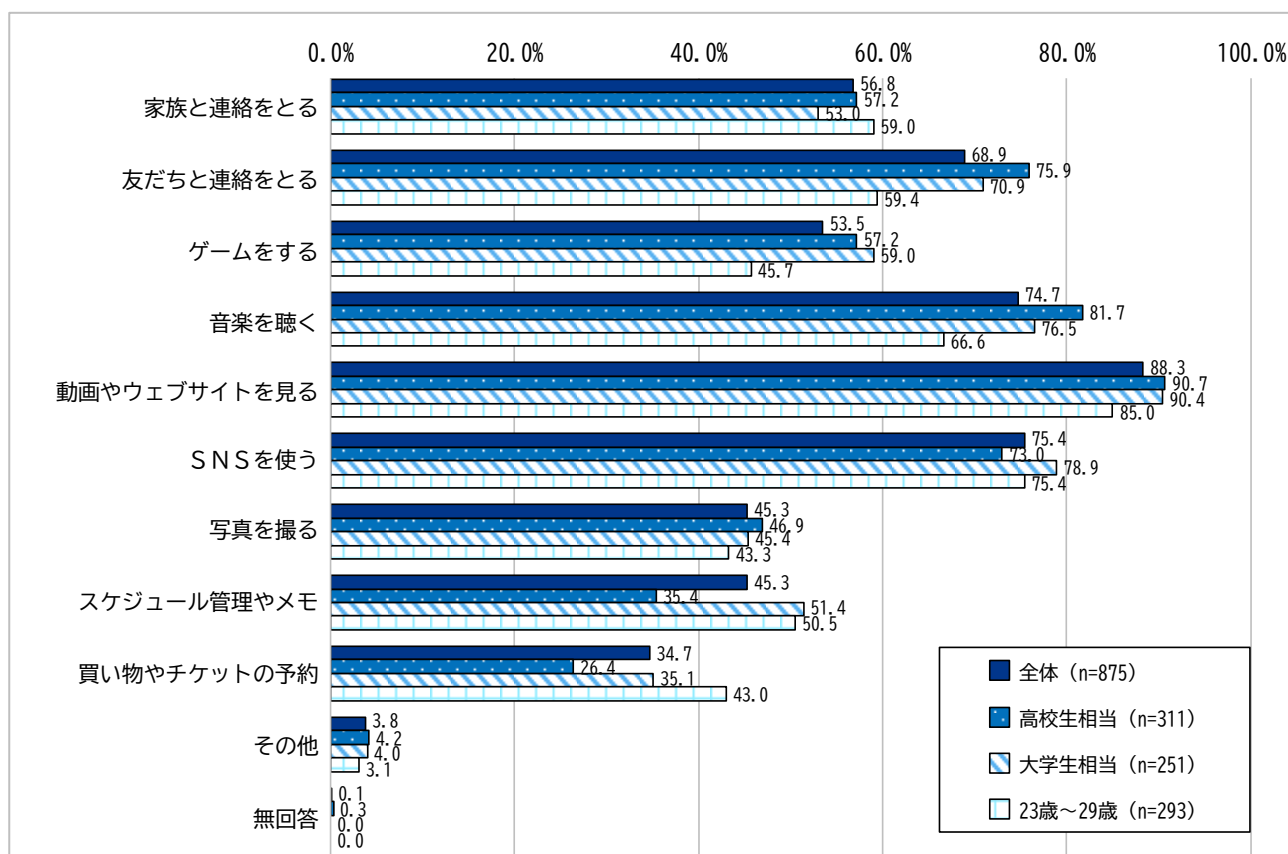
スマートフォンやタブレットの使用目的について、「動画やウェブサイトを見る」が 88.3%で最も多く、次いで「SNSを使う」が 75.4%となっています。

図 6-3 スマートフォンやタブレットの使用目的



年齢別でみると、全ての年齢で「動画やウェブサイトを見る」が最も多く、次いで高校生相当では「音楽を聴く」、大学生相当と23歳～29歳ではともに「SNSを使う」となっています。

図6-4 スマートフォンやタブレットの使用目的（年齢別）



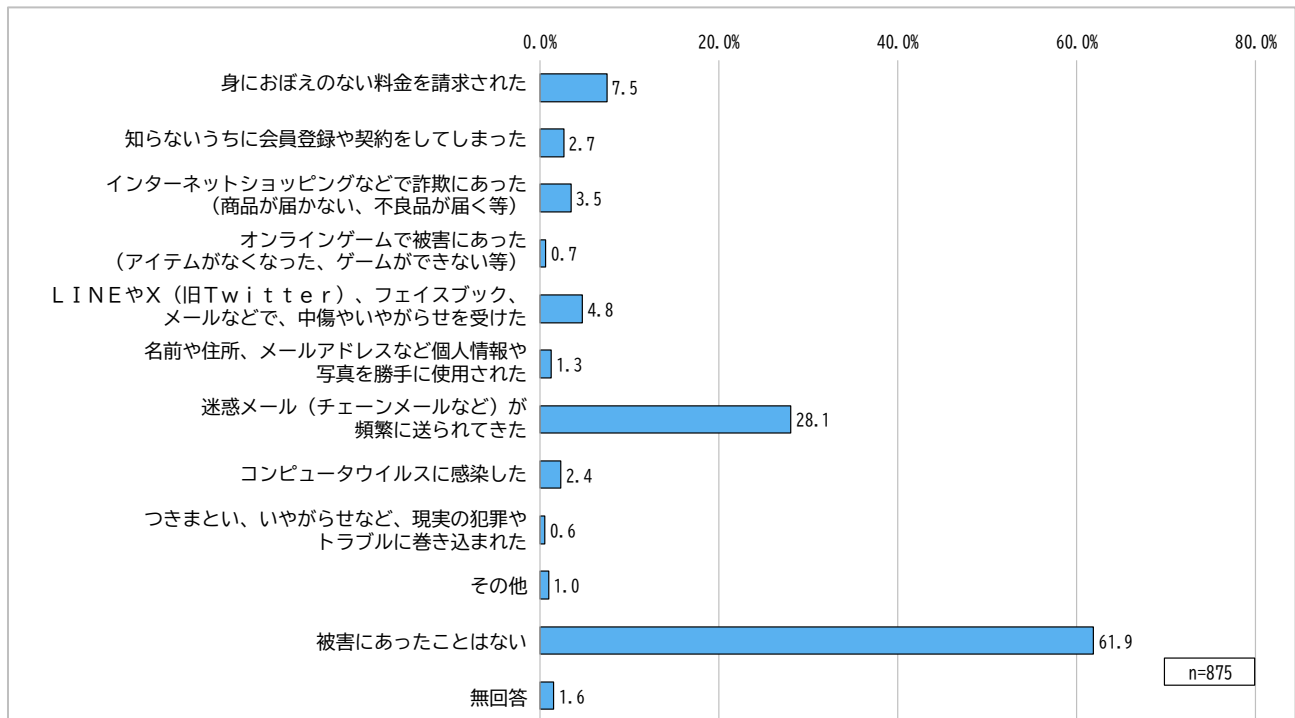
(3) インターネットトラブルの経験

【問 23 で「1. 」～「7. 」のいずれかを選択した方にうかがいます。】

問 23-2 スマートフォンやタブレットなどでインターネットを利用して、次のようなトラブルにあったことがありますか。（複数選択）

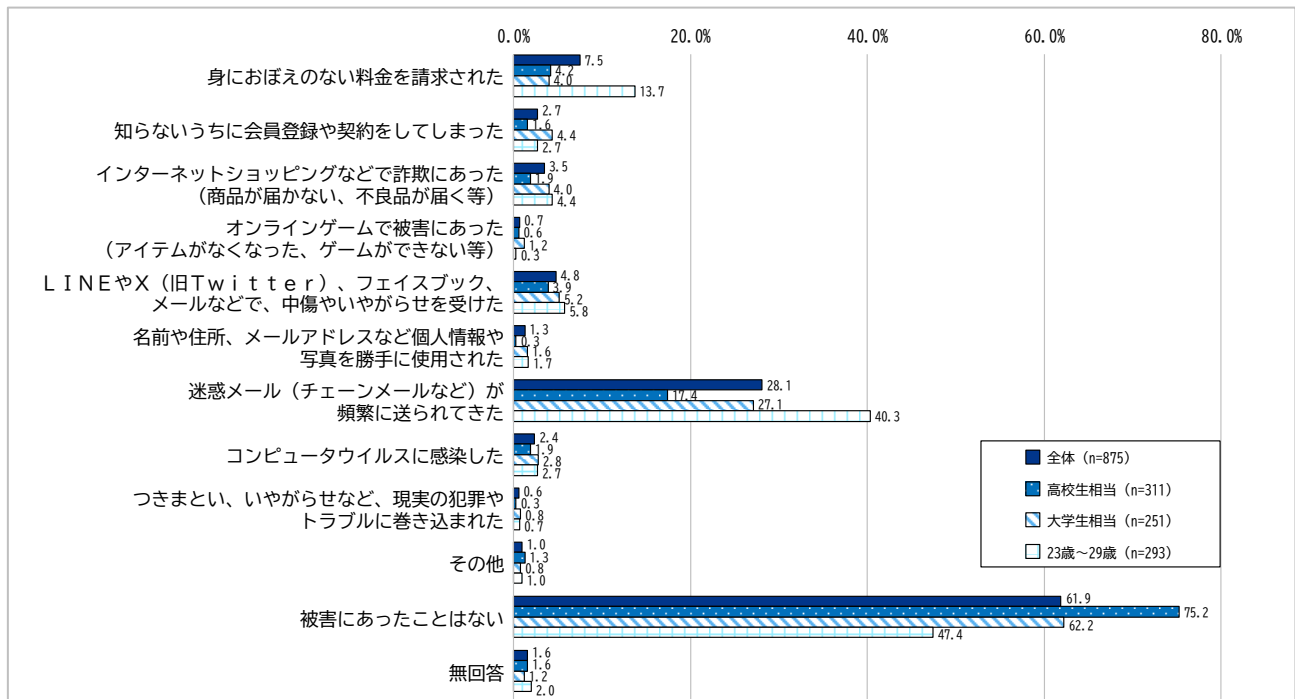
インターネットトラブルの経験について、「被害にあったことはない」が 61.9%で最も多く、次いで「迷惑メール（チェーンメールなど）が頻繁に送られてきた」が 28.1%となっています。

図 6-5 インターネットトラブルの経験



年齢別でみると、全ての年齢で「被害にあったことはない」が最も多く、次いで「迷惑メール（チェーンメールなど）が頻繁に送られてきた」となっています。

図6-6 インターネットトラブルの経験（年齢別）



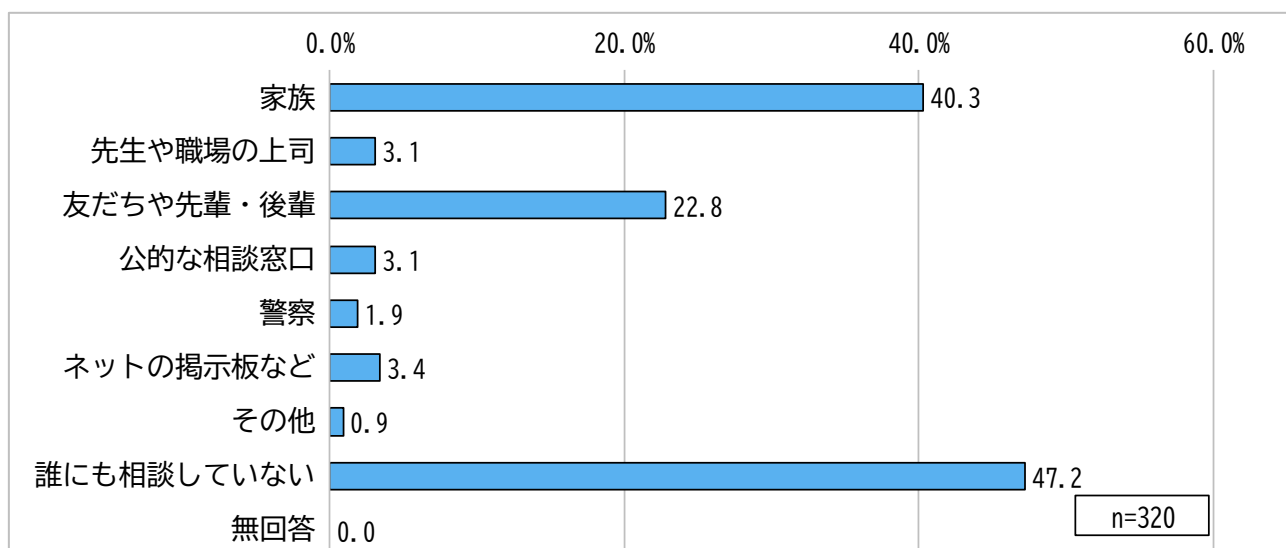
(4) インターネットトラブルにあった時の相談先

【問 23-2 で「1. 」～「10. 」のいずれかを選択した方にうかがいます。】

問 23-3 あなたは、トラブルにあった時、誰かに相談しましたか。（複数選択）

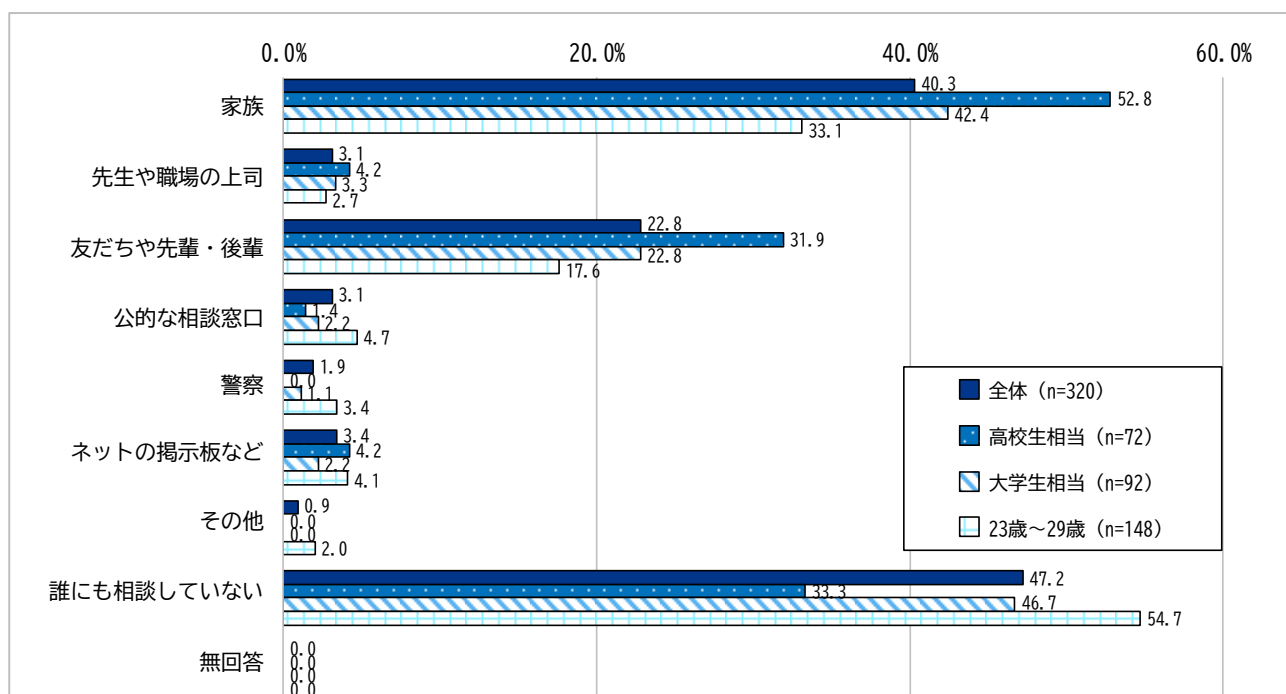
インターネットトラブルにあった時の相談先について、「誰にも相談していない」が 47.2%で最も多く、次いで「家族」が 40.3%となっています。

図 6-7 インターネットトラブルにあった時の相談先



年齢別でみると、高校生相当では「家族」、大学生相当と 23 歳～29 歳ではともに「誰にも相談していない」が最も多く、次いで高校生相当では「誰にも相談していない」、大学生相当と 23 歳～29 歳ではともに「家族」となっています。

図 6-8 インターネットトラブルにあった時の相談先（年齢別）



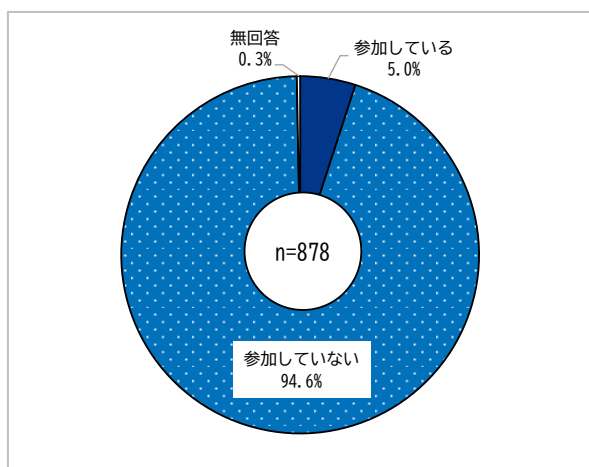
7 地域との関わりについて

(1) 地域活動への参加

問 24 あなたは、現在、地域活動（自分が住んでいる地域のためのボランティア活動）に参加していますか。

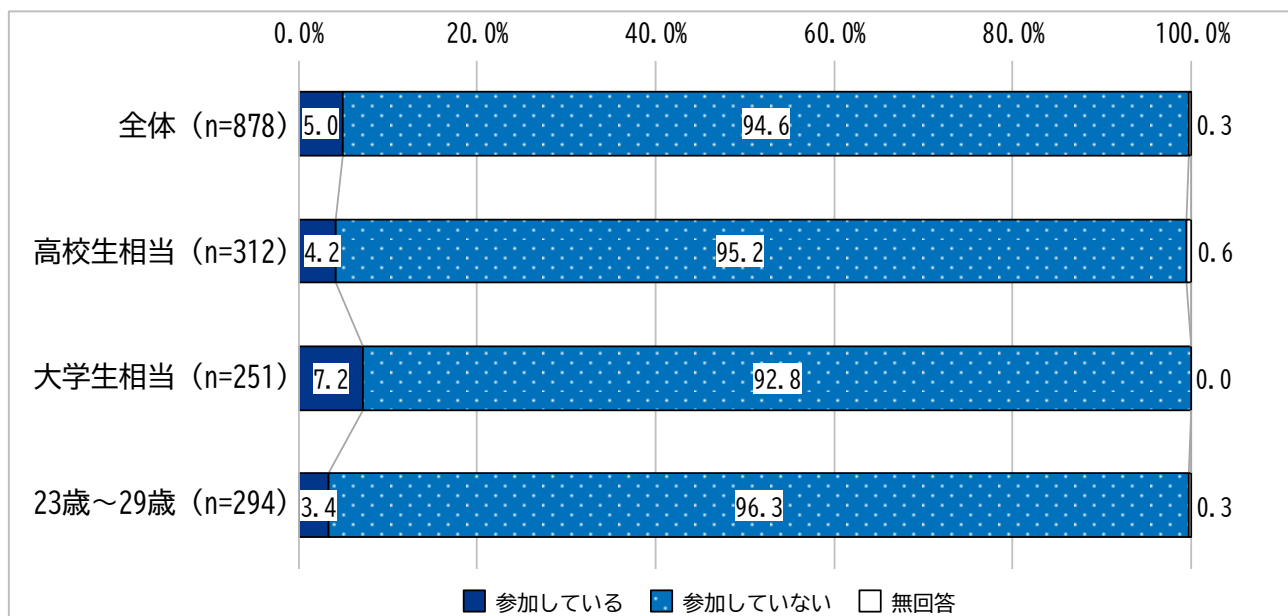
地域活動への参加について、「参加していない」が94.6%、「参加している」が5.0%となっています。

図 7-1 地域活動への参加



年齢別でみると、全ての年齢で「参加していない」が最も多くなっています。大学生相当では、他の年齢に比べて「参加している」が多くなっています。

図 7-2 地域活動への参加（年齢別）



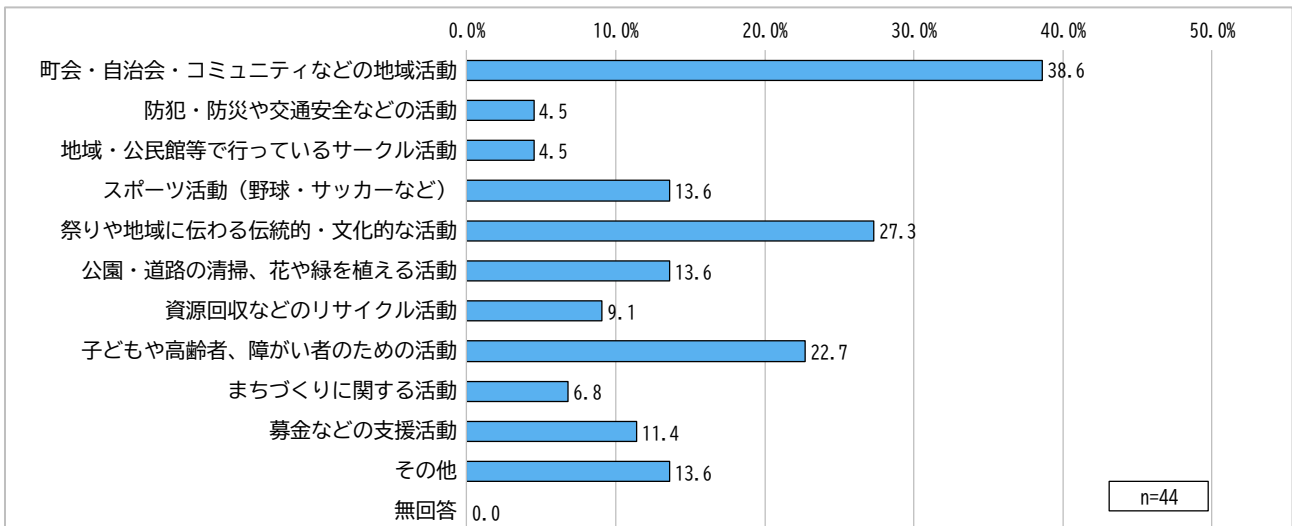
(2) 参加している地域活動

【問 24 で「1.」を選択した方にうかがいます。】

問 24-1 その地域活動は何ですか。（複数選択）

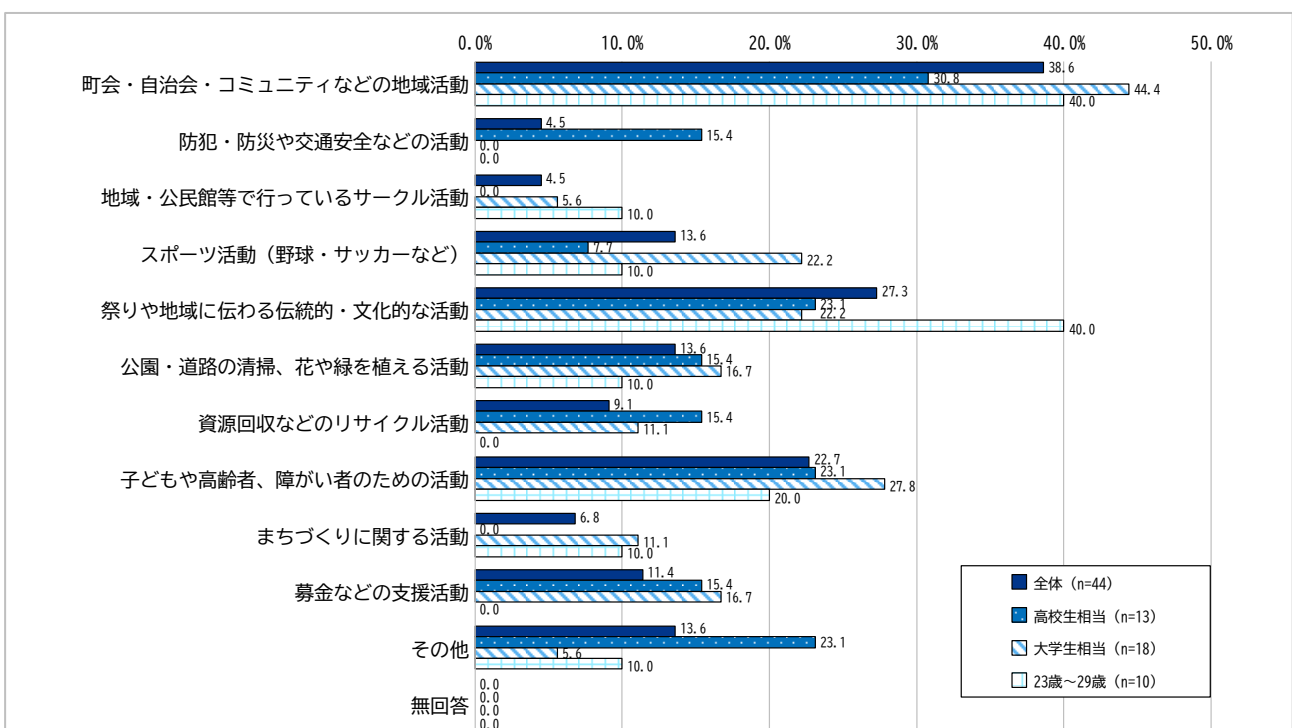
参加している地域活動について、「町会・自治会・コミュニティなどの地域活動」が 38.6%で最も多く、次いで「祭りや地域に伝わる伝統的・文化的な活動」が 27.3%となっています。

図 7-3 参加している地域活動



年齢別でみると、高校生相当と大学生相当ではともに「町会・自治会・コミュニティなどの地域活動」、23 歳～29 歳では「町会・自治会・コミュニティなどの地域活動」「祭りや地域に伝わる伝統的・文化的な活動」が最も多く、次いで高校生相当では「祭りや地域に伝わる伝統的・文化的な活動」「子どもや高齢者、障がい者のための活動」「その他」、大学生相当と 23 歳～29 歳ではともに「子どもや高齢者、障がい者のための活動」となっています。

図 7-4 参加している地域活動（年齢別）



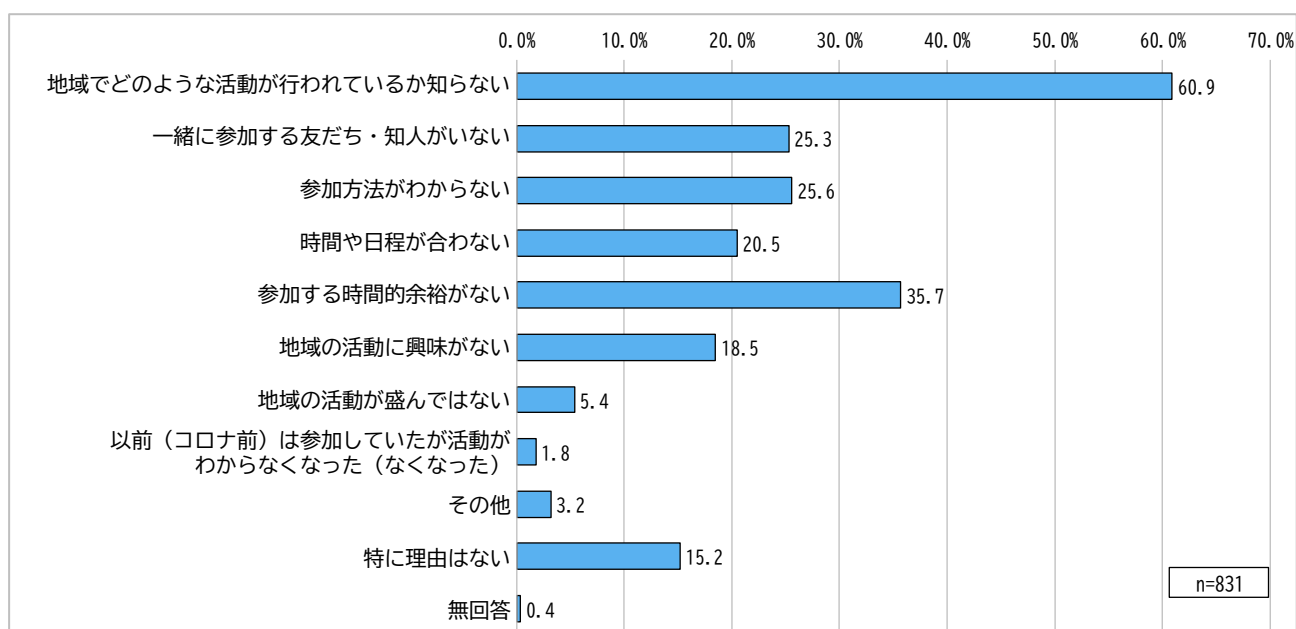
(3) 地域活動に参加していない理由

【問 24 で「2.」を選択した方にうかがいます。】

問 24-2 地域活動に参加していない理由は何ですか。（複数選択）

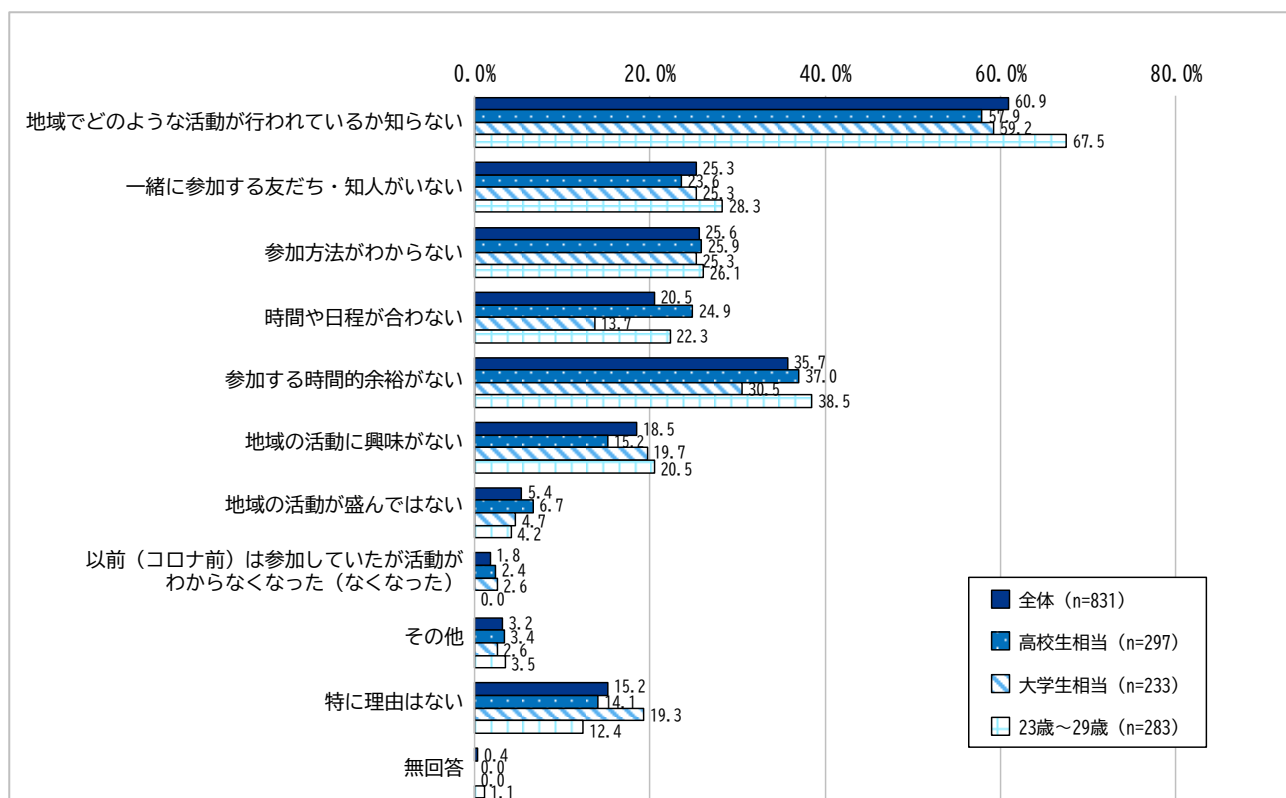
地域活動に参加していない理由について、「地域でどのような活動が行われているか知らない」が 60.9%で最も多く、次いで「参加する時間的余裕がない」が 35.7%となっています。

図 7-5 地域活動に参加していない理由



年齢別でみると、全ての年齢で「地域でどのような活動が行われているか知らない」が最も多く、次いで「参加する時間的余裕がない」となっています。

図 7-6 地域活動に参加していない理由（年齢別）

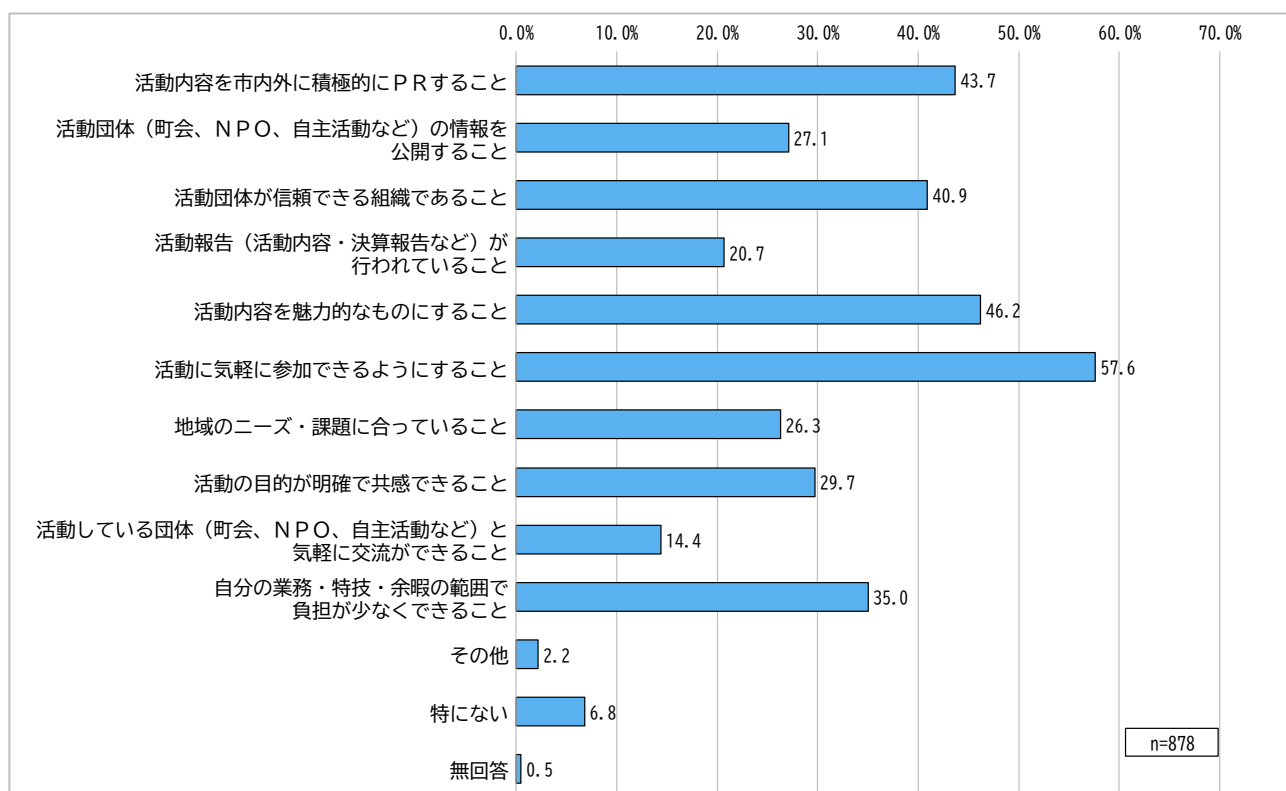


(4) 地域活動に多くの人が参加するために必要なこと

問 25 地域活動に多くの人が参加するために必要なことはどのようなことだと思いますか。
(複数選択)

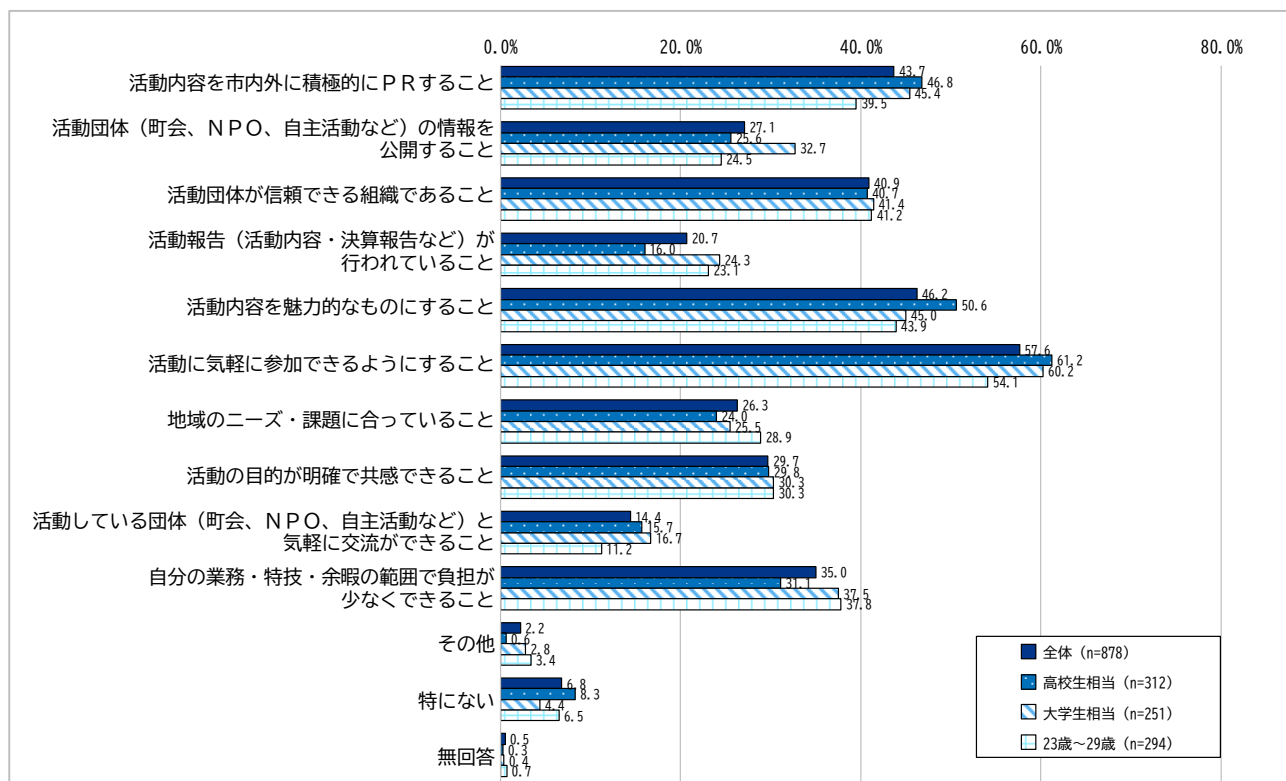
地域活動に多くの人が参加するために必要なことについて、「活動に気軽に参加できるようにすること」が 57.6%で最も多く、次いで「活動内容を魅力的なものにすること」が 46.2%となっています。

図 7-7 地域活動に多くの人が参加するために必要なこと



年齢別でみると、全ての年齢で「活動に気軽に参加できるようにすること」が最も多く、次いで高校生相当と23歳～29歳ではともに「活動内容を魅力的なものにすること」、大学生相当では「活動内容を市内外に積極的にPRすること」となっています。

図7-8 地域活動に多くの人が参加するために必要なこと（年齢別）



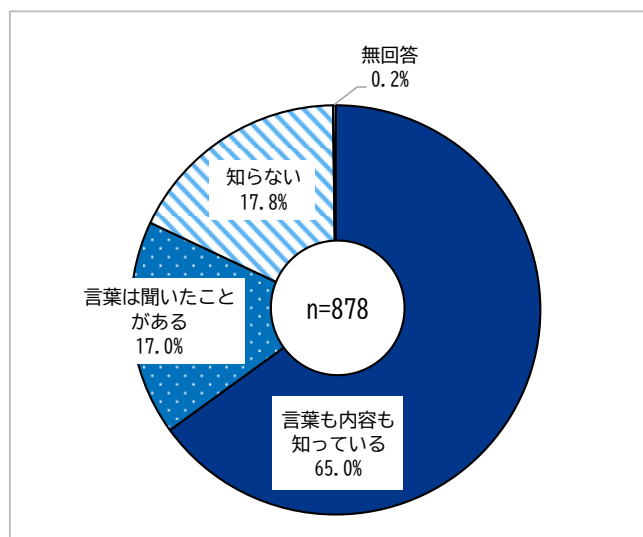
8 ヤングケアラーについて

(1)「ヤングケアラー」の認知度

問 26 あなたは「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。

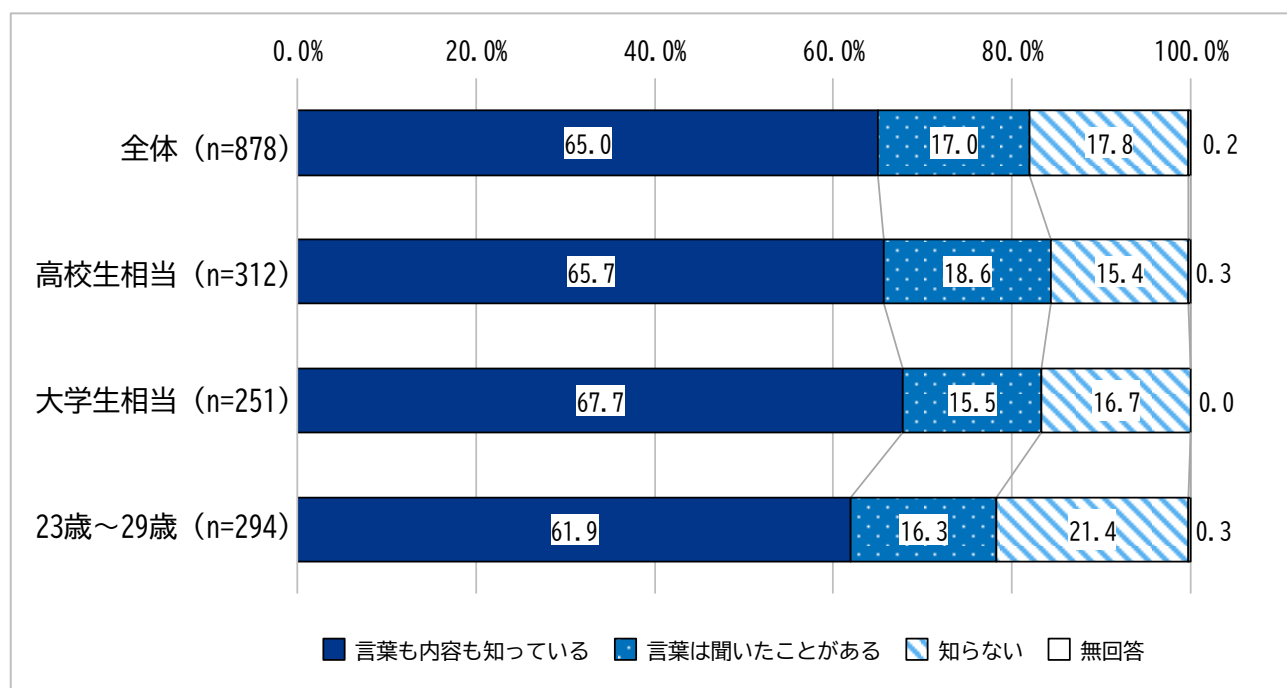
「ヤングケアラー」の認知度について、「言葉も内容も知っている」が 65.0%で最も多く、次いで「知らない」が 17.8%となっています。

図8-1 「ヤングケアラー」の認知度



年齢別でみると、全ての年齢で「言葉も内容も知っている」が最も多く、次いで高校生相当では「言葉は聞いたことがある」、大学生相当と23歳～29歳ではともに「知らない」となっています。

図8-2 「ヤングケアラー」の認知度（年齢別）

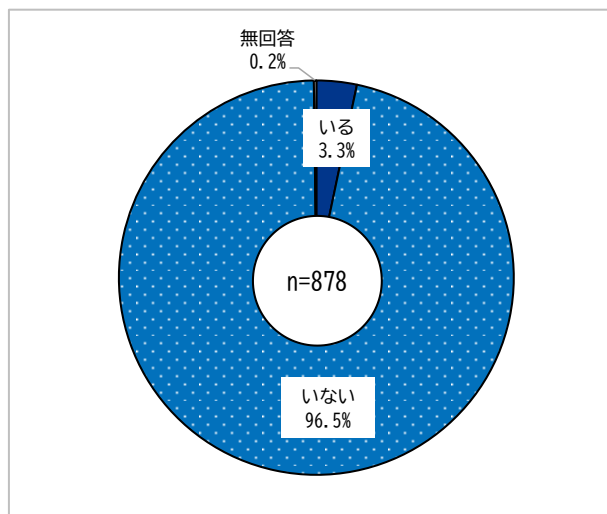


(2) お世話している家族の有無

問 27 家族の中にあなたがお世話している人はいますか。

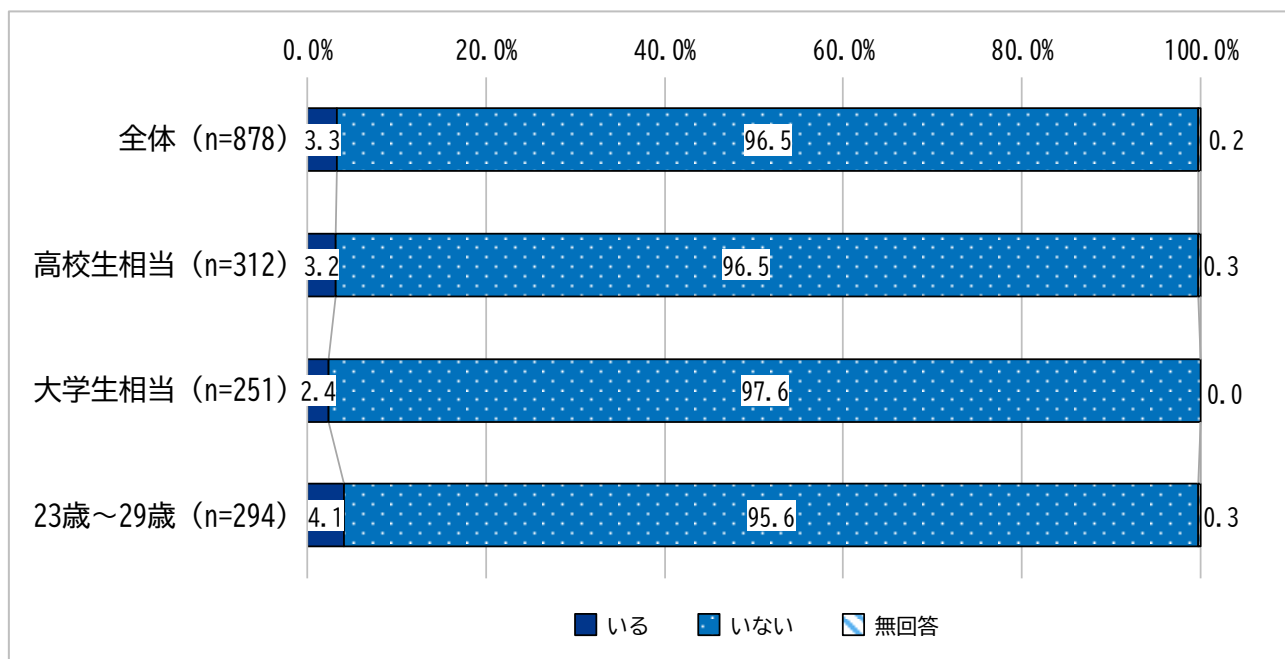
お世話している家族の有無について、「いない」が96.5%、「いる」が3.3%となっています。

図8-3 お世話している家族の有無



年齢別でみると、全ての年齢で「いない」が最も多くなっています。

図8-4 お世話している人の有無（年齢別）



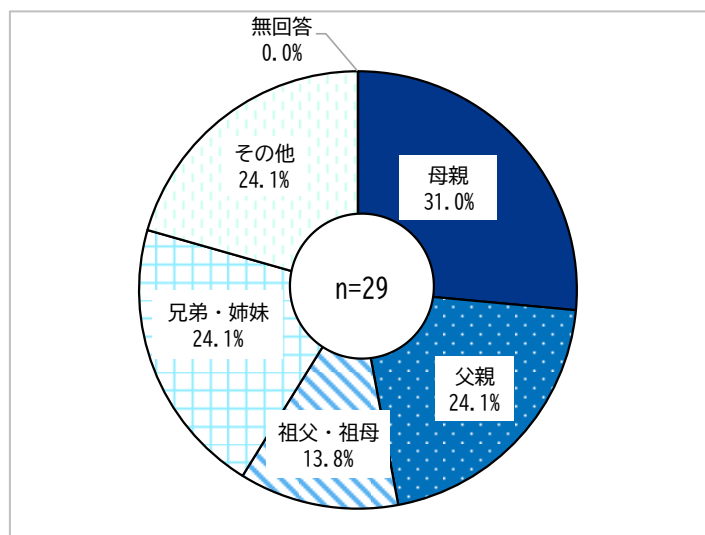
(3) お世話している家族

【問 27 で「1.」を選択した方にうかがいます。】

問 27-1 あなたがお世話している人はだれですか。（複数選択）

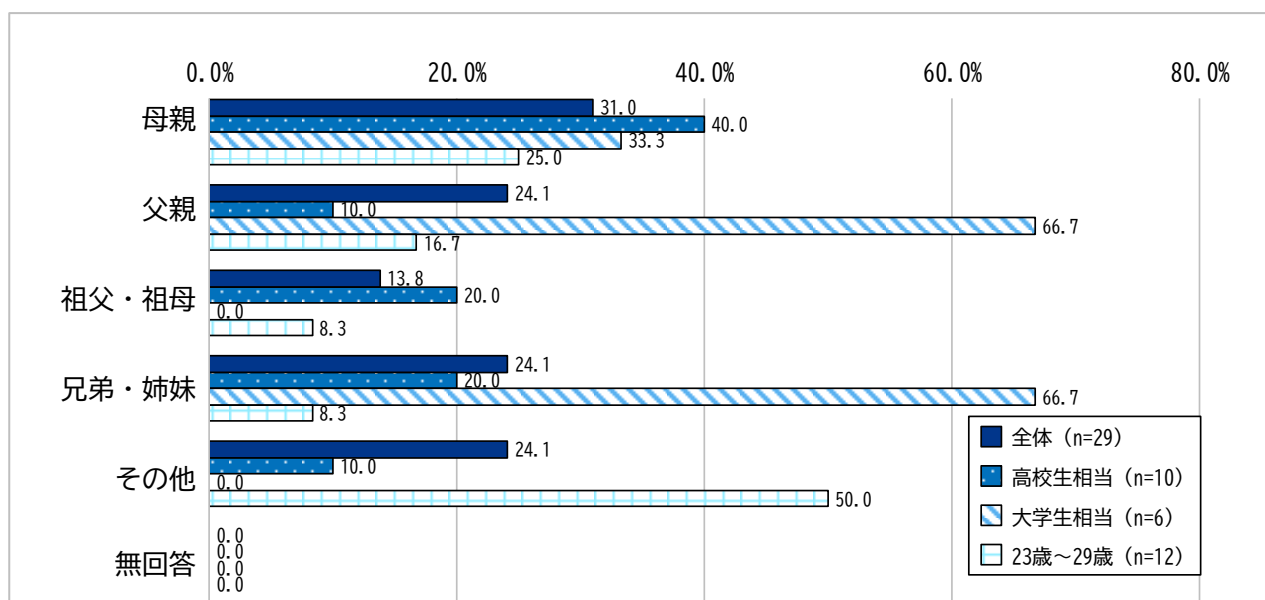
お世話している家族について、「母親」が 31.0%で最も多く、次いで「父親」「兄弟・姉妹」「その他」が 24.1%となっています。

図 8-5 お世話している家族



年齢別でみると、高校生相当では「母親」、大学生相当では「父親」「兄弟・姉妹」、23 歳～29 歳では「その他」が最も多く、次いで高校生相当では「祖父・祖母」「兄弟・姉妹」、大学生相当と 23 歳～29 歳ではともに「母親」となっています。

図 8-6 お世話している人（年齢別）



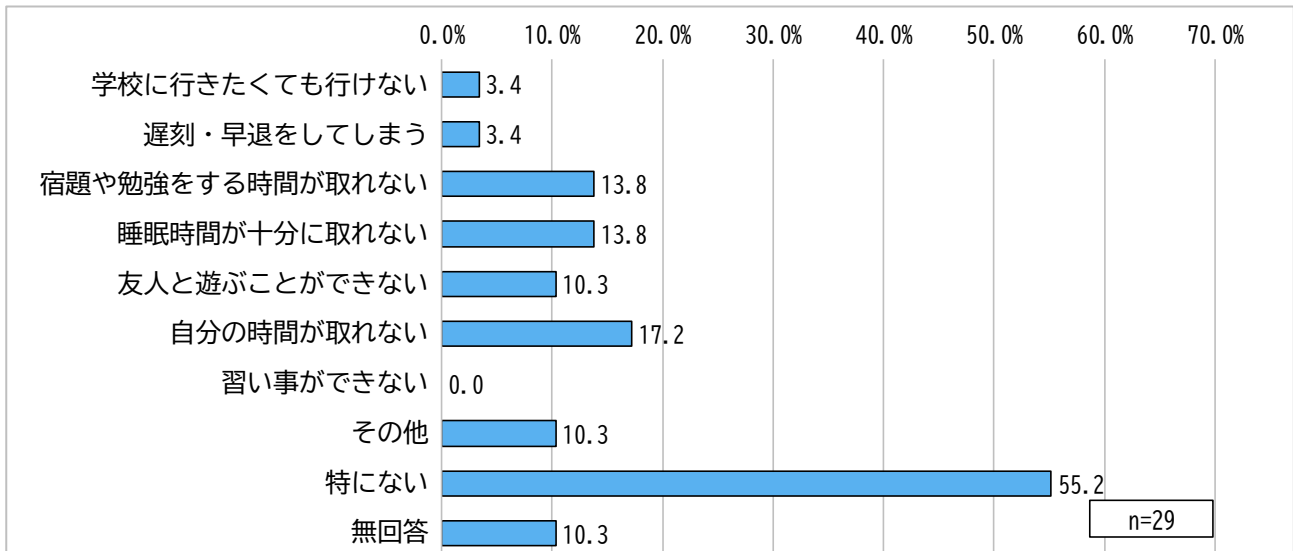
(4) お世話をしていることで、やりたいけど、できていないこと

【問 27 で「1.」を選択した方にうかがいます。】

問 27-2 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。
(複数選択)

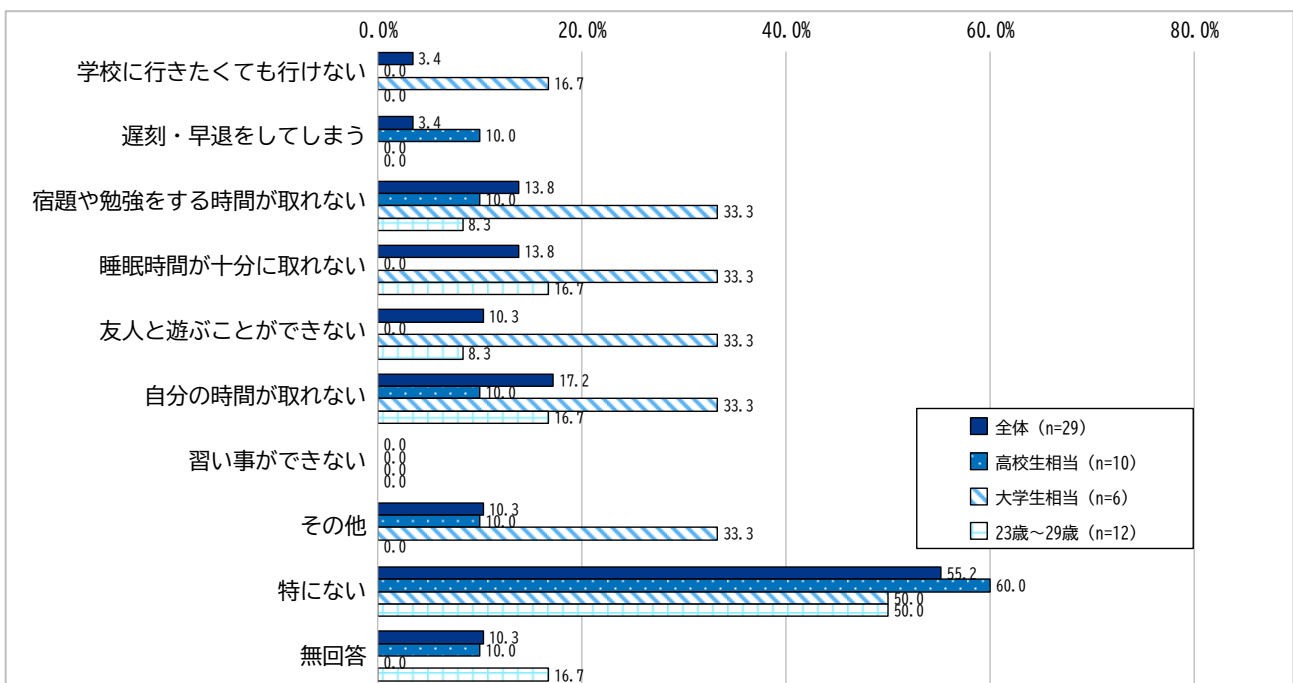
お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことについて、「特にない」が 55.2%で最も多く、次いで「自分の時間が取れない」が 17.2%となっております。

図 8-7 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないこと



年齢別でみると、全ての年齢で「特にない」が最も多く、次いで高校生相当では「遅刻・早退をしてしまう」「宿題や勉強をする時間が取れない」「自分の時間が取れない」「その他」、大学生相当では「宿題や勉強をする時間が取れない」「睡眠時間が十分に取れない」「友人と遊ぶことができない」「自分の時間が取れない」「その他」、23 歳～29 歳では「睡眠時間が十分に取れない」「自分の時間が取れない」となっています。

図 8-8 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないこと (年齢別)



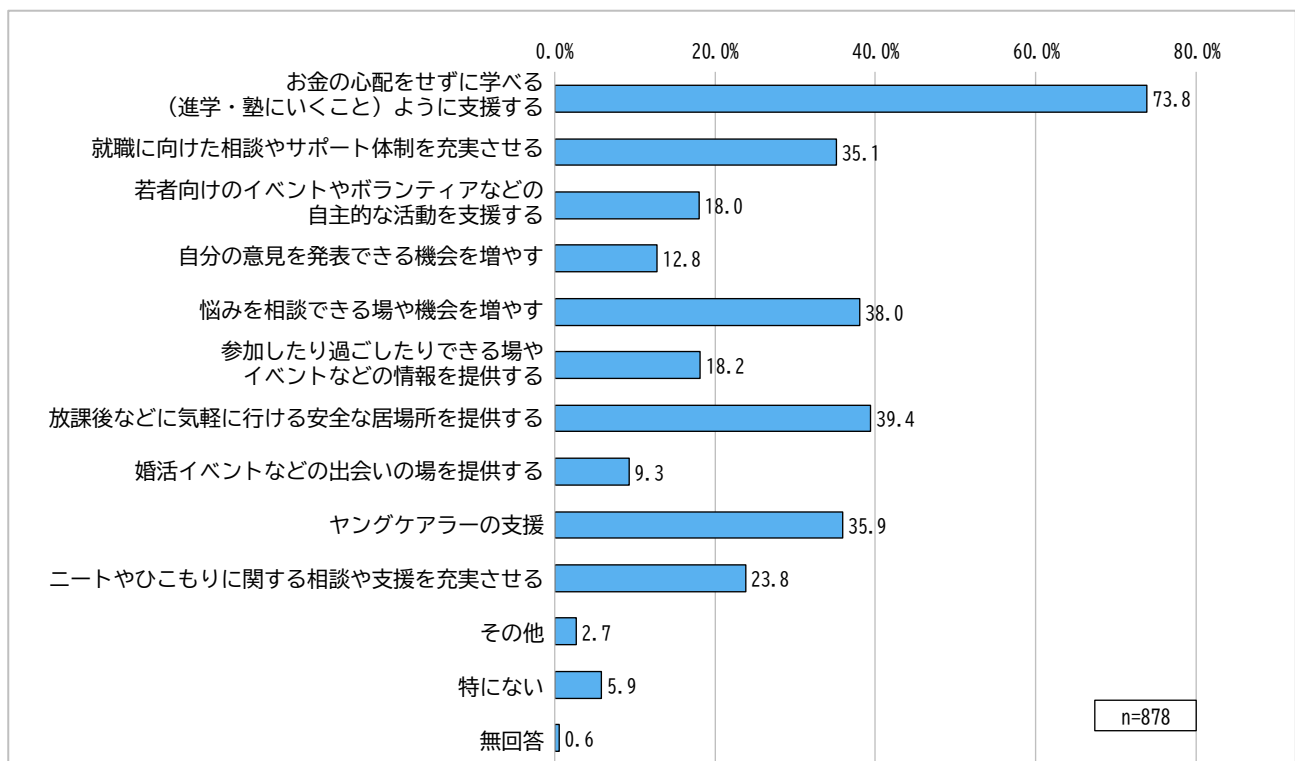
9 今後の習志野市について

(1) 習志野市の施策に望むこと

問 28 あなたは、市が取り組む青少年や若者の施策にどんなことを望みますか。（複数選択）

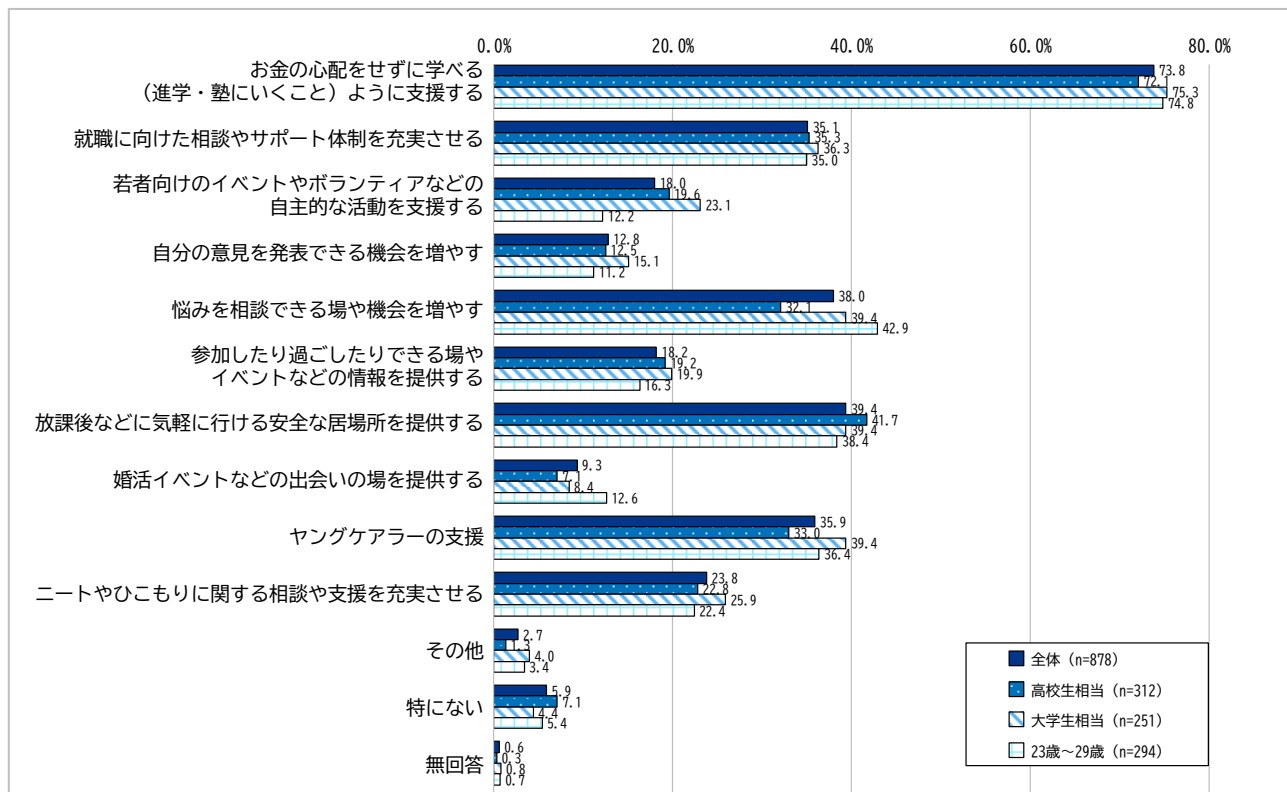
習志野市の施策に望むことについて、「お金の心配をせずに学べる（通学・塾に行くこと）ように支援する」が73.8%で最も多く、次いで「放課後などに気軽に行ける安全な居場所を提供する」が39.4%となっています。

図9-1 習志野市の施策に望むこと



年齢別でみると、全ての年齢で「お金の心配をせずに学べる（進学・塾に行くこと）ように支援する」が最も多く、次いで高校生相当では「放課後などに気軽に行ける安全な居場所を提供する」、大学生相当では「悩みを相談できる場や機会を増やす」「放課後などに気軽に行ける安全な居場所を提供する」「ヤングケアラーの支援」、23歳～29歳では「悩みを相談できる場や機会を増やす」となっています。

図9-2 習志野市の施策に望むこと（年齢別）

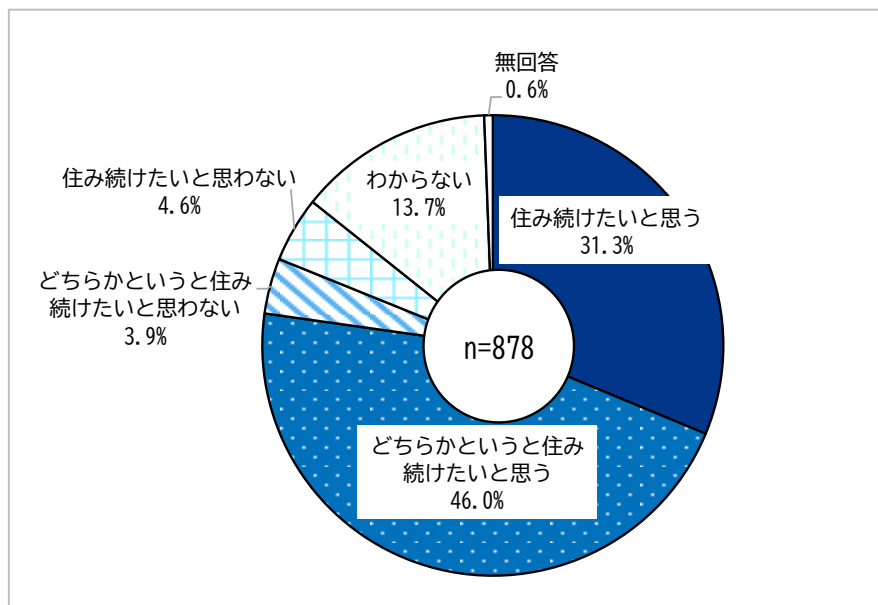


(2) 習志野市に住み続けたいと思うか

問 29 あなたは、これからも習志野市に住み続けたいと思いますか。

習志野市に住み続けたいと思うかについて、「どちらかというに住み続けたいと思う」が46.0%で最も多く、次いで「住み続けたいと思う」が31.3%となっています。

図9-3 習志野市に住み続けたいと思うか



年齢別でみると、全ての年齢で「どちらかというに住み続けたいと思う」が最も多く、次いで「住み続けたいと思う」となっています。

図9-4 習志野市に住み続けたいと思うか（年齢別）

